

芦屋町こども計画策定調査業務

【 報 告 書 】

令和6年3月

芦 屋 町

目 次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の実施概要	2
(1) 実施方法	2
(2) 回収方法	2
(3) 集計分析上の注意事項	2
2 調査結果の概要	3
(1) 教育・保育ニーズ調査（未就学児童の保護者）	3
(2) 教育・保育ニーズ調査（小学生児童の保護者）	7
(3) 子どもの貧困対策計画調査（小学生・中学生保護者）	9
(4) 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（小学生本人）	11
(5) 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（中学生本人）	13
(6) 子ども・若者計画調査（高校生世代以上 39 歳まで）	15
II 調査別結果	17
1 教育・保育ニーズ調査（未就学児童の保護者）	19
1. お子さんご家族について	20
2. 保護者の就労状況について	22
3. 平日の幼稚園や保育所などの利用状況と利用希望について	28
4. 子育て支援に関する事業の利用状況について	32
5. 土曜日、日曜・祝日や長期休暇中の幼稚園や保育所等の利用希望について	35
6. 病気の際の対応について	38
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	40
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	45
9. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について	49
10. 子育て全般について	58
11. 自由意見	64
2 教育・保育ニーズ調査（小学生児童の保護者）	69
1. お子さんご家族について	70
2. 保護者の就労状況について	73
3. 小学校の放課後の過ごし方について	79
4. 病気の際の対応について	85
5. 一時的な預かり等の利用希望について	87
6. 子育て全般について	91
7. 自由意見	97
3 子どもの貧困対策計画調査（小学生・中学生保護者）	101
1. ご本人ご家族の状況について	102
2. お子さんについて	112

3. 経済的な状況	121
4. 健康状態について	124
5. 必要な支援	129
6. 自由意見	140
4 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（小学生本人）	143
1) 生活状況調査	144
1. 学習の状況	144
2. 進学希望	148
3. 日常的な生活の状況	149
2) 子ども・若者計画調査	161
1. 人生観・充実度	161
2. 人とのつながり	165
3. 他者との関わり方	167
4. 社会参加	172
5. 将来像	172
6. 普段の活動	177
7. 外出状況	178
8. ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験	180
9. 相談・支援	182
10. 自由意見	184
11. 場ごとの認識	185
5 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（中学生本人）	187
1) 生活状況調査	188
1. 学習の状況	188
2. 進学希望	192
3. 日常的な生活の状況	193
2) 子ども・若者計画調査	206
1. 人生観・充実度	206
2. 人とのつながり	210
3. 他者との関わり方	212
4. 社会参加	216
5. 将来像	217
6. 普段の活動	221
7. 外出状況	222
8. ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験	224
9. 相談・支援	226
10. 自由意見	228
11. 場ごとの認識	229
6 子ども・若者計画調査（高校生世代以上 39 歳まで）	231

1. あなた自身のことについて	232
2. 日頃の意識と生活について	236
3. 普段の外出状況について	256
4. 生活の状況と相談環境について	259
5. 自由意見	267
6. 場ごとの認識	268

Ⅰ アンケート調査の概要

1 調査の実施概要

(1) 実施方法

実施した調査種別と対象者は次の通りです。

調査	種別	番号	対象者	対象者数 (件)	配布・回収方法	
					配布	回収
教育・ 保育ニ ーズ調 査	子ども・子育て支援事 業計画	①	未就学児童の保護者	408	郵送	郵送、 WEB
		②	小学生児童の保護者	278	郵送	郵送、 WEB
生活状 況調査	子どもの貧困対策計画	③	小学5年生保護者 中学2年生保護者	209	郵送	郵送、 WEB
	子どもの貧困対策計画 子ども・若者計画	④	小学5年生本人	92		
	子どもの貧困対策計画 子ども・若者計画	⑤	中学2年生本人	117		
	子ども・若者計画	⑥	高校生世代以上39歳まで	496	郵送	WEB

(2) 回収方法

調査別の回収状況は次の通りです。

番号	対象者	対象者数 (件)	回収数 (件)			回収率 (%)
			郵送	W e b	計	
①	未就学児童の保護者	408	82	113	195	47.8%
②	小学生児童の保護者	278	64	63	127	45.7%
③	小学5年生保護者 中学2年生保護者	209	55	26	81	38.8%
④	小学5年生本人	92	24	9	33	35.9%
⑤	中学2年生本人	117	30	11	41	35.0%
⑥	高校生世代～39歳本人	496	—	121	121	24.4%

(3) 集計分析上の注意事項

- ・集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・回答が複数になる場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ・表、グラフに示す選択肢はスペースの関係で文言を簡略して表記している場合がある。

2 調査結果の概要

(1) 教育・保育ニーズ調査（未就学児童の保護者）

1) 子どもと家族の状況 【問3】【問5】【問7】【問8】

- ・子ども（きょうだい）の人数は、1～2人の家庭が多くなっています。
- ・回答者の配偶関係から、就学前児童の8.7%がひとり親家庭であると推察されます。
- ・子育てに関わっているのは主に母親と父親が中心となっており、多くの人が日常的、緊急時に祖父母などの親族に子どもを預かってもらえると回答していますが、「いずれもない」という回答も16.9%みられます。
- ・核家族化の進行やひとり親家庭が増加している中、今後、相談相手や日常的、緊急時に頼れる相手がない家庭も増えていくと推察されます。困った時に気軽に相談できる窓口の周知や身近な地域で必要なサービスを受けることができる環境づくりの推進が必要です。

2) 保護者の就労状況 【問9】【問9-2】【問9-3】

- ・母親の7割が就労しており、そのうちフルタイム勤務が多く、次いでパート・アルバイト等による勤務となっています。
- ・現在、パート・アルバイト等で就労している母親の多くは、同じ就労形態で働くことを希望する人が多いですが、フルタイムへの転換希望がある人も約4割となっています。
- ・現在、就労していない母親の8割が今後、就労したいと考えています。
- ・調査結果から、母親が、子どもの年齢に合わせて時間制約の少ないパート就労や就労をしない様子がうかがえます。このため、母親と父親がともに仕事と育児を両立できるような取り組みや、結婚や出産を機に仕事を辞めた母親の職場復帰への支援、安心して子どもを預けられる場所の拡充など、今後働きながら子育てを行う保護者のニーズにいかに対応するかが重要となります。

3) 教育・保育事業の利用意向

① 施設別の利用状況 【問10】【問10-1】

- ・幼稚園や保育所など、平日の定期的な教育・保育事業を利用しているという回答は69.2%となっており、令和元年度調査と比べてその割合は2.1ポイント減少しています。
- ・利用している事業は、「認可保育所」が61.5%、「認定こども園」が20.7%、「認定こども園の預かり保育」が8.9%、「幼稚園」が8.1%、「幼稚園の預かり保育」が3.0%となっており、その他の事業の利用はごくわずかとなっています。認可保育所、認定こども園が、子どもへの教育・保育のメイン事業となっており、保護者の就労関係等に対応しやすいためと考えられます。

② 施設別の利用意向 【問11】

- ・平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用意向は、「認可保育所」「認定こども園」「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園の預かり保育」が上位にあがっており、その多くは芦屋町内での利用を希望しています。現在、町では実施していない「ファミリー・サポート・センター」や「こども誰でも通園制度（仮称）」「自治体の認証・認定保育施設」等のニーズもみられます。

4) 地域子育て支援拠点事業の利用状況 【問12】【問14】

- ・地域子育て支援拠点事業を利用している人は18.5%と令和元年度調査に比べて4.1ポイント増加しています。
- ・病児・病後児保育室や延長保育、一時保育など、多くの事業において、利用経験の割合より、今後の利用意向の割合が高くなっています。さまざまな取り組みが行われているので、子育てを支援する事業として、ニーズに合わせた活用を促進する必要があります。

5) 土曜日、日曜・祝日や長期休暇中の教育・保育事業の利用状況 【問15】【問16】【問16-1】

- ・平日以外の定期的な教育・保育事業の利用意向は、土曜日が53.3%、日曜・祝日が23.1%、幼稚園・認定こども園の長期休暇中が61.4%となっています。
- ・土曜日もしくは日曜・祝日、長期休暇中に、たまに利用したい理由として、保護者の就労のためという回答が多くみられます。
- ・働く女性の増加や就労形態の多様化により、土曜日、日曜・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向は高まることが考えられます。今後、保護者の就労環境や生活実態などを踏まえ、保育需要に対応していく必要があります。

6) 病気の際の対応について 【問17】【問17-1】【問17-2】

- ・子どもが病気やケガで、平日の定期的な教育・保育事業を休まなければならなかった経験があった人は約8割です。その対処方法は、「母親が休んだ」「父親が休んだ」「親族・知人に子どもを看てもらった」という状況が多くなっています。子どもがケガや病気になった際、母親が休んで対応していることが多くなっていますが、ひとり親家庭や身近に親族・知人がいない家庭などでは、子どもの看護休暇を取ることによる収入減や、看護休暇を取りにくい職場の雰囲気など、さまざまな困難が生じると考えられます。周囲の援助が得られない子育て環境にいる家庭に対する支援策を検討する必要があります。
- ・父親または母親が休んで対処した際、「病児・病後児保育室を利用したかった」という回答は35.6%となっていますが、実際に利用したという人は少なくなっています。病児保育を必要とする人にとって利用しやすい環境を整備する必要があります。

7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

【問18】【問18-1】【問19】【問20】

- ・不定期な教育・保育事業を利用している人は少なく、利用していない理由には「利用料がかかる・高い」「自分が事業の対象者になるのかわからない」「利用方法（手続きなど）がわからない」という回答がみられます。
- ・今後、不定期な一時預かり等の利用意向がある人の割合は42.6%と現在の利用状況と比べて高くなっており、利用を促す取り組みが必要になります。
- ・短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向がある人の割合は9.7%となっています。その目的としては、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」という回答が多くみられます。緊急時に親族や知人に子どもをみてもらうことに困難を感じている人もいるため、宿泊を伴う預かり事業の周知や利用促進に向けた支援が必要となります。

8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について 【問 21】【問 22】【問 23】

- ・「学童クラブ」を利用したい人は低学年で 53.5%となっており、令和元年度調査と比べて 21.2 ポイント増加しています。小学校低学年の時は「学童クラブ」が最も高く、高学年になると「自宅」や「習い事・スポーツ」が「学童クラブ」の割合を上回るようになります。
- ・学童クラブの利用意向がある人のうち、休日の利用意向は土曜日で 50.0%、長期休暇中で 89.2%となっています。
- ・放課後や土日の昼間に保護者がいない子どもが安全な環境で過ごせることは、保護者の安心した就労にもつながります。家庭・学校・地域が連携し、放課後、週末等において学校や学童クラブ、公民館等の施設や地域の自然環境、人的資源を活用して、子どもたちが自主的に参加し、安全に過ごすことのできる居場所づくりが今後必要となります。

9) 育児と仕事の両立について 【問 24】【問 24-2】

- ・子どもが生まれた時の育児休業制度の取得率は、母親では 41.5%、父親では 14.9%と差がみられます。育児休業制度を取得しなかった理由について、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」という回答が多く、仕事と子育てが両立しやすい環境が十分でない事業所があることがうかがえます。また、父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（取ることへの理解がなかった）」「収入減となり、経済的に苦しくなる」という回答が多く、育児休業の取得は社会的・経済的な理由からハードルが高いことがうかがえます。
- ・子どもの月齢が1歳になる前に職場復帰を希望していた母親の割合は 7.3%となっていますが、実際に子どもが1歳になる前に職場復帰した割合は 34.4%となっており、希望の時期よりも早く復帰している人が多くなっています。
- ・父親の取得率は、母親に比べて低くなっていますが、令和元年度調査に比べて 11.4 ポイント増加しています。母親は、5.9 ポイント高くなっています。
- ・母親や父親が育児休業や看護休暇を取りやすい環境及び意識の醸成を図るとともに、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりについて企業等への普及・啓発を進める必要があります。

10) 子育て全般について 【問 25】【問 26】【問 27】【問 28】【問 31】【問 32】

- ・子育てを楽しんでいる保護者は 70.8%となっており、令和元年度調査と比べて 7.4 ポイント増加しています。一方で、子育てに関する悩みは、子どもの育児やしつけに関する悩みの他にも、保護者自身の育児疲れや経済的負担に関する事など、複数の悩みが複雑に絡み合っている状況がうかがえます。育児不安の軽減・解消や児童虐待の防止、子どもの発達年齢に応じたきめ細かな支援など、子どもとその保護者が安心して生活できる環境づくりが必要です。
- ・子育てに関する悩みや不安について、「母子相談員・家庭児童相談室」や「教育相談員」「スクールソーシャルワーカー・不登校相談員」などの専門機関や地域の身近な相談窓口となる「民生委員・児童委員・主任児童委員」への相談は非常に少なくなっています。子育てに関する相談体制の充実を図るほか、子育てに関する支援や相談窓口の広報活動を充実していくことが必要です。
- ・子育てに関する情報の入手先は「親族」や「隣近所の人、友人」などが上位にあり、身近な人同士が情報共有していることがうかがえます。また「町役場や町の機関」「町の広報紙やパ

ンフレット」を利用している人に比べ、「ソーシャルネットワーク（SNS）」や「インターネット（町のホームページ含む）」から情報を得ている人が多くなっています。

- 子育てをしている保護者の約9割が“芦屋町は安心して子どもを産み育てられる町”と回答しています。令和元年度調査と比べて 3.7 ポイント増加しており、町の取り組みは、一定の成果が得られていると考えられます。
- 子育てに関して町に期待することは「子どもの就学にかかる費用(給食費、学用品費等)の軽減」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」「幼稚園や保育所にかかる費用負担の軽減」という回答が上位にあがっており、今後の子育て支援策として、子育て家庭の経済的負担の軽減や、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所づくり、遊び場所の確保が求められています。

(2) 教育・保育ニーズ調査（小学生児童の保護者）

1) 子どもと家族の状況 【問3】【問5】【問7】【問8】

- ・子ども（きょうだい）の人数は、2人の家庭が多くなっています。
- ・回答者の配偶関係から、小学生児童の17.3%がひとり親家庭であると推察されます。
- ・子育ては主に母親と父親が行っており、多くの人が日常的、緊急時に祖父母などの親族に子どもを預かってもらえると回答していますが、「いずれもない」という回答も14.2%みられます。
- ・未就学児童の保護者に比べてひとり親家庭が多く、経済的な問題や子育ての問題など、子どもの健やかな成長への影響が懸念されます。困った時に気軽に相談できる相談窓口の周知や身近な地域で必要なサービスが受けられる環境整備を進めていく必要があります。

2) 保護者の就労状況 【問9】【問9-2】【問9-3】

- ・母親の8割以上が就労しており、そのうちフルタイム勤務が多く、次いでパート・アルバイト等による勤務となっています。現在、パート・アルバイト等で就労している母親の多くは、同じ就労形態で働くことを希望する人が多いですが、フルタイムへの転換希望がある人も約4割となっています。現在、就労していない母親のおよそ7割が今後、就労したいと考えています。
- ・調査結果では、子育てをしながら働いている、または今後働きたいという母親が多い一方で、父親の就労時間は長く、家庭で過ごす時間が短くなっています。
- ・母親と父親がともに仕事と育児を両立できるよう、安心して子どもを預けられる場所の拡充や、ファミリー・サポート・センターの整備など、多様な家族支援サービスを充実させる必要があります。

3) 小学校就学後の放課後の過ごし方について 【問10】【問11】

- ・放課後の時間に過ごしている場所は「自宅」が多くなっています。また、「学童クラブ」を利用している人は39.4%となっており、令和元年度調査と比べて9ポイント増加しています。
- ・学童クラブの利用意向は、平日で40.9%、土曜日で13.4%、長期休暇中で45.7%となっています。
- ・放課後の過ごし方として、学童クラブを利用している児童が増加している背景として、保護者の就労事情のほか、子どもだけで放課後の時間を過ごさせることへの不安感が増していることなどが推察されます。

4) 病気の際の対応について 【問12】【問12-1】【問12-2】

- ・子どもが病気やケガで、平日の定期的な教育・保育事業を休まなければならなかった経験があった人はおよそ9割です。その対処方法は、「母親が休んだ」が78.1%と顕著に高く、「親族・知人に子どもを看てもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」という回答が2割前後となっています。また、「父親が休んだ」は16.7%と母親に比べて61.4ポイント低くなっています。
- ・父親または母親が休んで対処した際、「病児・病後児保育室を利用したかった」という回答は10.8%となっています。
- ・子どもの看護休暇制度や病児・病後児保育を普及するとともに、利用しやすい環境の整備を一層進めることが必要です。

5) 一時預かりなどの利用について 【問 13】【問 14】【問 15】

- ・ 不定期な教育・保育事業を利用している人は少なく、今後の利用意向は「利用したい」と14.2%の回答がありました。
- ・ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向がある人の割合は4.7%となっています。その目的としては、「保護者や家族の病気」「保護者や家族の育児疲れ・不安」という回答が多くみられます。

6) 子育て全般について 【問 16】【問 17】【問 18】【問 19】【問 22】【問 23】

- ・ 子育てを楽しんでいる保護者は59.8%となっています。子育てに関する悩みは、子どもの育児やしつけに関する悩みの他にも、保護者自身の育児疲れや経済的負担に関する事など、複数の悩みが複雑に絡み合っている状況がうかがえます。
- ・ 育児不安の軽減・解消や児童虐待の防止、子どもの発達年齢に応じたきめ細かな支援など、子どもとその保護者が安心して生活できる環境づくりが必要です。
- ・ 子育てに関する悩みや不安について、「母子相談員・家庭児童相談室」や「教育相談員」「スクールソーシャルワーカー・不登校相談員」などの専門機関や地域の身近な相談窓口となる「民生委員・児童委員・主任児童委員」への相談は非常に少なくなっています。どこに相談したらよいか分からない困りごとや複数の困りごとを相談できる総合相談窓口の設置や子育て家庭に寄り添った伴走型相談支援の充実などが求められます。
- ・ 子育てに関する情報の入手先は「隣近所の人、友人」や「配偶者・パートナー」「親族」などが上位にあり、身近な人同士が情報共有していることがうかがえます。また「町の広報紙やパンフレット」「インターネット（町のホームページ含む）」から情報を得ている人も約3割います。
- ・ 子育てをしている保護者の約9割が“芦屋町は安心して子どもを産み育てられる町”と回答しています。令和元年度調査と比べて11ポイント増加しており、町の取り組みは、一定の成果が得られていると考えられます。また、子育てに関して町に期待することは「子どもの就学にかかる費用(給食費、学用品費等)の軽減」「無料で利用できる塾などの子どもの学習支援の場」という回答が上位にあがっており、教育・就学に係る費用の負担軽減を望む声が多くなっています。子育てにかかる経済的負担が増えると、多子多産へのためらいを増長させ、結果として町全体の人口減少につながる可能性があります。今後の子育て支援策として、教育費の負担軽減や学習支援の充実が求められています。

(3) 子どもの貧困対策計画調査（小学生・中学生保護者）

※「標準世帯」、「相対的貧困世帯」の定義は、16頁（資料）参考

1) 現在の暮らし向き 【問19】

- ・「大変苦しい」と回答した保護者の割合は、標準世帯の5.9%に対して、相対的貧困世帯が25.0%となっています。これに「苦しい」の回答を加えると、標準世帯が28.0%に対して相対的貧困世帯が91.7%となり、相対的貧困世帯の経済状況が苦しいことが分かります。本町において生活困難層への支援を充実させる必要があります。

2) 経済的な理由による生活状況 【問22】【問23】【問24】

① 食料の購入

- ・家族が必要とする食料が買えなかったことが「よくあった」と「ときどきあった」の計の割合は、標準世帯の7.4%に対して、相対的貧困世帯は33.3%となっています。

② 衣服の購入

- ・家族が必要とする衣服が買えなかったことが「よくあった」と「ときどきあった」の計の割合は、標準世帯の7.4%に対して、相対的貧困世帯は75.0%となっています。

③ 公共料金の未払い

- ・公共料金の未払いがあった割合は、電気料金（標準世帯：5.9%、相対的貧困世帯：25.0%）、ガス料金（標準世帯：5.9%、相対的貧困世帯：33.3%）、水道料金（標準世帯：4.4%、相対的貧困世帯：33.3%）となっています。

①、②、③のいずれにおいても相対的貧困世帯の方が「買えなかった」もしくは「未払い」の経験をした割合が高く、家計が逼迫していることがうかがえます。

3) 子どもの進学先と選択の理由 【問16】

- ・標準世帯では、「大学」が33.8%と最も高く、次いで「まだわからない」が20.6%であり、相対的貧困世帯では、「高校」が58.3%と最も高く、次いで「大学」が16.7%となっています。また「大学院」は、標準世帯では5.9%でしたが、相対的貧困世帯では回答がありませんでした。このことから家庭の経済状況によって進学率に差が生じていることが分かります。しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、高等専門学校等に進学できるチャンスを確保できるよう、高等教育の修学支援新制度等の一層の普及・促進を図る必要があります。

4) 子育てについての心配や悩みごと 【問29】

- ・全体では、「将来的な教育費」が74.1%（標準世帯：75.0%、相対的貧困世帯：75.0%）と最も高くなっています。次いで、「生活費などの経済的な負担」が49.4%（標準世帯：44.1%、相対的貧困世帯：83.3%）となっています。子育てにおける経済的な負担感を持つ保護者が多くなっており、ライフステージを通じた子育てに関わる経済的支援の強化が求められます。

5) 現在または将来的にあったらよいと思う支援 【問 31】

- 全体では、相談支援について最も高いのは「子どもや生活のことなどの悩みを相談できること」が 29.6%、経済的支援では「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 82.7%、その他の支援では「無料で利用できる塾などの子どもの学習支援の場が地域にできること」が 67.9%と最も高くなっています。標準世帯および相対的貧困世帯も同様の傾向です。

(4) 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（小学生本人）

子ども貧困対策推進計画

1) 授業以外の勉強の状況 【問2】

- ・「自分で勉強する」が全体では 93.9%（標準世帯：96.2%、相対的貧困世帯：80.0%）と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が 63.6%（標準世帯：65.4%、相対的貧困世帯：60.0%）となっています。また「塾で勉強する」という回答が標準世帯の児童で 7.7% ありましたが、相対的貧困世帯の児童では回答がありませんでした。塾に通えない子ども等が利用できる無料の学習スペースなど、子どもが学習に取り組める環境づくりが必要です。

2) 進学先の希望と理由 【問7】【問7-1】

- ・標準世帯の児童では「まだわからない」が 46.2%と最も高く、次いで「大学」までが 26.9%となっています。相対的貧困世帯の児童では「高校」までが 40.0%と最も高く、次いで「専門学校」「まだわからない」（20.0%）となっています。
- ・理由は、「希望する学校や職業があるから」が標準世帯の児童で 42.9%、相対的貧困世帯の児童で 66.7%と最も高くなっています。次いで、「親がそう言っているから」が標準世帯の児童で 28.6%、相対的貧困世帯の児童で 33.3%となっています。
- ・経済的理由で子どもたちが夢をあきらめることなく、選択肢を増やす・積極的にチャレンジできるように後押しすることが重要です。

3) 家族の大人の代わりに行っていること 【問15】

- ・何らかの家事を行っていると回答した割合は、全体で 21.2%、標準世帯の児童で 19.2%、相対的貧困世帯の児童で 20.0%となっています。行っている家事の内容は「障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」と回答した割合が最も高く、標準世帯の児童で 11.5%、相対的貧困世帯の児童で 20.0%となっています。本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーに対して、まわりの大人が早く気づき対応することで、子どもが自身の持つ能力を最大限発揮できるようにしていくことが求められます。

4) 生活の満足度（「0：全く満足していない」～「10：十分に満足している」で評価） 【問16】

- ・標準世帯の児童では「10」と回答した割合が 42.3%と最も高く、次いで「8」（15.4%）、「5」「9」（11.5%）と続いています。一方で、相対的貧困世帯の児童では「5」が 40.0%と最も高く、次いで「7」「8」「10」（20.0%）と続いています。標準世帯に比べ、相対的貧困世帯の方が、生活満足度は低い傾向がみられます。

子ども・若者計画

1) 自己肯定感と幸福感 【問 20】【問 21】

- ・『今の自分が好きだ』に「どちらかといえばあてはまる」が45.5%、「あてはまる」が30.3%となっています。一方で「どちらかといえばあてはまらない」が18.2%、「あてはまらない」が6.1%となっています。
- ・『幸せだ』と「そう思う」が48.5%、「どちらかといえば、そう思う」が42.4%となっています。一方で「どちらかといえば、そう思わない」が6.1%、「そう思わない」が3.0%と「幸福感」が低い児童がおよそ1割みられます。

2) 孤独感 【問 24】

- ・『ひとりぼっちである』と覚ることが「たまにある」が21.2%、「時々ある」が6.1%、「しばしばある・いつもある」が3.0%となっています。孤立した状況にある子どもたちは、自分自身への信頼感、他者や社会への信頼感を失い、主体性や将来を考える気力すらなくなってしまふ可能性があります。どんな環境に生まれ育っても安心できる居場所や信頼できる人との関係性を築くことができる地域の仕組みづくりが必要です。

3) 自分の将来の姿 【問 31】

- ・自分の将来に明るい「希望がある」が45.5%、「どちらかといえば希望がある」が42.4%、「どちらかといえば希望がない」が12.1%（標準世帯：7.7%、相対的貧困世帯：40.0%）、「希望がない」が0.0%となっています。特に相対的貧困世帯の子どもたちは、夢や希望をかなえる前に、希望を持つことすら難しいと感じている割合が高くなっています。

4) 外出の状況とその理由 【問 34】

- ・「自分の部屋からほとんど出ない」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」児童がそれぞれ3.0%みられます。これらを合わせると『家にいる』児童は6.0%となります。子どものひきこもりは不登校と関連があると考えられます。一人ひとりに合った対応をすることが重要になります。

(5) 子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画調査（中学生本人）

子ども貧困対策推進計画

1) 授業以外の勉強の状況 【問2】

- 全体では「自分で勉強する」が70.7%と最も高くなっていますが、標準世帯の生徒では「自分で勉強する」(67.6%)に次いで「塾で勉強する」が29.4%となっています。相対的貧困世帯の生徒では「自分で勉強する」(80.0%)に次いで「友達と勉強する」が60.0%となっています。また「塾で勉強する」は20.0%と標準世帯の生徒より9.4ポイント低くなっています。家庭の経済格差を放課後の教育格差につなげないために、ひとり親家庭や相対的貧困世帯の子どもに対する伴走的な学習支援を拡充させることが必要です。

2) 進学先の希望と理由 【問7】【問7-1】

- 標準世帯の生徒では「大学」までが41.2%と最も高く、次いで「まだわからない」(29.4%)となっています。相対的貧困世帯の生徒では「まだわからない」が40.0%と最も高く、次いで「高校」「専門学校」「大学」までが20.0%となっています。
- 理由は、「希望する学校や職業があるから」が標準世帯の児童で58.3%、相対的貧困世帯の児童で100%と最も高くなっています。次いで、「自分の成績から考えて」が標準世帯の児童で25.0%、相対的貧困世帯の児童で33.3%となっています。
- ひとり親家庭や相対的貧困世帯の子どもに対する伴走的な学習支援を拡充するとともに、就学支援制度等の支援をすることで進学に向けたチャレンジを後押しすることが重要です。

3) 家族の大人の代わりにやっていること 【問16】

- 何らかの家事を行っている割合は、標準世帯の生徒で5.8%、相対的貧困世帯の生徒ではみられません。行っている家事の内容は「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」「障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている」が2.9%となっています。子育てに困難を抱える家庭やこどものSOSをできる限り早期に把握し、必要な支援を届けるための体制整備を推進する必要があります。

4) 生活の満足度（「0：全く満足していない」～「10：十分に満足している」で評価） 【問17】

- 標準世帯の児童では「8」と回答した割合が32.4%と最も高く、次いで「10」(17.6%)、「9」(14.7%)と続いています。一方で、相対的貧困世帯の児童では「10」が40.0%と最も高く、次いで「4」「5」「8」(20.0%)と続いています。

子ども・若者計画

1) 自己肯定感と幸福感 【問 21】【問 22】

- ・『今の自分が好きだ』に「どちらかといえばあてはまる」が51.2%、「あてはまる」が26.8%となっています。一方で「どちらかといえばあてはまらない」が14.6%、「あてはまらない」が7.3%となっています。
- ・『幸せだ』と「そう思う」が61.0%、「どちらかといえば、そう思う」が26.8%となっています。一方で「どちらかといえば、そう思わない」が9.8%、「そう思わない」が2.4%と「幸福感」が低い生徒が約1割みられます。

2) 孤独感 【問 25】

- ・『孤独である』と感じることが「たまにある」が9.8%、「時々ある」が17.1%、「しばしばある・いつもある」が2.4%となっています。近年、核家族化や地域のつながりの希薄化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、人と接触する機会が減少したことで、こどもの孤独・孤立の問題が一層増加していることが考えられます。孤独・孤立を防ぐためには、参加しやすい居場所づくりが必要です。

3) 自分の将来の姿 【問 32】

- ・自分の将来に明るい「希望がある」が29.3%、「どちらかといえば希望がある」が43.9%、「どちらかといえば希望がない」が17.1%、「希望がない」が9.8%（標準世帯：2.9%、相対的貧困世帯：40.0%）となっています。特に相対的貧困世帯の子どもたちは、夢や希望をかなえる前に、希望を持つことすら難しいと感じている割合が高くなっています。子どもたちが、生まれ育った家庭環境に関わらず、未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすことのできる機会と環境づくりが必要です。

4) 外出の状況とその理由 【問 35】

- ・「ふだんは家にいるが、自分のしゅみなどの用事の時だけ外に出かける」生徒は7.3%、「自分の部屋からほとんど出ない」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」生徒はそれぞれ2.4%みられます。これらを合わせると『家にいる』生徒は12.1%となります。子どものひきこもりは不登校と関連があると考えられます。不登校の生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、不登校のきっかけや継続理由に応じて、適切な支援や働きかけを行う必要があります。

(6) 子ども・若者計画調査（高校生世代以上 39 歳まで）

1) 年齢 【問 2】

・「35 歳～39 歳」が 29.8%と最も高く、次いで、「15 歳～19 歳」(20.7%)、「25 歳～29 歳」「30 歳～34 歳」(17.4%)、「20 歳～24 歳」(14.9%) の順になっています。

2) 配偶者 【問 3】

・「未婚」が 56.2%、「配偶者あり」が 41.3%となっています。未婚化・晩婚化は多くの地域で進んでおり、本町の結婚観・家族観に適した対策が求められます。

3) 就業状況 【問 8】【問 9】

・全体の 76.0%が就労していて、「正規の社員・職員・従業員」が 50.4%と最も高くなっています。次いで、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が 23.1%、「パート・アルバイト」が 11.6%となっています。

4) 幸福感 【問 11】

・『幸せだ』と「そう思う」が 47.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が 42.1%となっており、合わせて、89.2%が幸せだと感じています。一方で「どちらかといえば、そう思わない」が 8.3%、「そう思わない」が 2.5%となっています。

5) 居場所 【問 12】

・家庭（実家や親族の家を含む）が居場所と感じている人は、「そう思う」が 63.6%、「どちらかといえば、そう思う」が 26.4%となっており、9割の人が居場所であると感じています。

6) 孤独感 【問 14】

・孤独と覚えることが「たまにある」が 25.6%、「時々ある」が 12.4%、「しばしばある・常にある」が 2.5%となっており、約 4割の人が孤独と覚えることがあると回答しています。孤独・孤立を予防する地域づくりに向け、関係機関等との連携を促進する必要があります。

7) 将来の希望 【問 22】

・自分の将来に明るい「希望がある」が 28.1%、「どちらかといえば希望がある」が 43.0%となっています。一方で「希望がない」が 9.1%、「どちらかといえば希望がない」が 19.8%となっています。若者ら将来世代が希望を持てる、暮らしやすい地域づくりが必要です。

8) 外出状況 【問 25】【問 26】【問 28】

・「自室からほとんど出ない」「自室からは出るが、家からは出ない」の回答はありませんでした。「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」が 5.0%、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 2.5%みられます。これらを合わせると『家にいる』人は 7.5%となります。

・『家にいる』人が、現在の状況になった経過年数は、「3か月未満」「6か月～1年未満」「3年～5年未満」「5年～7年未満」が 22.2%、「3か月～6か月未満」が 11.1%となっています。

・『家にいる』ようになった主な理由は、「妊娠した」「特に理由はない」が 33.3%、「就職活動がうまくいかなかった」「退職した」「その他」が 16.7%となっています。

(資料) 子どもの貧困対策推進計画における「相対的貧困世帯」について

- 国においては、国民生活基礎調査を基に、世帯人数ごとの等価可処分所得（手取り収入を世帯人員の平方根で割ったもの。）の分布の中央値の半分の値を「貧困線」とし、貧困率を算出しています。
- 本調査においては、国が算出した貧困線を基に、保護者票の世帯収入についての質問の回答を、「世帯人数ごとの相対的貧困層となる区分」にあてはめ、本市における「相対的貧困世帯」と定義し、それ以外の世帯については「標準世帯」と表記しています。（表1参照）
- 保護者の集計・分析における「相対的貧困世帯」は、表1の81件を分析の対象としています。
- 小学生本人・中学生本人の集計分析においては、保護者と児童生徒本人の調査票を関連付けて集計を行っています。
- 関連付けた結果は、表2の通りです。小学生本人（5件）、中学生本人（5件）を「相対的貧困世帯の児童・生徒として分析の対象としています。

■表1 有効回収数のうち保護者の回答から得られた「相対的貧困世帯」の世帯数とその割合

種別	国の貧困線の基準 ※	相対的貧困層となる区分	件数	全体数	割合
2人世帯	179万円	200万円	3件	5件	60.0%
3人世帯	219万円	250万円	3件	16件	18.8%
4人世帯	254万円	300万円	4件	28件	14.3%
5人世帯	283万円	300万円	0件	24件	0.0%
6人世帯	311万円	350万円	1件	4件	25.0%
7人世帯	336万円	350万円	0件	2件	0.0%
8人世帯	359万円	400万円	1件	2件	50.0%
9人世帯以上	381万円	400万円	0件	0件	0.0%
合計	-	-	12件	81件	14.8%

※国の貧困線の基準は「2022年（令和4年）国民生活基礎調査」のデータに基づく。

■表2 保護者と児童・生徒本人の調査票が関連付けられた回答から得られた「相対的貧困世帯」の世帯数とその割合

	全体の回収数	保護者票と関連付けられた件数			割合 (A/B)
		相対的貧困世帯 (A)	標準世帯	計(B)	
小学生	33件	5件	26件	31件	16.1%
中学生	41件	5件	34件	39件	12.8%

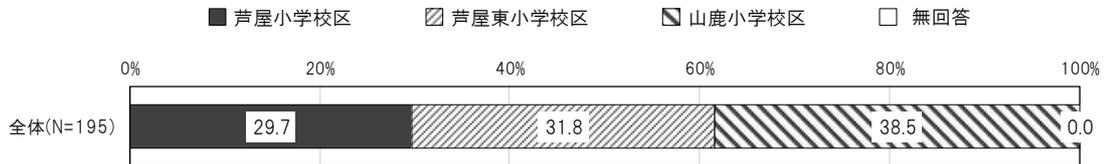
II 調查別結果

1 教育・保育ニーズ調査 (未就学児童の保護者)

1. お子さんご家族について

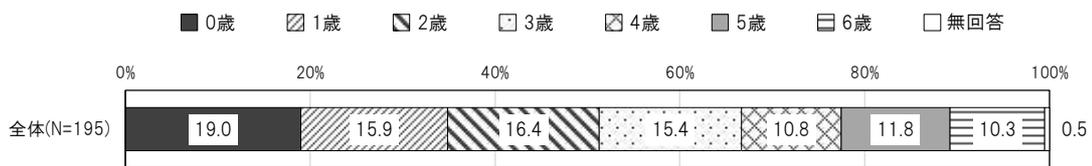
問1 あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。(1つに〇)

全体では、「山鹿小学校区」が38.5%と最も高く、次いで、「芦屋東小学校区」(31.8%)、「芦屋小学校区」(29.7%)の順になっています。



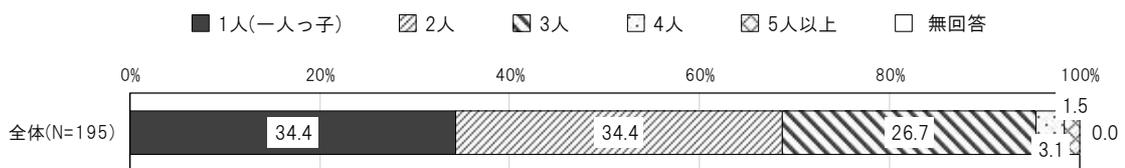
問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。→生年月日から下図年齢算出

全体では、「0歳」が19.0%と最も高く、次いで、「2歳」(16.4%)、「1歳」が15.9%の順になっています。



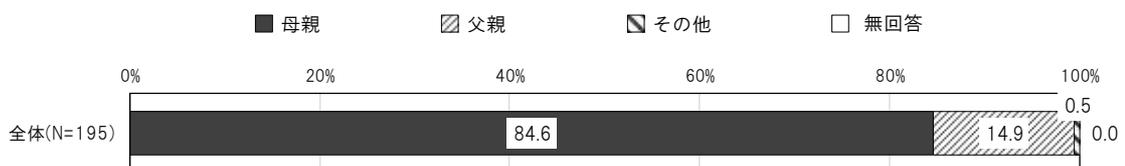
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。

全体では、「1人(一人っ子)」「2人」が34.4%と最も高く、次いで、「3人」(26.7%)の順になっています。



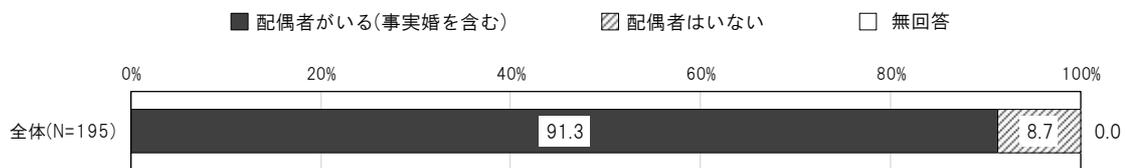
問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。(1つに〇)

全体では、「母親」が84.6%と最も高く、次いで、「父親」(14.9%)、「その他」(0.5%)の順になっています。



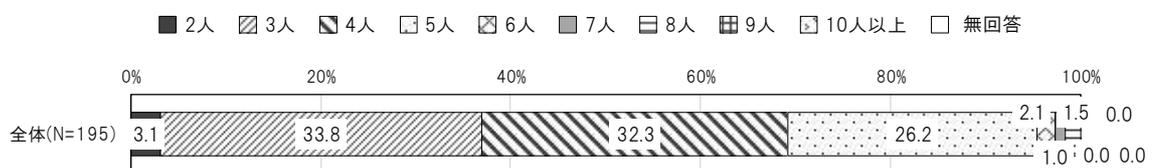
問5 あなたの配偶関係についてお答えください。(1つに〇)

全体では、「配偶者がいる(事実婚を含む)」が91.3%と最も高く、次いで、「配偶者はいない」(8.7%)の順になっています。



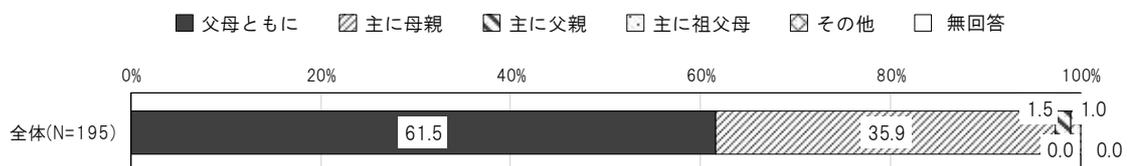
問6 あなたとあて名のお子さんを含め、世帯員の人数は何人ですか。(1つに〇)

全体では、「3人」が33.8%と最も高く、次いで、「4人」(32.3%)、「5人」(26.2%)の順になっています。



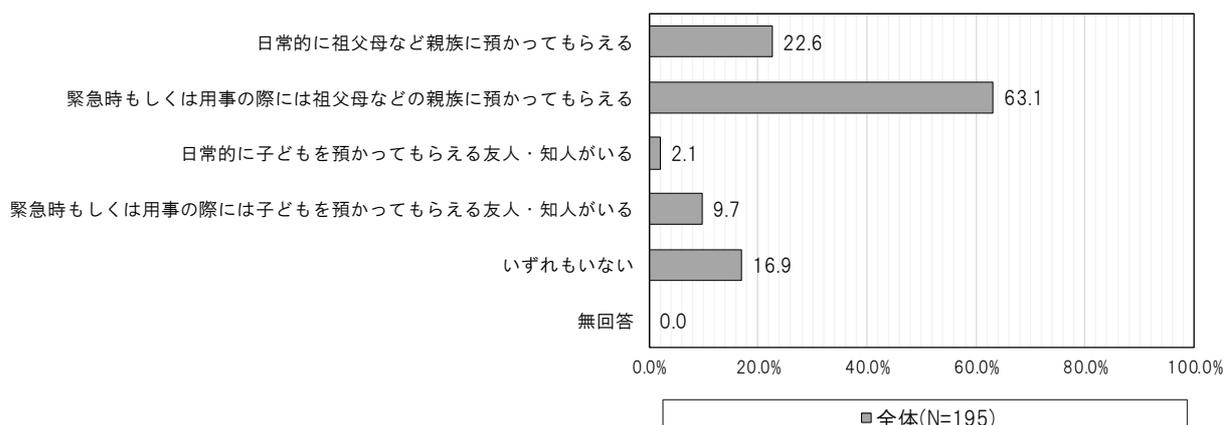
問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)

全体では、「父母ともに」が61.5%と最も高く、次いで、「主に母親」(35.9%)、「主に父親」(1.5%)の順になっています。



問8 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに〇)

全体では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が63.1%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母など親族に預かってもらえる」(22.6%)、「いずれもない」(16.9%)の順になっています。



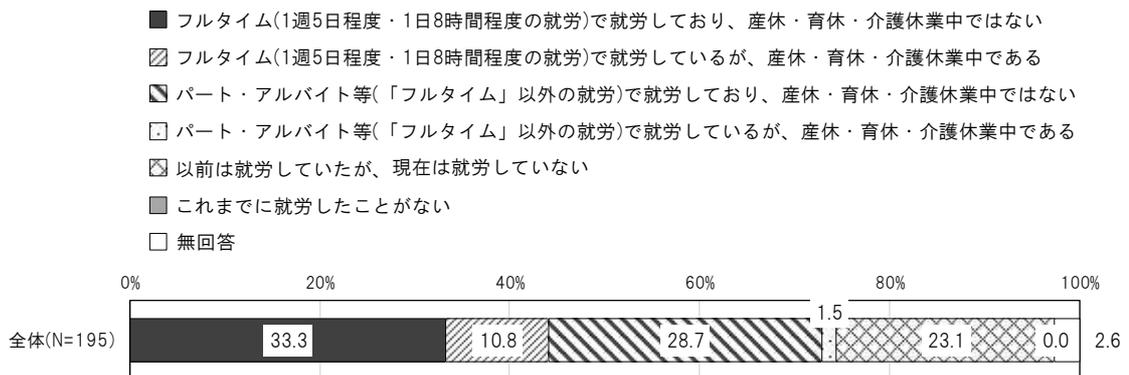
2. 保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(母親、父親それぞれ該当する項目1つに○、選択肢によっては日数や時間等もお答えください。)

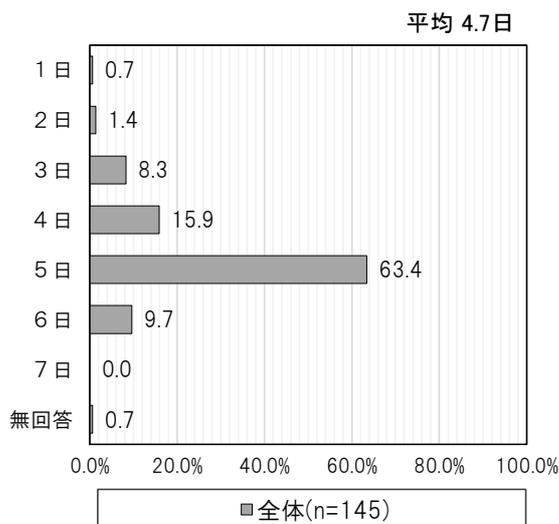
問9① 母親

全体では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.3%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(28.7%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(23.1%)の順になっています。

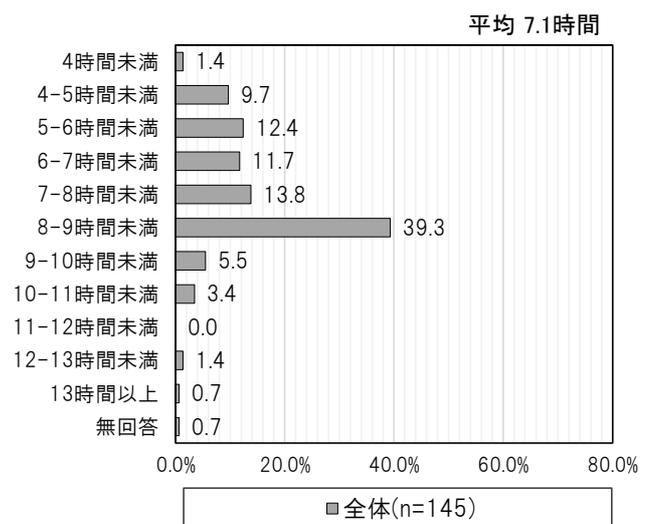
1週当たりの就労日数は、「5日」が63.4%と最も高く、次いで、「4日」(15.9%)、「6日」(9.7%)の順になっています。1日当たりの就労時間は、「8-9時間未満」が39.3%と最も高く、次いで、「7-8時間未満」(13.8%)、「5-6時間未満」(12.4%)の順になっています。



■ 就労日数(1週当たり)



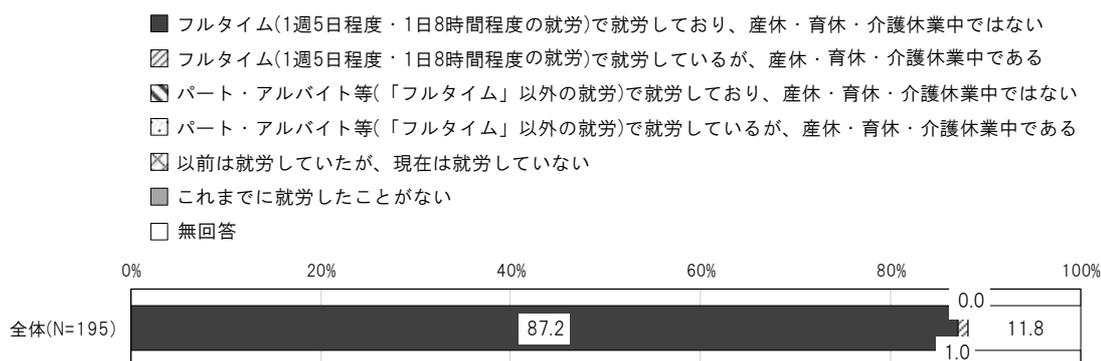
■ 就労時間(1日当たり)



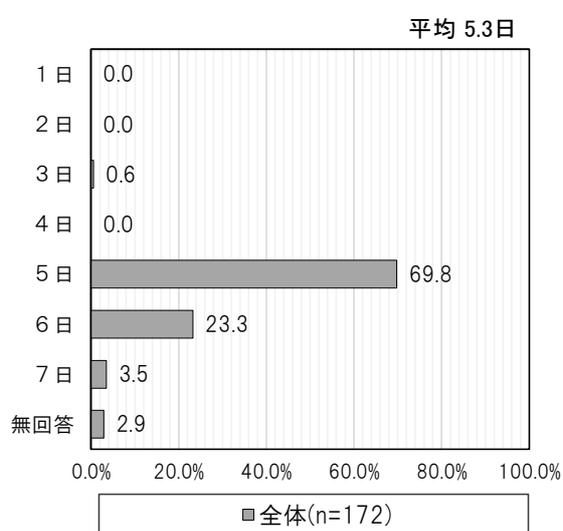
問 9② 父親

全体では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が87.2%と最も高く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(1.0%)の順になっています。

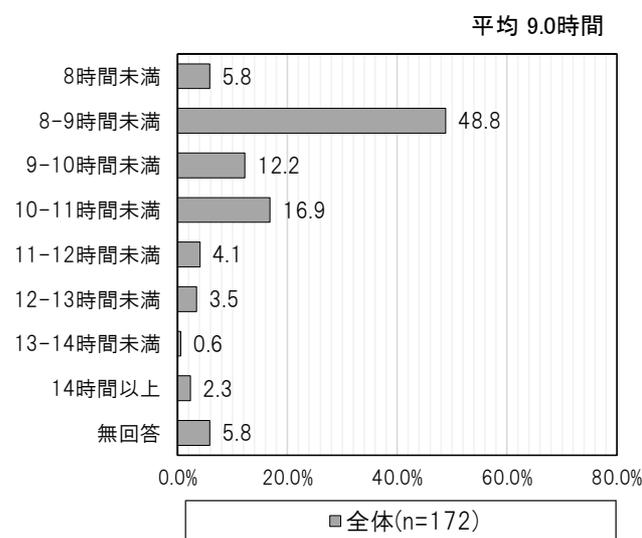
1週当たりの就労日数は、「5日」が69.8%と最も高く、次いで、「6日」(23.3%)、「7日」(3.5%)の順になっています。1日当たりの就労時間は、「8-9時間未満」が48.8%と最も高く、次いで、「10-11時間未満」(16.9%)、「9-10時間未満」(12.2%)の順になっています。



■ 就労日数(1週当たり)



■ 就労時間(1日当たり)

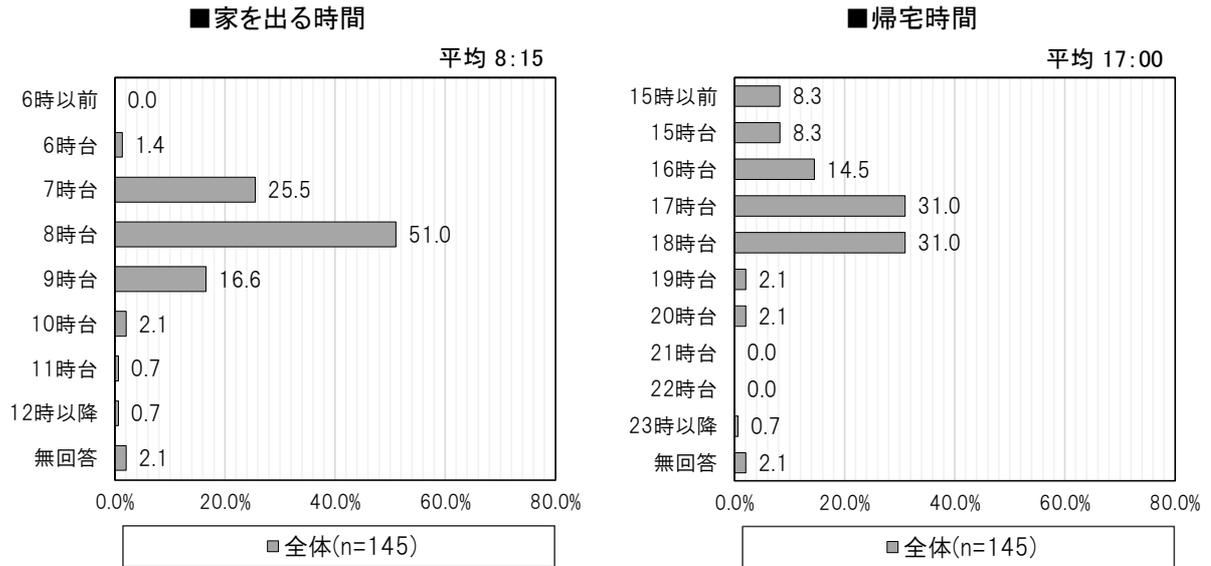


問9で「1」～「4」に○をつけた方(パート・アルバイト等で就労している方)にうかがいます。

問9-1 就労のために家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(①母親、②父親それぞれ1つに○)

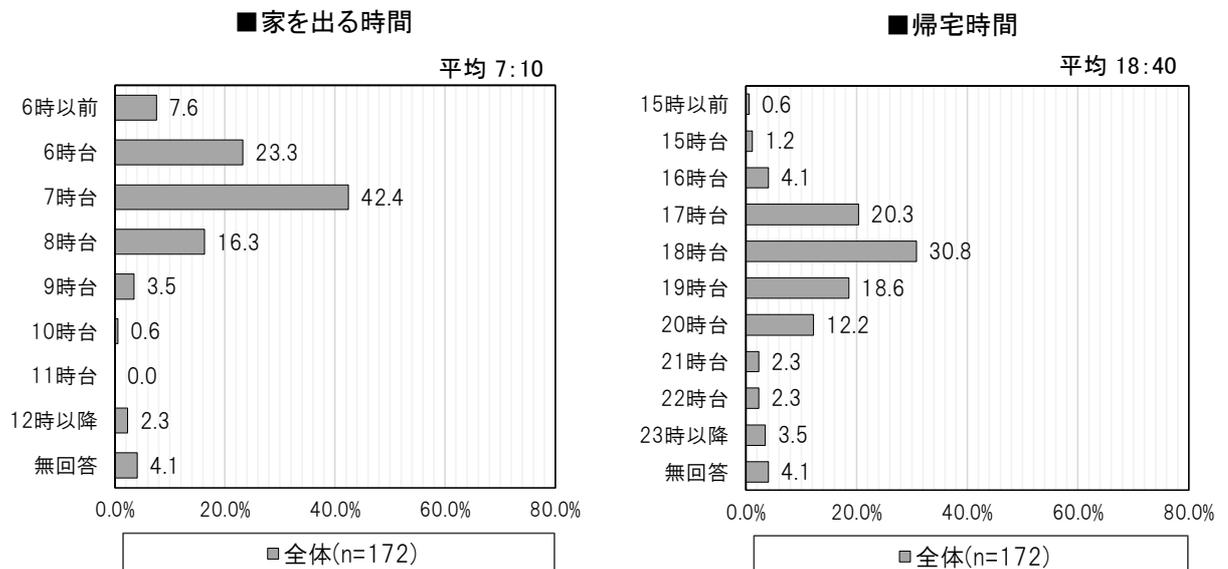
問9-1① 母親

家を出る時間は「8時台」が51.0%と最も高く、次いで、「7時台」(25.5%)、「9時台」(16.6%)の順になっています。帰宅時間は「17時台」「18時台」が31.0%と最も高く、次いで、「16時台」(14.5%)、「15時以前」「15時台」(8.3%)の順になっています。



問9-1② 父親

家を出る時間は「7時台」が42.4%と最も高く、次いで、「6時台」(23.3%)、「8時台」(16.3%)の順になっています。帰宅時間は「18時台」が30.8%と最も高く、次いで、「17時台」(20.3%)、「19時台」(18.6%)の順になっています。

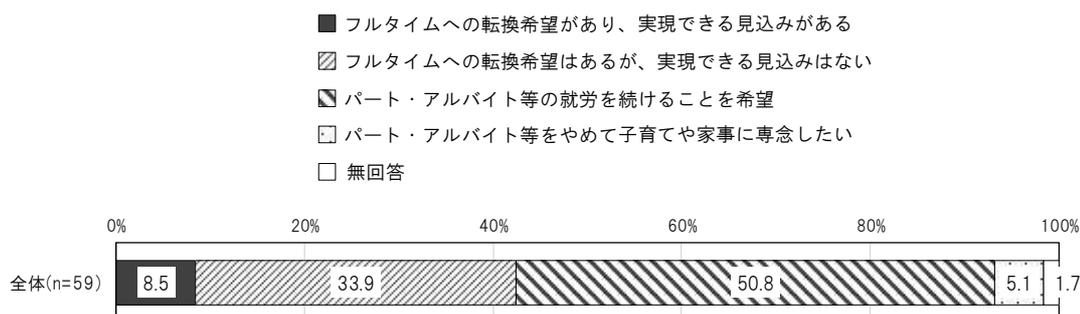


問9で「3」または「4」に○をつけた方（パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。

問9-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ1つに○)

問9-2① 母親

全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.8%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(33.9%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(8.5%)の順になっています。



問9-2② 父親

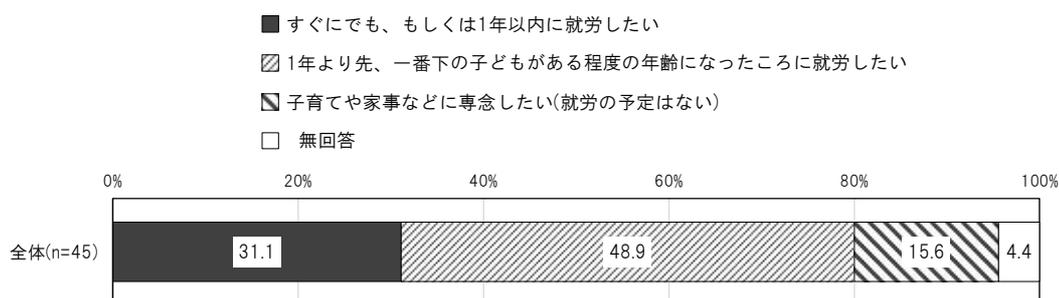
今回調査では、該当者はいませんでした。

問9で「5」または「6」に○をつけた方(就労していない方)にうかがいます。

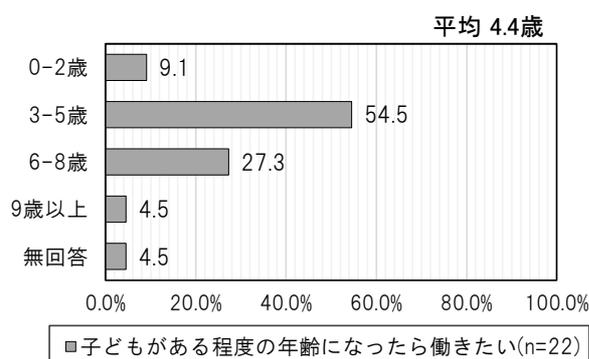
問9-3 今後、就労したいという希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ1つに○) ▶
 「2. 1年より先、一番下の子どもが～」を選択した場合、対象のお子さんの具体的な年齢を()内に数字でご記入ください。

問9-3① 母親

全体では、「1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい」が48.9%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(31.1%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(15.6%)の順になっています。また、就労を希望する時の子どもの年齢は、平均4.4歳となっています。



■子どもが何歳になった頃に就労を希望するか



問9-3② 父親

今回調査では、該当者はいませんでした。

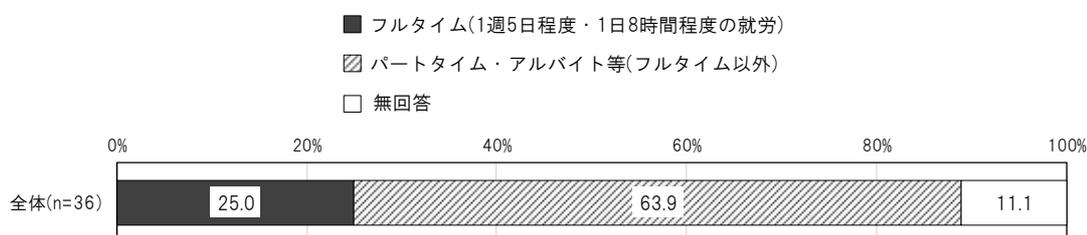
問 9-3 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-4 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親それぞれ1つに○) ▶
「2. パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)」を選択した場合、1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間を()内に数字でご記入ください。

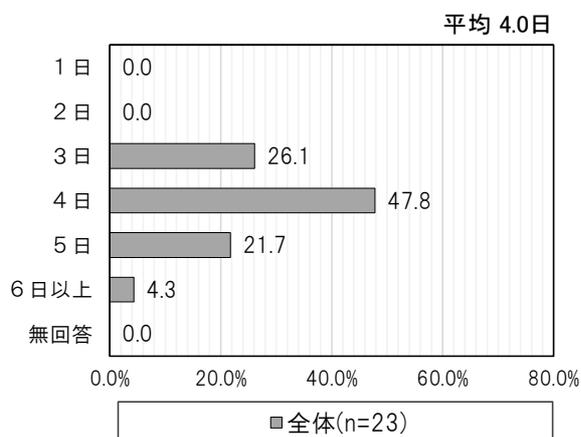
問 9-4① 母親

全体では、「パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)」が 63.9%と最も高く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(25.0%)の順になっています。

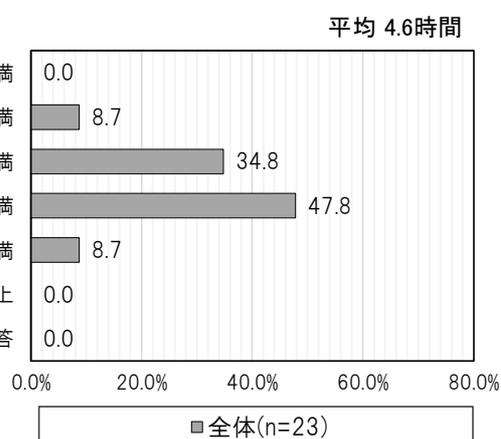
母親が希望する週あたりの就労日数は、「4日」が 47.8%と最も高く、次いで、「3日」(26.1%)、「5日」(21.7%)の順になっています。1日当たりの就労時間は、「5-6時間未満」が 47.8%と最も高く、次いで、「4-5 時間未満」(34.8%)、「3-4時間」「6-7時間未満」(8.7%)の順になっています。



■希望する就労日数(週あたり)



■希望する就労時間(1日あたり)



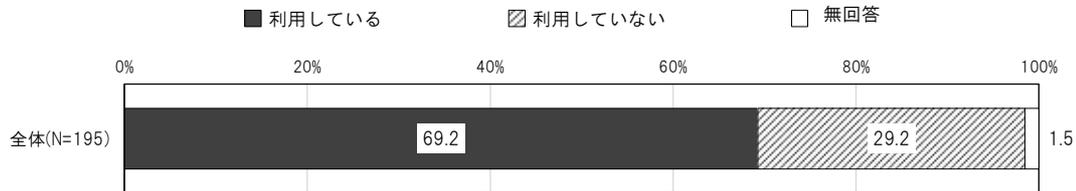
問 9-4② 父親

今回調査では、該当者はいませんでした。

3. 平日の幼稚園や保育所などの利用状況と利用希望について

問 10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用していますか。(1つに○)

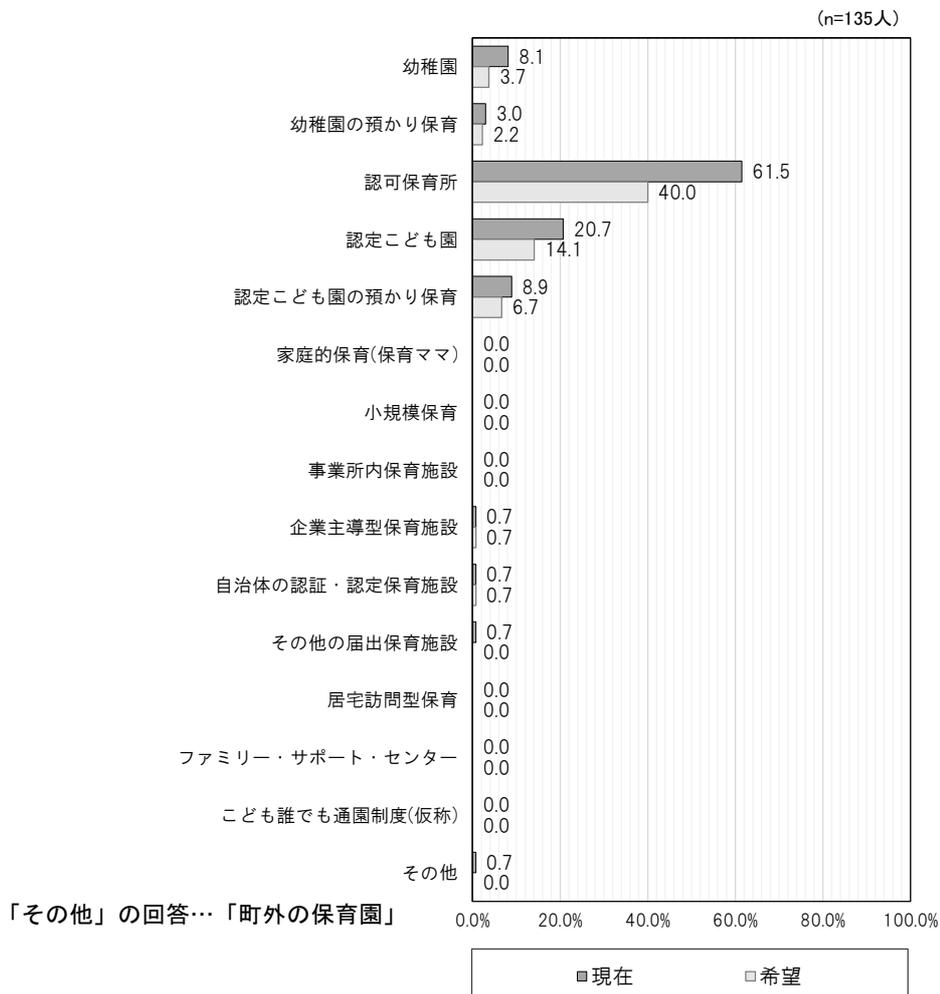
全体では、「利用している」が 69.2%と最も高く、次いで、「利用していない」(29.2%)の順になっています。



問 10 で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 あて名のお子さんは、平日にどの事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用しているものをお答えください。また、希望する事業は、週当たり、1日当たりどのくらい利用したいですか。

現在、利用している事業、利用を希望する事業ともに「認可保育所」(61.5%、40.0%)が最も高く、次いで、「認定こども園」(20.7%、14.1%)、「認定こども園の預かり保育」(8.9%、6.7%)の順になっています。



利用している事業として最も多い「認可保育所」は、現在の1週当たりの利用日数の平均は5.1日、希望する利用日数の平均は5.3日となっています。現在の1日当たりの利用時間の平均は8.4時間、希望の利用時間の平均は8.9時間となっています。また、現在の利用時間帯の平均は、開始8:30、終了17:00、希望の利用時間帯の平均は、開始8:15、終了17:20となっています。

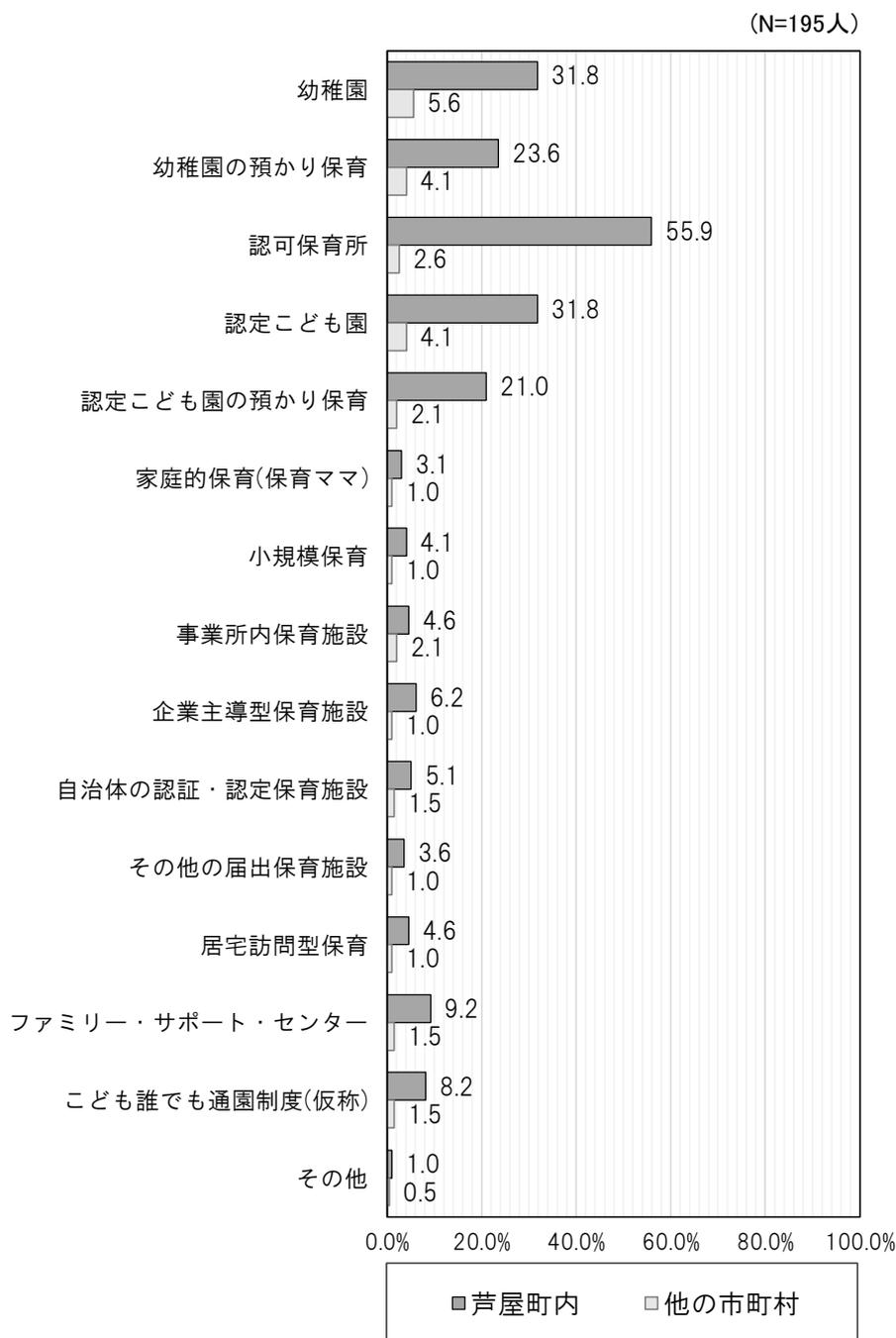
■平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向の日数・時間(平均)

	1週あたりの 利用日数(日)		1日あたりの 利用時間(時間)		利用時間帯			
	現在	希望	現在	希望	○時から		○時まで	
					現在	希望	現在	希望
幼稚園	5.0	5.2	5.5	6.7	8:55	8:20	14:30	15:30
幼稚園の預かり保育	4.3	4.7	4.3	5.3	12:50	12:20	17:45	18:10
認可保育所	5.1	5.3	8.4	8.9	8:30	8:15	17:00	17:20
認定こども園	5.0	5.1	6.6	7.6	8:50	9:00	14:55	16:10
認定こども園の預かり保育	4.3	4.6	4.4	6.3	11:35	10:50	16:20	17:30
家庭的保育(保育ママ)	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
企業主導型保育施設	5.0	5.0	9.0	9.0	7:00	7:00	16:00	16:00
自治体の認証・認定保育施設	5.0	7.0	8.0	9.0	8:00	8:00	18:00	19:00
その他の届出保育施設	6.0	-	8.0	-	8:30	-	18:00	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-
こども誰でも通園制度(仮称)	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	5.0	-	8.0	-	8:00	-	16:30	-
全体	5.0	5.2	7.4	8.1	8:55	8:45	16:20	17:00

問 11 現在、幼稚園や保育所などの事業を利用している、利用していないにかかわらず、今後、定期的（平日）に利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、選択した事業について、利用したい場所もそれぞれお答えください。

芦屋町内では、「認可保育所」が 55.9%と最も高く、次いで、「幼稚園」「認定こども園」（31.8%）の順になっています。

他の市町村では、「幼稚園」が 5.6%と最も高く、次いで、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」（4.1%）の順になっています。



「その他」の回答…「急用が入った場合などに利用できる施設」

問 11 で「1 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3」～「15」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 定期的（平日）に利用したい事業「1」～「15」のうち、「1. 幼稚園」（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を特に強く希望しますか。（1 つに○）

全体では、「はい」が 68.8%と最も高く、次いで、「いいえ」（27.1%）の順になっています。

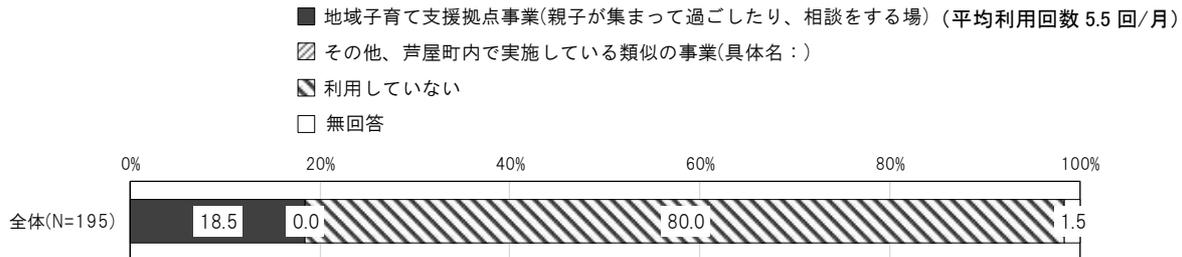


4. 子育て支援に関する事業の利用状況について

問 12 あて名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業※を利用していますか。(1つに○、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字をご記入ください。)

全体では、「利用していない」が80.0%、「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」が18.5%となっています。

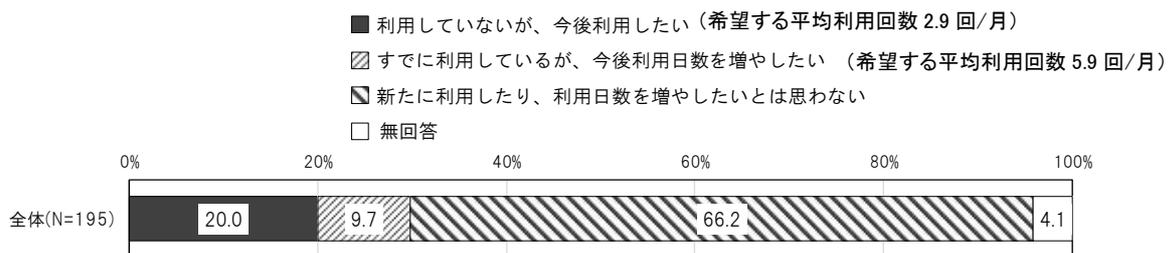
1ヶ月あたりの平均利用回数は5.5回となっており、令和元年調査(3.5回/月)よりも利用頻度は増えていると推察されます。



問 13 問 12 のような地域子育て支援拠点事業について、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用頻度を増やしたいと思いますか。また、希望するおおよその利用回数(頻度)をお答えください。

全体では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.2%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」(20.0%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(9.7%)の順になっています。

1ヶ月あたりの希望する平均利用回数は「利用していないが、今後利用したい」が2.9回、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.9回となっています。



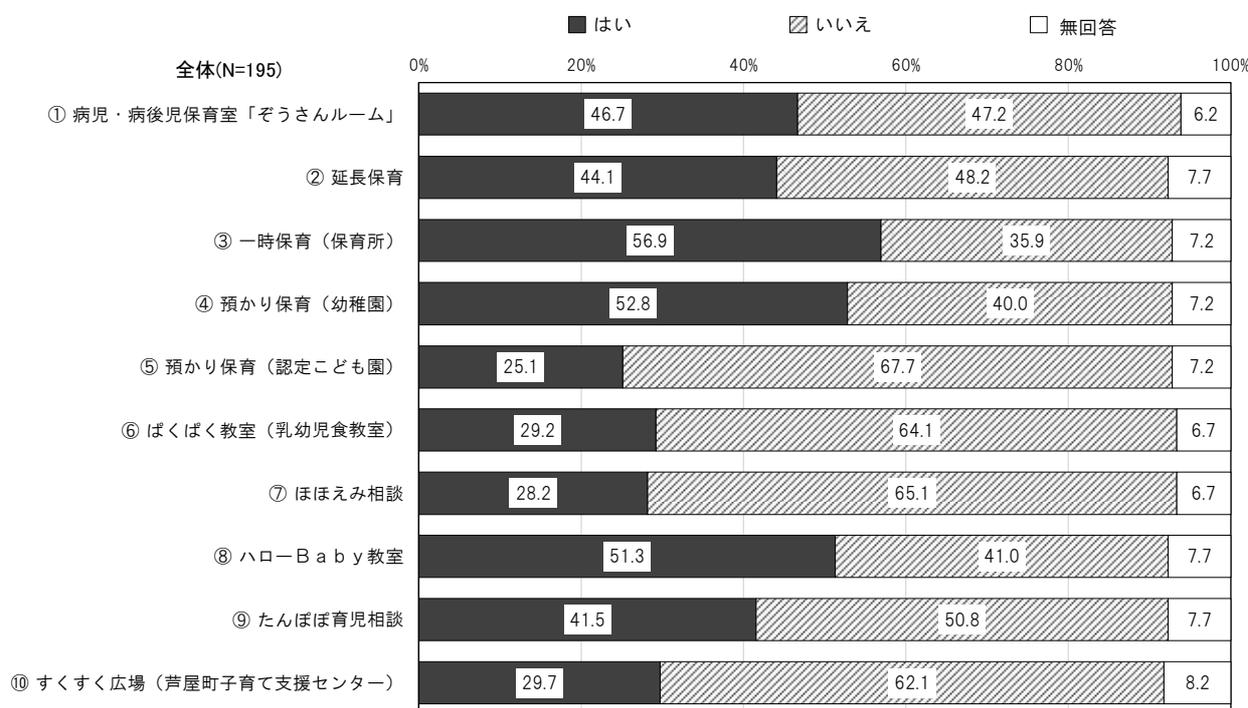
問 14 下記のサービスや事業を知っていたり、これまでに利用したりしたことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(①～⑩の事業ごとにA～Cのそれぞれについて「はい」または「いいえ」の1つに○)

認知度は、「③一時保育（保育所）」が 56.9%で最も高く、次いで、「④預かり保育（幼稚園）」（52.8%）、「⑧ハローBaby 教室」（51.3%）、「①病児・病後児保育室「そうさんルーム」（46.7%）の順になっています。

利用状況は、「③一時保育（保育所）」が 33.8%で最も高く、次いで、「①病児・病後児保育室「そうさんルーム」（33.3%）、「②延長保育」（31.3%）、「⑧ハローBaby 教室」（28.7%）の順になっています。

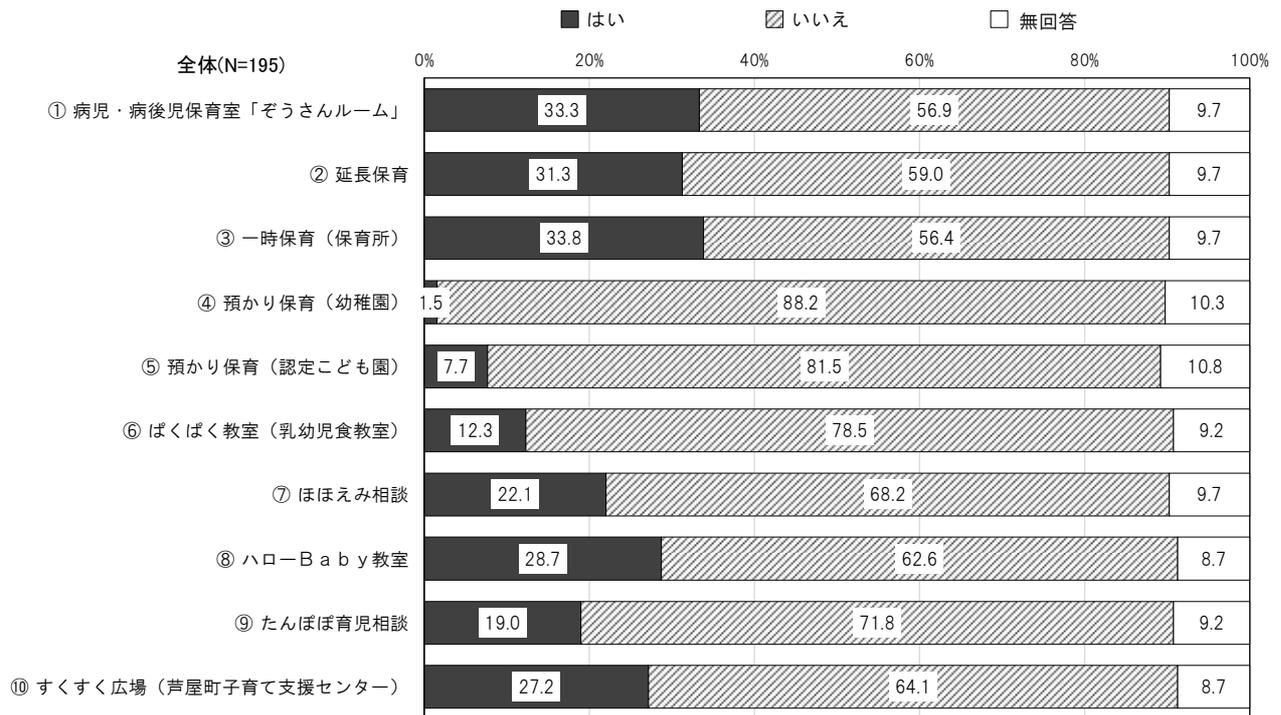
利用意向は、「①病児・病後児保育室「そうさんルーム）」が 44.6%で最も高く、次いで、「③一時保育（保育所）」（41.0%）、「⑦ほほえみ相談」（40.0%）、「②延長保育」（37.9%）の順になっています。

A. 知っている

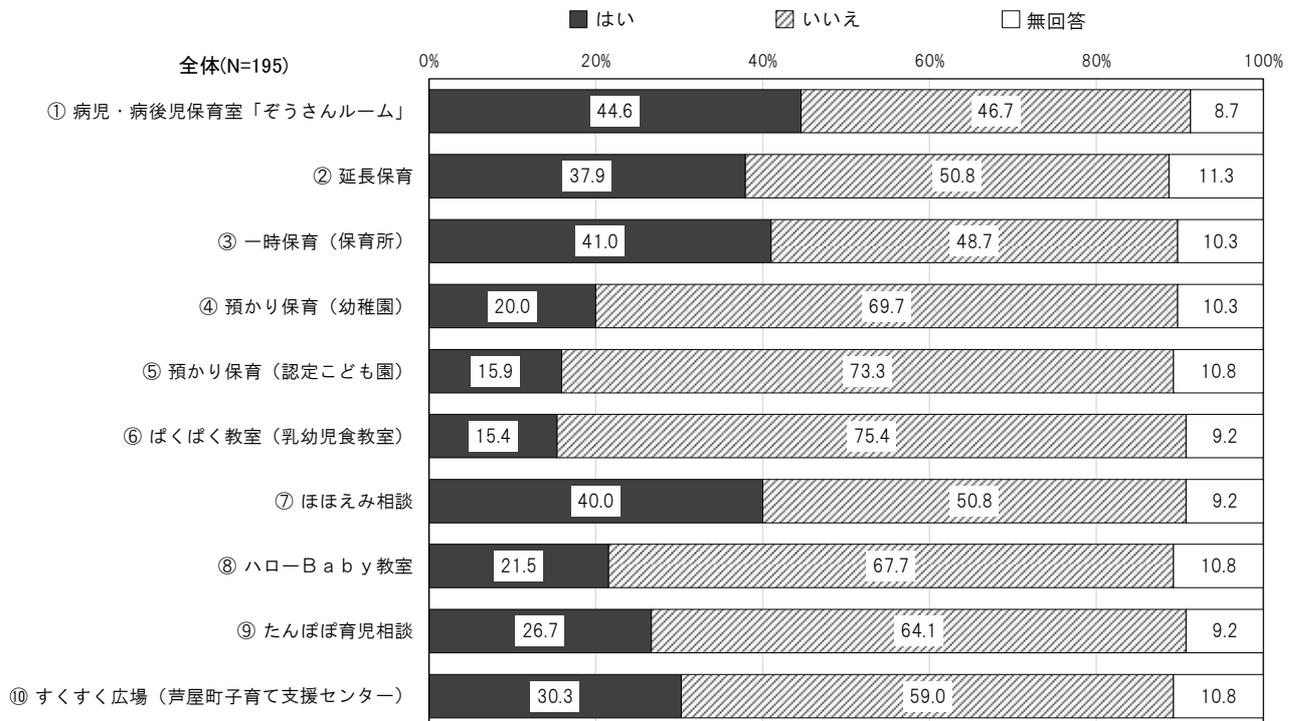


1 教育・保育ニーズ調査
(未就学児童の保護者)

B. これまでに利用したことがある



C. 今後利用したい

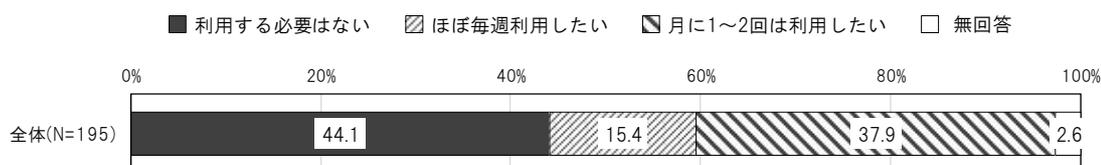


5. 土曜日、日曜・祝日や長期休暇中の幼稚園や保育所等の利用希望について

問 15 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業※の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)

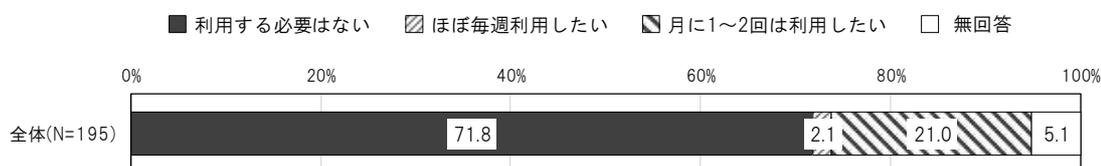
問 15① 土曜日

全体では、「利用する必要はない」が44.1%と最も高く、次いで、「月に1~2回は利用したい」(37.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(15.4%)の順になっています。



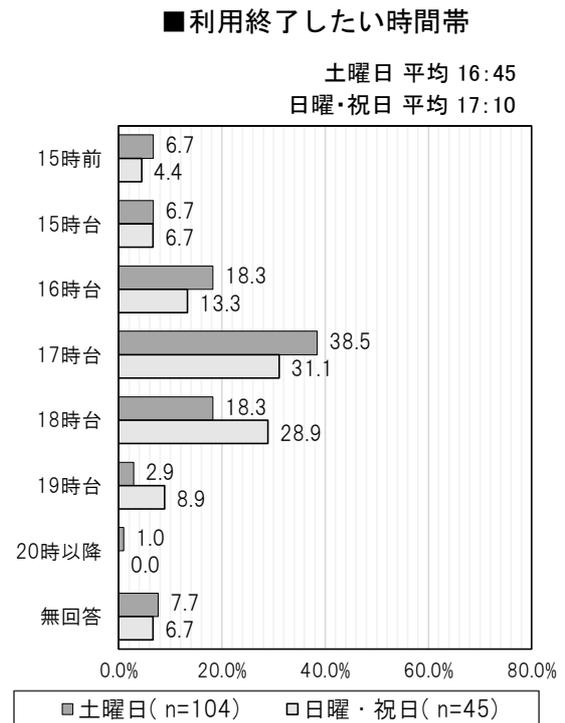
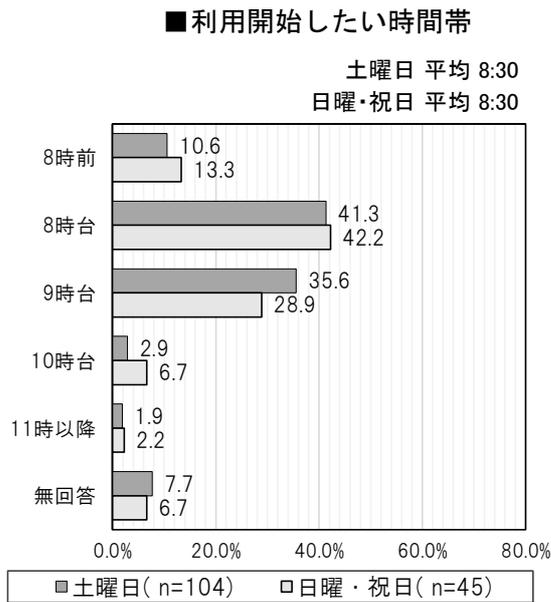
問 15② 日曜・祝日

全体では、「利用する必要はない」が71.8%と最も高く、次いで、「月に1~2回は利用したい」(21.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.1%)の順になっています。



1 教育・保育ニーズ調査
(未就学児童の保護者)

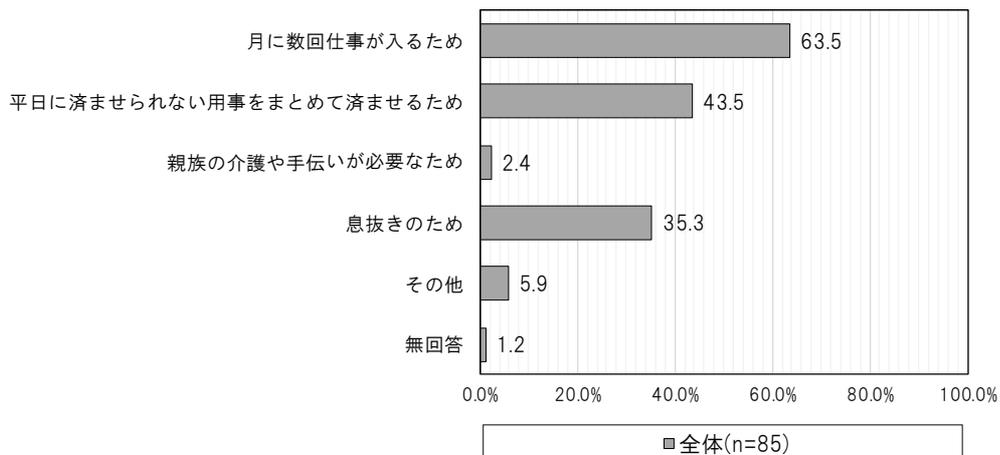
希望する利用時間帯は、開始が土曜日、日曜・祝日ともに「8 時台」(41.3%、42.2%)、終了が土曜日、日曜・祝日ともに「17 時台」(38.5%、31.1%) が最も高くなっています。



問 15 で「3 月に 1~2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「月に数回仕事が入るため」が 63.5%と最も高く、次いで、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(43.5%)、「息抜きのため」(35.3%) の順になっています。

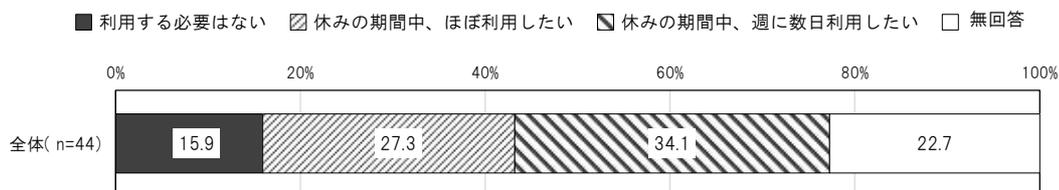


「その他」の回答…「きょうだい児の用事」「仕事」など

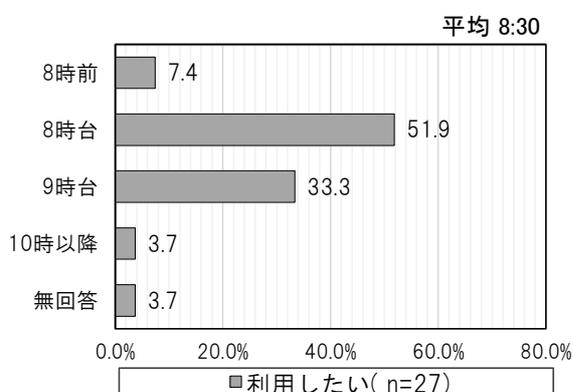
現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。利用していない方は、問 17 にお進みください。

問 16 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。

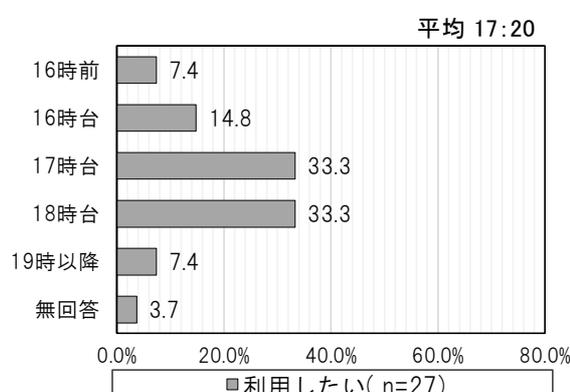
全体では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 34.1%と最も高く、次いで、「休みの期間中、ほぼ利用したい」(27.3%)、「利用する必要はない」(15.9%) の順になっています。



■ 利用開始したい時間帯



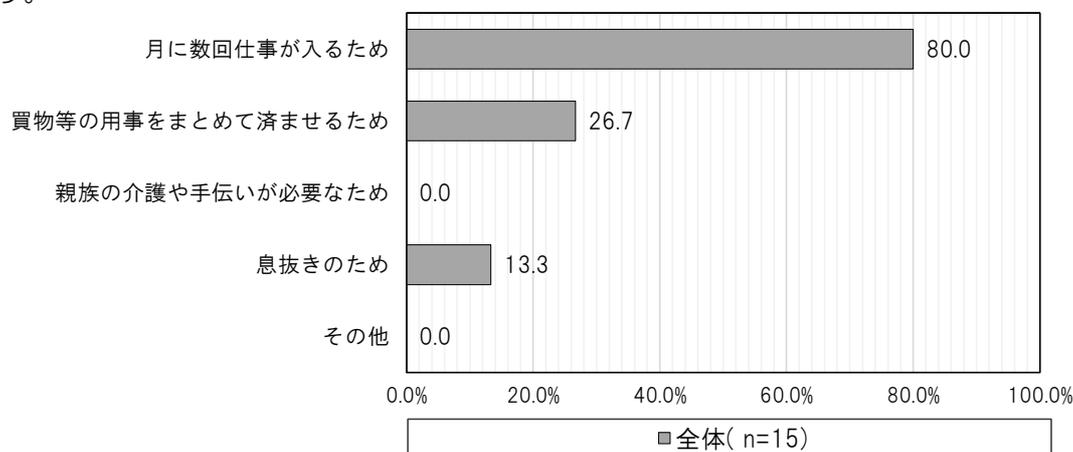
■ 利用終了したい時間帯



問 16 で「3 休みの期間中週に数日は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「月に数回仕事が入るため」が 73.5%と最も高く、次いで、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.4%)、「息抜きのため」(20.6%) の順になっています。

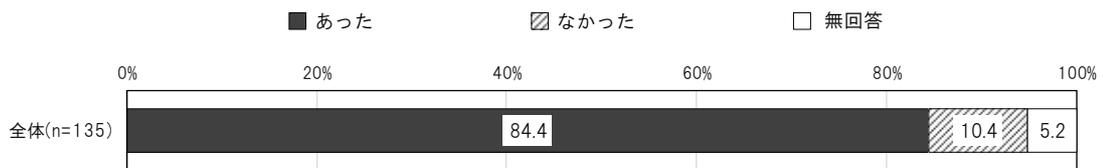


6. 病気の際の対応について

現在、定期的（平日）に幼稚園や保育所等を利用していると答えた方（問10で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。

問17 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガにより、定期的にご利用している幼稚園や保育所などを利用できなかったことはありますか。（1つに○）

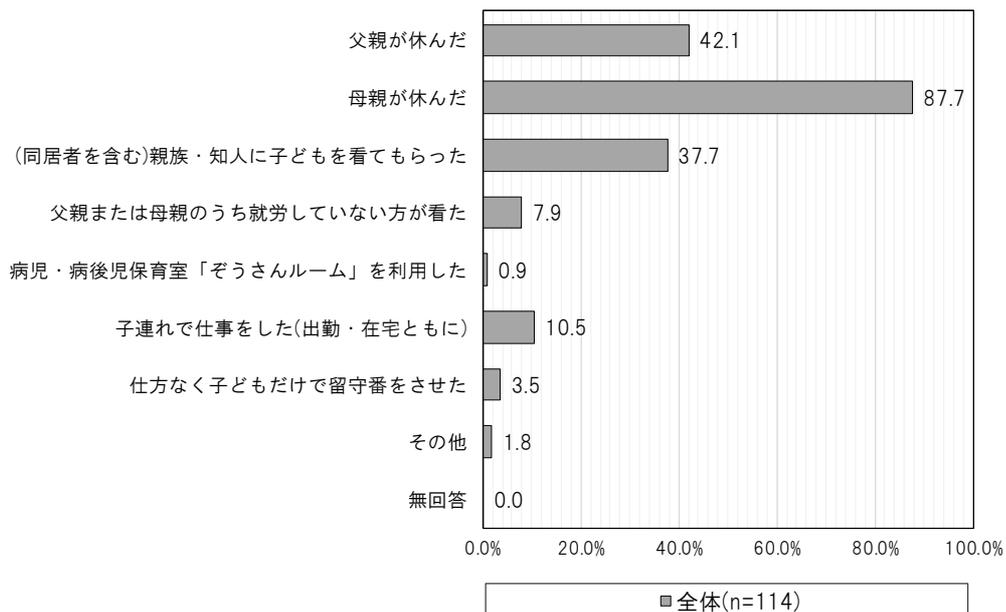
全体では、「あった」が84.4%と最も高く、次いで、「なかった」（10.4%）の順になっています。



問17で「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問17-1 あて名のお子さんが病気やケガで、定期的にご利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法とそれぞれの日数をご記入ください。（ア～クのあてはまるものすべてに○、それぞれ過去1年間のおおよその利用日数を（）内に数字でご記入ください。）

全体では、「母親が休んだ」が87.7%と最も高く、次いで、「父親が休んだ」（42.1%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」（37.7%）の順になっています。また、子どもが病気になった時に対処した年間の平均日数は、「父親が休んだ」が5.8日、「母親が休んだ」が11.7日となっています。



「その他」の回答…「祖母に預けた」

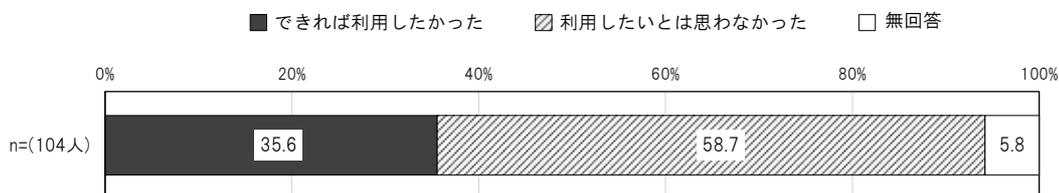
■子どもが病気になった時に対処した年間日数（平均）

	平均日数 (日)
父親が休んだ	5.8
母親が休んだ	11.7
(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	6.2
父親または母親のうち就労していない方が見た	9.8
病児・病後児保育室「ぞうさんルーム」を利用した	10.0
子連れで仕事をした(出勤・在宅ともに)	5.6
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1.5
その他	1.0
全体	8.6

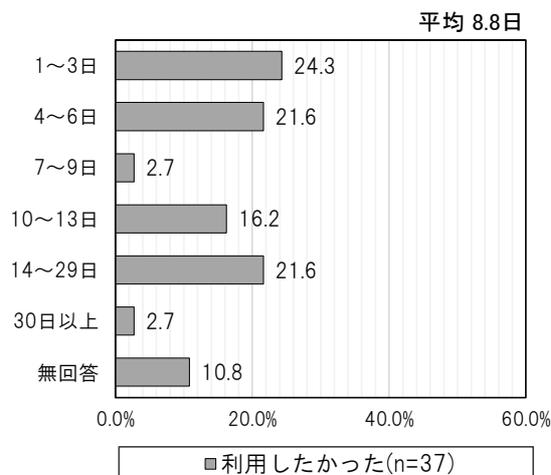
問 17-1 で「ア父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-2 その際、できれば病児・病後児保育室「ぞうさんルーム」を利用したいと思われましたか。また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。(1つに○、利用しなかった日数を () 内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用したいとは思わなかった」が 58.7%と最も高く、次いで、「できれば利用しなかった」(35.6%)の順になっています。希望する年間の平均利用日数は、「1～3日」が 24.3%と最も高く、「4～6日」「14～29日」が 21.6%、平均 8.8日となっています。



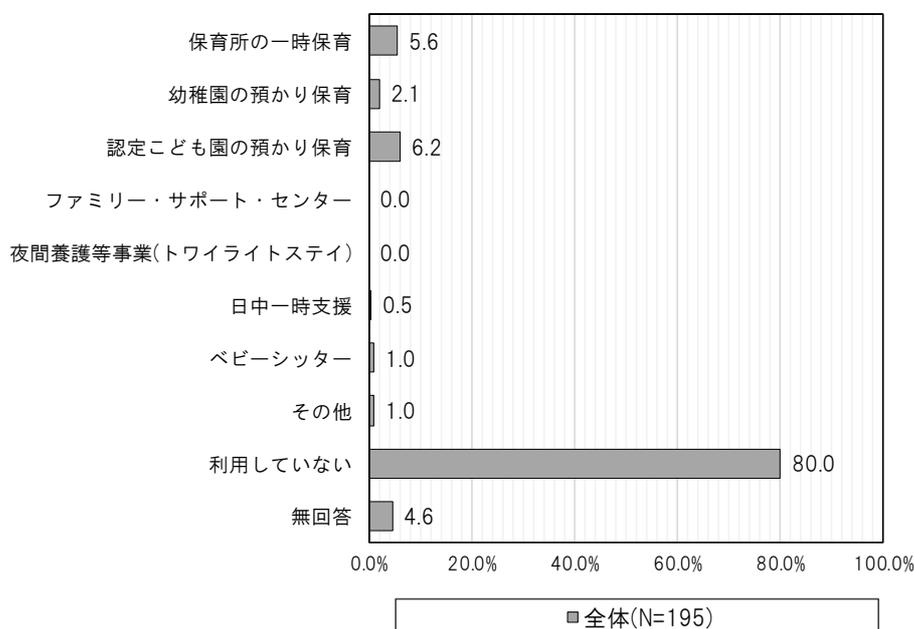
■病児・病後児保育施設の年間希望利用日数



7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 18 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。
(あてはまるものすべてに○、過去1年間のおおよその利用日数を()内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用していない」が80.0%と最も高く、次いで、「認定こども園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)」(6.2%)、「保育所の一時保育(保護者のリフレッシュ、病気や入院、短時間勤務などで、一時的に子どもを預かるサービス)」(5.6%)の順になっています。年間の平均利用日数は、10.0日となっています。



「その他」の回答…「産後ケア事業」「実家」

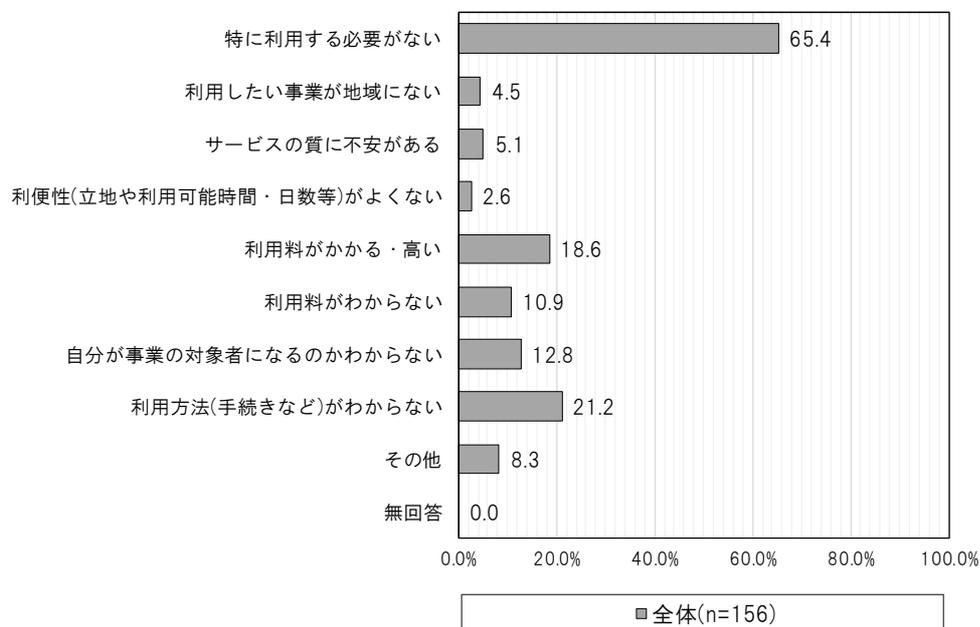
■ 不定期的な一時預かり等の利用年間日数 (平均)

事業名	平均日数 (日)
保育所の一時保育	6.7
幼稚園の預かり保育	10.0
認定こども園の預かり保育	15.1
ファミリー・サポート・センター	-
夜間養護等事業(トワイライトステイ)	-
日中一時支援	13.0
ベビーシッター	6.5
その他	6.0
全体	10.0

問 18 で「9 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

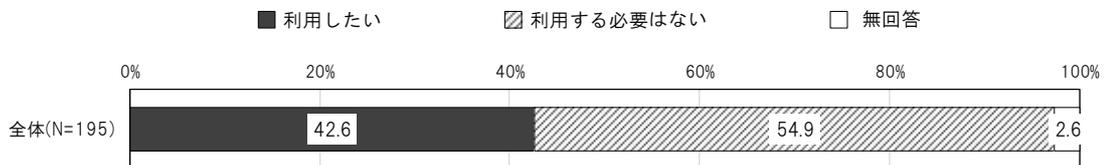
全体では、「特に利用する必要がない」が 65.4%と最も高く、次いで、「利用方法(手続きなど)がわからない」(21.2%)、「利用料がかかる・高い」(18.6%)の順になっています。



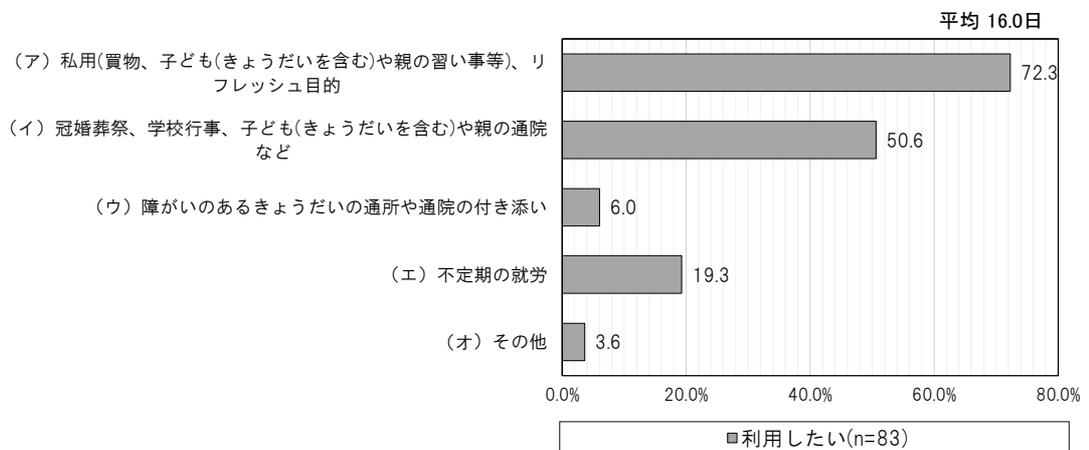
「その他」の回答…「月齢がまだのため」「信頼関係のないところに子供を預けるのが不安」「利用するのに手続きが面倒」「祖父母が預かってくれるため」「まだ育児休業中なので対応できる」「卒園式や結婚式などで利用したいが芦屋保育所は土曜の預かりをされていないため」「平日は仕事でそのような時間は取りにくい。園からも、仕事が終わったら早く迎えに来てくださいと言われたので、リフレッシュなどの預かりは父親が居る時をお願いしている」「利用したいが迷っている」「知らなかった」など

問 19 あて名のお子さんについて、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不特定の就労などの目的で、年間何日くらい一時的な預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無についてはいずれか1つに○、利用したい場合はア～オのあてはまる記号すべてに○、必要な年間利用日数を () 内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用する必要はない」が 54.9%と最も高く、次いで、「利用したい」(42.6%)の順になっています。利用したいと思う目的は、「(ア) 私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(72.3%)、「(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院など」(50.6%)が高くなっています。また、利用したい年間の平均日数は、全体で 16.0 日、「(ア) 私用、リフレッシュ目的」が 12.3 日、「(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が 7.0 日、「(ウ) 障がいのあるきょうだいの通所や通院の付き添い」が 4.8 日、「(エ) 不特定の就労」が 9.6 日となっています。



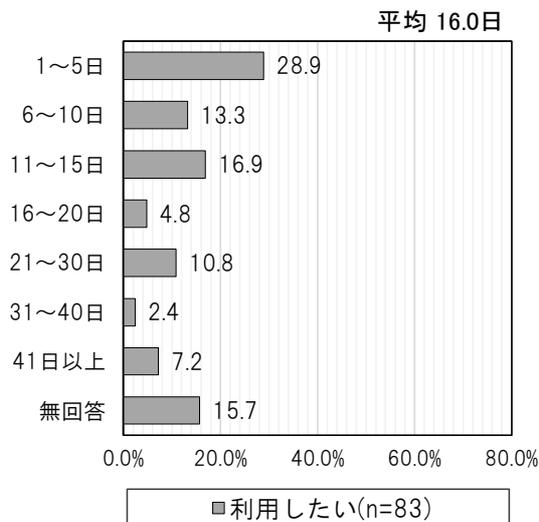
■ 不特定の一時預かりを利用したいと思う目的



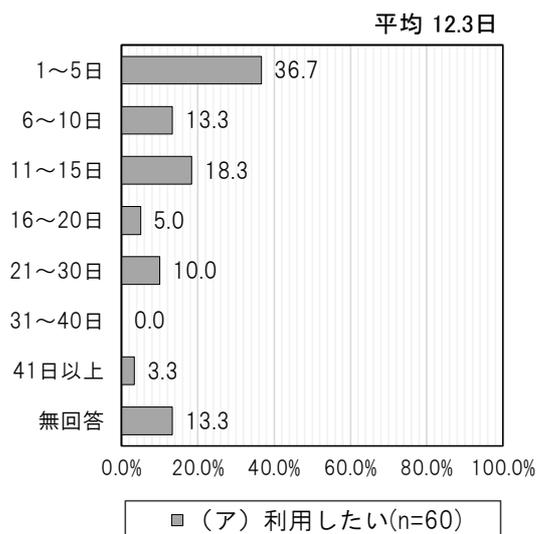
「その他」の回答…「兄弟の野球の試合の時など」「通院」など

■ 不規則な一時預かりを利用したい年間日数

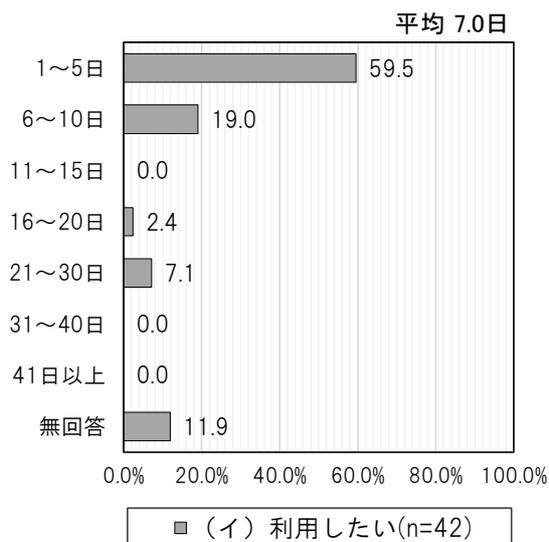
<全体>



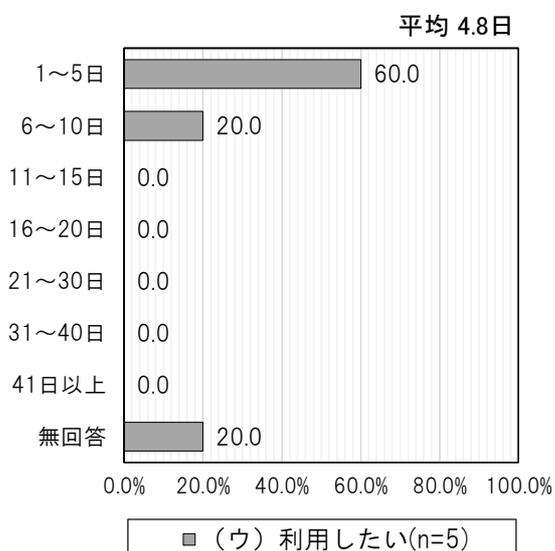
<(ア) 私用、リフレッシュ目的>



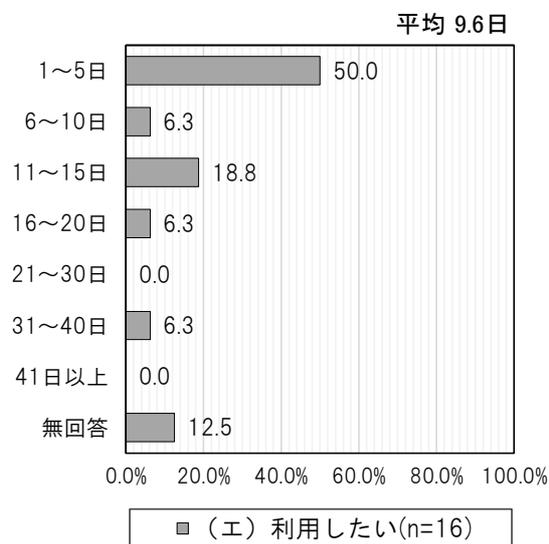
<(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など>



<(ウ) 障がいのあるきょうだいの通所や通院の付き添い>

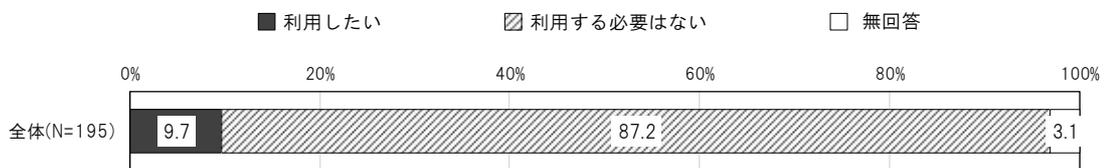


<(エ) 不規則の就労>

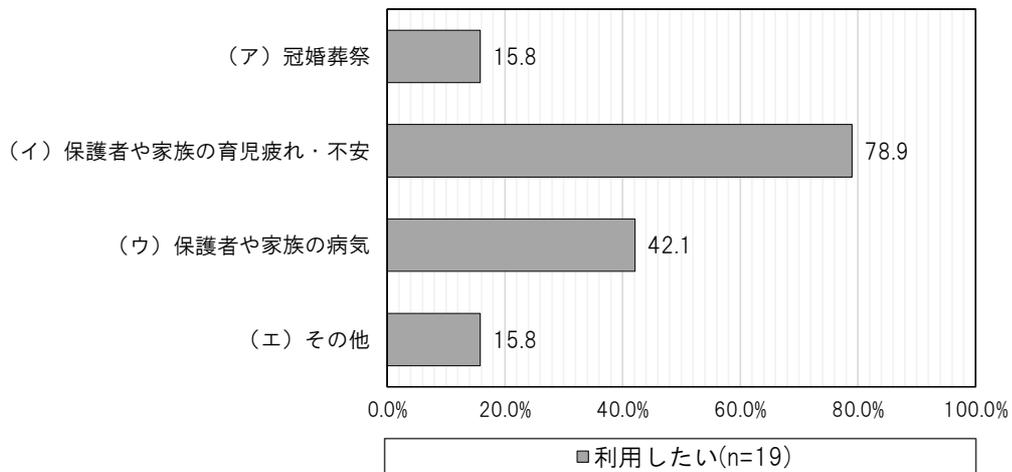


問 20 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（きょうだい含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてはいずれか1つに○、利用したい場合はア～エのあてはまる記号すべてに○、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（）内に数字でご記入ください。）

全体では、「利用する必要はない」が87.2%と最も高く、次いで、「利用したい」(9.7%)の順になっています。利用したいと思う目的は、「(イ) 保護者や家族の育児疲れ・不安」が78.9%で最も高く、次いで、「(ウ) 保護者や家族の病気」(42.1%)、「(ア) 冠婚葬祭」「(エ) その他」(15.8%)の順になっています。また、利用したいと思う年間の平均泊数は全体で4.0日となっています。



■ 不定期な一時預かりを泊りがけで利用したいと思う目的



「その他」の回答…「仕事」など

■ 不定期な一時預かりを泊りがけで利用したいと思う年間泊数（平均）

	平均泊数 (日)
(ア)冠婚葬祭	3.7
(イ)保護者や家族の育児疲れ・不安	3.5
(ウ)保護者や家族の病気	5.3
(エ)その他	3.7
全体	4.0

8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

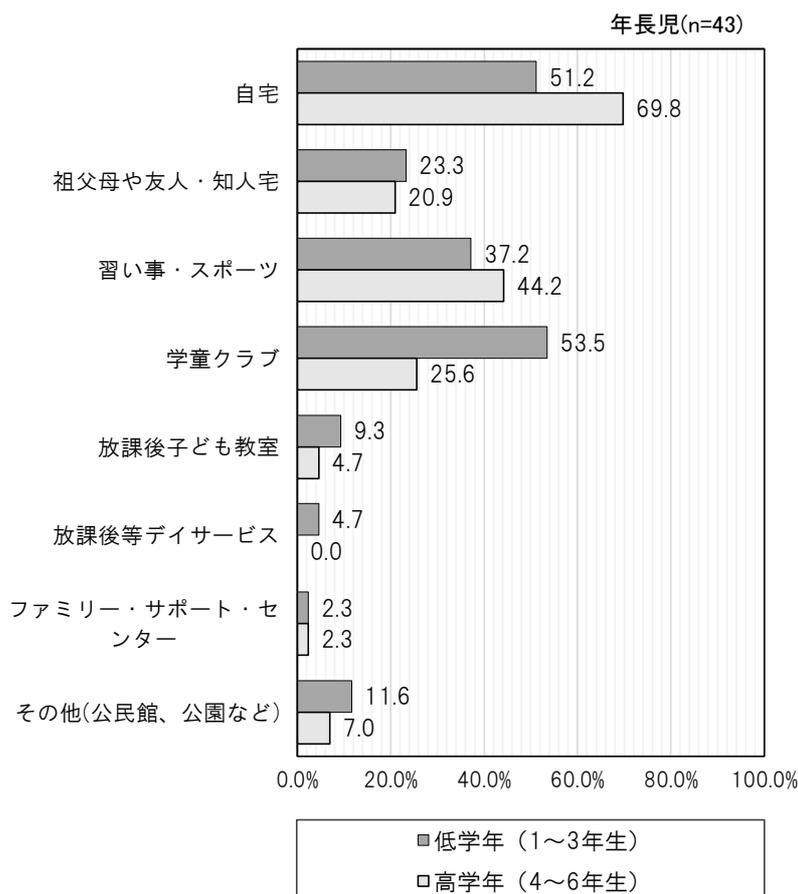
あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にうかがいます。5歳未満の方は(P15)問24へお進みください。

問21 あて名のお子さんについて、小学校1～3年生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、希望する場合、利用したい日数を（）内に数字でご記入ください。）

問22 あて名のお子さんについて、小学校4～6年生では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、希望する場合、利用したい日数を（）内に数字でご記入ください。）

低学年（1～3年生）では、「学童クラブ」が53.5%と最も高く、次いで、「自宅」（51.2%）、「習い事・スポーツ」（37.2%）の順になっています。

高学年（4～6年生）では、「自宅」が69.8%と最も高く、次いで、「習い事・スポーツ」（44.2%）、「学童クラブ」（25.6%）の順になっています。



放課後に過ごす場所の週当たりの利用日数の希望は、低学年（1～3年生）では平均 3.2 日、高学年（4～6年生）では平均 3.3 日となっています。

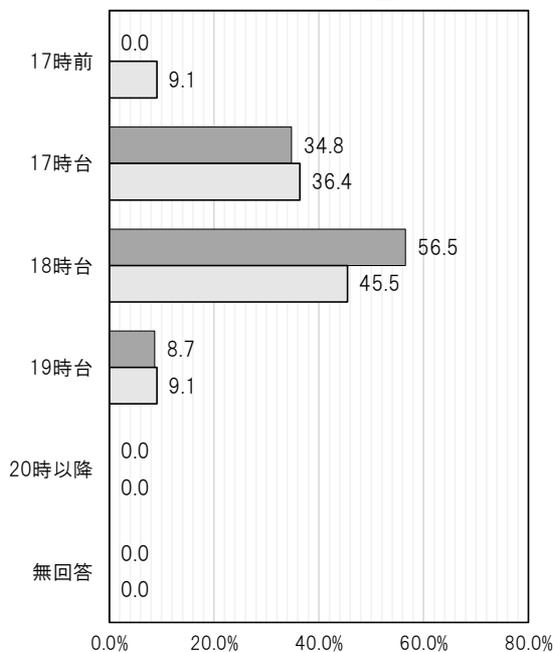
また、学童クラブと回答した人に、利用終了の時間帯の意向を尋ねたところ、低学年、高学年ともに「18 時台」（56.5%、45.5%）の回答が最も高く、低学年（1～3年生）で平均 17：40、高学年（4～6年生）で平均 17：30 となっています。放課後子ども教室では、低学年が「17 時台」（50.0%）、高学年は「18 時台」「19 時台」（50.0%）が最も高くなっています。

■放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の希望（平均日数）

	平均日数(日)	
	低学年 1～3年生	高学年 4～6年生
自宅	3.5	4.2
祖父母や友人・知人宅	2.6	2.4
習い事・スポーツ	2.1	2.2
学童クラブ	4.2	3.9
放課後子ども教室	3.0	2.5
放課後等デイサービス	5.0	-
ファミリー・サポート・センター	1.0	1.0
その他(公民館、公園など)	1.7	2.0
全体	3.2	3.3

■利用終了の時間帯の意向（学童クラブ）

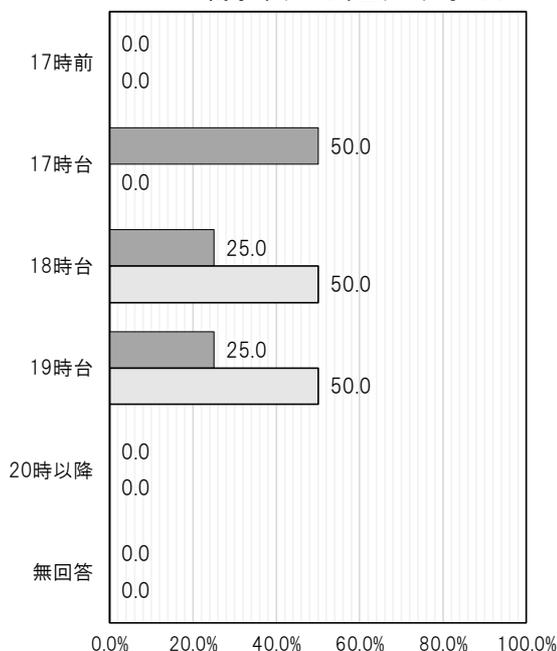
低学年(1～3年生) 平均 17:40
高学年(4～6年生) 平均 17:30



■ 低学年（1～3年生）(n=23)
□ 高学年（4～6年生）(n=11)

■利用終了の時間帯の意向（放課後子ども教室）

低学年(1～3年生): 平均 17:45
高学年(4～6年生): 平均 18:30



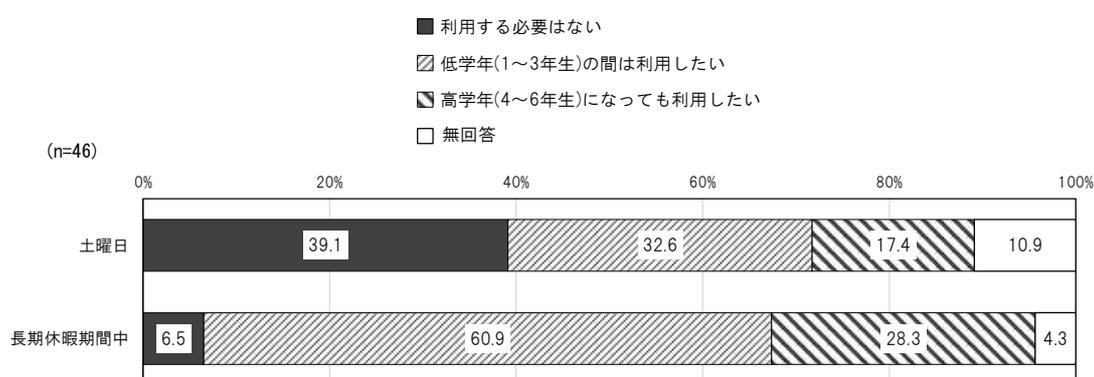
■ 低学年（1～3年生）(n=4)
□ 高学年（4～6年生）(n=2)

問 21 または問 22 で「4. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 23 あて名のお子さんについて、土曜日と夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中、学童クラブの利用希望はありますか。(あてはまるものそれぞれ1つに○、利用を希望する場合、利用したい時間帯を()内に数字でご記入ください。)

土曜日では、「利用する必要はない」が39.1%と最も高く、次いで、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(32.6%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(17.4%)の順になっています。

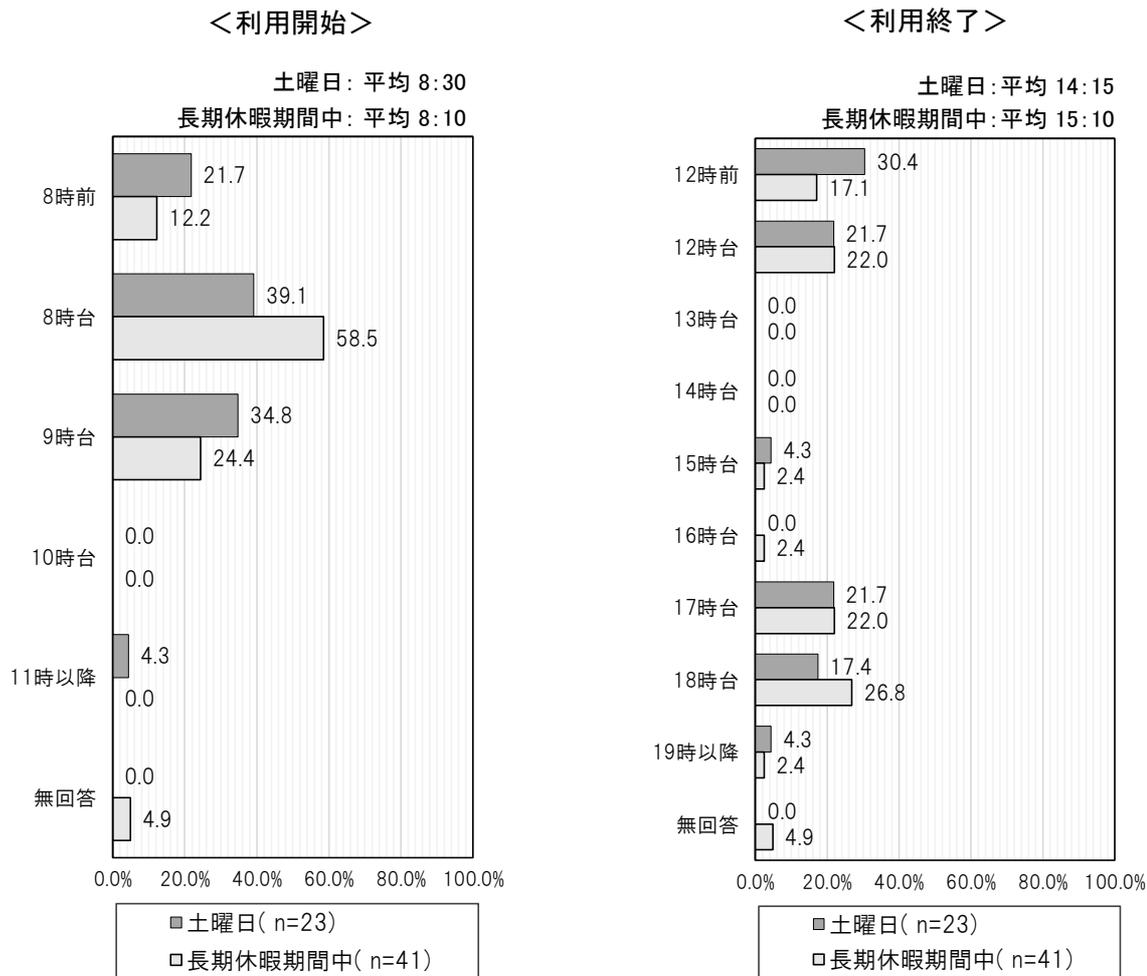
長期休暇期間中では、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が60.9%と最も高く、次いで、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(28.3%)、「利用する必要はない」(6.5%)の順になっています。



利用したい時間帯について、利用開始は、土曜日、長期休暇期間中ともに「8時台」(39.1%、58.5%)が最も高くなっており、土曜日は平均 8:30、長期休暇期間中は平均 8:10 となっています。

また、利用終了は、土曜日が「12 時前」(30.4%)、長期休暇期間中は「18 時台」(26.8%)が最も高くなっており、土曜日は平均 14:15、長期休暇期間中は平均 15:10 となっています。

■土曜日、長期休暇期間中に利用したい時間帯

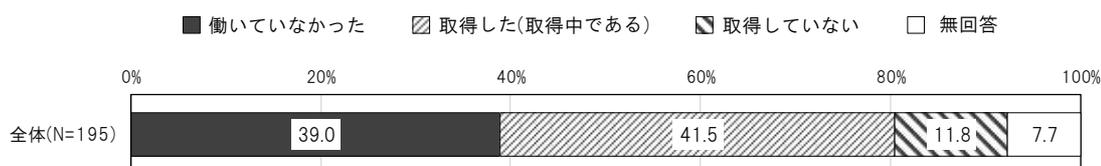


9. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

問 24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない場合には、取得していない理由を下の表の番号から選んで数字をご記入ください。

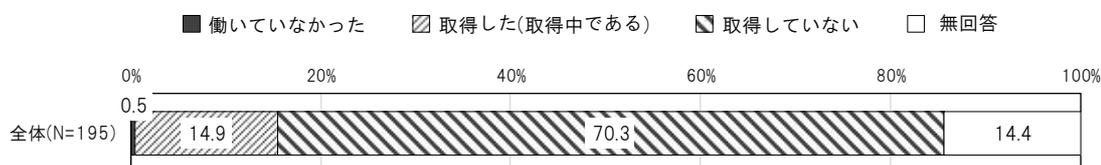
問 24① 母親_育児休業を取得しましたか。

全体では、「取得した(取得中である)」が 41.5%と最も高く、次いで、「働いていなかった」(39.0%)、「取得していない」(11.8%)の順になっています。



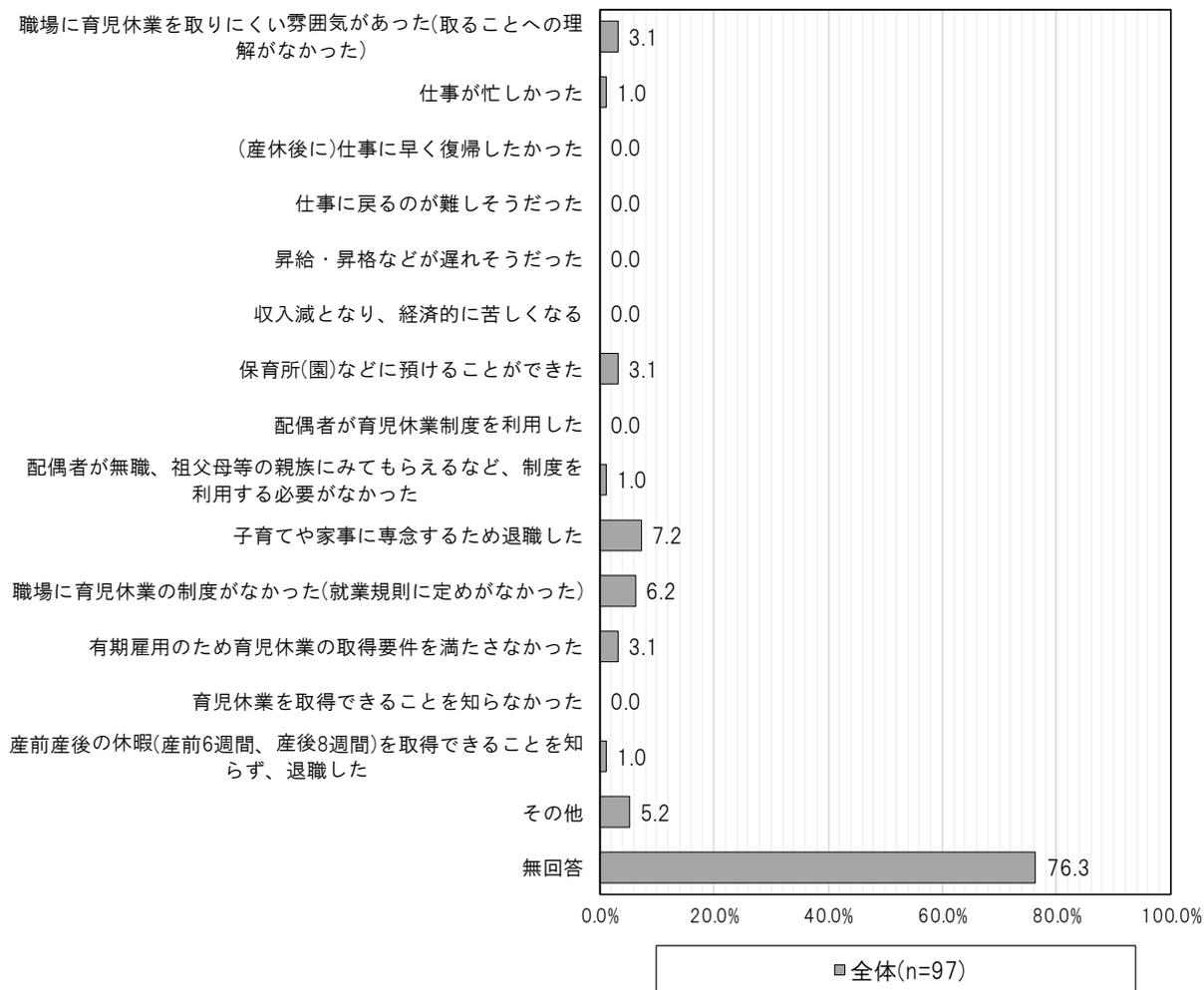
問 24② 父親_育児休業を取得しましたか。

全体では、「取得していない」が 70.3%と最も高く、次いで、「取得した(取得中である)」(14.9%)、「働いていなかった」(0.5%)の順になっています。



問 24_1① 母親の理由

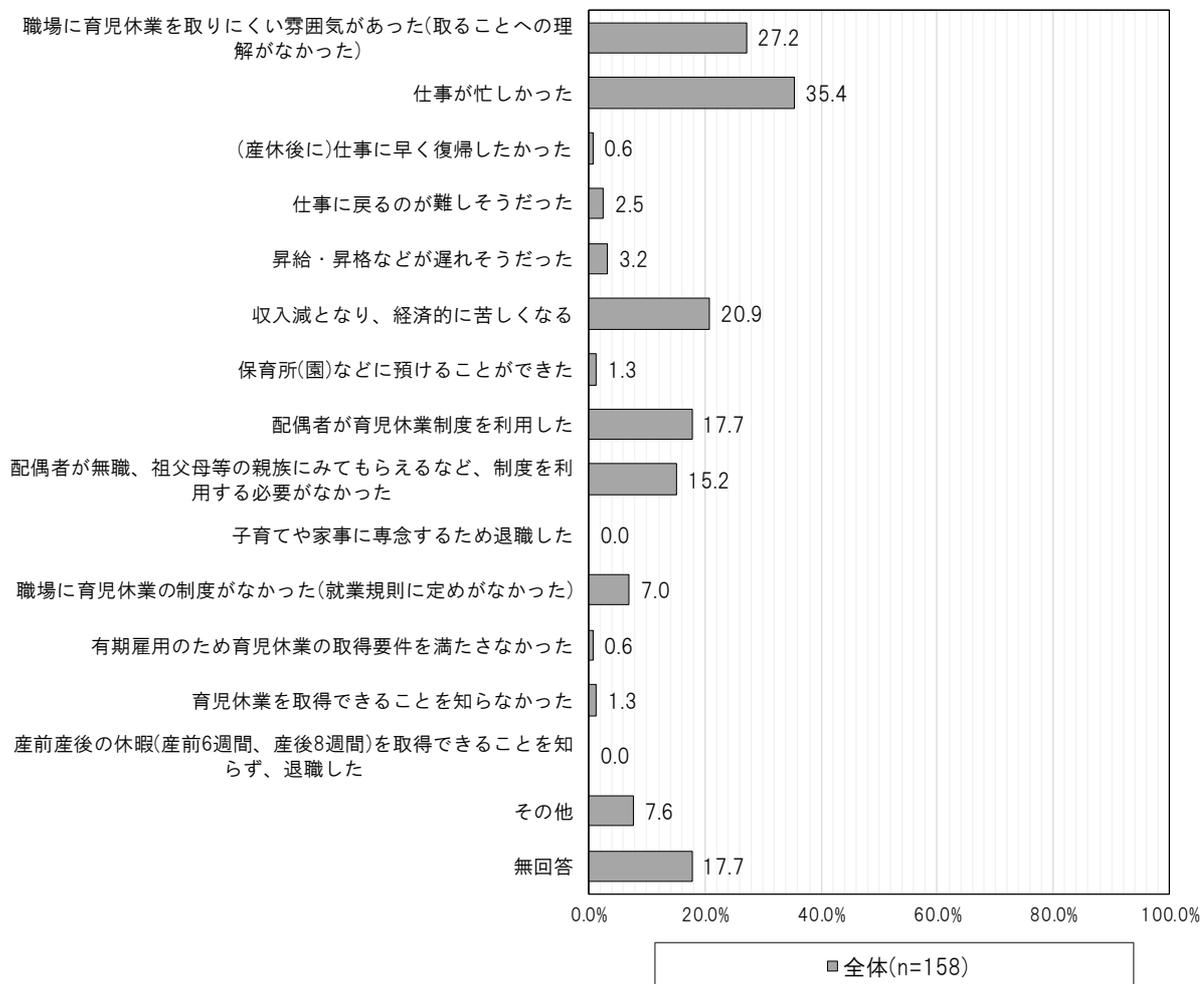
全体では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 7.2%と最も高く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(6.2%)、「その他」(5.2%)の順になっています。



「その他」の回答…「個人事業主(自営)のため」「育休制度を使ってくれなかった」など

問 24_1② 父親の理由

全体では、「仕事が忙しかった」が 35.4%と最も高く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(取ることへの理解がなかった)」(27.2%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(20.9%) の順になっています。



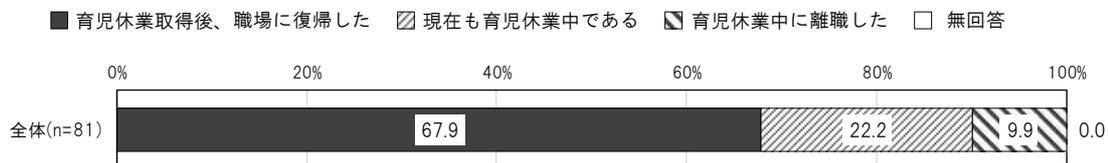
「その他」の回答…「個人事業主(自営)のため」「特に必要なかった」「母親が里帰りしたから」「病気療養していた」など

問 24 で「2 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親、父親それぞれ1つに○）

問 24-1① 母親

全体では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 67.9%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」（22.2%）、「育児休業中に離職した」（9.9%）の順になっています。



問 24-1② 父親

全体では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 93.1%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」（3.4%）、「育児休業中に離職した」（0.0%）の順になっています。



問 24-1 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-2 育児休業から、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(母親、父親それぞれ () 内に数字でご記入ください。)

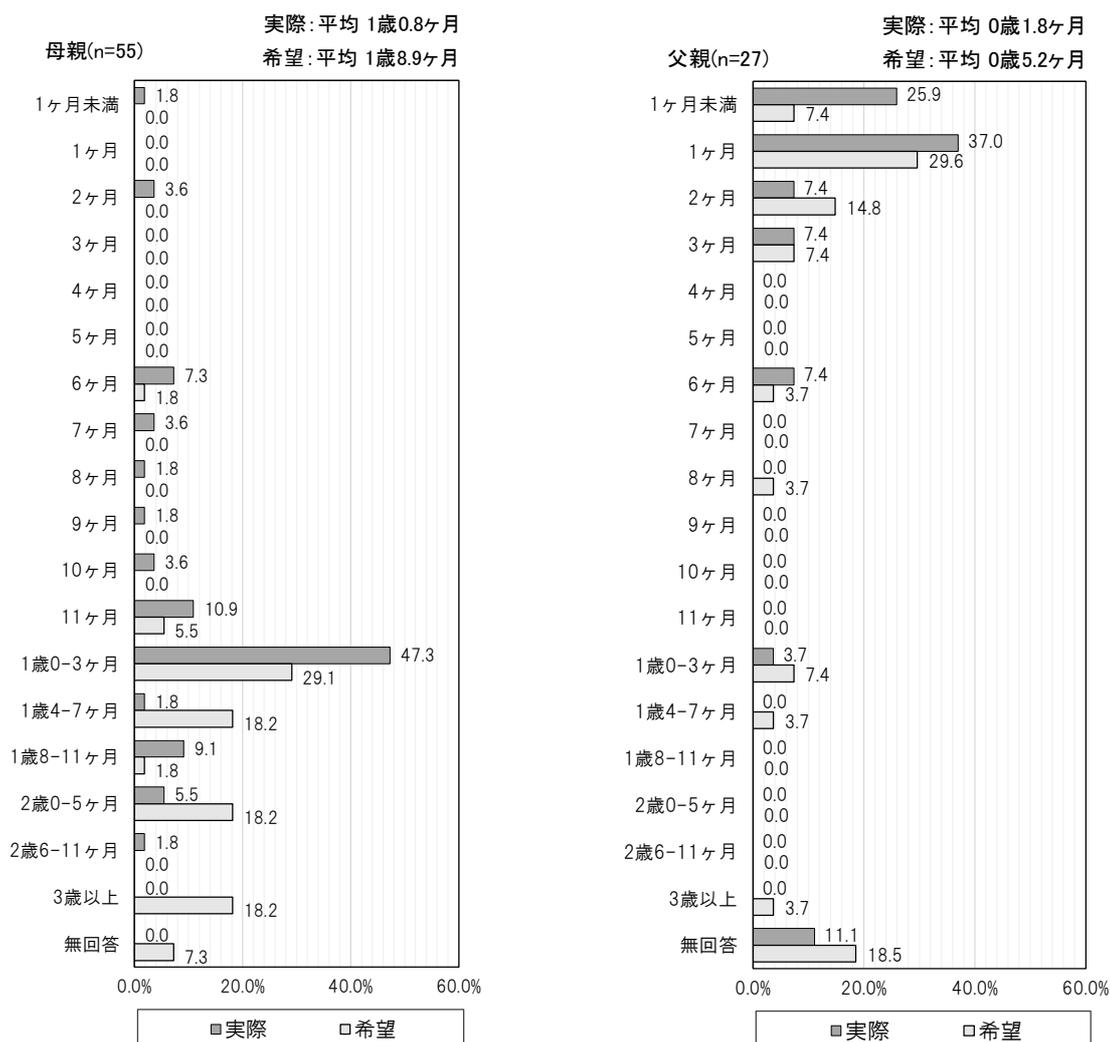
① 母親

実際に職場復帰した時の子どもの年齢について、母親では「1 歳 0-3 ヶ月」が 47.3%と最も高く、次いで、「11 ヶ月」(10.9%)、「1 歳 8-11 ヶ月」(9.1%) の順になっています。また、希望については「1 歳 0-3 ヶ月」が 29.1%と最も高く、次いで、「1 歳 4-7 ヶ月」「2 歳 0-5 ヶ月」「3 歳以上」(18.2%) の順になっています。

② 父親

実際に職場復帰した時の子どもの年齢について、父親では「1 ヶ月」が 37.0%と最も高く、次いで、「1 ヶ月未満」(25.9%) の順になっています。また、希望については「1 ヶ月」が 29.6%と最も高く、次いで、「2 ヶ月」(14.8%) の順になっています。

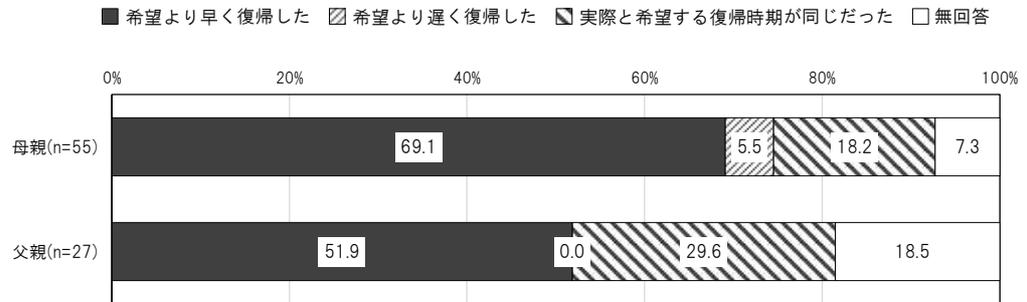
■ 職場復帰した時の子どもの年齢



1 教育・保育ニーズ調査
(未就学児童の保護者)

職場に復帰した時期について、母親は「希望より早く復帰した」が 69.1%と最も高く、次いで、「実際と希望する復帰時期が同じだった」(18.2%)、「希望より遅く復帰した」(5.5%)の順になっています。父親は「希望より早く復帰した」が 51.9%と最も高く、次いで、「実際と希望する復帰時期が同じだった」(29.6%)の順になっています。

■ 職場復帰した時期



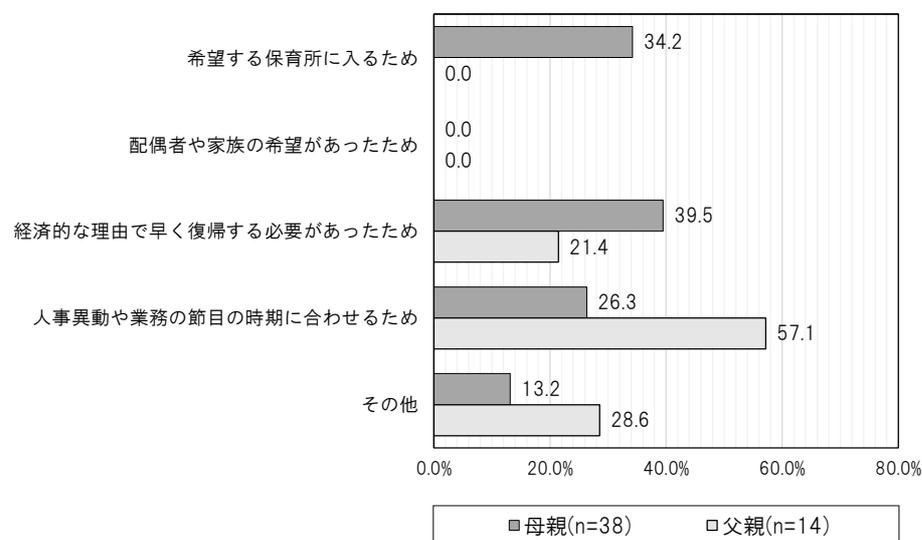
問 24-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 24-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(母親、父親それぞれあてはまるものすべてに○)

問 24-3 (1) 希望の時期よりも早かった理由

母親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 39.5%と最も高く、次いで、「希望する保育所に入るため」(34.2%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(26.3%) の順になっています。

父親は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 57.1%と最も高く、次いで、「その他」(28.6%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(21.4%) の順になっています。

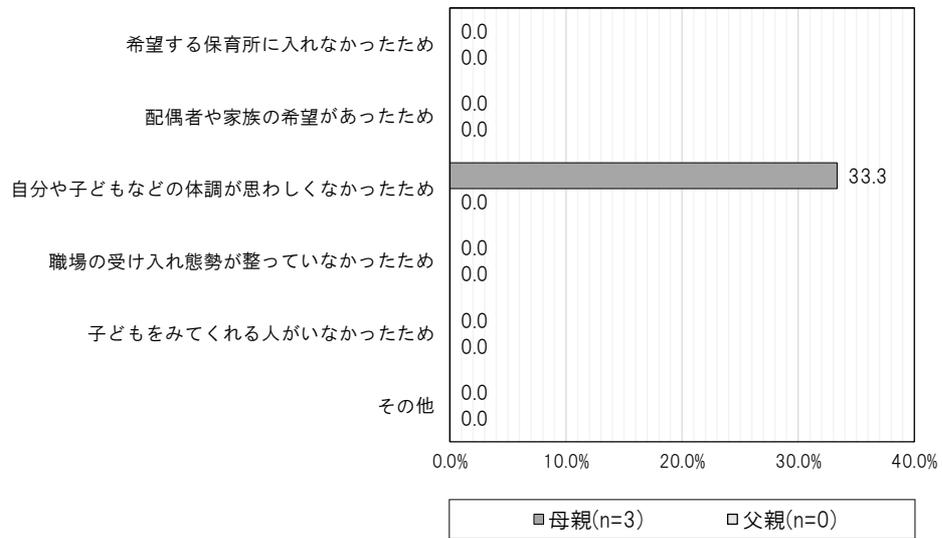


母親の「その他」の回答…「職場が許してくれなかった」「職場の体制」など

父親の「その他」の回答…「1週間程度だったため」「職場の資格の関係」など

問 24-3 (2) 希望の時期よりも遅かった理由

母親は、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」と一人の方が回答しています。
父親は、該当者はいませんでした。

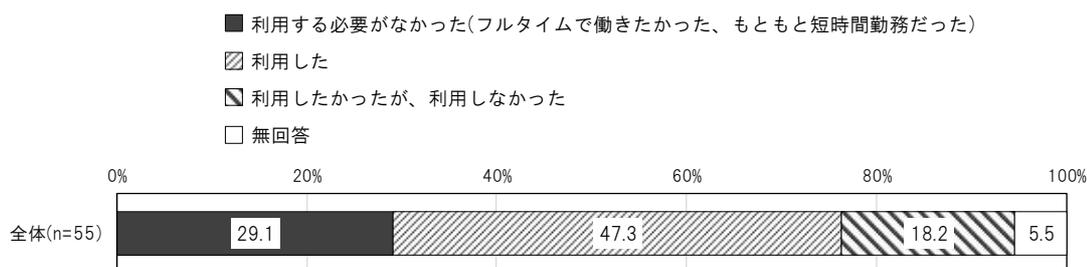


問 24-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(母親、父親それぞれ1つに○)

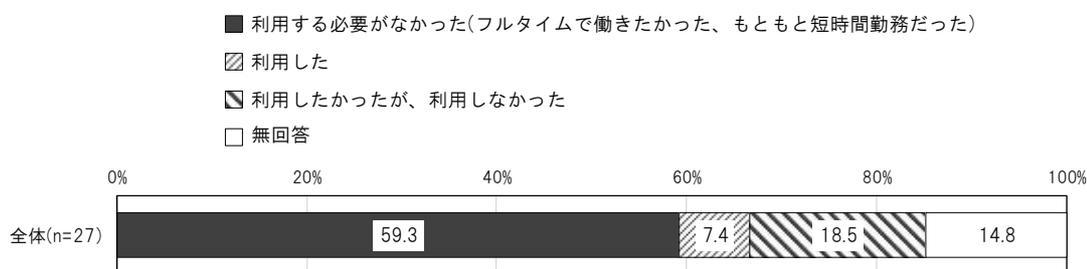
問 24-4① 母親

全体では、「利用した」が 47.3%と最も高く、次いで、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(29.1%)、「利用したかったが、利用しなかった」(18.2%)の順になっています。



問 24-4② 父親

全体では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が 59.3%と最も高く、次いで、「利用したかったが、利用しなかった」(18.5%)、「利用した」(7.4%)の順になっています。

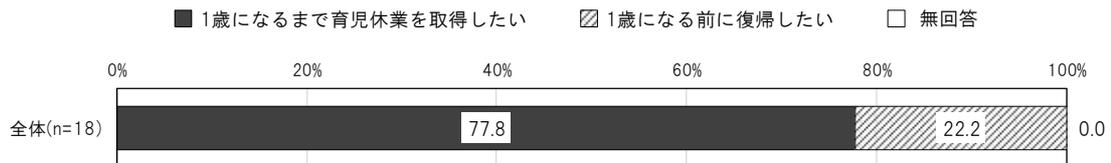


問 24-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-5 対象のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親それぞれ1つに○)

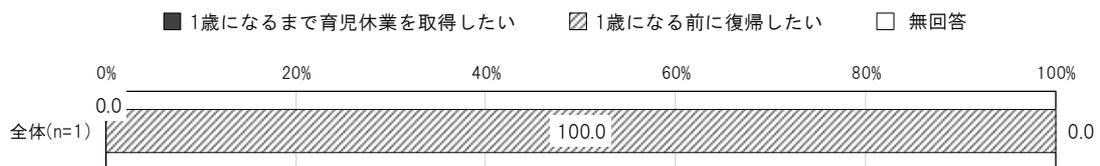
問 24-5① 母親

全体では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が77.8%と最も高く、次いで、「1歳になる前に復帰したい」(22.2%)の順になっています。



問 24-5② 父親

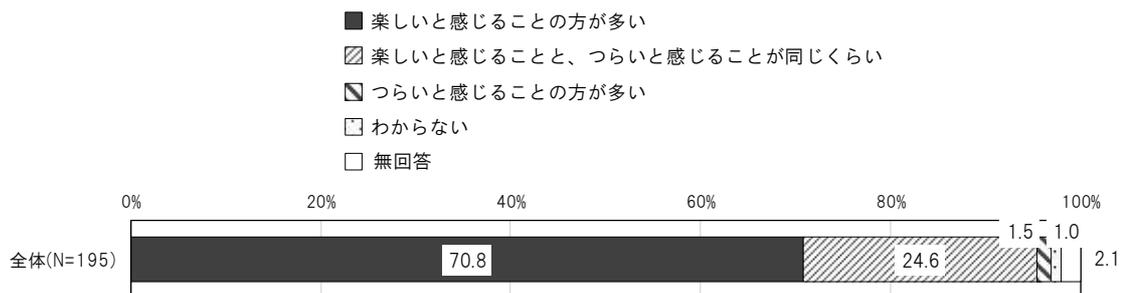
全体では、「1歳になる前に復帰したい」が100.0%と最も高く、次いで、「1歳になるまで育児休業を取得したい」(0.0%)の順になっています。



10. 子育て全般について

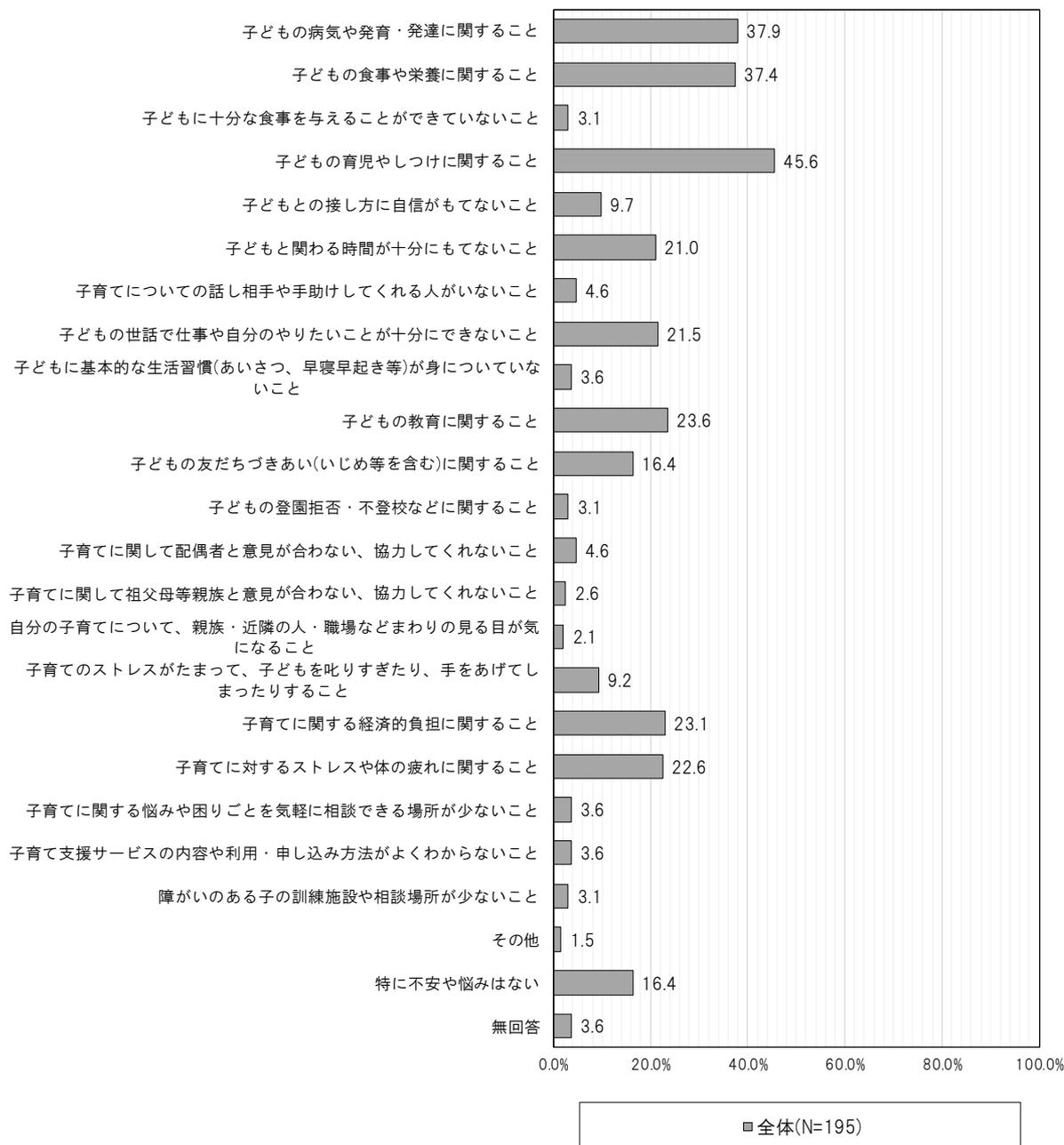
問 25 子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと思うことが多いと思いますか。(1つに○)

全体では、「楽しいと感じることが多い」が70.8%と最も高く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」(24.6%)、「つらいと感じることが多い」(1.5%)の順になっています。



問 26 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

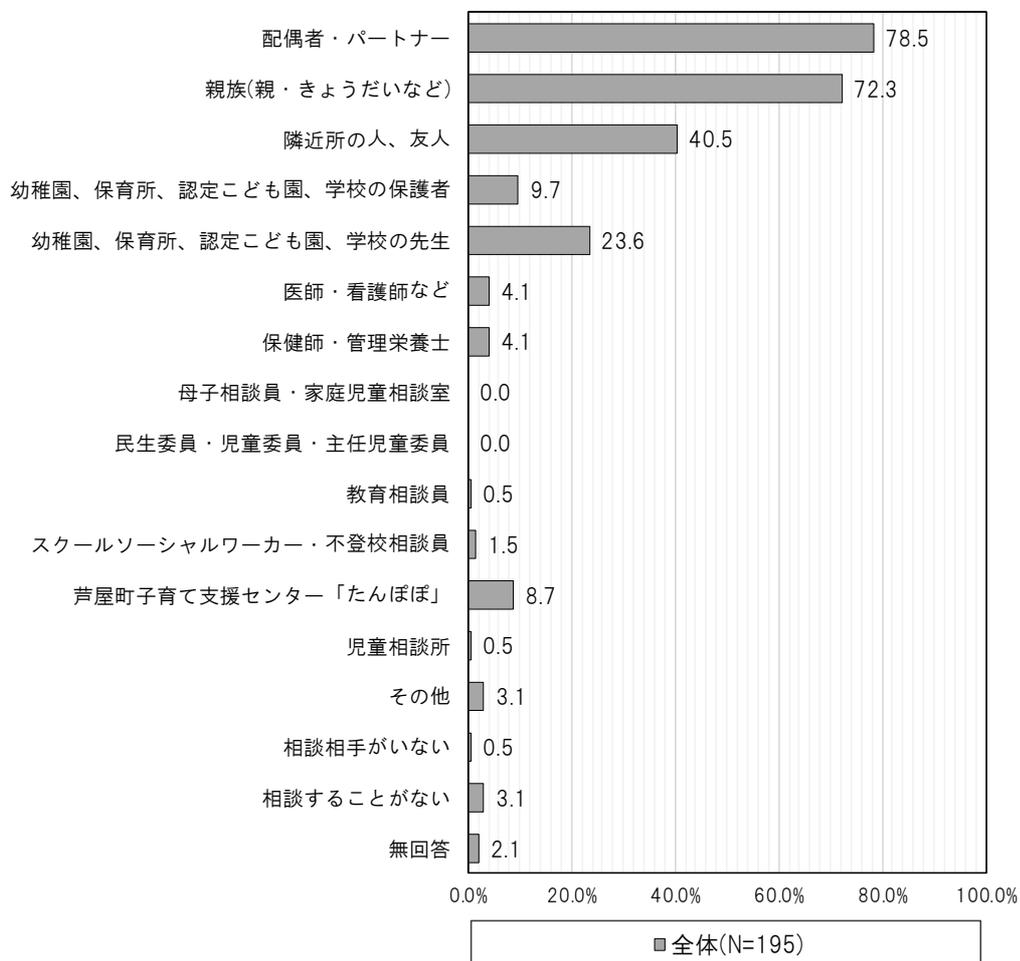
全体では、「子どもの育児やしつけに関すること」が 45.6%と最も高く、次いで、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(37.9%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(37.4%)の順になっています。



「その他」の回答…「配偶者の休みが少なくワンオペ育児になること」「地域の支援サービスや相談をしても解決に繋がらない」など

問 27 身近な地域で子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

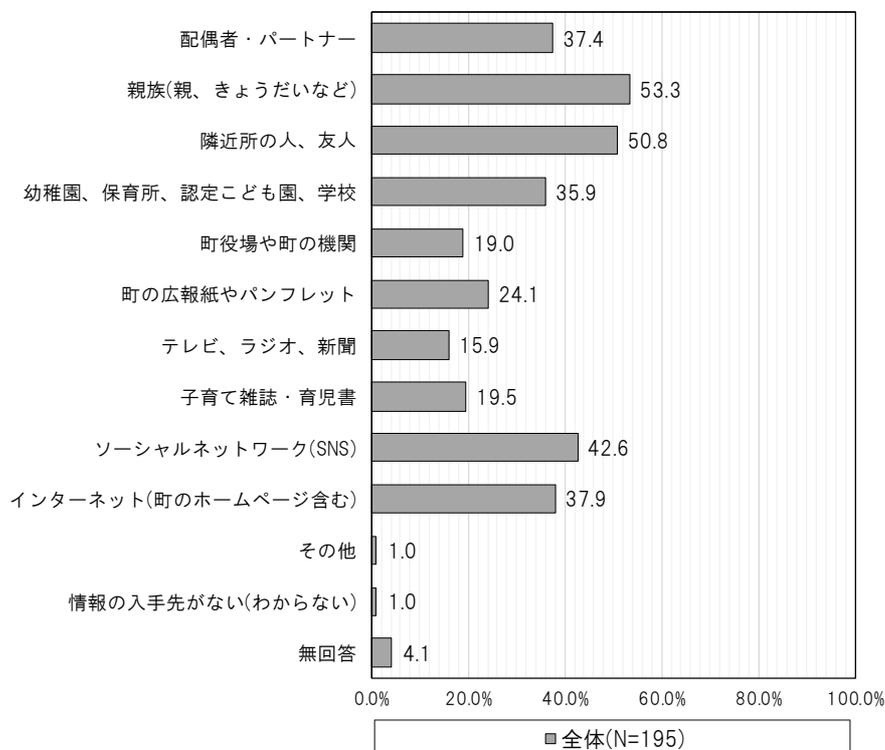
全体では、「配偶者・パートナー」が 78.5%と最も高く、次いで、「親族(親・きょうだいなど)」(72.3%)、「隣近所の人、友人」(40.5%)の順になっています。



「その他」の回答…「職場の人」「産後ケア事業者」「ソーシャルワーカー」など

問 28 子育てに関する情報をどこから入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

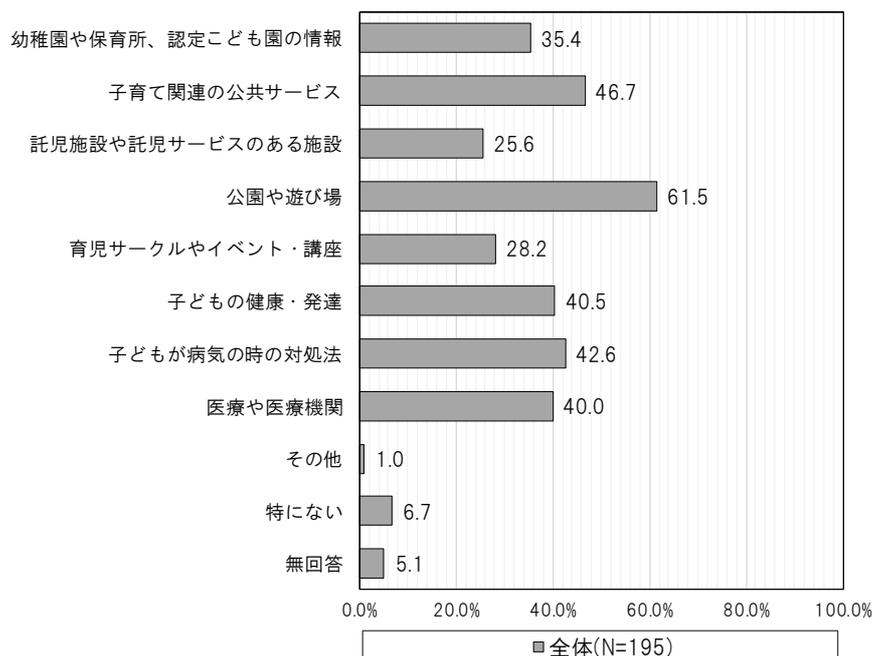
全体では、「親族(親、きょうだいなど)」が 53.3%と最も高く、次いで、「隣近所の人、友人」(50.8%)、「ソーシャルネットワーク(SNS)」(42.6%) の順になっています。



「その他」の回答…「職場の人」など

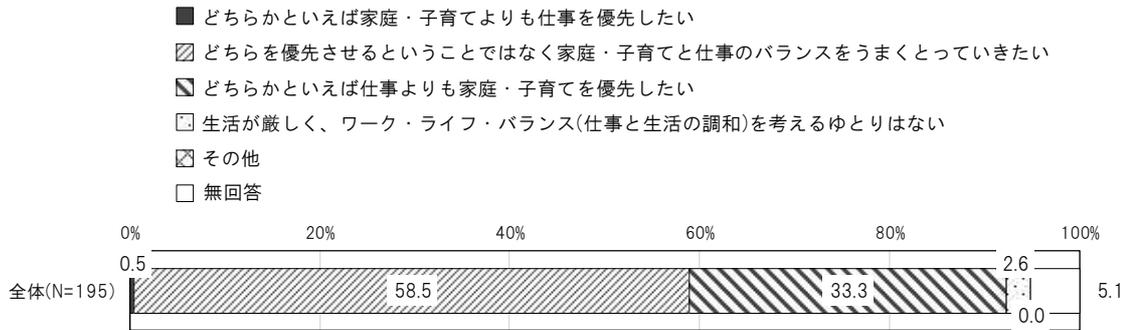
問 29 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「公園や遊び場」が 61.5%と最も高く、次いで、「子育て関連の公共サービス」(46.7%)、「子どもが病気の時の対処法」(42.6%) の順になっています。



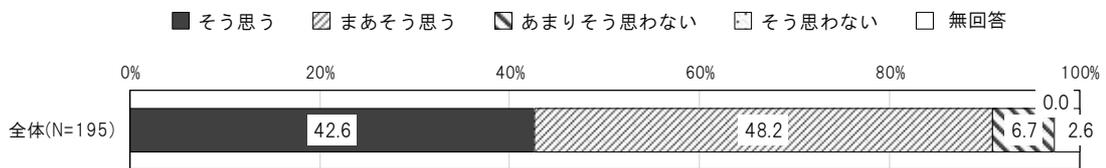
問 30 仕事と家庭・子育てのバランスについて、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。(1つに○)

全体では、「どちらを優先させるということではなく家庭・子育てと仕事のバランスをうまくとっていききたい」が 58.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば仕事よりも家庭・子育てを優先したい」(33.3%)、「生活が厳しく、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考えるゆとりはない」(2.6%)の順になっています。



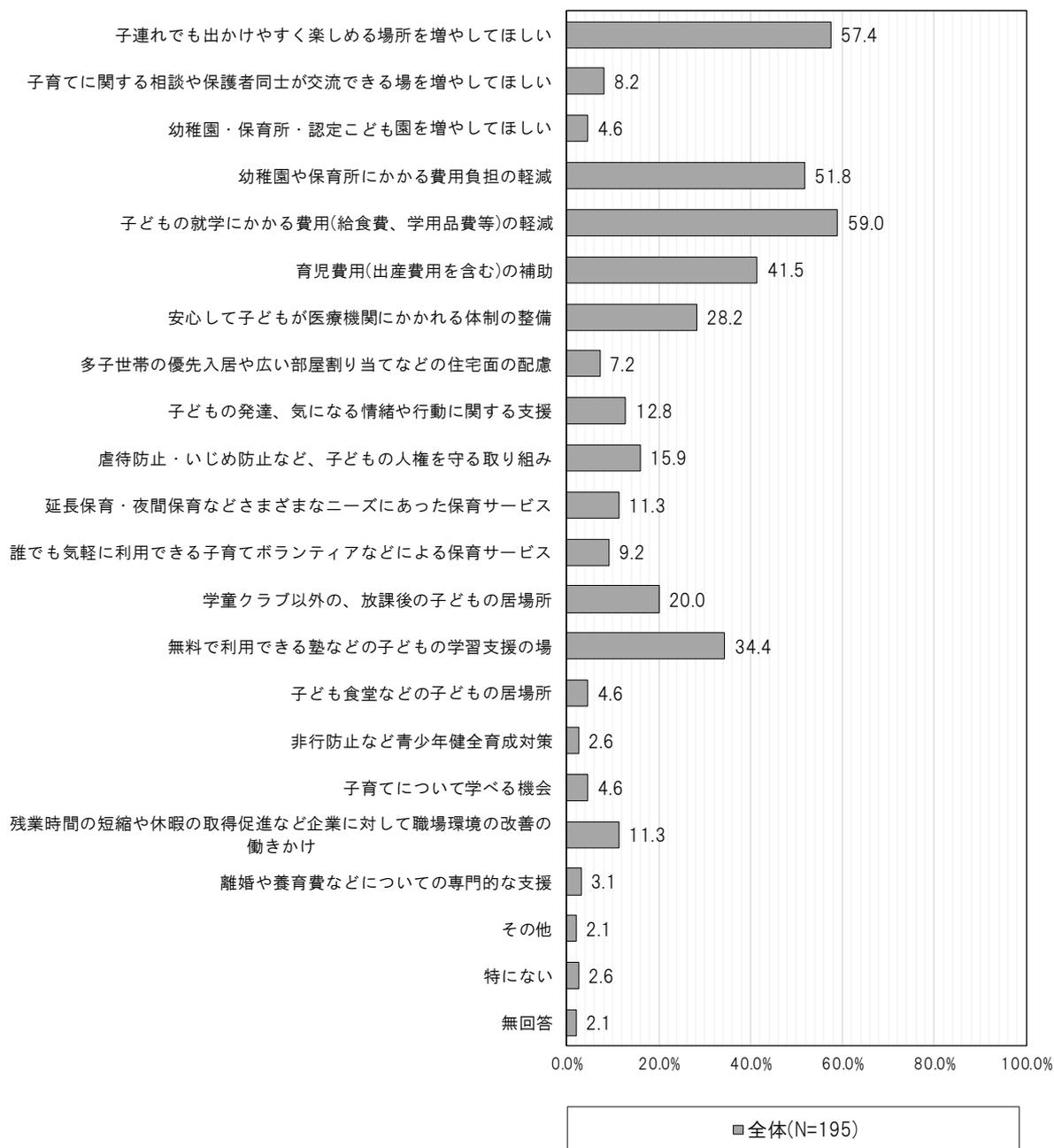
問 31 芦屋町は安心して子どもを産み育てることができる町だと思いますか。(1つに○)

全体では、「まあそう思う」が 48.2%と最も高く、次いで、「そう思う」(42.6%)、「あまりそう思わない」(6.7%)の順になっています。



問 32 芦屋町に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。(期待するもの上位5つまでに○)

全体では、「子どもの就学にかかる費用(給食費、学用品費等)の軽減」が59.0%と最も高く、次いで、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(57.4%)、「幼稚園や保育所にかかる費用負担の軽減」(51.8%)の順になっています。



「その他」の回答…「多子世帯に対する支援」「もっと障がい児について知ってほしい」「子供服専門店がほしい」「母子ですが収入が良いので何も手当てがもらえない、少しは何かあると助かります」など

11. 自由意見

①子育て支援センター（2件）

パクパク料理教室のようなイベントを増やしてほしいです。

給食費や医療費については充実した支援があり、ありがたいと思っています。のびのび子育てできる環境も良いと思っています。が、はじめて芦屋町に住み、はじめての子育てをする人には少し馴染みにくさがる印象です。うまく言えませんが、言葉足らずといか…、たんぼぼなど施設はとても良いですが、イベントのない時などの利用方法がはじめての人にはどういうコンセプトかわかりにくく感じました。遠賀町のみらいテラスのように入館～の利用時間など目安を伝えるなどがあると、新参の利用者も古参の利用者も平等に利用しやすくなる気がしました。

②子育てをしやすい社会環境（5件）

スポーツ分野の充実。

芦屋町に児童館がほしい。

教育の現場と保護者の連携がうまく行くよう、間に入る人や機関などがあると良い。当事者同士ではうまくいかないこともあるので。現状あるのかもしれないが、保護者からするとそういうものがあると言う認識がなく、あるのであればもっと周知して欲しい。（私が知らないだけかもしれませんが…）

仕事をしないと生活が出来ないので、本当はもっと子どもとの時間を取りたいが我慢させている。

子育ての相談や、子連れで気軽にいける場や機会（ワークショップなど）が増えるといいと思う。産後はどうしても動きづらい状況、家庭のみで頑張るのが当たり前になっているが、もっと周りに頼りやすい雰囲気や場があると孤育てにならないのではないかなと思う。

③幼稚園、保育所等（5件）

芦屋中央幼稚園が認定こども園になり、生活面において大変助かっています。

運動会が昔より劣化している。安全面の配慮もあると思うがもう少し種目を増やすとか見て楽しい内容にしてほしい、走ってばかり。

現在こども園に通っているが、制服は本当に必要なのか疑問に思う。園に着いたらすぐに動きやすい体操服に着替えている。ここのこども園に通う以上制服を着せないといけないのは分かるが、幼稚園、保育所、こども園を利用する層の家庭の費用への補助があるとありがたい。

第2子を保育園に入所させるとき、第1子と同じ保育園に入所できず困った。同じ保育園に必ず入れるようにしてほしい。

認定こども園を増やして頂きたいです。就労中に妊娠出産や、就労予定の方が利用しやすいと思います。就労形態によっては保育園認定から幼稚園の認定を受けたい時も気軽に相談しやすいので、認定こども園の方が多いといいなあと思います。

④学校（4件）

授業参観など、学校行事を土日に実施してほしい。

他の地域と比べてタブレット学習の遅れが目立つ。

多様性について小学校に入学の際に不安ではあります。

徒歩で通学するには距離のある場所もあるのでなんとかしてほしい。

⑥公園や子どもの遊び場（4件）

芦屋ポート場のモーヴィができる前までは、よくポート場内の遊び場に気軽に行っていました。が、モーヴィになってしまっただけからは、予約が必要なので、その日に行こうと思っても満員で予約が取れないことが多く、行くことが減りました。中は充実しているのでたくさん遊べたらいいのと思っています。
海浜公園が近く子どもが好きなのでよく利用している。ただ、夏のアクアシアン営業中は駐車料金がかかる。芦屋町民は半額でもいいのではと思う。夕方 16 時 30 分頃～の 1 時間程度公園のみの利用でもかかるのはちょっと…と思った。
山鹿地区に公園があると嬉しいです。海浜公園、中央公園は芦屋地区、みどりんぱーく（水巻町）へくるまで行かないといけないため。
柏原地区に住んでますが、近くに公園がないので遊ぶところに困ってます。

⑥放課後の過ごし方（2件）

子どもに持病があり、学童クラブに入れず町の放課後デイも定員いっぱいに入れず、町外の放課後デイを利用することになりました。できたら家からも近くて顔なじみのある町内の施設を利用したかったです。
町内に塾や子どもだけで行ける、（放課後の）習い事の場所をもっと増やしてほしいです。

⑦医療体制（7件）

ワクチン接種に関して。インフルエンザワクチン接種を無料で受けられるようにしてほしい。また、難しいが学校などで接種できるようになれば良いと思う。インフルエンザの流行時期が子どもたちにとって大切な時期と重なること、兄弟姉妹がいる家庭ではワクチン接種の費用が高額になり受けさせられないこと、コロナ前には補助があったが現在は無いこと、などで親子共に負担が増えており、これらを少しでも解消していけると良いと思う。
休日、夜間の子どもの病院が遠いです。立派な病院があるのに、夜間対応できないのでしょうか。
祝日に子どもが発熱した時に、どこの病院に行けばよいのか分からなかった。お知らせにあった病院も連絡がつかずに困った。医療を充実させてほしい。
町内に小児科があれば良かったなと思うことが多々あります。
町内に小児科専門の病院があれば便利だと思います。芦屋中央病院があるのに、小児科と産婦人科がないのが残念です。緊急の時に利用できると思えば、子育てもしやすくなると思います。
乳幼児検診を定期的に受けさせて欲しいです。正常発達しているか、順調に体重が増えて成長しているか確認してアドバイスを求める機会が欲しいです。正常発達に沿ってなければ、治療などの情報を教えてほしいです。（母子手帳に書かれている月齢の検診を希望）
隣町の小児科に行かないといけなし、緊急の時に北九州の病院まで行かないといけなし不安がある。

⑧経済的な支援（22件）

兄弟が年が離れているため、第3子で在園児がいないので4月より、保育料が満額になり、かなり生活が厳しくなり困っています。
親のリフレッシュ、通院などで一時保育を利用しているが、保育料が高すぎるので、なるべく預けないようにしているが、保育料の減額や免除などあれば、もっと利用したい。
妊娠中に、子育ての事を考えて芦屋町に転入してきました。すでに、子どもがいる家庭の方は、芦屋町へ転入すると商品券の補助制度の対象ですが、妊娠中の人はその後子どもが生まれても対象外です。子連れの引っ越しは大変のため、生まれる前に転入したのですが、このような状況でも対象となるよう条件を見直していただけるとありがたいです。

1 教育・保育ニーズ調査
(未就学児童の保護者)

夫婦で公務員です。保育料が世帯年収で決まるのは理解できますが料金が高すぎて働いても殆ど持っていかれるので困ります。第二子は半額とのことですが、隣の北九州市は無料だとのことなので近隣との差が凄いです。なんとか保育料が下げただけたらと思います。
福岡市や北九州市のように第二子以降の保育料を無償化してほしい。
保育料が安くなれば嬉しい、福岡市の様なオムツサービスや子ども2人目以降の保育料が無料になれば嬉しい
保育料の無償化をしてほしい。
0歳からの保育園の無償化
保育料を0歳から無償にして欲しい。保育園の様子を動画などで配信して欲しい。
北九州市のように、保育所の同時利用や年齢にかかわらず、第3子の保育料が軽減になると助かります。
両親2人とも就労している家庭やひとり親世帯が増えている中、3歳以上のみ保育料無償化になっても、あまり意味が無いように感じます。女性の社会進出を促すのであれば、その辺も検討して頂きたいです。
産休育休中の保育料を今払っている保育料より少し安くしてほしいです。
3歳未満の保育料が高く感じるため、町のサポートがあると、大変助かります。また育児の消耗品費用(おむつ)やミルク・離乳食などの食費も結構かかります。せめて、おむつ定期便などの町のサポートがあると、大変助かります。
1歳2歳児の保育料の無償化を強く希望します。あと、給食費の無償化になれば助かります。
子ども用品を購入できる店が少ない。スーパーの宅配サービスが対象外で利用できない。
子育て支援で商品券を頂いて非常にありがたかったが、子ども用品を購入できる場所がない、コスモスだけ。できれば、洋服や、おもちゃなど購入できるともっといいと思う。そういう施設を増やす、または使用できるような商品券に変えてほしい。また、産休後、収入が減る際の保育料を見直してほしい。
子どもに頂ける商品券はありがたいが、子どものために使えるお店がないのももっと増えたらいいと思う。
芦屋町は、生活応援金や商品券を頂けている方ですが、それでもシングルマザーだと足りず、不安だらけです。その一つに、たくさん働きたいが、子どもとの時間が減る。たくさん働けば母子の手当てが減るので、週2、3回しか働けない。など、悪循環です。今は貯金を切り崩して生活していますが、底をつきます。
遠くの私立学校に通う子の交通費の免除を小学校からに変更してほしいです。
医療費無料で助かってます。ありがとうございます。
学童に預ける金額の負担を軽減してほしい。
芦屋町に引っ越してきて補助金など豊富でとても経済的には嬉しいと思うことが多いです。

◎住宅環境（2件）

公園はあり、保育所にも預けやすく、子育てしやすい環境だと思う。ただ、住む場所が少ない。古い町営アパートはたくさんあるのですが…、正直汚い。壊して、更地にして、もっと若い人を呼び込まないと、少子高齢化は進んで行くばかりと思う。芦屋に住みたいけど場所がないと友達からも聞くので残念。
上の子が小学生で学校（友達も）が大好きで永住したいと話すけれど、学区内での住居が無い。せめて空き地を販売してくれたら、芦屋町から出ないと言う声もありますが…。

⑩交通の利便性、通学について（2件）

交通の便がよくなってほしいです、JR、高速道路が遠すぎる。

車がないと行けない場所が多い

⑪道路、防犯対策（1件）

東小学校の学童クラブが、遠く人通りも少ないので心配。

⑫情報提供、相談窓口（3件）

このアンケートで初めて知ることが多々あったのもっと情報を流してほしい。

芦屋町観光協会のインスタをフォローしているが、芦屋町のいつも同じお店ばかりのっていて、有益ではない。習い事もダンスしかのっていない、他に習い事はないのか？

既存のサービスを知る機会があれば、利用する人も増えると思いました。

⑬その他（13件）

アンケートの内容が難しく（チェックしにくい）、長い。

障害児母として、もっと知って欲しいのこのアンケートも健常児しかいないような回答しかなかったです。みんな健常児とは限られませんし、みんな保育園に行っているとは限られません。児童発達に行っているし、障害児を育てる母として選択肢が少なすぎなのでは？子育て＝健常児ではないのは頭に入れて欲しいです。

家の近所に、野良猫や空き家が多いので、子どもの環境に悪い。どうにかして欲しい。

すごくいい町芦屋町

とても子育てしやすい町だと思っています。現在の支援に満足しております。

芦屋町で子育てできて本当に良かったともいます。色々な支援があり、本当にありがたいです！町外の人にもおすすめしています。

何かある時に役場の方に問い合わせると、いつもご丁寧に対応してくださって有難いです！！もっともっと芦屋町が住みやすくなる事を期待しています！

現状だけでも十分に満足しています。芦屋に引っ越してきて住みやすさ、子育てのしやすさを体感し、感謝しています。コロナ禍で外にも出れず、子育てに追われる日々でしたが、わからないことがあった時、外に出ずとも電話で相談できたおかげでとても助かりました。ありがとうございました。他の地域の方の話を知ると、芦屋で出産してよかったと思います。

現状維持をお願いしたい。

子どもを多く持つ家族が近所に沢山いて生活しやすいです。保育園の先生たちも日々の子どもの様子を話してくれたり親身に相談に乗ってくれる先生方がいるため育児への不安が少しくなりました。引き続き子どもたち、その家族に優しいまちづくりをお願いします。ありがとうございます。市役所の子育て支援の方たちも優しく日々助かってます。

子育てしている立場として、芦屋町に住んでいて制度が充実していてとてもありがたいです。安心して子育てができています。

職場で浅川、ひびきののママさんの話をよく聞きますが、保育園は遠いし、検診なども流れ作業で産後ケアの内容もひどいものようです。芦屋町は役場に他の用事で行ったときも保健師さんに息子ちゃんのご飯食べるようになりましたか？など温かく声を掛けて頂いたり、補助もいろいろありましたし、保育園も1番近くに入れていただいて、先生たちも優しいしとても恵まれていると感じています。これからも保健師さんや先生方がやりがいを感じて働けるようなお給料であることを願うばかりです。

役場の子育て支援課、福祉課の職員さんにはとても親身になって対応して下さり感謝しています。

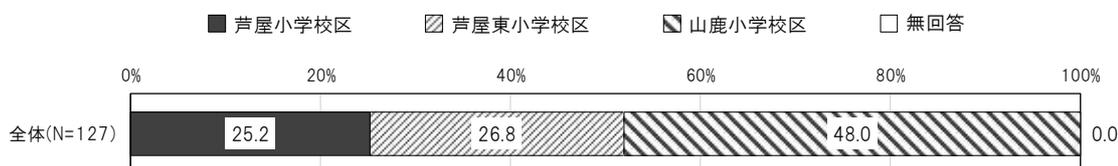
1 教育・保育ニーズ調査
(未就学児童の保護者)

2 教育・保育ニーズ調査 (小学生児童の保護者)

1. お子さんご家族について

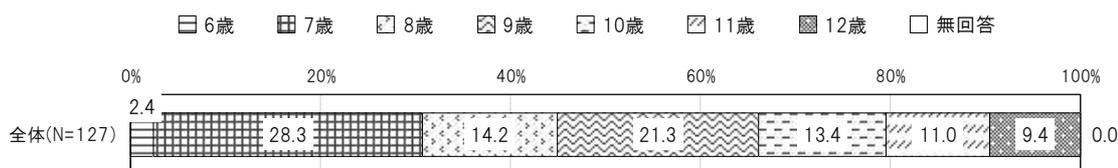
問1 あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。(1つに〇)

全体では、「山鹿小学校区」が 48.0%と最も高く、次いで、「芦屋東小学校区」(26.8%)、「芦屋小学校区」(25.2%) の順になっています。

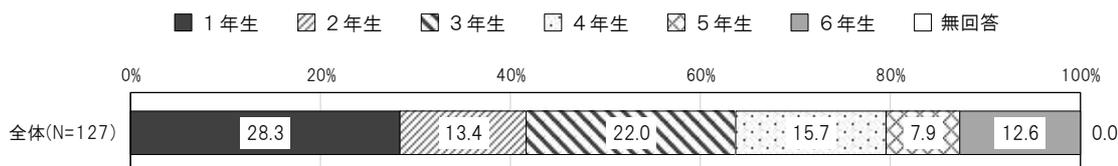


問2 あて名のお子さんの生年月、学年をご記入ください。(生年月日から数

全体では、「7歳」が 28.3%と最も高く、次いで、「9歳」(21.3%)、「8歳」(14.2%) の順になっています。

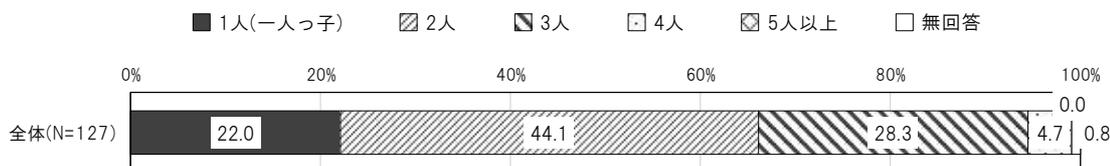


学年では、「1年生」が 28.3%と最も高く、次いで、「3年生」(22.0%)、「4年生」(15.7%) の順になっています。



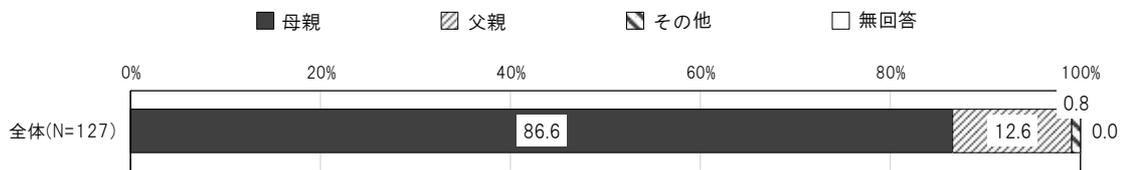
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。

全体では、「2人」が 44.1%と最も高く、次いで、「3人」(28.3%)、「1人(一人っ子)」(22.0%) の順になっています。



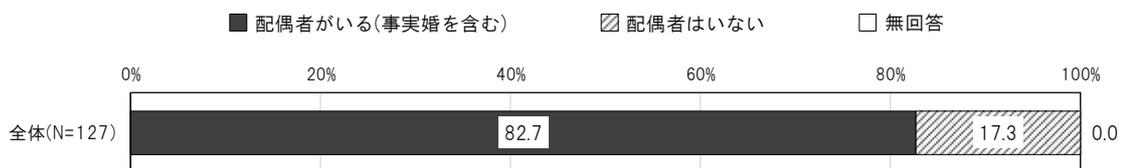
問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。(1つに〇)

全体では、「母親」が86.6%と最も高く、次いで、「父親」(12.6%)、「その他」(0.8%)の順になっています。



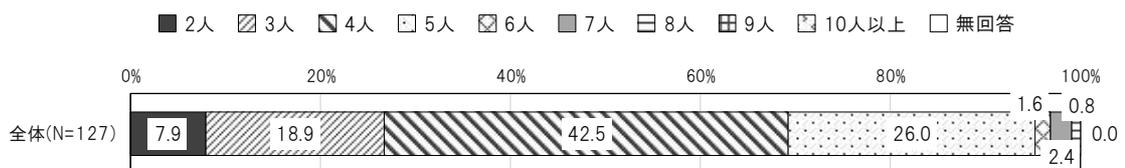
問5 あなたの配偶関係についてお答えください。(1つに〇)

全体では、「配偶者がいる(事実婚を含む)」が82.7%と最も高く、次いで、「配偶者はいない」(17.3%)の順になっています。



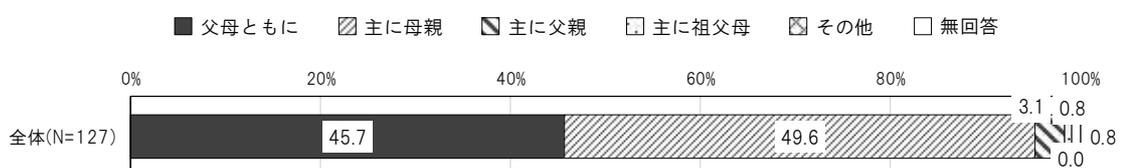
問6 あなたとあて名のお子さんを含め、世帯員の人数は何人ですか。(1つに〇)

全体では、「4人」が42.5%と最も高く、次いで、「5人」(26.0%)、「3人」(18.9%)の順になっています。



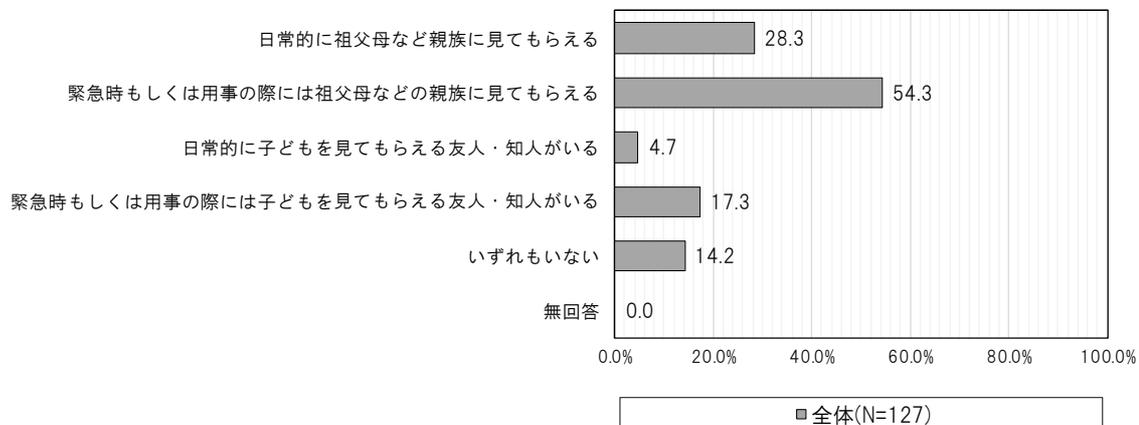
問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)

全体では、「主に母親」が49.6%と最も高く、次いで、「父母ともに」(45.7%)、「主に父親」(3.1%)の順になっています。



問8 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が 54.3%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母など親族に見てもらえる」(28.3%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」(17.3%)の順になっています。



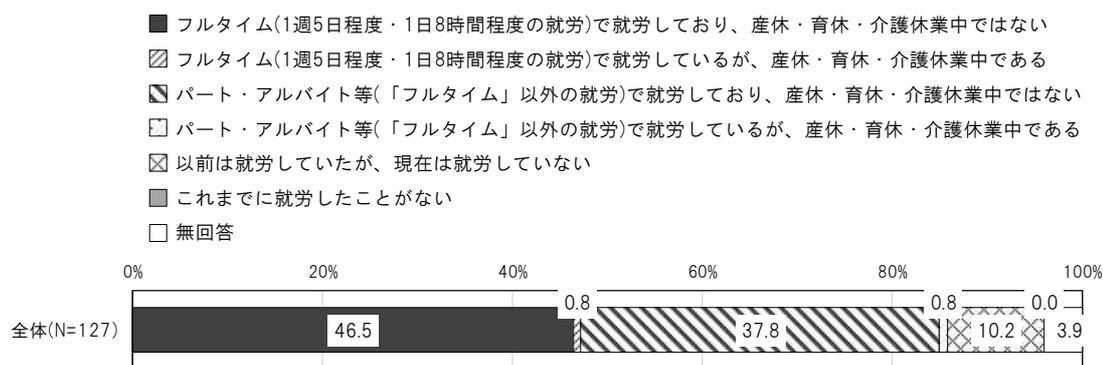
2. 保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 （母親、父親それぞれ該当する項目1つに○、選択肢によっては日数や時間等もお答えください。）▶産休・産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の就労状況についてお答えください。

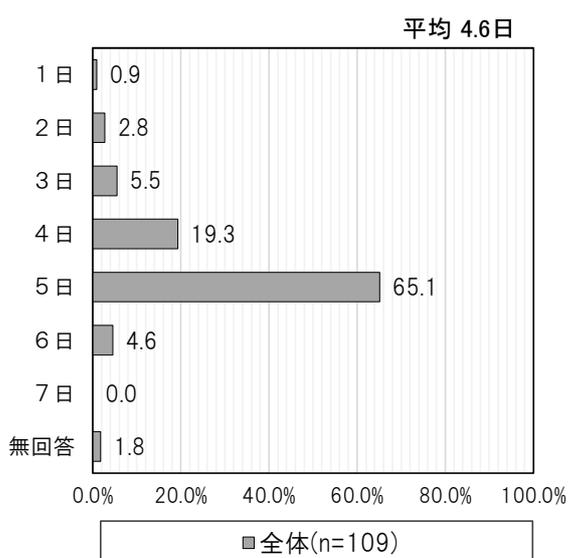
問9① 母親

全体では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.5%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(37.8%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(10.2%)の順になっています。

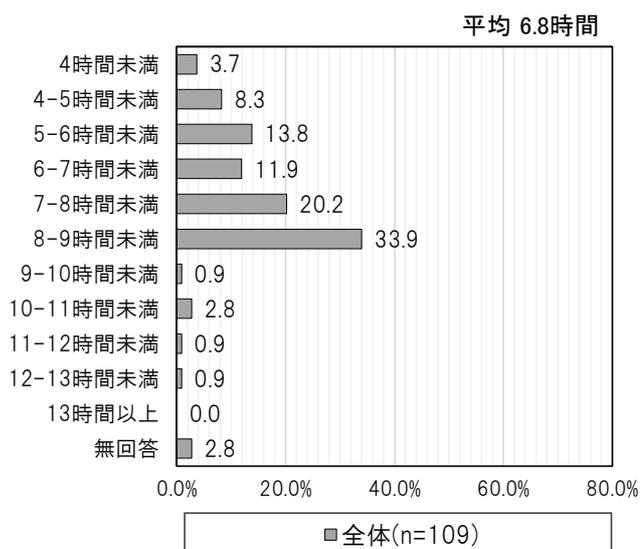
1週当たりの就労日数は、「5日」が65.1%と最も高く、次いで、「4日」(19.3%)、「3日」(5.5%)の順になっています。1日当たりの就労時間は、「8-9時間未満」が33.9%と最も高く、次いで、「7-8時間未満」(20.2%)、「5-6時間未満」(13.8%)の順になっています。



■就労日数(1週当たり)



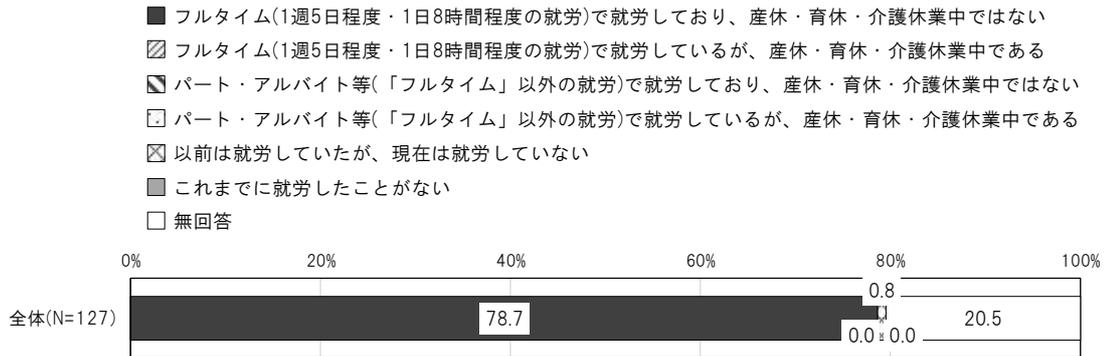
■就労時間(1日当たり)



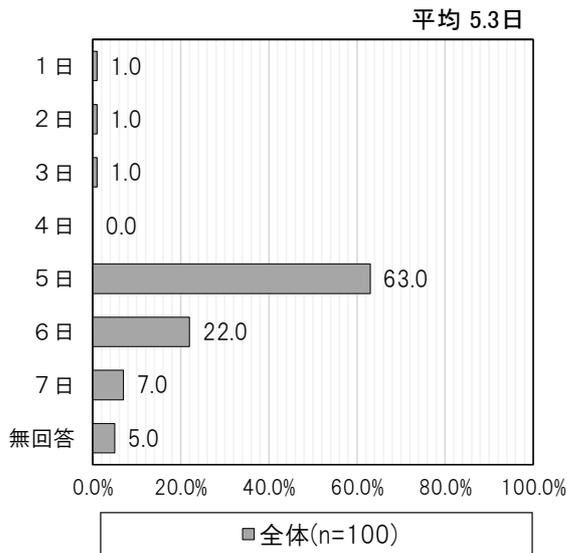
問9② 父親

全体では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が78.7%と最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(0.8%)の順になっています。

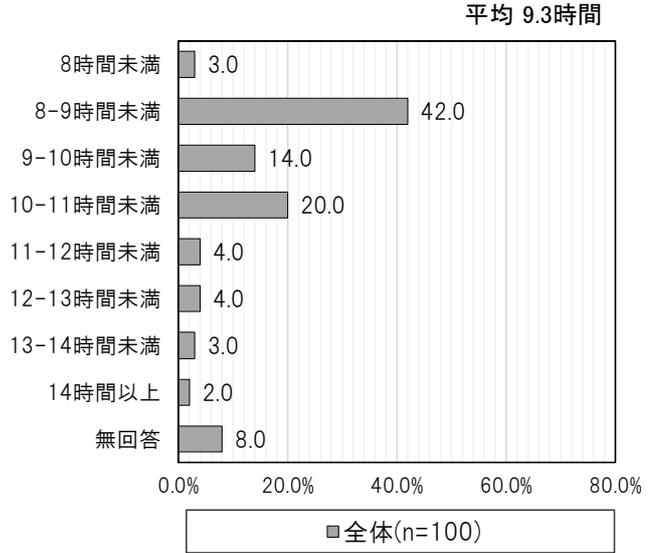
1週当たりの就労日数は、「5日」が63.0%と最も高く、次いで、「6日」(22.0%)、「7日」(7.0%)の順になっています。1日当たりの就労時間は、「8-9時間未満」が42.0%と最も高く、次いで、「10-11時間未満」(20.0%)、「9-10時間未満」(14.0%)の順になっています。



■ 就労日数(1週当たり)



■ 就労時間(1日当たり)

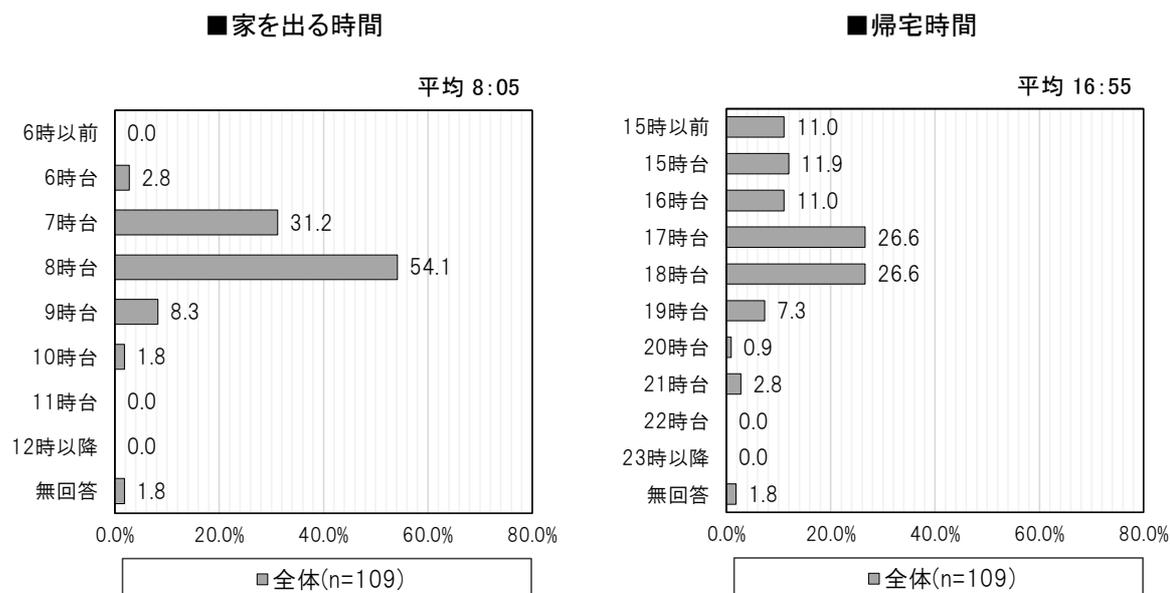


問9で「1」～「4」に○をつけた方(パート・アルバイト等で就労している方)にうかがいます。

問9-1 就労のために家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

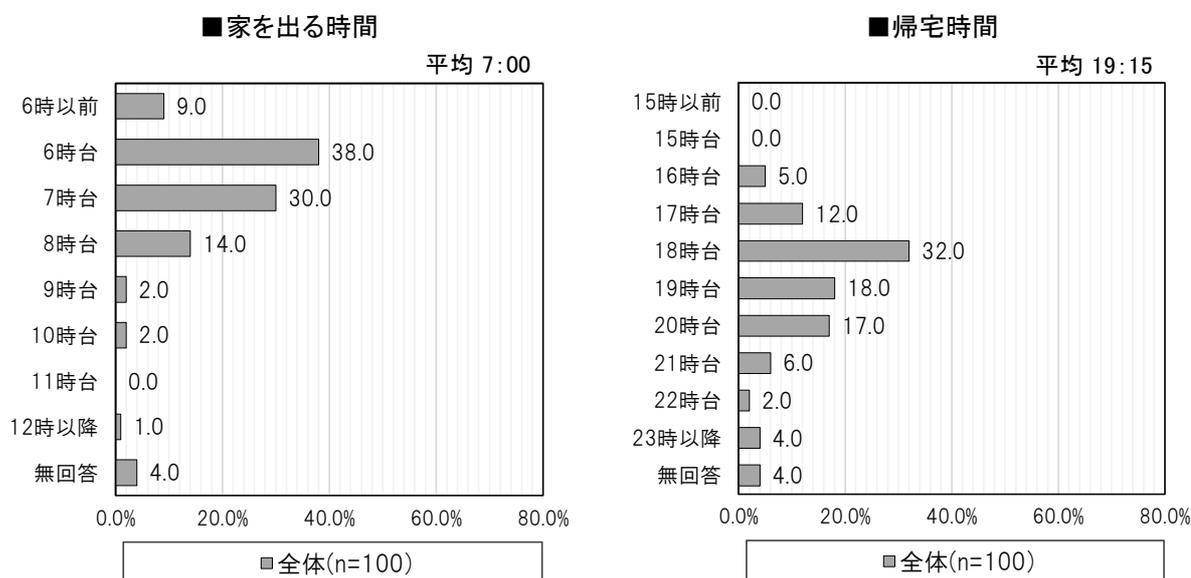
① 母親

家を出る時間は「8時台」が54.1%と最も高く、次いで、「7時台」(31.2%)、「9時台」(8.3%)の順になっています。帰宅時間は「17時台」「18時台」が26.6%と最も高く、次いで、「15時台」(11.9%)、「15時以前」「16時台」(11.0%)の順になっています。



② 父親

家を出る時間は「6時台」が38.0%と最も高く、次いで、「7時台」(30.0%)、「8時台」(14.0%)の順になっています。帰宅時間は「18時台」が32.0%と最も高く、次いで、「19時台」(18.0%)、「20時台」(17.0%)の順になっています。

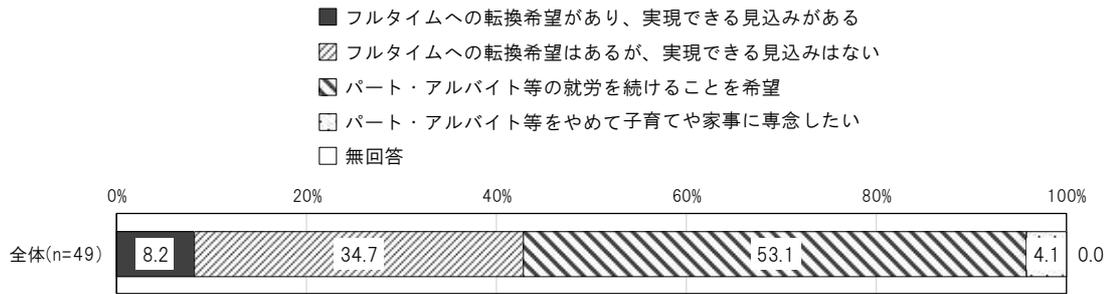


問9で「3」または「4」に○をつけた方(パート・アルバイト等で就労している方)にうかがいます。

問9-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ1つに○)

問9-2① 母親

全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が53.1%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(34.7%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(8.2%)の順になっています。



問9-2② 父親

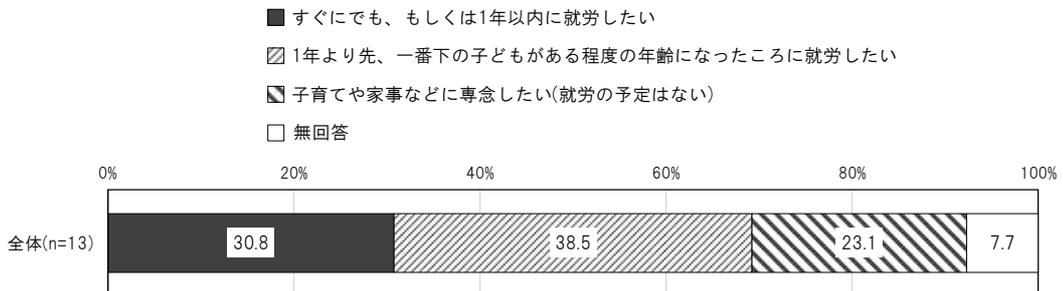
今回調査では、該当者はいませんでした。

問9で「5」または「6」に○をつけた方(就労していない方)にうかがいます。

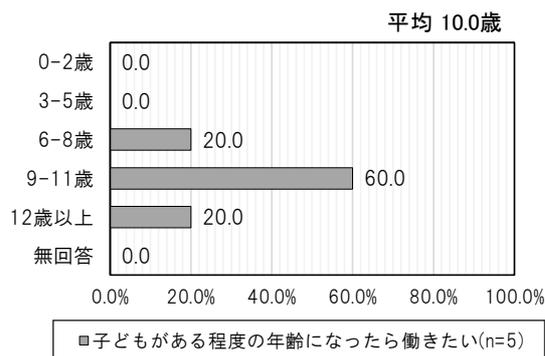
問9-3 今後、就労したいという希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ1つに○)

問9-3① 母親

全体では、「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」が38.5%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(30.8%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(23.1%)の順になっています。また、就労を希望する時の子どもの年齢は、平均10.0歳となっています。



■子どもが何歳になった頃に就労を希望するか



問 9-3② 父親

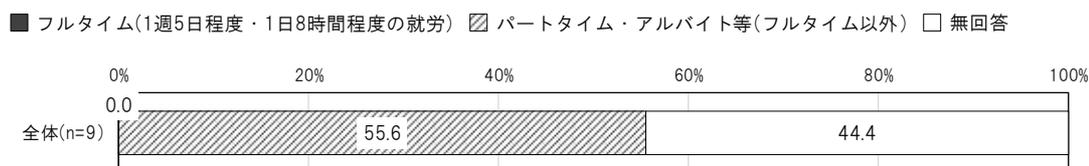
今回調査では、該当者はいませんでした。

問 9-3 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 9-4 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親それぞれ1つに○) ▶
「2. パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)」を選択した場合、1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間を()内に数字でご記入ください。

ア. 母親の希望する就労形態

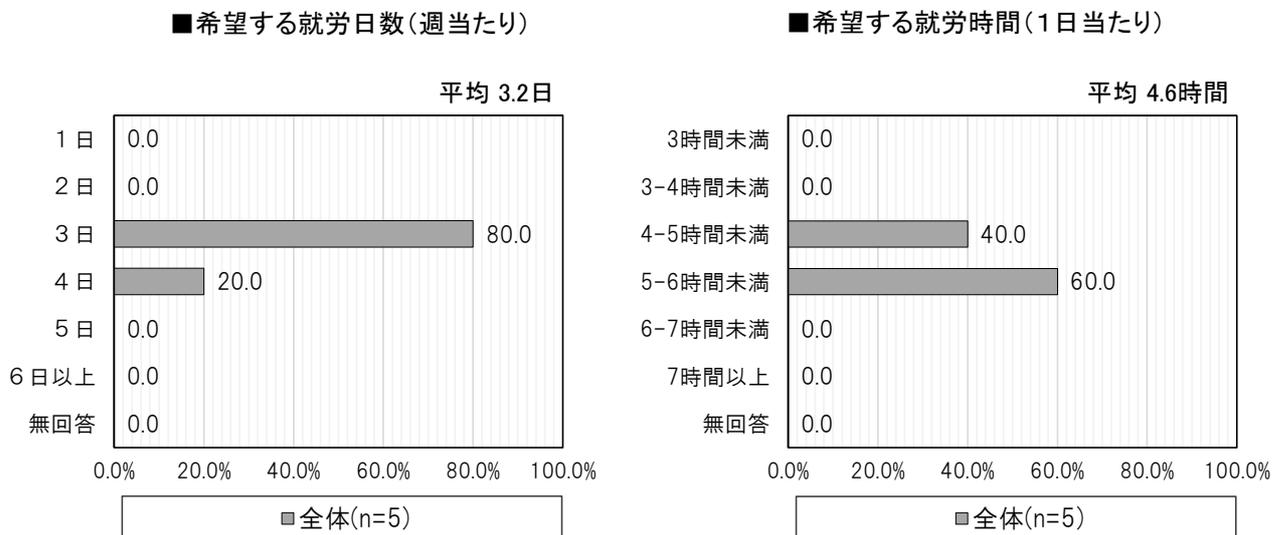
全体では、「パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)」が 55.6%と最も高く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(0.0%)の順になっています。



イ. 母親の希望する就労日数と就労時間

就労日数は、「3日」が 80.0%と最も高く、次いで、「4日」(20.0%) の順になっています。

就労時間は、「5-6 時間未満」が 60.0%と最も高く、次いで、「4-5 時間未満」(40.0%) の順になっています。



問 9-3② 父親

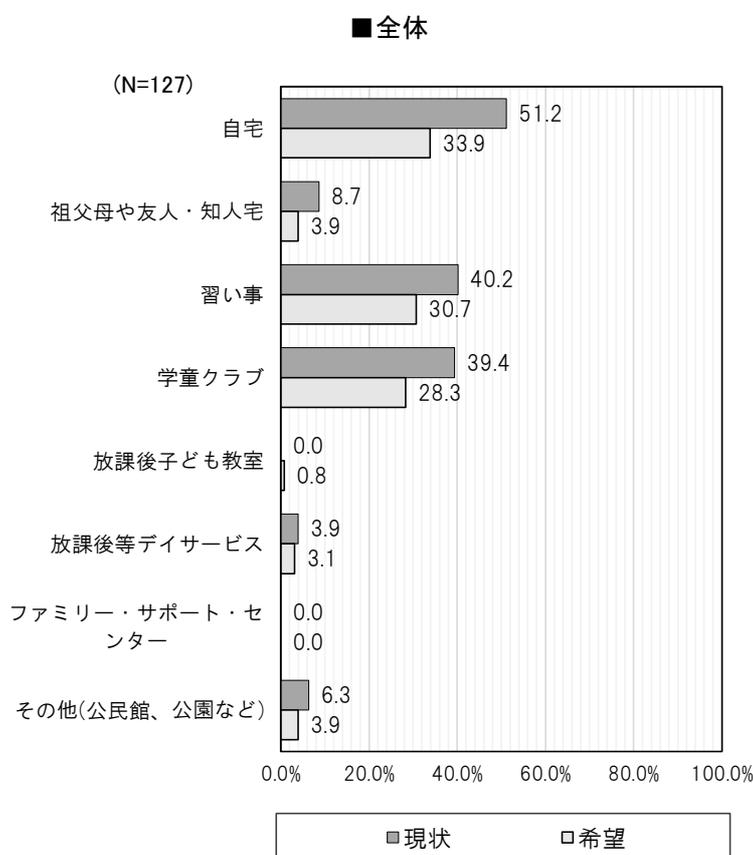
今回調査では、該当者はいませんでした。

3. 小学校の放課後の過ごし方について

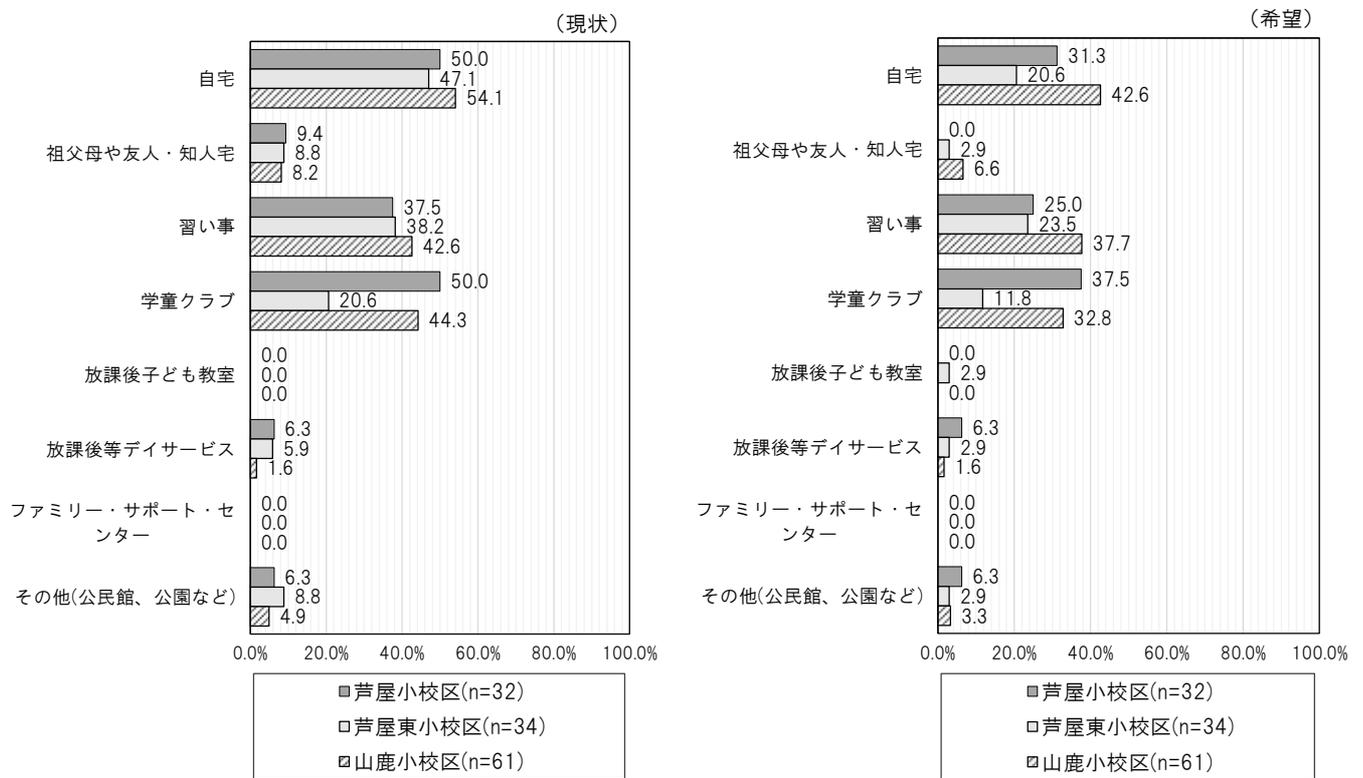
問10 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、現状と希望する日数を（）内に数字でご記入ください。）

現状の過ごし方は、「自宅」が 51.2%と最も高く、次いで、「習い事」（40.2%）、「学童クラブ」（39.4%）の順に続いており、希望の過ごし方についても現在の過ごし方と同様の傾向がみられます。

小学校区別でみると、「学童クラブ」の利用状況は、芦屋小学校区が 50.0%と最も高く、次いで、山鹿小学校区が 44.3%、芦屋東小学校区が 20.6%の順になっています。



■小学校区別



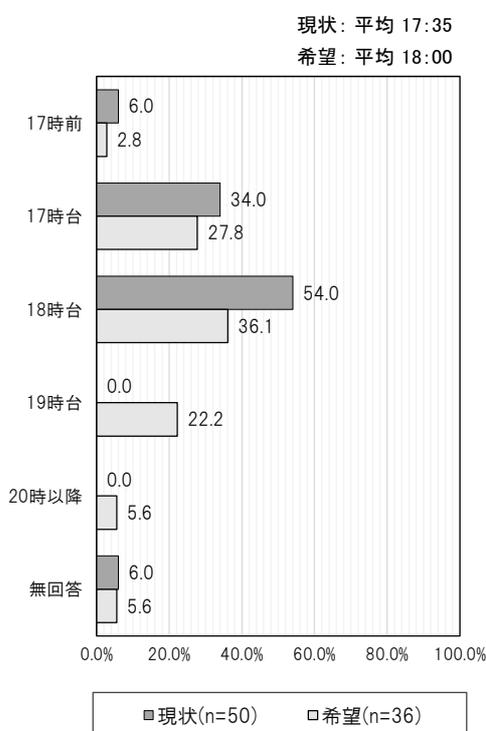
放課後に過ごす場所の週当たりの利用日数は、現状が平均 3.2 日、希望は平均 3.3 日となっています。

また、学童クラブと回答した人に、利用終了の時間帯の意向を尋ねたところ、現状、希望ともに「18 時台」(54.0%、36.1%) の回答が最も高く、現状で平均 17:35、希望で平均 18:00 となっています。放課後子ども教室と回答した人に、利用終了の時間帯の意向を尋ねたところ、一人が「17 時台」までの利用を希望しています。

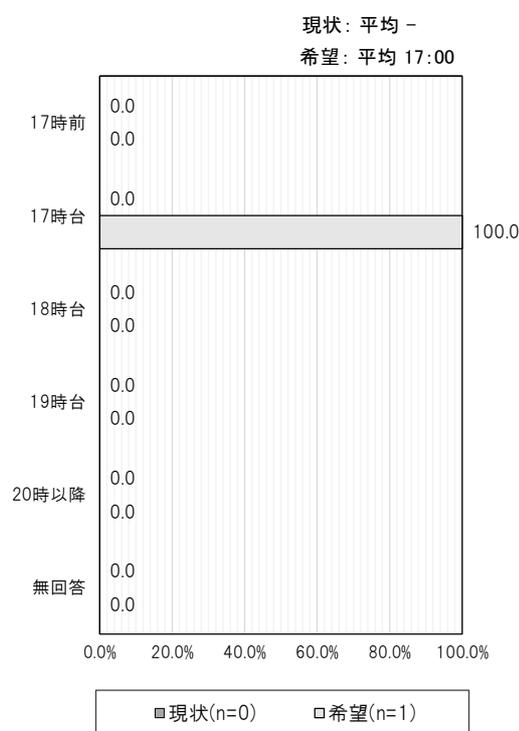
■放課後に過ごす場所の週当たり利用日数の現状と希望（平均日数）

	平均日数(日)	
	現状	希望
自宅	3.6	3.5
祖父母や友人・知人宅	2.5	2.8
習い事	2.2	2.4
学童クラブ	3.9	4.1
放課後子ども教室	-	2.0
放課後等デイサービス	3.4	4.5
ファミリー・サポート・センター	-	-
その他(公民館、公園など)	1.9	2.2
全体	3.2	3.3

■利用終了の時間帯の状況と意向（学童クラブ）



■利用終了の時間帯の状況と意向（放課後子ども教室）

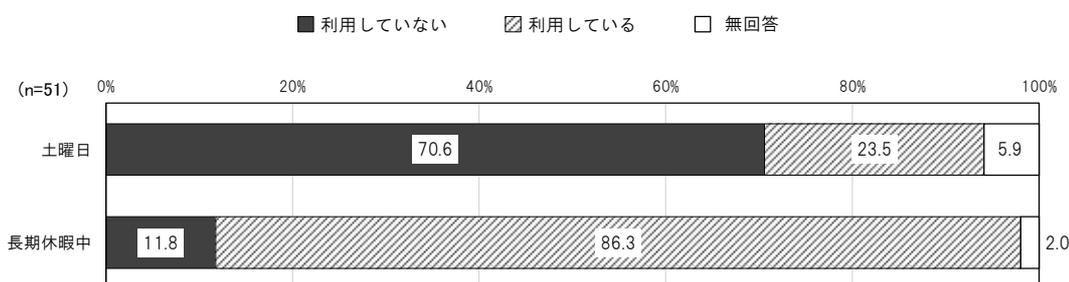


問 10 で「4 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 学童クラブを土曜日や夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中も利用していますか。(1 つに○、利用している場合は、利用時間帯を () 内に数字でご記入ください。

土曜日では、「利用していない」が 70.6%、「利用している」が 23.5%となっています。
 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「利用している」が 86.3%、「利用していない」が 11.8%となっています。

利用している時間帯について、土曜日の利用開始は平均 8：40、終了は平均 16：35 となっています。また、長期休暇期間中の利用開始は平均 8：10、終了は平均 17：25 となっています。



■土曜日、長期休暇中に利用している時間帯

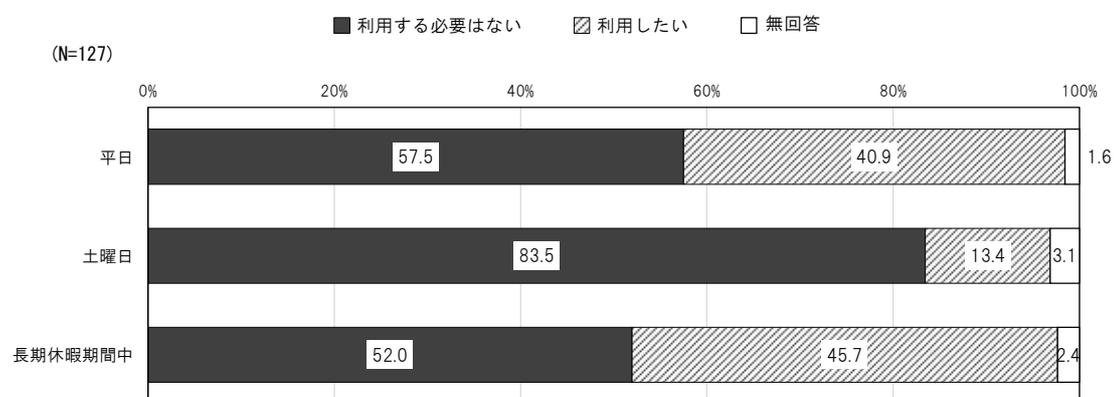
	開始時間	終了時間
土曜日	平均 8:40	平均 16:35
長期休暇期間中	平均 8:10	平均 17:25

問 11 あて名のお子さんについて、今後、平日、土曜日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中における学童クラブの利用意向はありますか。現在、利用中の方もお答えください。(1つに○) また、利用を希望する場合は、週あたりの利用日数と希望する利用時間帯もお答えください。

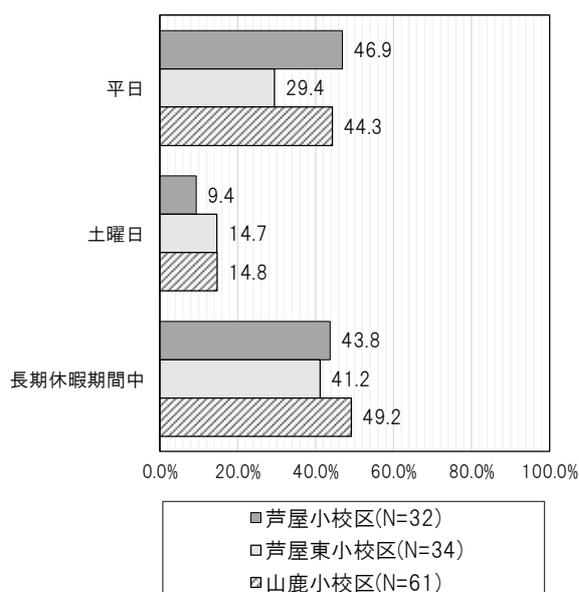
平日では、「利用する必要はない」が57.5%、「利用したい」が40.9%となっています。土曜日では、「利用する必要はない」が83.5%と最も高く、次いで、「利用したい」(13.4%)の順になっています。

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中では、「利用する必要はない」が52.0%と最も高く、次いで、「利用したい」(45.7%)の順になっています。

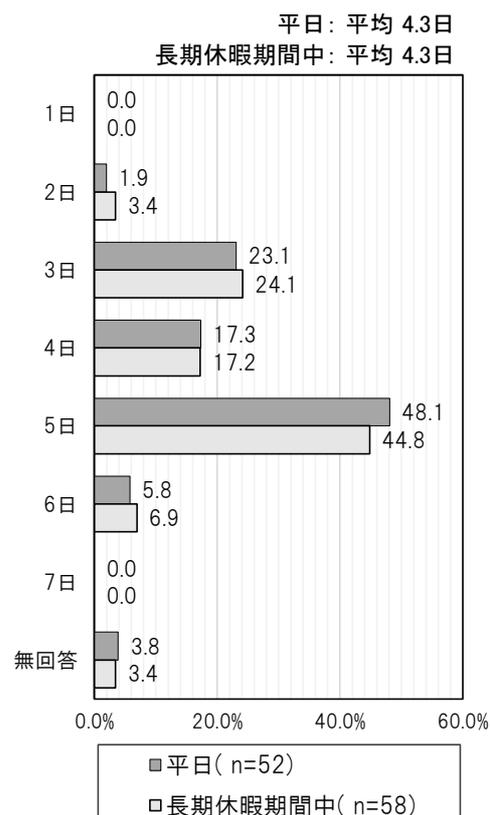
小学校区別で利用したい人の割合みると、長期休暇期間中では、すべての小学校区で4割を超えています。また、平日の利用希望日数は平均4.3日、長期休暇期間中の希望日数は平均4.3日となっています。



■ 利用したい人の割合(小学校区別)



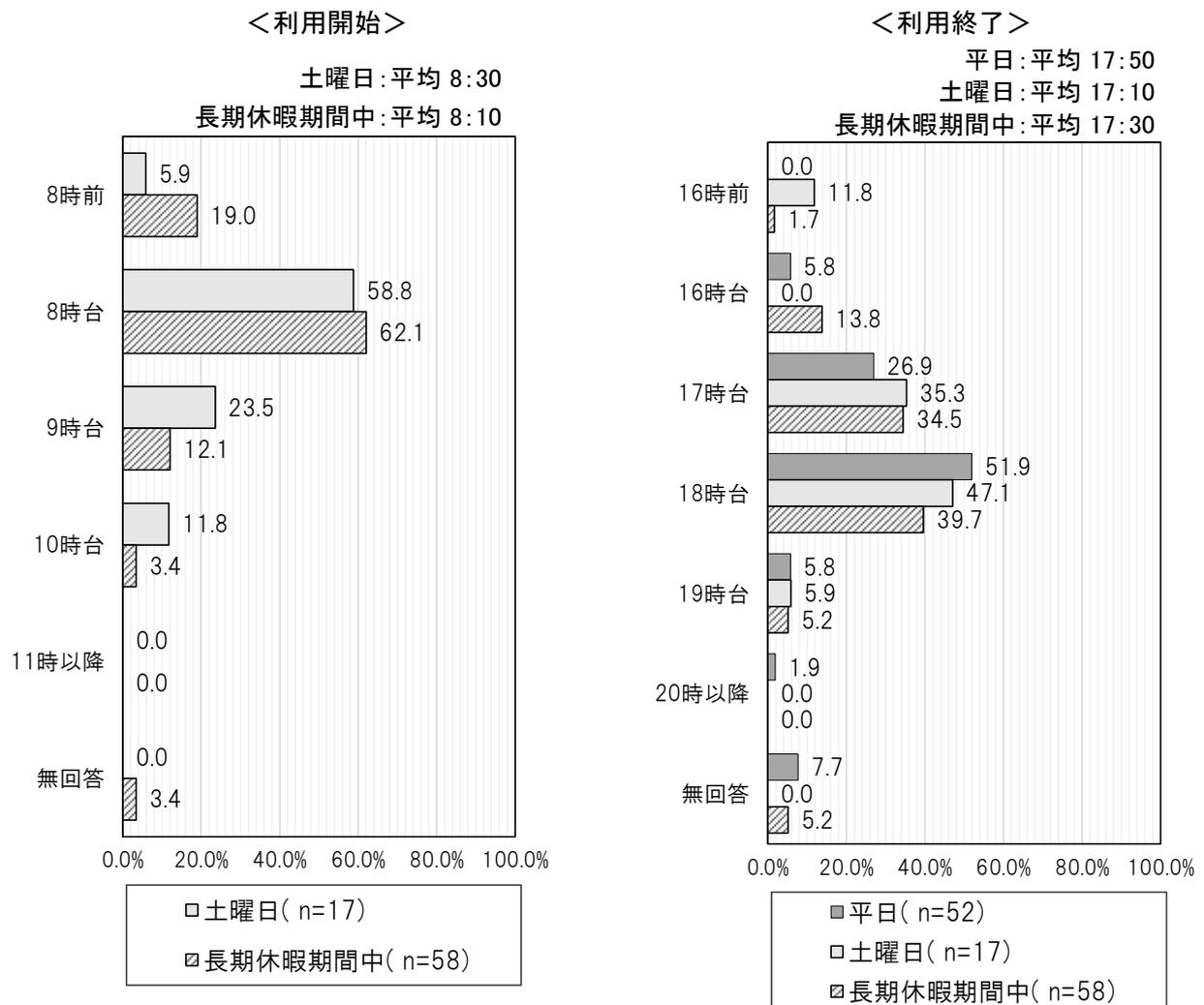
■ 利用したい人の利用希望日数(1週当たり)



利用したい時間帯について、利用開始は、土曜日、長期休暇期間中ともに「8時台」(58.8%、62.1%)が最も高くなっています。土曜日は平均 8:30、長期休暇中は平均 8:10 となっています。(※平日は放課後から利用開始)

また、利用終了は、平日、土曜日、長期休暇期間中いずれも「18時台」(51.9%、47.1%、39.7%)が最も高くなっています。平日は平均 17:50、土曜日は平均 17:10、長期休暇期間中は平均 17:30 となっています。

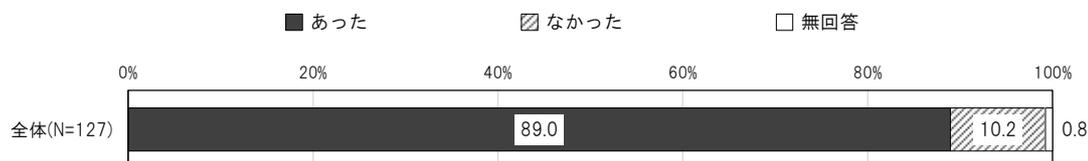
■ 平日、土曜日、長期休暇中に利用したい時間帯



4. 病気の際の対応について

問 12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。(1つに○)

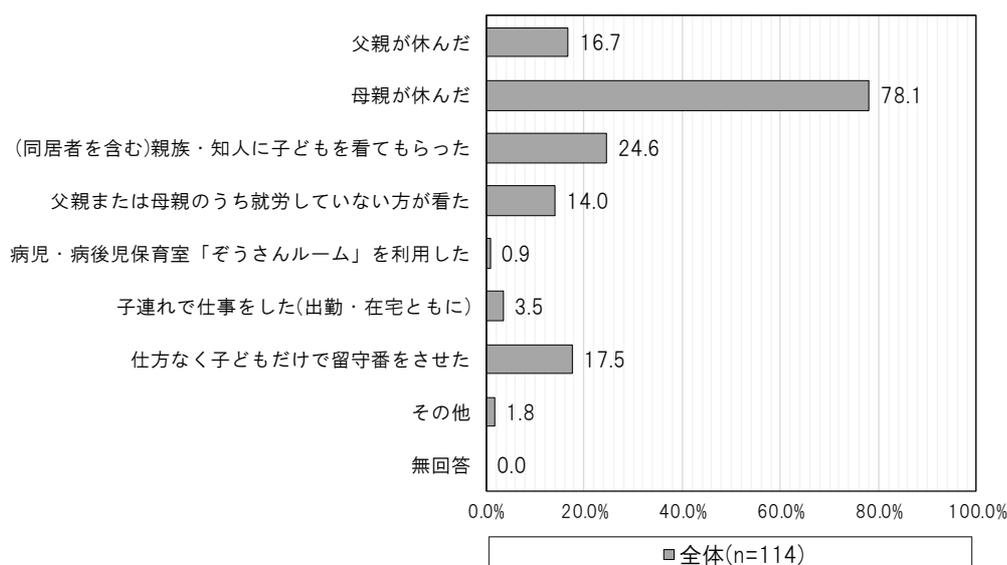
全体では、「あった」が 89.0%と最も高く、次いで、「なかった」(10.2%)の順になっています。



問 12 で「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 あて名のお子さんが病気やケガで、学校を休まなければいけなかった場合に、この1年間に行った対処方法とそれぞれの日数をご記入ください。(ア～クのあてはまるものすべてに○、それぞれ過去1年間のおおよその利用日数を () 内に数字でご記入ください。)

全体では、「母親が休んだ」が 78.1%と最も高く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」(24.6%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(17.5%)の順になっています。また、子どもが病気になった時に対処した年間の平均日数は、「父親が休んだ」が 3.3 日、「母親が休んだ」が 5.4 日となっています。



「その他」の回答…「上の子どもに学校を休ませた」「祖母」

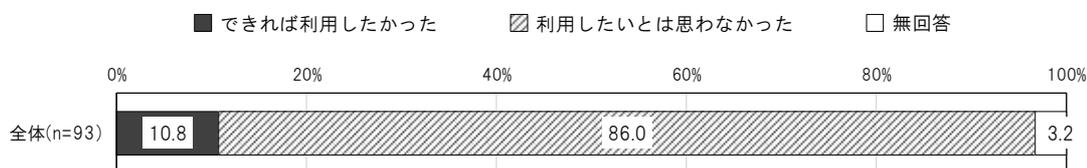
■子どもが病気になった時に対処した年間日数（平均）

	平均日数 (日)
父親が休んだ	3.3
母親が休んだ	5.4
(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	3.5
父親または母親のうち就労していない方が見た	8.2
病児・病後児保育室「ぞうさんルーム」を利用した	-
子連れで仕事をした(出勤・在宅ともに)	4.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3.0
その他	10.0
全体	4.9

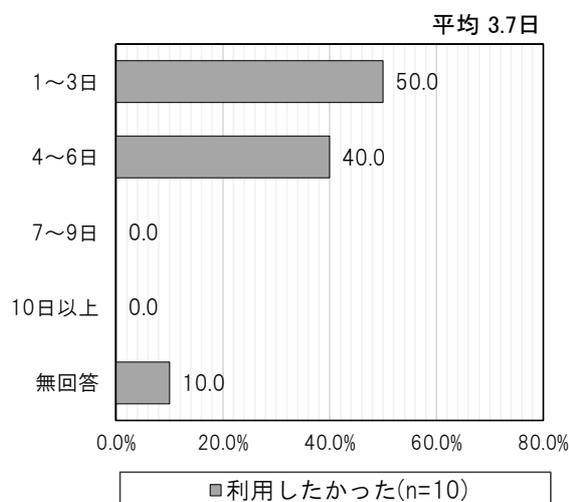
問 12-1 で「ア父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-2 その際、できれば病児・病後児保育室「ぞうさんルーム」を利用したいと思われましたか。また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。(1つに○、利用しなかった日数を () 内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用したいとは思わなかった」が 86.0%と最も高く、次いで、「できれば利用しなかった」(10.8%)の順になっています。年間の平均利用日数は、「1～3日」が 50.0%と最も高く、平均 3.7日となっています。



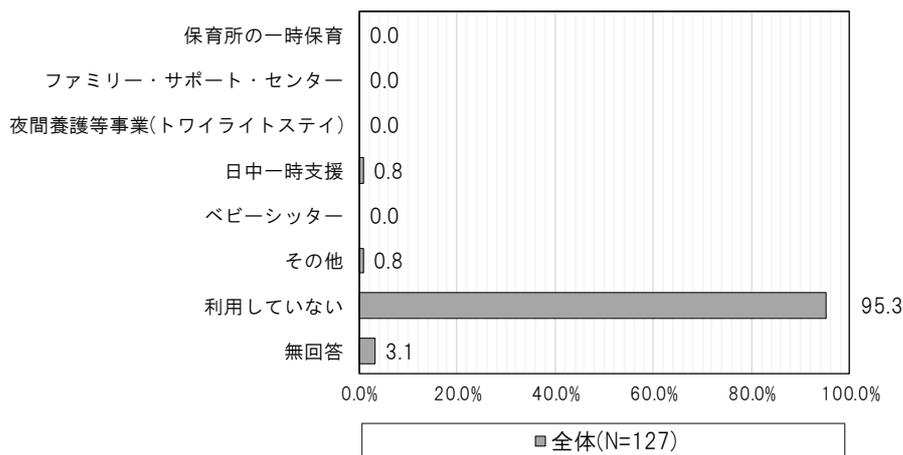
■病児・病後児保育施設の年間利用日数



5. 一時的な預かり等の利用希望について

問 13 あて名のお子さんについて、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○、過去1年間のおおよその利用日数を()内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用していない」が95.3%と最も高く、次いで、「日中一時支援」「その他」(0.8%)の順になっています。年間の平均利用日数は、55.0日となっています。



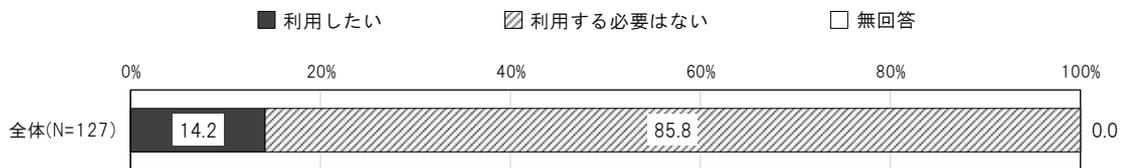
「その他」の回答…「学童」

■ 不規則な一時預かり等の利用年間日数 (平均)

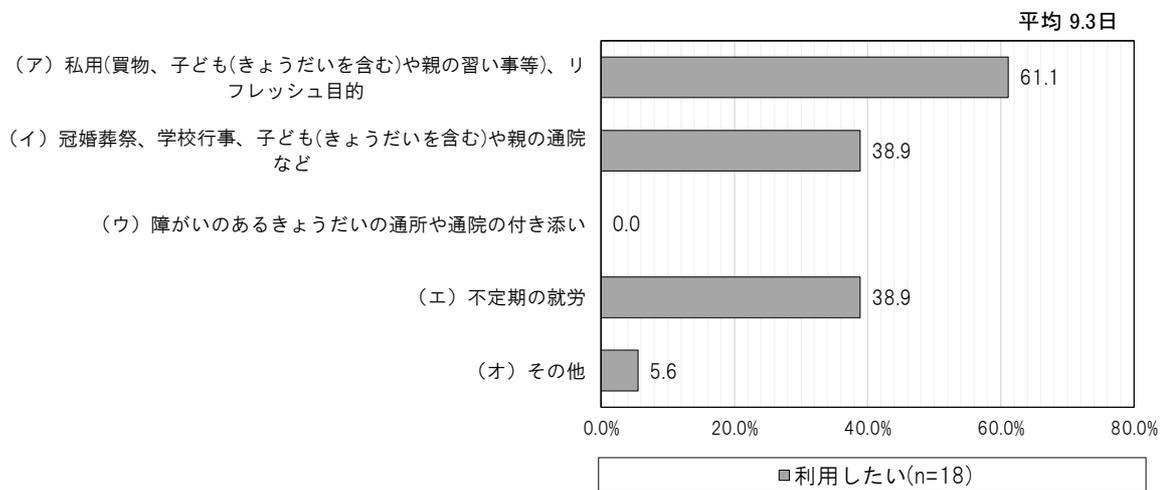
事業名	平均日数 (日)
保育所の一時保育	-
ファミリー・サポート・センター	-
夜間養護等事業(トワイライトステイ)	-
日中一時支援	100.0
ベビーシッター	-
その他	10.0
利用していない	-
全体	55.0

問 14 あて名のお子さんについて、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい一時的な預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無についてはいずれか1つに○、利用したい場合はア～オのあてはまる記号すべてに○、必要な年間利用日数を()内に数字でご記入ください。)

全体では、「利用する必要はない」が85.8%と最も高く、次いで、「利用したい」(14.2%)の順になっています。利用したいと思う目的は、「(ア) 私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が61.1%で最も高く、次いで、「(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院など」「(エ) 不定期の就労」(38.9%)の順になっています。また、利用したい年間の平均日数は、全体で9.3日、「(ア) 私用、リフレッシュ目的」が4.3日、「(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が6.8日、「(エ) 不定期の就労」が5.0日となっています。



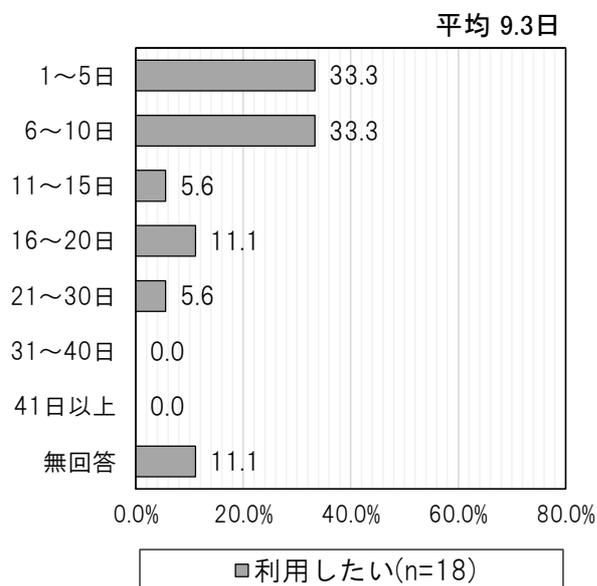
■不定期な一時預かりを利用したいと思う目的



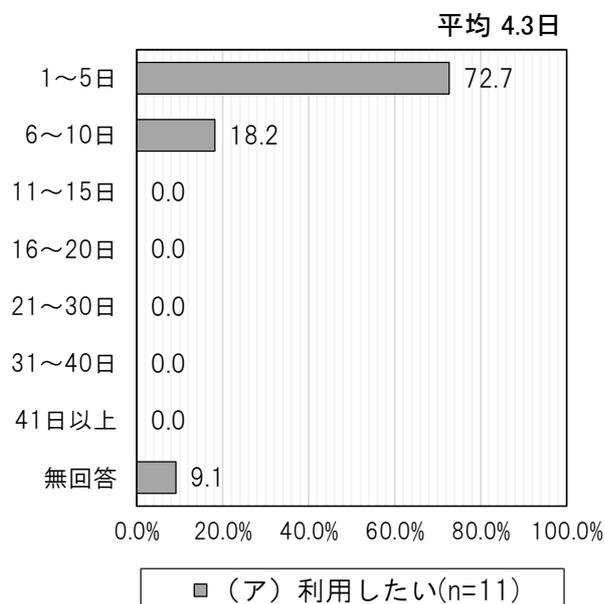
「その他」の回答…「休日出勤」

■ 不定期な一時預かりを利用したい年間日数

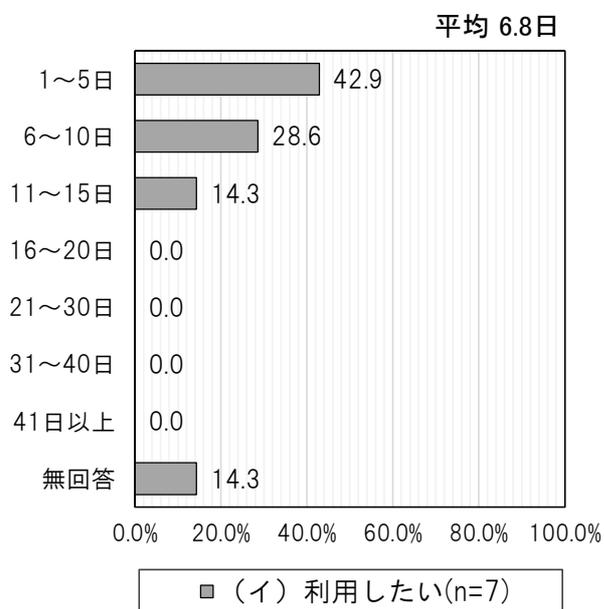
<全体>



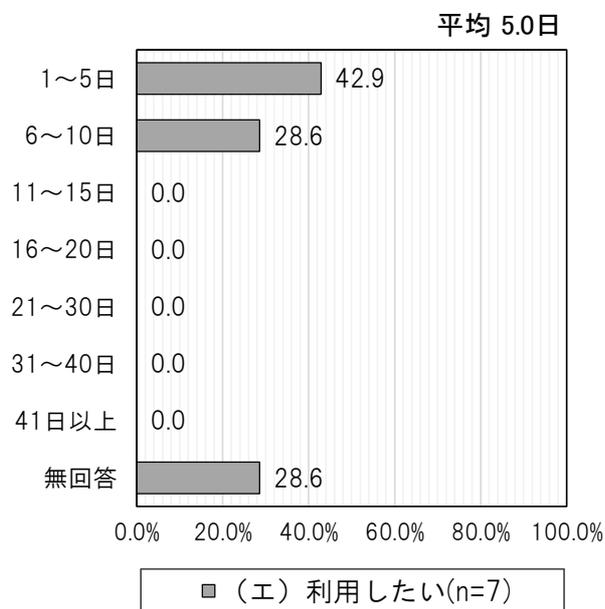
<(ア) 私用、リフレッシュ目的>



<(イ) 冠婚葬祭、学校行事、
子どもや親の通院など>



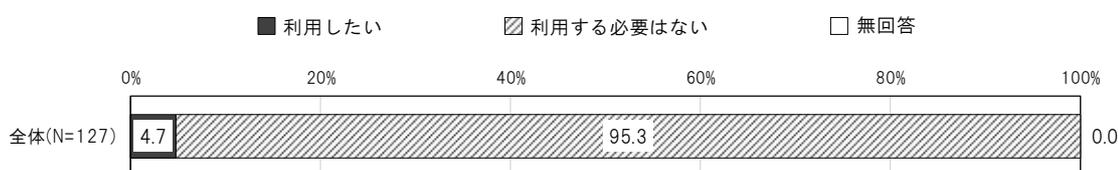
<(エ) 不定期の就労>



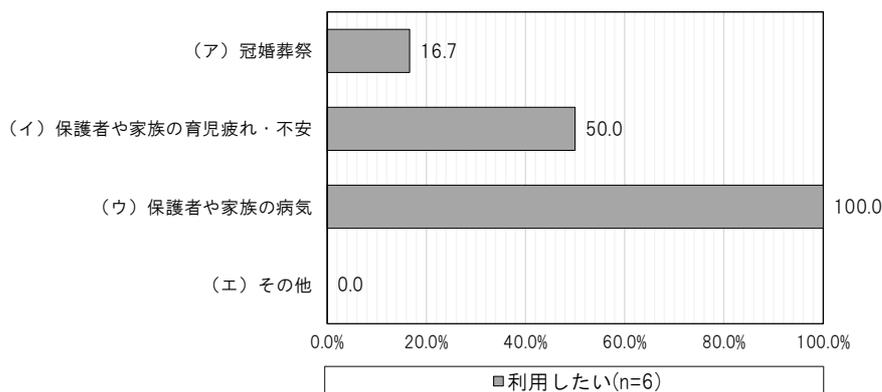
※ (ウ) 障がいのあるきょうだいの通所や通院の付き添いは、該当なし

問 15 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（きょうだい含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてはいずれか1つに○、利用したい場合はア～エのあてはまる記号すべてに○、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（）内に数字でご記入ください。）

全体では、「利用する必要はない」が 95.3%と最も高く、次いで、「利用したい」（4.7%）の順になっています。泊りがけで預けた状況は、「(ウ) 保護者や家族の病気」が 100.0%で最も高く、次いで、「(イ) 保護者や家族の育児疲れ・不安」（50.0%）、「(ア) 冠婚葬祭」（16.7%）となっています。また、預けた年間の平均泊数は、全体で2.6日となっています。



■保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで預けた状況（過去1年）



■保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで預けた年間泊数（平均）

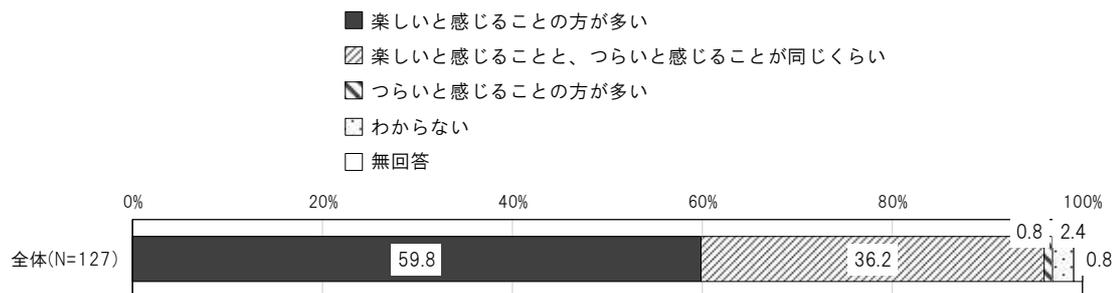
	平均泊数 (日)
(ア) 冠婚葬祭	1.0
(イ) 保護者や家族の育児疲れ・不安	2.0
(ウ) 保護者や家族の病気	3.2
(エ) その他	-
全体	2.6

6. 子育て全般について

あて名のお子さんにかかわらず、子育て全般についてうかがいます。

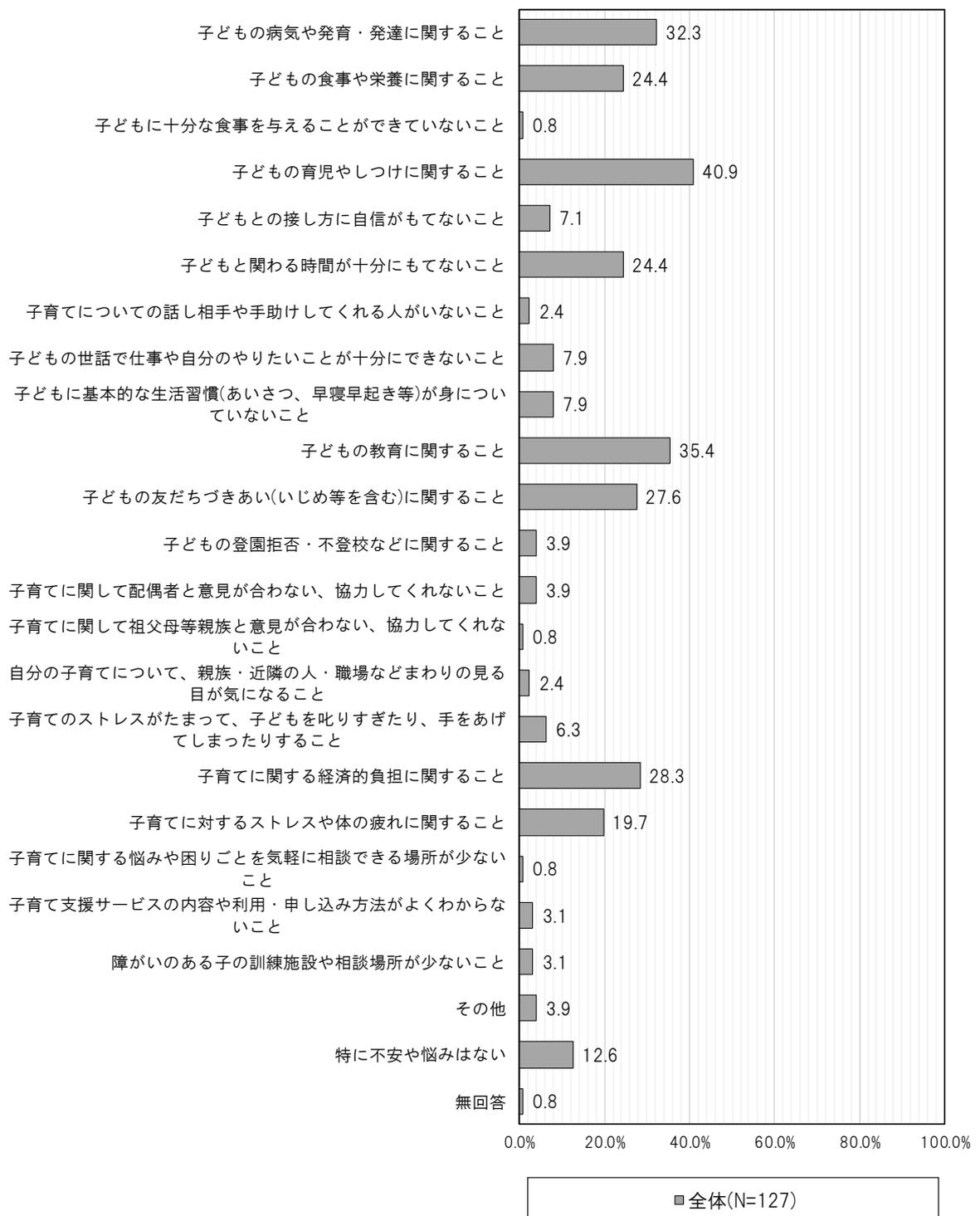
問 16 子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと思うことが多いと思いますか。(1つに○)

全体では、「楽しいと感じることの方が多い」が 59.8%と最も高く、次いで、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」(36.2%)、「わからない」(2.4%)の順になっています。



問 17 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

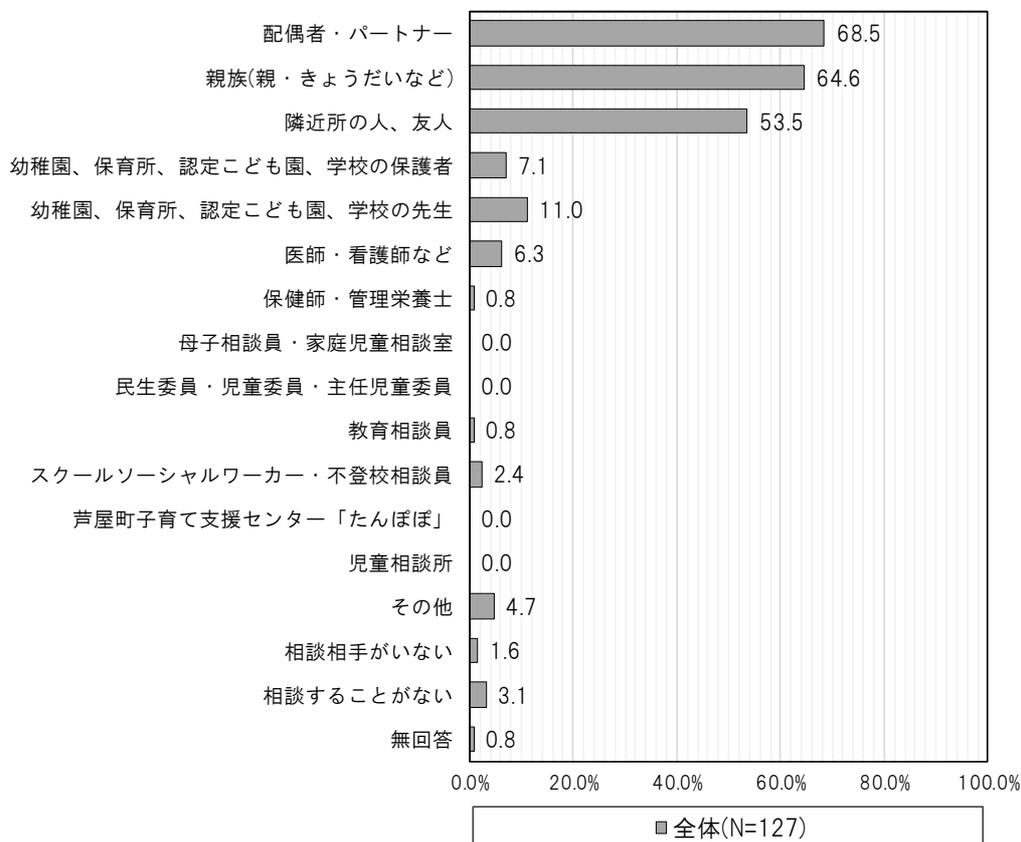
全体では、「子どもの育児やしつけに関すること」が 40.9%と最も高く、次いで、「子どもの教育に関すること」(35.4%)、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(32.3%)の順になっています。



「その他」の回答…「ゲーム、ネット環境について」「子どもの好きな YouTube の話をされても、ちょっとよくわからない」「自分の体力がなく元気なお母さんになれないこと」「宿題が多いこと」など

問 18 身近な地域で子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

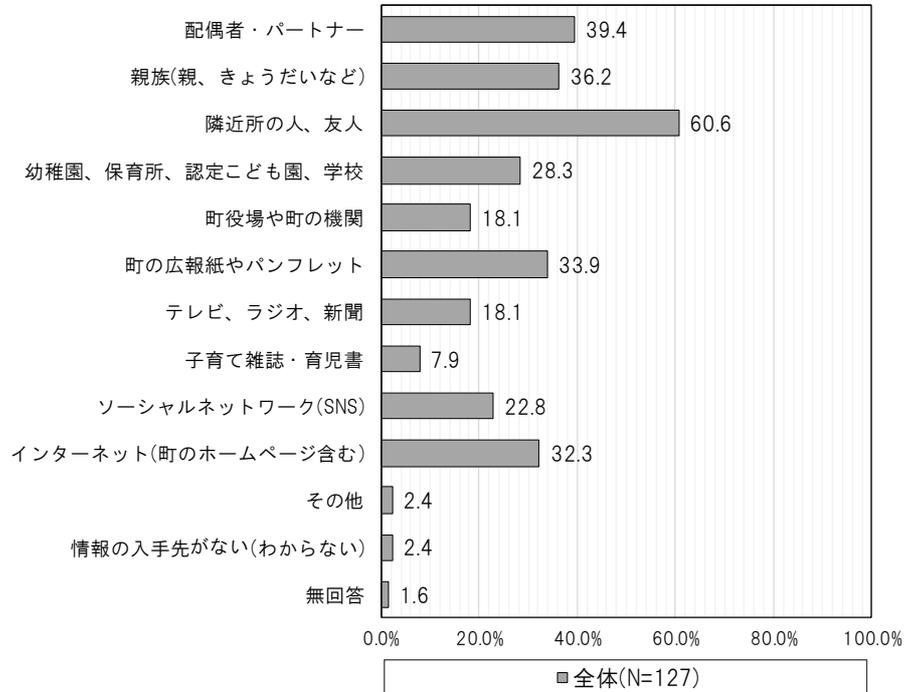
全体では、「配偶者・パートナー」が 68.5%と最も高く、次いで、「親族(親・きょうだいなど)」(64.6%)、「隣近所の人、友人」(53.5%)の順になっています。



「その他」の回答…「職場の人」「長男」など

問 19 子育てに関する情報をどこから入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

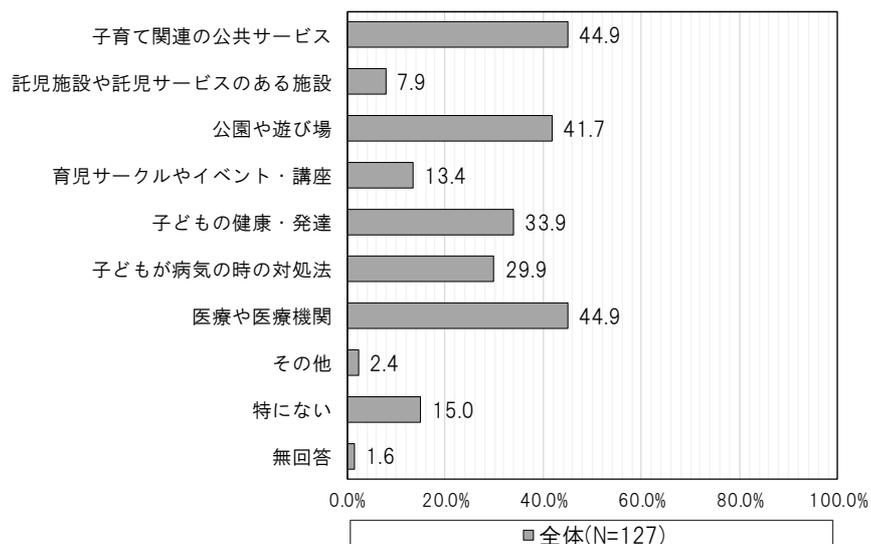
全体では、「隣近所の人、友人」が 60.6%と最も高く、次いで、「配偶者・パートナー」(39.4%)、「親族(親、きょうだいなど)」(36.2%) の順になっています。



「その他」の回答…「職場の人」など

問 20 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

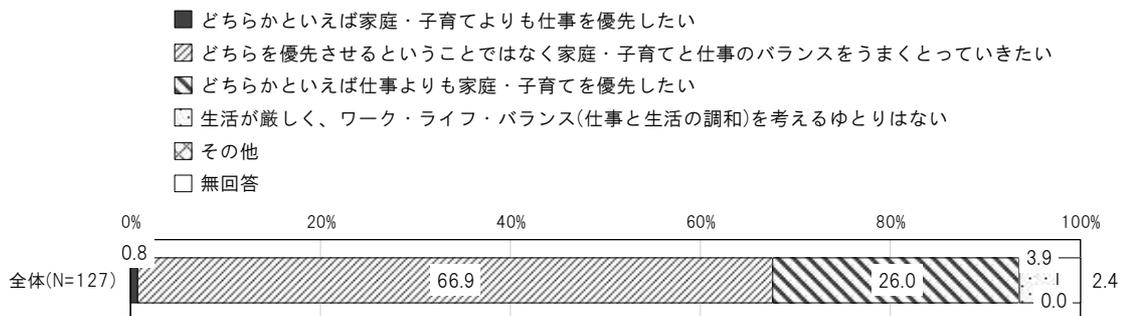
全体では、「子育て関連の公共サービス」「医療や医療機関」が 44.9%と最も高く、次いで、「公園や遊び場」(41.7%) の順になっています。



「その他」の回答…「子どものネット、SNS との付き合い方」「非課税世帯ばかりが手厚くされていて、結婚はしているけど低所得の家庭にはなにもない。生活ギリが苦しい。また非課税世帯だけか、と毎回思う。離婚したほうがいいのかと話している。」など

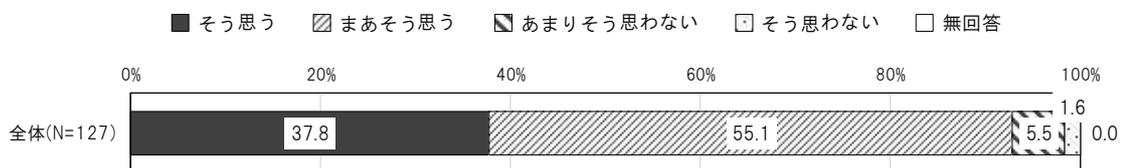
問 21 仕事と家庭・子育てのバランスについて、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。(1つに○)

全体では、「どちらを優先させるということではなく家庭・子育てと仕事のバランスをうまくとっていききたい」が 66.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば仕事よりも家庭・子育てを優先したい」(26.0%)、「生活が厳しく、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考えるゆとりはない」(3.9%)の順になっています。



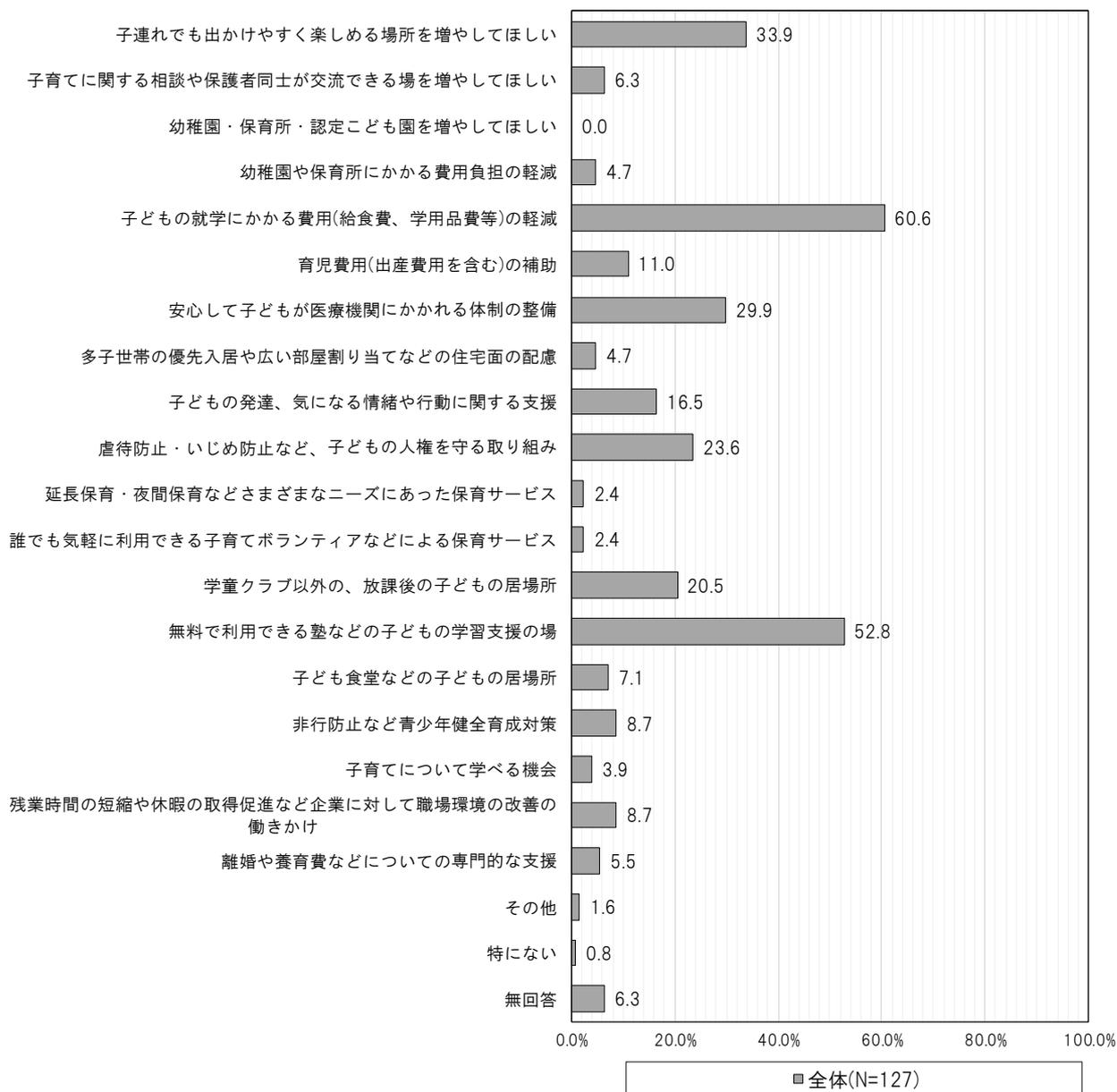
問 22 芦屋町は安心して子どもを産み育てることができる町だと思いますか。(1つに○)

全体では、「まあそう思う」が 55.1%と最も高く、次いで、「そう思う」(37.8%)、「あまりそう思わない」(5.5%)の順になっています。



問 23 芦屋町に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。(期待するもの上位5つまでに○)

全体では、「子どもの就学にかかる費用(給食費、学用品費等)の軽減」が60.6%と最も高く、次いで、「無料で利用できる塾などの子どもの学習支援の場」(52.8%)、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(33.9%)の順になっています。



「その他」の回答…「非課税世帯だけが手厚い対応を受けている」「学校の先生方が落ち着いて授業ができる支援体制づくり」など

7. 自由意見

①子育てをしやすい社会環境（4件）

子育てしやすい環境にあり、とても満足しています。「りーどぼらんていあ」や「学び合いルーム」など継続していただくと嬉しいです。
子どもを守る環境がほしい。
芦屋は芦屋独自でやっていることもあるので、助かってはおります。ただ、閉鎖的なところもあるので子供会や自治会、PTA の参加不参加をもっと気軽に出来たらと思います。まずは子供会の強制をなくしてほしいです(強制でないといいながらもほぼ強制なので)
今現在、父親が単身赴任をしており 1 人で育児をしています。同じ町内に父親の実家がありますが、頼りません。私の実家も遠く、親には頼りません。小学3年生になり、留守番をしてくれるようにはなりましたが、土日に出勤したり、朝も子供より早く出勤したりと子どもに負担をかけてるなと思います。土日に預かってくれるところがあればいいなと思いますが、子どもも友達と遊びに行く方が楽しいみたいです。いつも公園で遊んでいるみたいです、心配な部分もあります。たくさんの人に見守っていただけたら有り難いと思います。

②学校（10件）

さんすうセットは、いい加減貸し出しや学校に買い置きして欲しかった。3 人兄弟で 3 人とも買ったけど、使わなくなったら場所とるし、いらぬ。子どもが少ないのだから、さんすうセットは個人じゃなくて学校で買って、繰り返し新しい 1 年生に使って欲しい。国語辞書や漢字辞典も可能であれば学校で買って繰り返し必要な学年に買って欲しい。また、入学前の手提げなどのサイズ指定は、既製品を買わないようにサイズ設定していますか。なるべく手作りするように、既製品とはサイズが合わないようにしているのかと思いました。でも実際、手作りする技術がないため既製品を買いましたが、サイズを測ったりされることはありませんでした。手作りが苦手な人もいるので一般的な既製品のサイズに合わせて欲しいと思いました。手作りができる理想のお母さんは、古いです。得意な人は作れば良いけど、不得意な人は無理して作らなくて買ったらいいと思います。ブックバックは変なサイズ設定でした。名札も、なんならいらぬです。わざわざ服に穴をあけて。しかし、上の子たちの時代とは違って、未っ子のときは給食後の歯磨きがなくなったことに驚きました。コロナきっかけだったのでしょか。
芦屋に限ったことではないが、PTA がとにかく大変（役職経験済）。PTA が少子化の一因になっているのではないかとさえ思う。PTA があるので一人も産まないという選択肢は考えづらいが、二人目、三人目の抑止の一因にはなっていると思われる。
学校が安全に過ごせるよう支援員や教員を増やし、教育環境を整えてほしい。
子どもの個性が学力にあった教育環境を整えてください。
支援学級だけでなく通級に通う子にも支援者をつけれるようにしてほしい。授業が進まない等、トラブルをよく聞く。
小学校の運動会を午前中で終わってほしい。全学年 1 クラスしかないないので、可能だと思う。なぜ無理矢理 1 日開催に戻したのか？昔と違って、児童数が少ないので、1 日開催の必要がないと思った。
心理的な不安定な児童が増え、担任が対応に追われて、落ち着いて授業ができないクラスがあるようです。発達障害の児童が一定数クラスにいると想定した教員の配置など考えてほしいです。また、学校の先生方は保護者からのクレームでうまく力が発揮できていないような気がします。もっと先生方が安心して働けるよう、行事の見直し、サポート教師の配置など、考えてみてはどうでしょうか。
人数が少なく、クラスが 1 つしかないのは仕方ないのですが、それでも 2 クラスにしてほしい。1 クラスだと、友達とのつきあいが難しいようで逃げ道がないのと、先生もよく見てもらえるためにも 2 クラスの方がいいと思います。
図書館に青年向け（小学校高学年～）の図書が少ないと子どもたちがいつも言っている。

今年度は子どもが一時不登校気味になりました。朝早く行ってたのですが、あることがきっかけで早く行くのが嫌になったようです。私の勤務先が遠いのも悪いのですが、朝早く学校に行かなければならない家庭もあると思いますので、何か対応を考えていただけたら助かるなと思います。誰かしらに負担がかかるとは思いますが…。給食費の減額や医療費の無料についてはとても助かっています。

③公園や子どもの遊び場（4件）

山鹿地区には、子どもが遊べる公園などが少なく増やしてほしい。

子どもが楽しめる施設をもっと増やしてほしい。公園やスケボーパークや商業施設など。

小・中学生が遊べる場所があったらいいと思います。本を買うも、何をするにも、町外へ出なければならず、町内にもっといろいろあればと思います。

無料で体を動かして遊べる施設を増やしてほしい。海浜公園の駐車場の利用を海水浴シーズンでも町民は無料にしてほしい。ボルダリングのジムをつくってほしい。授業をちゃんと受けない人に対して厳しく指導してほしい。そして親にもその都度報告してほしい。

④放課後の過ごし方（3件）

学校が終わって遊べる場所はなく自宅か友達の家。昔は公園や駄菓子屋など様々な所で遊んでいたが今は無い。家にいるとゲームが多くなる。放課後に遊べる楽しい施設が近くにあれば良いのと思う。

共働きで帰宅時間が遅いため、学童クラブがもう少し遅くまでやってくれとありがたいです。（現在利用できていない）

地域のおじいちゃん、おばあちゃんからお勉強を教わったり、悩みを聞いてもらったりボランティアとして様々な年齢層で関わりを持てる場を作ってほしいです。家にいると動画を見たり、ゲームをしたりする時間がどうしても多くなり、人との関わりが希薄になっているように感じます。特に共働き世帯では安心して子供たちが放課後に過ごせる場が必要だと思っています。学童保育以外の場の提供をお願いしたいです。

⑤医療体制（5件）

インフルエンザなどの予防接種の補助金があればうれしい。

芦屋町にも小児科があるといいなと思う。子どもが病気でなくても学級閉鎖で休まなくてはいけない時に仕事の休みを取るのが大変な方もいるようなので、そういう時の支援もあるといいのかなと思う。

急に夜間、子供を連れていきたいときなど、おんが病院では、小児科の先生がいない時もあり、対応してもらえず、八幡病院に行くことがあった。また、おんが病院に先生がいてもベッドの空きがないので、入院できないということもあった。

定期検診の時に眼科医による検診もあるといいなと思う。

夜間、休日にみてもらえる病院がほしい。

⑥経済的な支援（12件）

いつもありがとうございます。ただ低所得者のみへの支援は、やはり納得できないものはあります。共働きが多くなり、みんな余裕がなくなってきたりで、これから心配なことはたくさんあります。もうちょっと心にゆとりをもって子育てできる世の中になったらよいなと思います。

芦屋町はお年寄りや低所得にばかりやさしい。もっと中間年収世帯の子育てしている人にも支援してほしい。

芦屋町は他の自治体に比べると子育て支援に力を入れてくださっていると思いますが、お金に関しては低所得家庭への支援ばかりで実際に低所得にならない家庭がきつい思いをしているのが多いと思います。難しい問題ですが、支援の線引きをもっと考えてもらいたいです。

英検全額補助サービスはとて面白いと思う。今後、漢検など他の検定も補助の対象として広げていってほしい。やる気のある子を伸ばす助成を増やしてほしい。
駅まで遠いので、子どもが学校へ行くときのバスなど通学補助が必要ではないか。大学まで進学することが多くなってきていると思うので、子どもの教育費の補助をしてほしい給食費の減額を継続してほしい
縁もゆかりもない芦屋町に引っ越しして来て 17 年が経ちますが、とても住みやすい町だと思っています。特に、コロナ禍での手厚い支援には感謝しています。やはり教育にお金がかかることが多いので補助等があると嬉しく思います。
学校は、無償化とは言っていますが、結局、給食費、材料費がかかりますよね。子ども 3 人、結構かかります。学童も学童代の他、別払いでおやつ代がかかります。1 万 5 千円ぐらいは、学童に払ってます。北九州は、おやつ代込みで、学童代のみです。6,000 円。それでも高いですが…。かといって、鍵っ子にさせるわけにもいかず…。貯めたいのに出費が多く、将来が心配です。塾にも通わせたいですが、送り迎えをしてたら、仕事も出来ません。しかも塾に通わせる余裕もないです。芦屋町にそんな塾はないですし。ピアノも習わせたいですが、高いです。習字、硬筆、近くにあっても数が少ないからいっぱい入会出来ません。
近隣の市町村の中でも芦屋町の支援が 1 番手厚いと感じております。ありがとうございます。先日出産し町より補助券を頂きましたが、できれば現金の方が汎用性が高く助かります。
単身赴任中で、生活費が 2 倍となっているため、学童費など、補助があれば良いと思う。
非課税世帯にだけお金配り過ぎ。結婚していても低所得者はたくさん居る。それなら離婚したほうがいい。生活保護を受けたほうがいい。お知らせから来るたびに、また非課税世帯だけが、と落胆する。ひとり親になるほうがいい。
無料（もしくは格安で）の英語塾があれば良い。
両親揃っている所にも、もう少し子どもに対してお金の面で支援してほしいです。

⑦道路、防犯対策（2件）

交通の便が良くなるといいなとも思います。
高校に通うための交通が毎回悩み。

⑧情報提供、相談窓口（1件）

高校についての情報（行き方、バス・電車）を気軽に知れたらうれしいです。

⑨その他（4件）

幼・小・中と 3 人分のアンケートの記入がづらい
学童クラブの利用料の件ですが、今年度のように学級閉鎖や学年閉鎖で利用しない日で利用日が 15 日以下になる場合がありますが、この場合、変更を直接役場で手続きするようになっています。平日は仕事をしていますので、手続きできません。出来れば、役場と学童で対策を考えて。
親のリフレッシュをよく言われるが、子どもは親という時間が大切だと思う。幼稚園や保育所に預ければなしの親もいて、子どものリフレッシュは？
転勤で各地に住みましたが、子どもの医療費無料や 1 万円/人の給付など支援はとても充実しているように感じますが、子どもの数が減っているのに子育て世帯にとって魅力ある町かと言われると、どうかと感じます。広い公園もあるし、プールもあるし、住めばよい所なのに、空き地が多く、商店街も活気がありません。新しい住宅がたくさん建て、人が増えて、子どもが増えて、おしゃれなお店ができたり、運動場などが整備されたら活気づくのではないかな。もったいないな、良い町なのに…と思います。

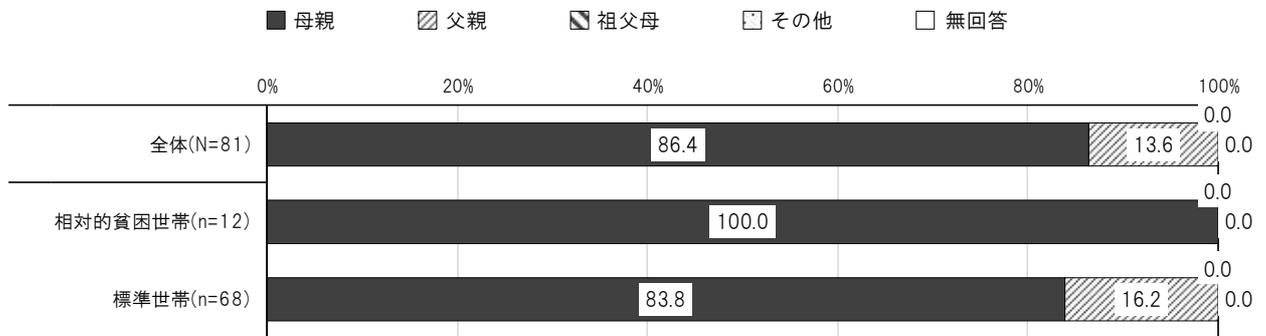
2 教育・保育ニーズ調査
(小学生児童の保護者)

3 子どもの貧困対策計画調査 (小学生・中学生保護者)

1. ご本人とご家族の状況について

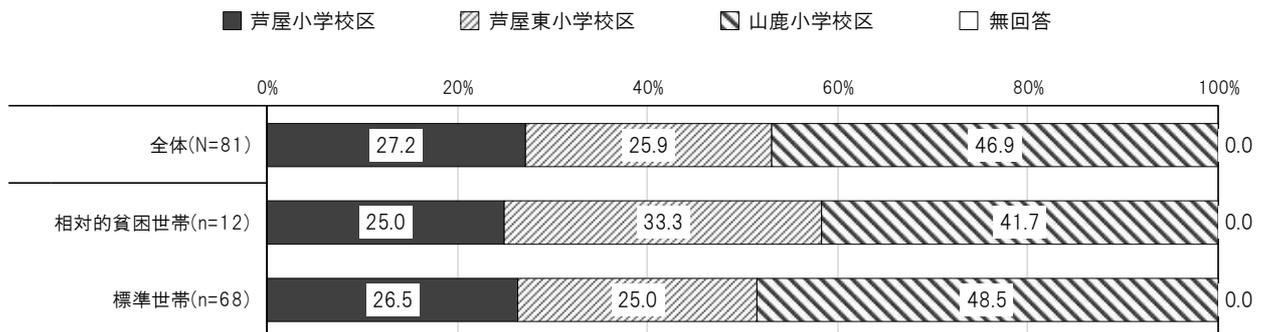
問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「母親」が86.4%、次いで、「父親」(13.6%)の順になっています。



問2 あなたがお住まいの校区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「山鹿小学校区」が46.9%と最も高く、次いで、「芦屋小学校区」(27.2%)、「芦屋東小学校区」(25.9%)の順になっています。



問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めてお答えください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

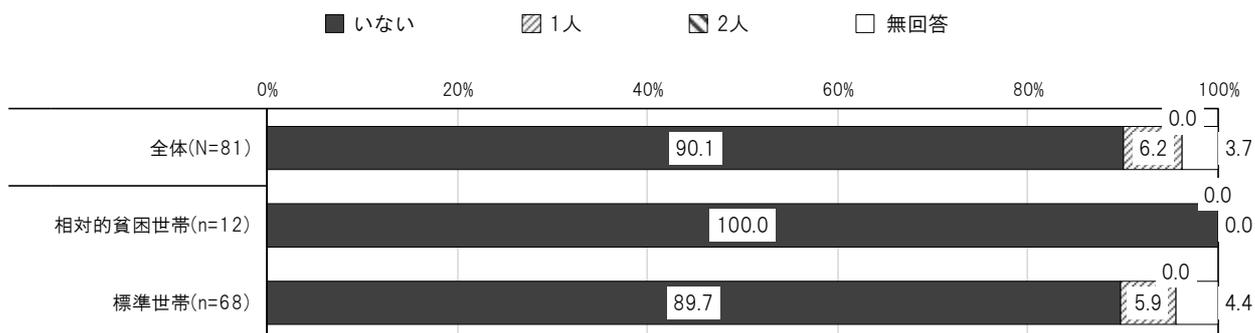
問3a) 祖母

全体では、「いない」が84.0%、次いで、「1人」(12.3%)の順になっています。



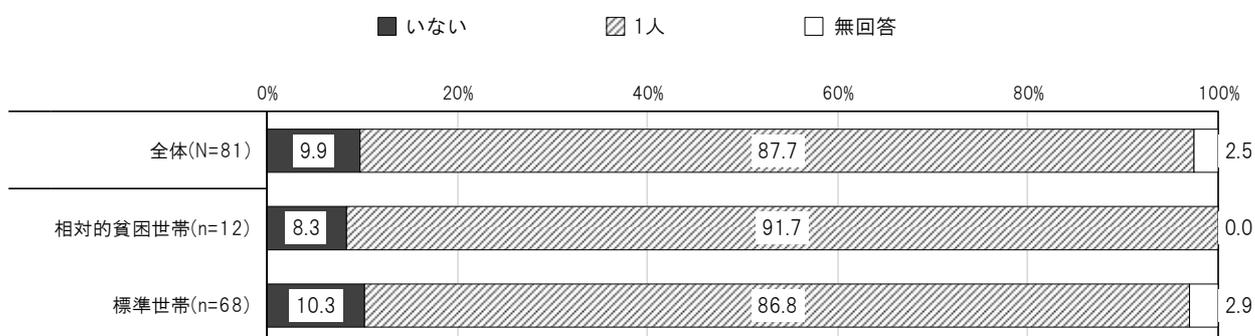
問 3b) 祖父

全体では、「いない」が90.1%、次いで、「1人」(6.2%)の順になっています。



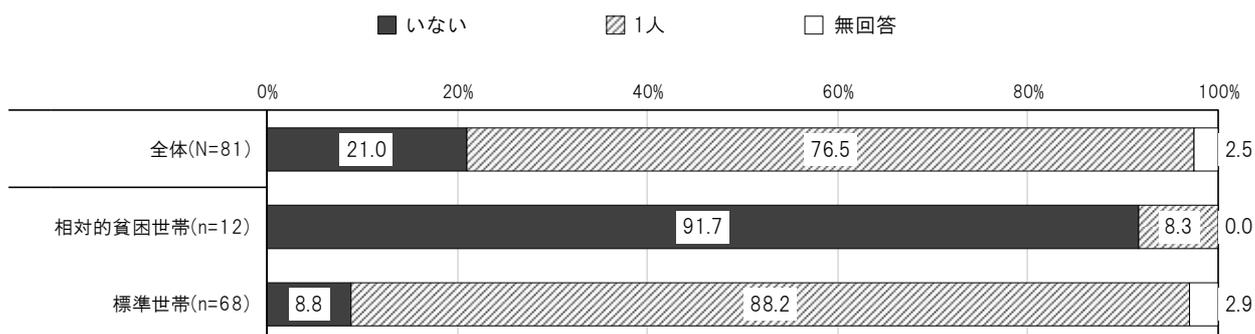
問 3c) 母親

全体では、「1人」が87.7%、次いで、「いない」(9.9%)の順になっています。



問 3d) 父親

全体では、「1人」が76.5%、次いで、「いない」(21.0%)の順になっています。



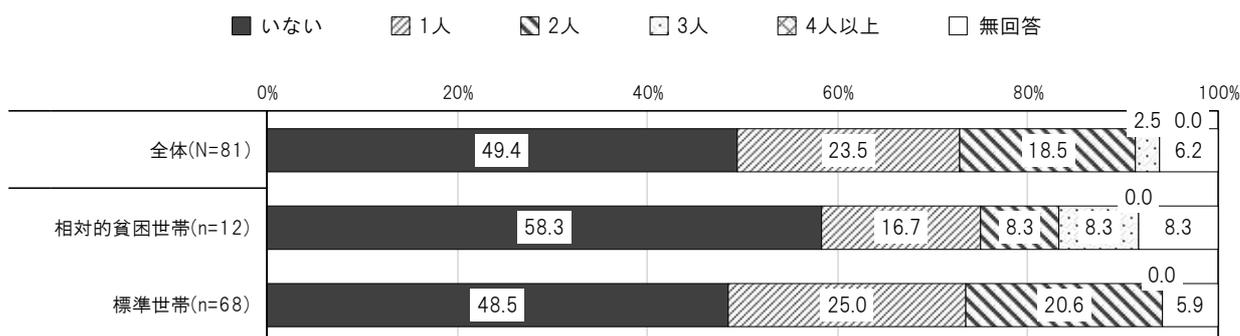
問 3e) 姉・兄

全体では、「いない」が 55.6%と最も高く、次いで、「1 人」(29.6%)、「2 人」(9.9%)の順になっています。



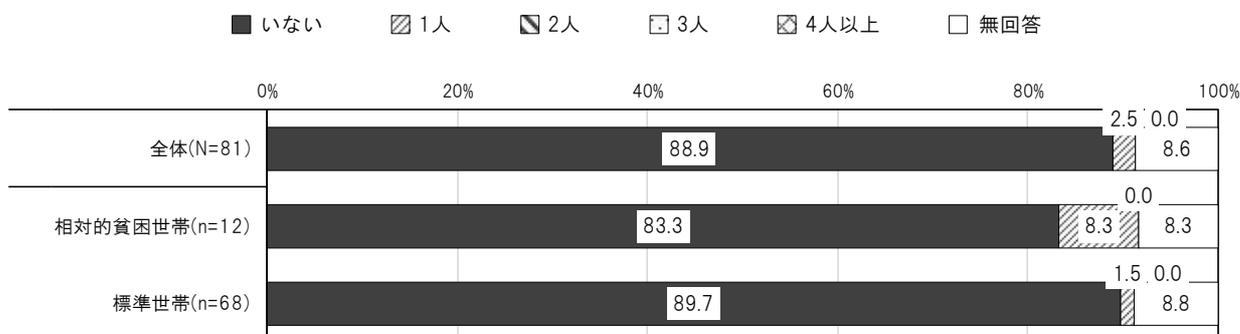
問 3f) 妹・弟

全体では、「いない」が 49.4%と最も高く、次いで、「1 人」(23.5%)、「2 人」(18.5%)の順になっています。



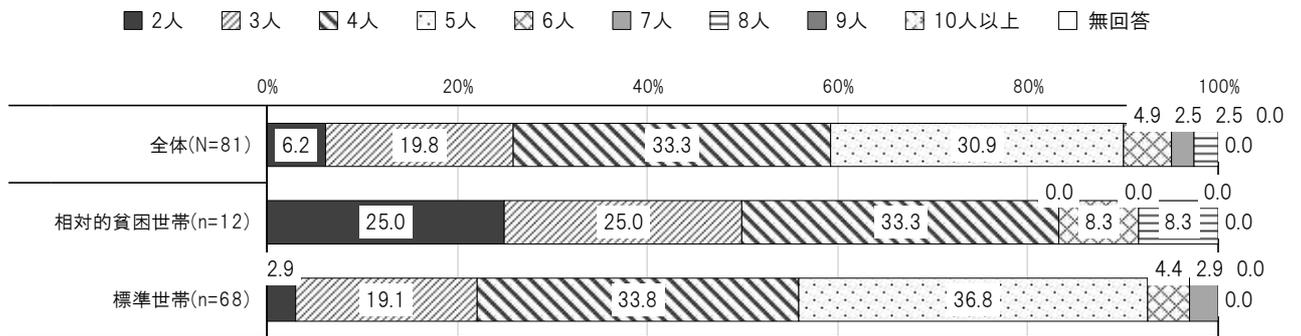
問 3g) その他

全体では、「いない」が 88.9%、次いで、「1 人」(2.5%)の順になっています。



問 3h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)

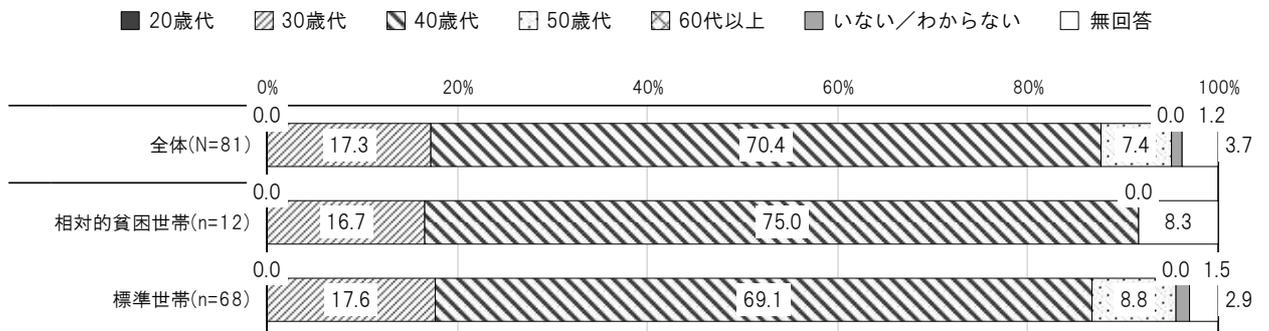
全体では、「4人」が33.3%と最も高く、次いで、「5人」(30.9%)、「3人」(19.8%)の順になっています。



問 4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

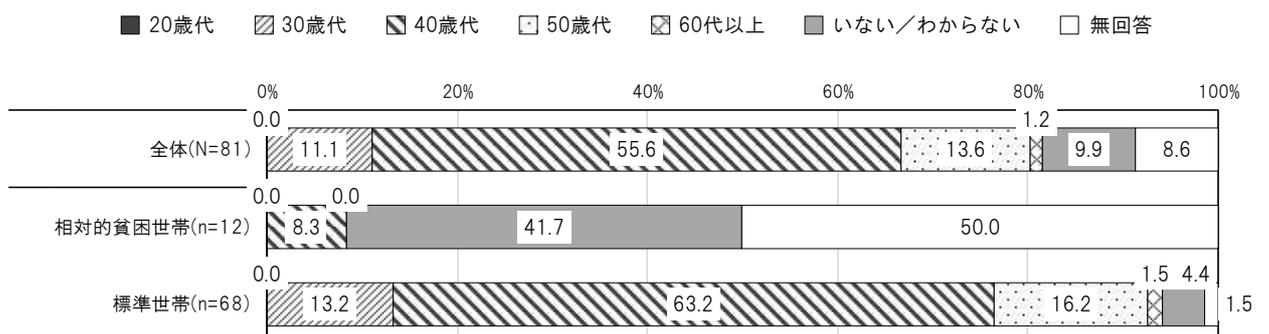
問 4① 母親

全体では、「40歳代」が70.4%と最も高く、次いで、「30歳代」(17.3%)、「50歳代」(7.4%)の順になっています。



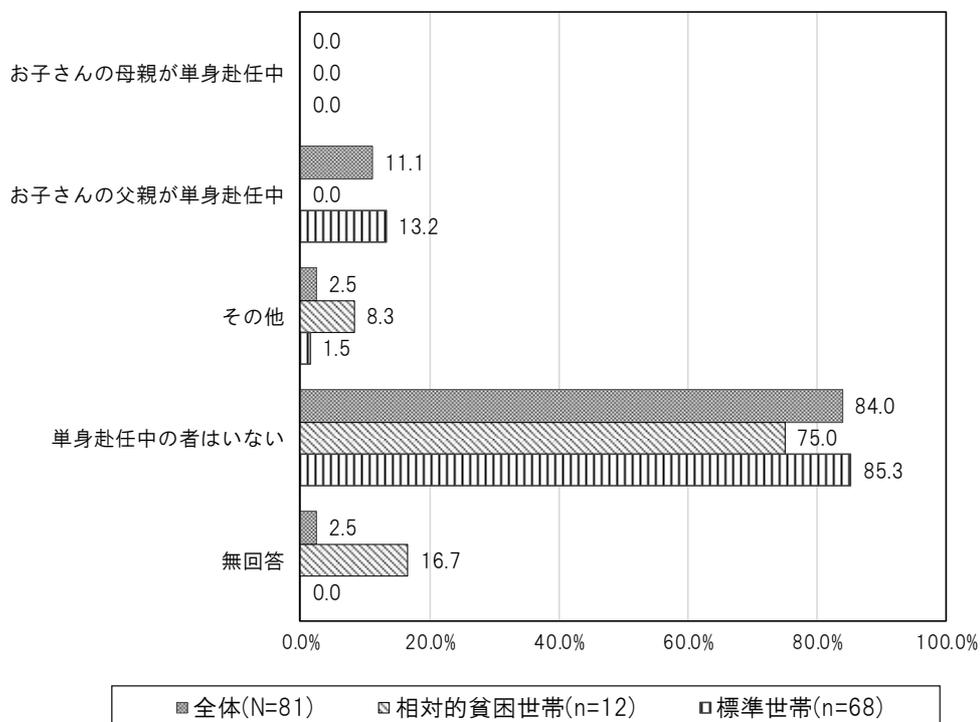
問 4② 父親

全体では、「40歳代」が55.6%と最も高く、次いで、「50歳代」(13.6%)、「30歳代」(11.1%)の順になっています。



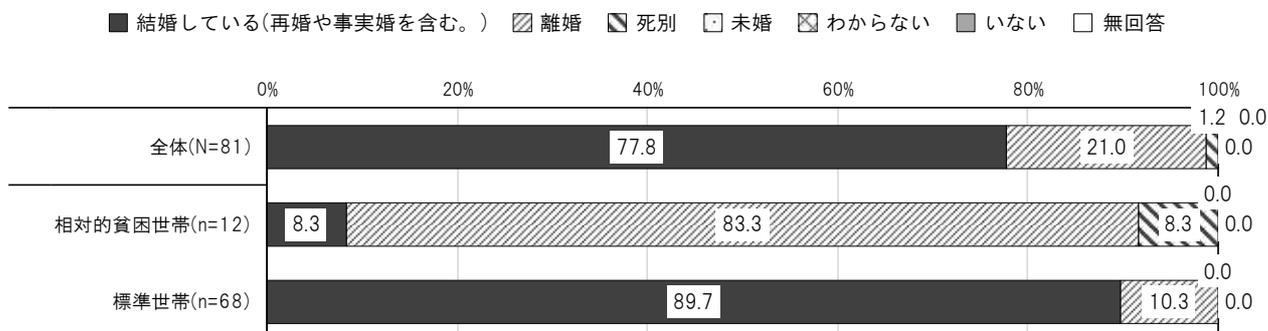
問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(1~4については、あてはまるものすべてに○)

全体では、「単身赴任中の者はいない」が84.0%と最も高く、次いで、「お子さんの父親が単身赴任中」(11.1%)、「その他」(2.5%)の順になっています。



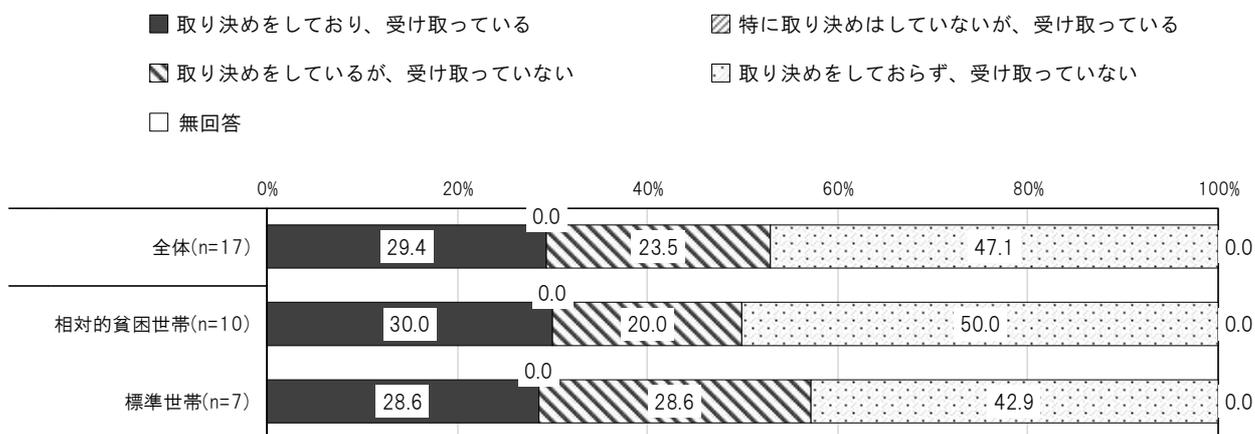
問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」が77.8%と最も高く、次いで、「離婚」(21.0%)、「死別」(1.2%)の順になっています。



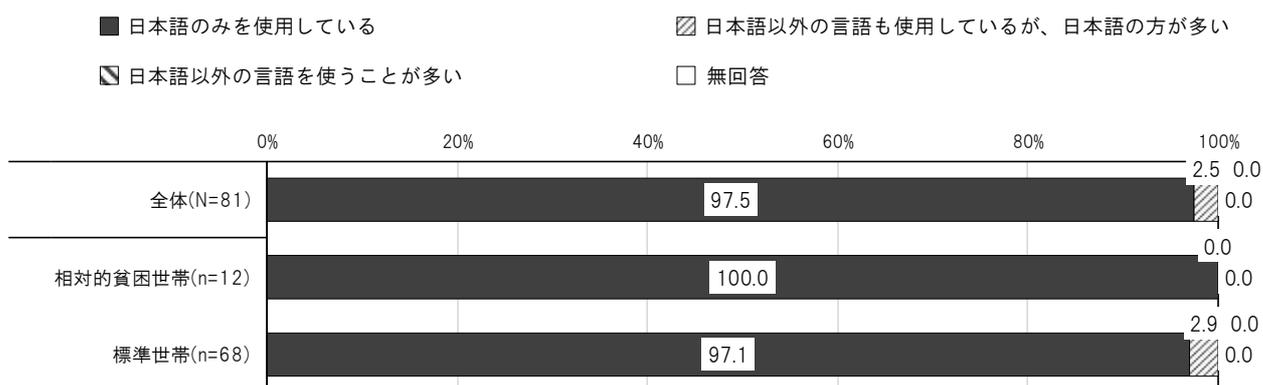
問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が47.1%と最も高く、次いで、「取り決めをしており、受け取っている」(29.4%)、「取り決めをしているが、受け取っていない」(23.5%)の順になっています。



問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

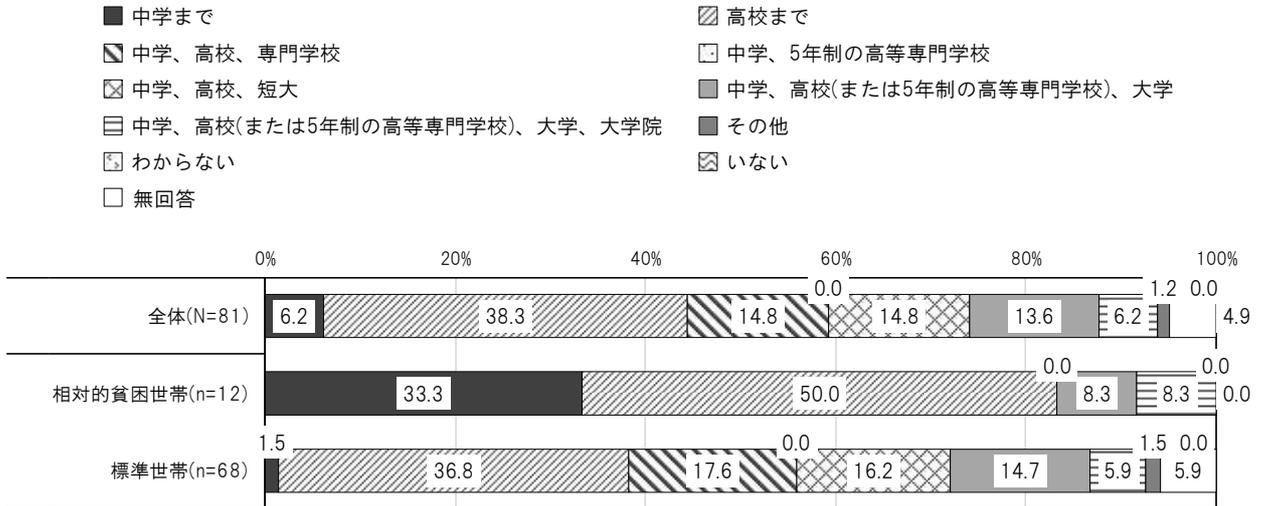
全体では、「日本語のみを使用している」が97.5%、次いで、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」(2.5%)の順になっています。



問9 お子さんの保護者の方が卒業・修了した学校をお答えください。(a, b, c それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

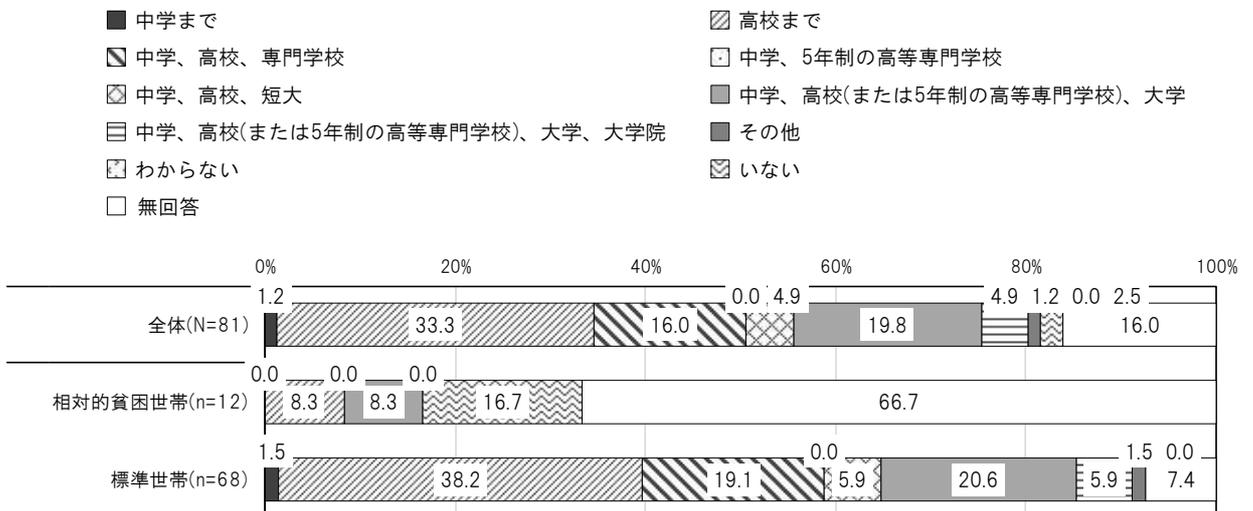
問9a) 母親の最終学歴

全体では、「高校まで」が38.3%、次いで、「中学、高校、専門学校」「中学、高校、短大」(14.8%)の順になっています。



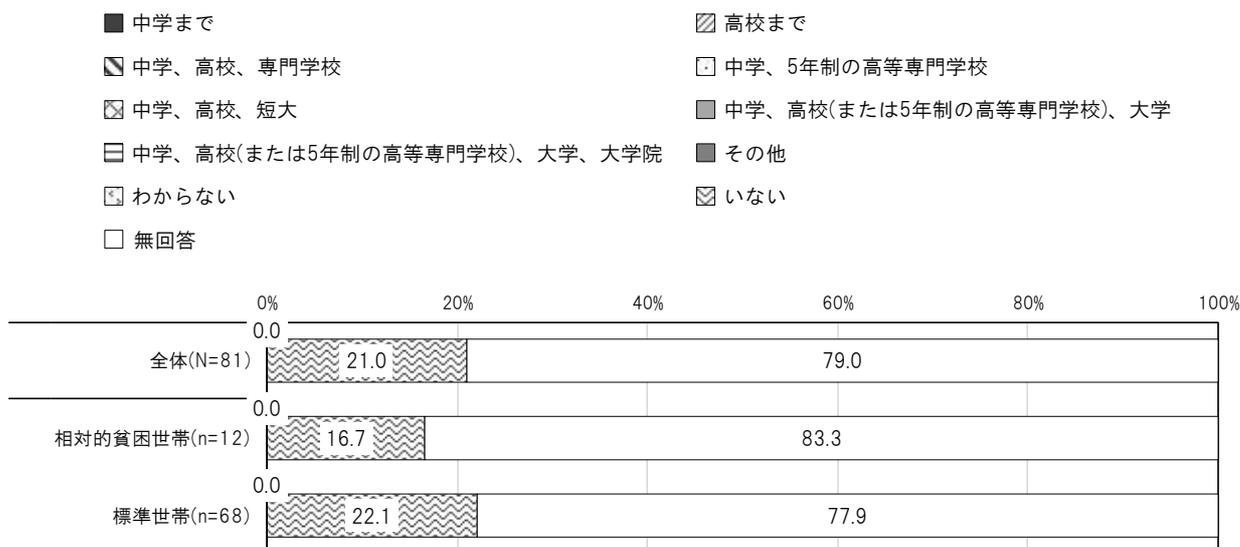
問9b) 父親の最終学歴

全体では、「高校まで」が33.3%と最も高く、次いで、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」(19.8%)、「中学、高校、専門学校」(16.0%)の順になっています。



問 9c) 母親・父親にかわる保護者の最終学歴

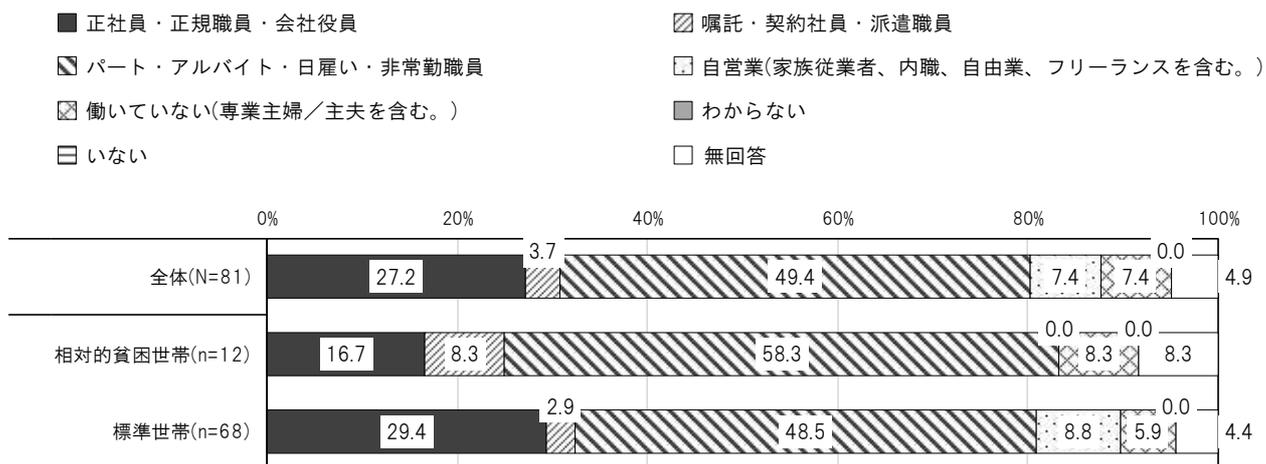
全体では、「いない」が21.0%となっています。



問 10 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a, b, c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

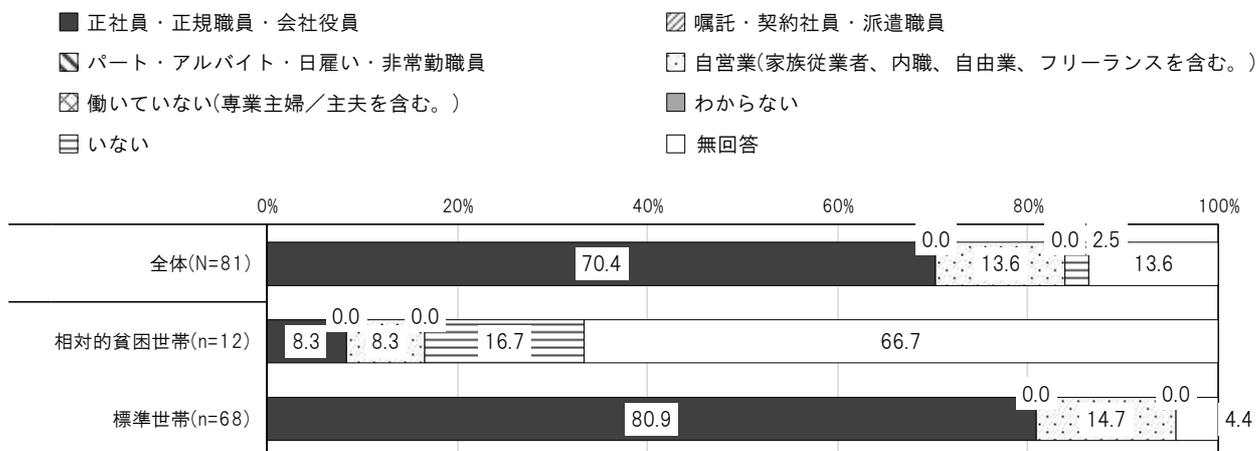
問 10a) 母親の就労

全体では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が49.4%と最も高く、次いで、「正社員・正規職員・会社役員」(27.2%)、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」(7.4%)、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」(7.4%)の順になっています。



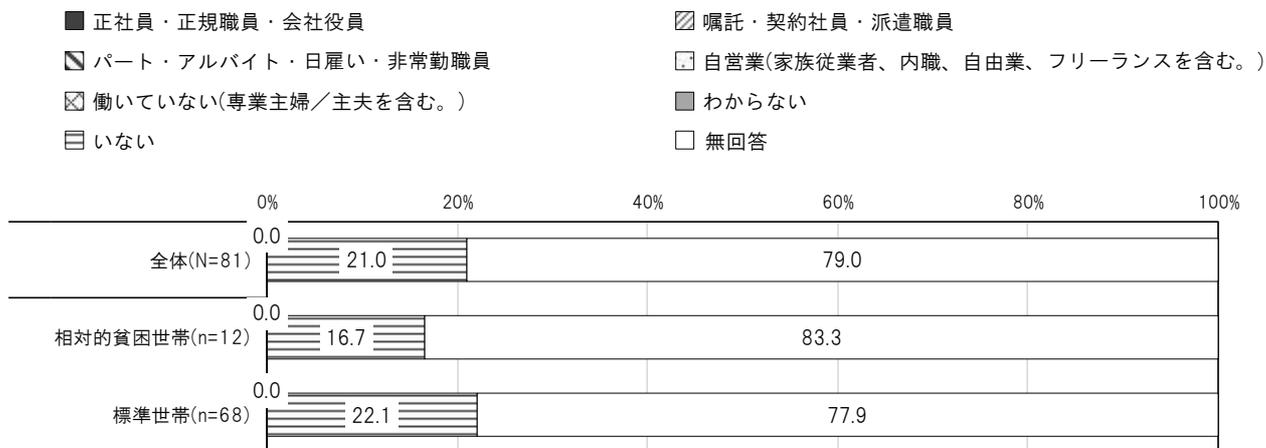
問 10b) 父親の就労

全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が 70.4%と最も高く、次いで、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」(13.6%)、「いない」(2.5%)の順になっています。



問 10c) 母親・父親にかわる保護者

全体では、「いない」が 21.0%となっています。

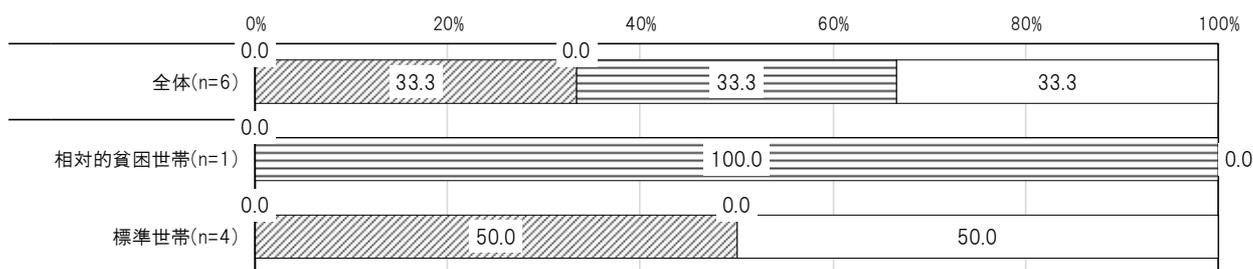


問 11 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a, b, c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

問 11a) 母親の就労理由

全体では、「子育てを優先したいため」「その他の理由」が 33.3%となっています。

- 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
- 子どもが病気・障がいのため
- 自分の病気や障害のため
- その他の理由
- 子育てを優先したいため
- その他の家族の介護・介助のため
- 通学しているため
- 無回答



問 11b) 父親の就労理由

今回調査では、該当者はいませんでした。

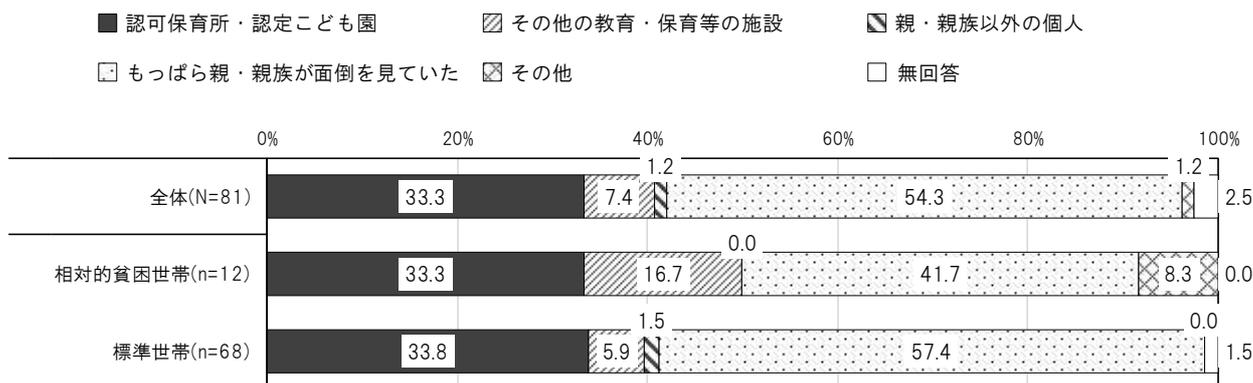
問 11c) 母親・父親にかわる保護者の就労理由

今回調査では、該当者はいませんでした。

2. お子さんについて

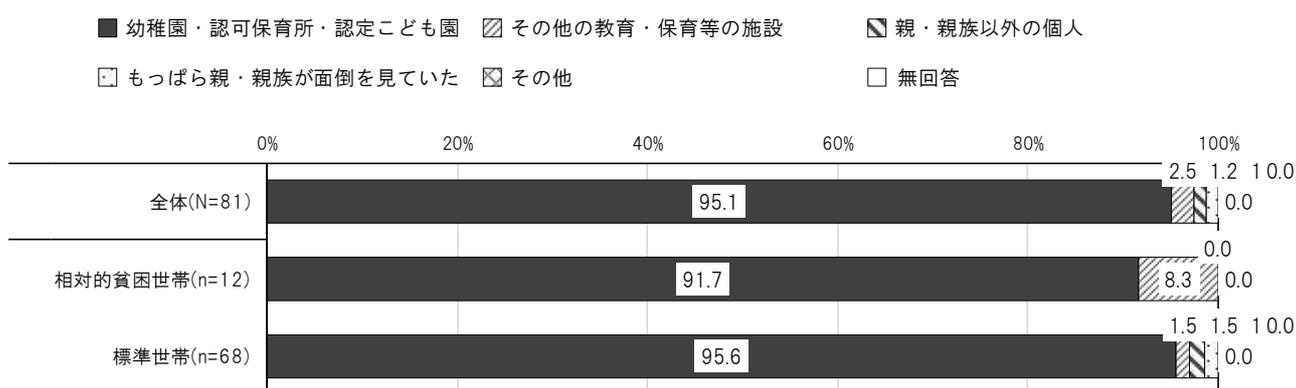
問 12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

全体では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が54.3%と最も高く、次いで、「認可保育所・認定こども園」(33.3%)、「その他の教育・保育等の施設」(7.4%)の順になっています。



問 13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

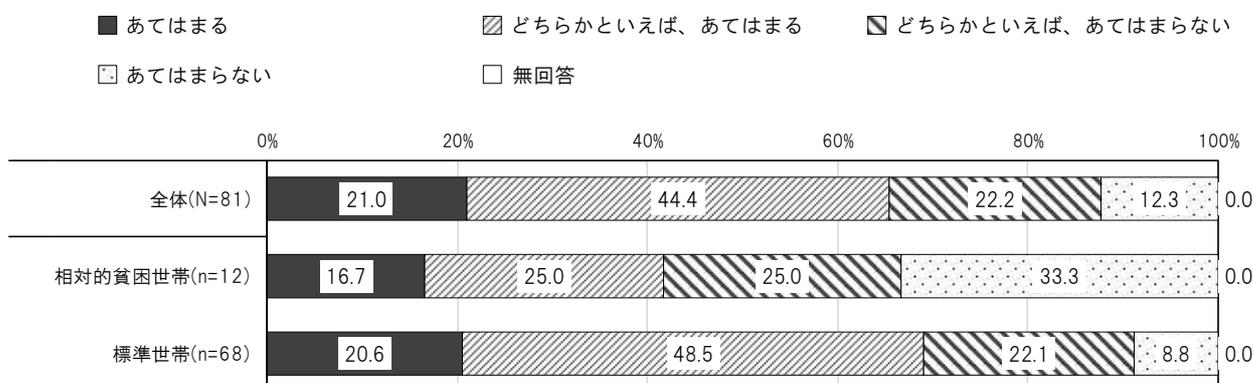
全体では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.1%と最も高く、次いで、「その他の教育・保育等の施設」(2.5%)、「親・親族以外の個人」「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」(1.2%)の順になっています。



**問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(a～h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)**

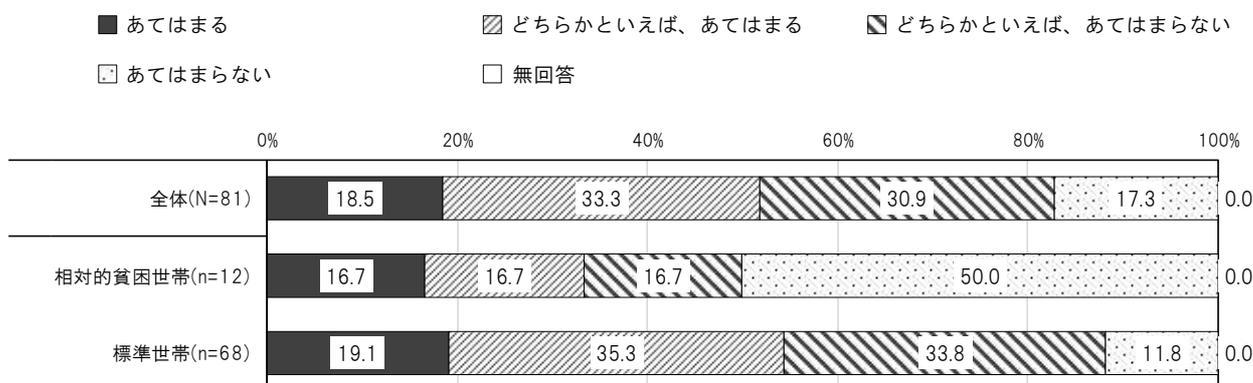
問 14a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

全体では、「どちらかといえば、あてはまる」が 44.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまらない」(22.2%)、「あてはまる」(21.0%) の順になっています。



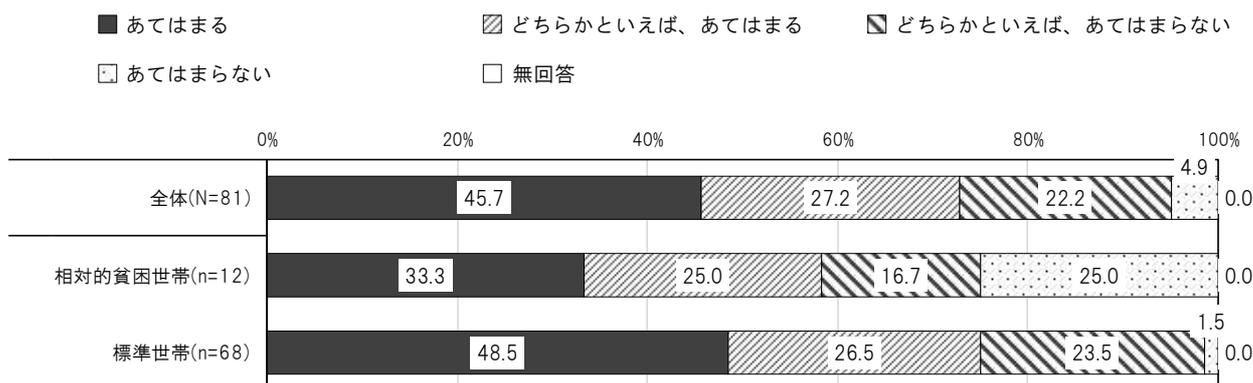
問 14b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

全体では、「どちらかといえば、あてはまる」が 33.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまらない」(30.9%)、「あてはまらない」(18.5%) の順になっています。



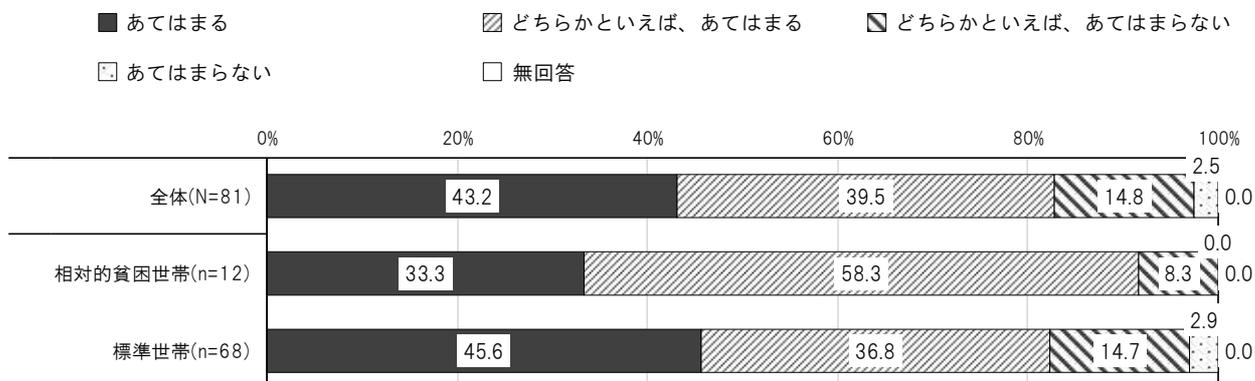
問 14c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

全体では、「あてはまる」が 45.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(27.2%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(22.2%) の順になっています。



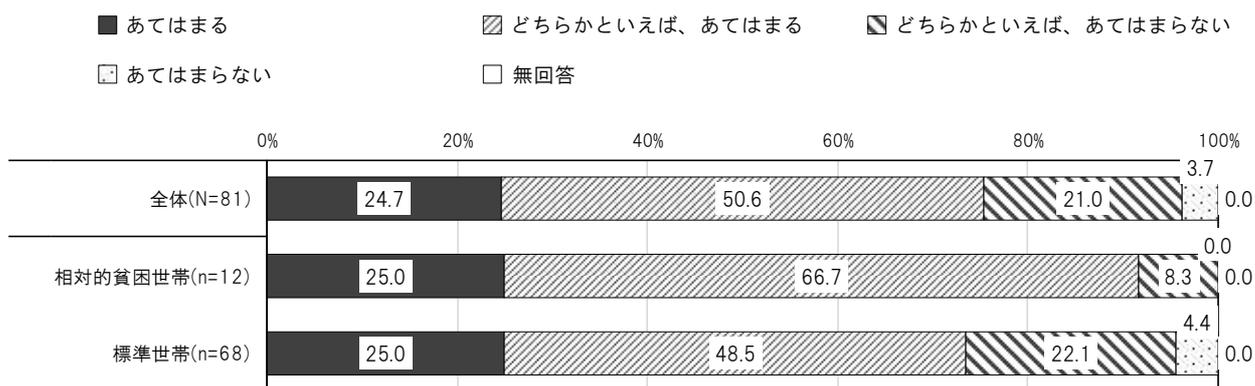
問 14d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

全体では、「あてはまる」が 43.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(39.5%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(14.8%)の順になっています。



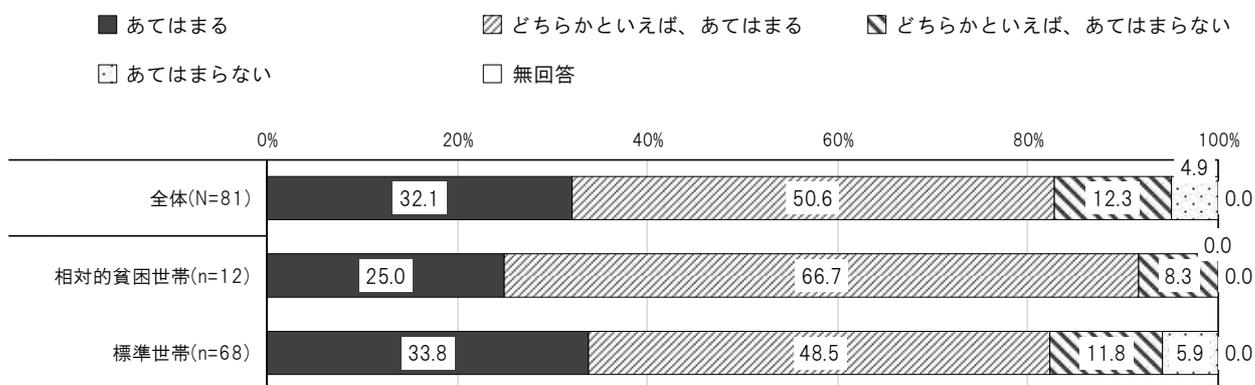
問 14e) ニュースの話をする

全体では、「どちらかといえば、あてはまる」が 50.6%と最も高く、次いで、「あてはまる」(24.7%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(21.0%)の順になっています。



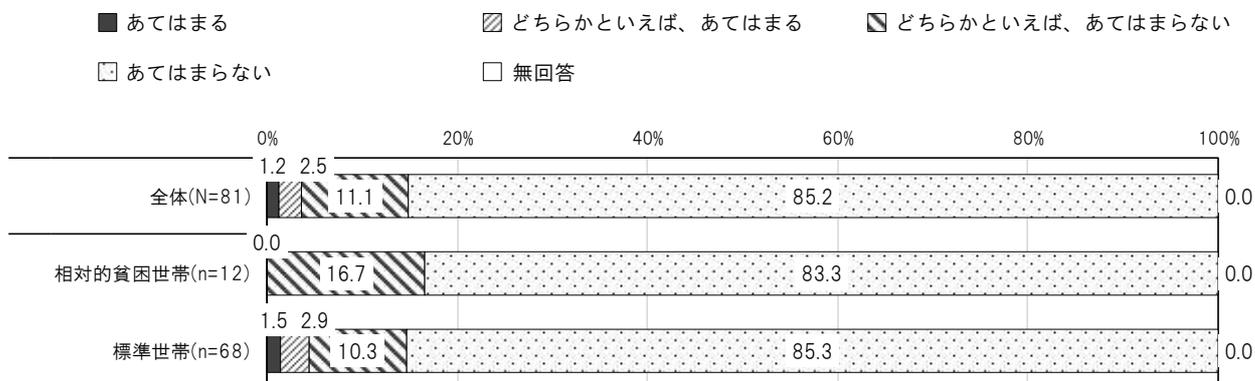
問 14f) SNS 等の話をする

全体では、「どちらかといえば、あてはまる」が 50.6%と最も高く、次いで、「あてはまる」(32.1%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(12.3%)の順になっています。



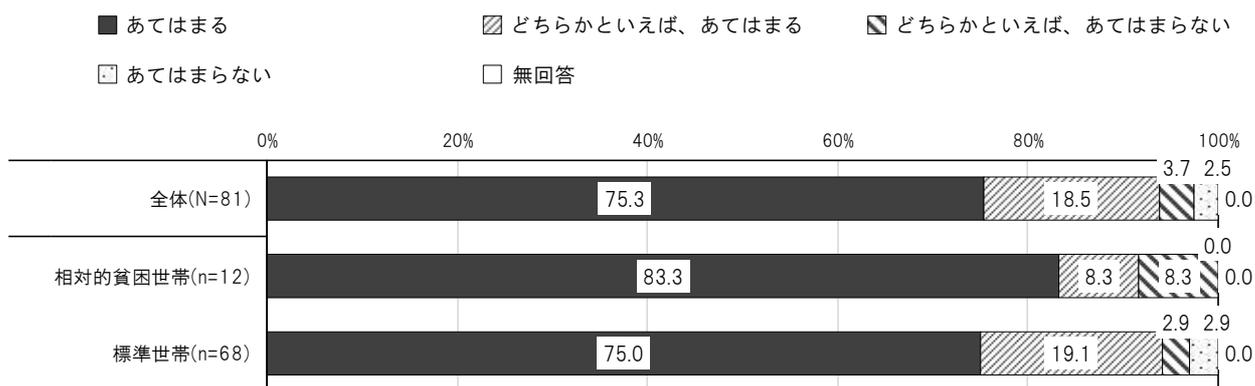
問 14g) 夕食は子どもが作る

全体では、「あてはまらない」が 85.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまらない」(11.1%)、「どちらかといえば、あてはまる」(2.5%) の順になっています。



問 14h) 夕食は一緒に食べる

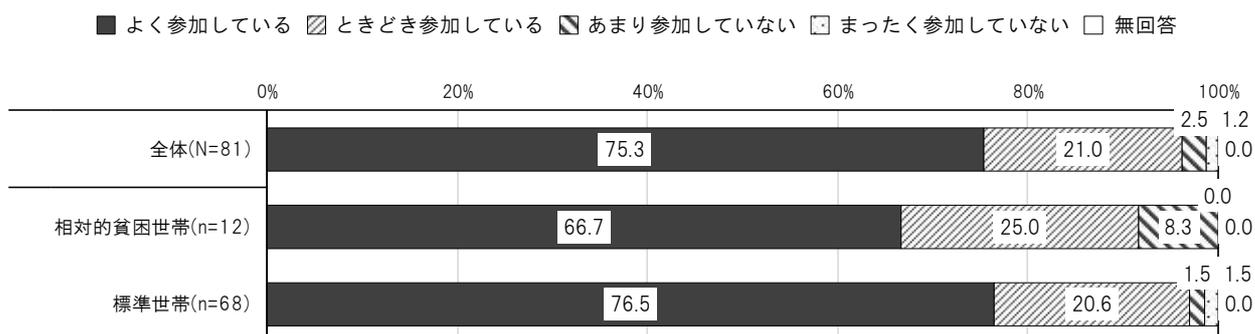
全体では、「あてはまる」が 75.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(18.5%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(3.7%) の順になっています。



問 15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

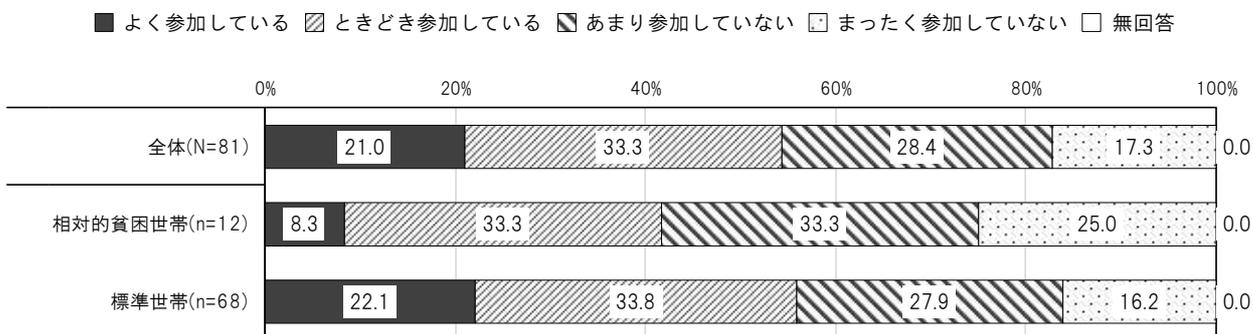
問 15a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

全体では、「よく参加している」が 75.3%と最も高く、次いで、「ときどき参加している」(21.0%)、「あまり参加していない」(2.5%) の順になっています。



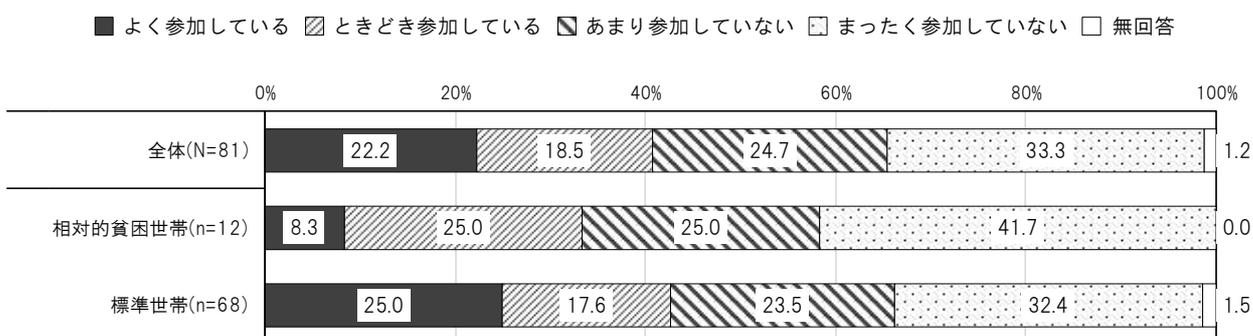
問 15b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

全体では、「ときどき参加している」が 33.3%と最も高く、次いで、「あまり参加していない」(28.4%)、「よく参加している」(21.0%) の順になっています。



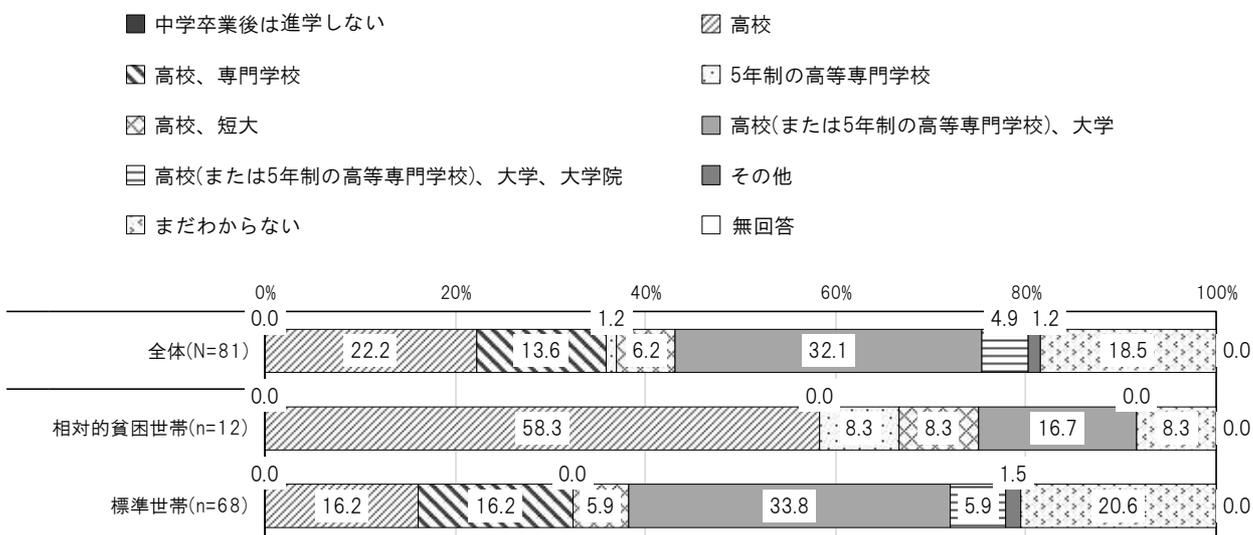
問 15c) 部活や校外活動に参加している

全体では、「まったく参加していない」が 33.3%と最も高く、次いで、「あまり参加していない」(24.7%)、「よく参加している」(22.2%) の順になっています。



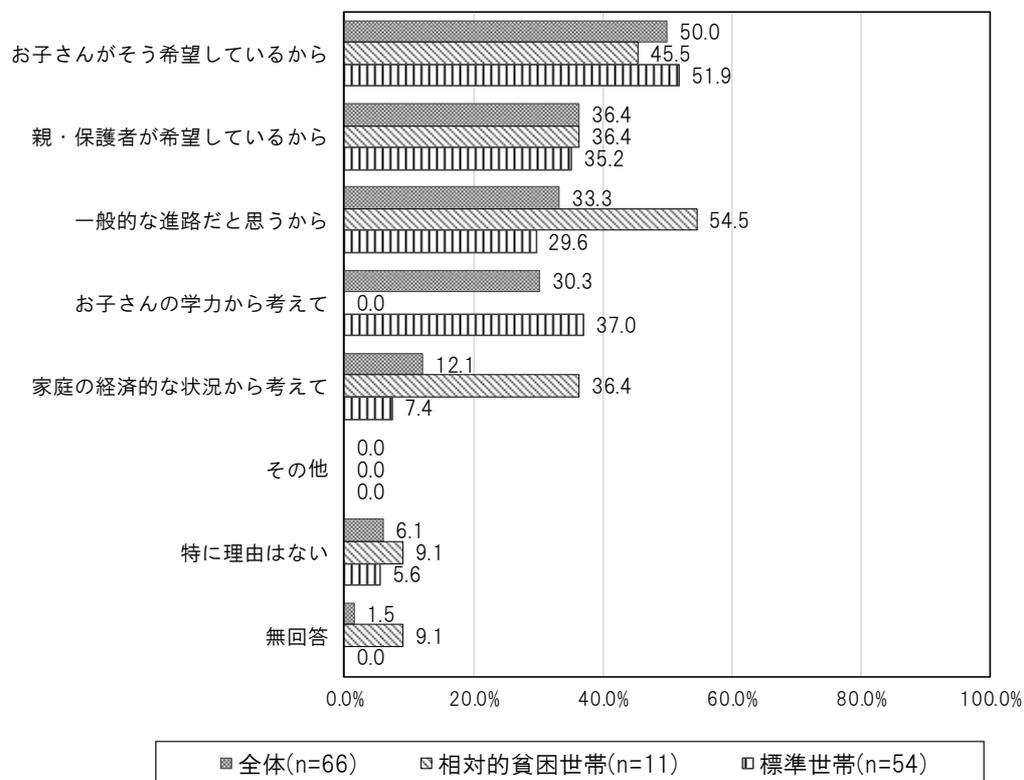
問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまるものひとつに○)

全体では、「高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が32.1%と最も高く、次いで、「高校」(22.2%)、「まだわからない」(18.5%) の順になっています。



問 17 前問で1~8と答えた場合、その理由は何ですか。(1~7については、あてはまるものすべてに○)

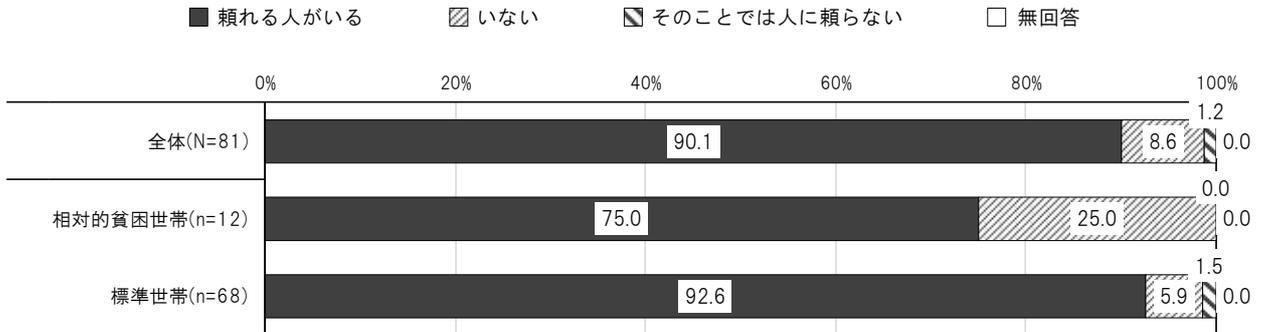
全体では、「お子さんがそう希望しているから」が50.0%と最も高く、次いで、「親・保護者が希望しているから」(36.4%)、「一般的な進路だと思うから」(33.3%)の順になっています。



問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a~c それぞれについて、1~3 のあてはまるもの1つに○) また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①~⑦のあてはまるものすべてに○)

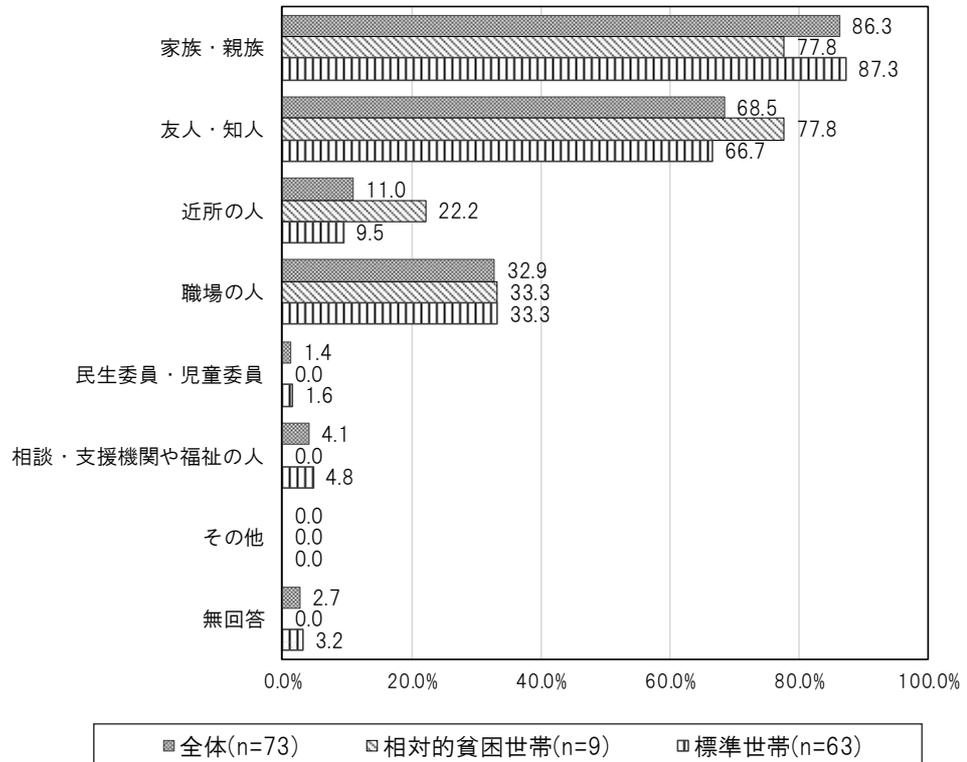
問 18_a1 子育てに関する相談

全体では、「1 頼れる人がいる」が 90.1%と最も高く、次いで、「2 いない」(8.6%)、「3 そのことでは人に頼らない」(1.2%)の順になっています。



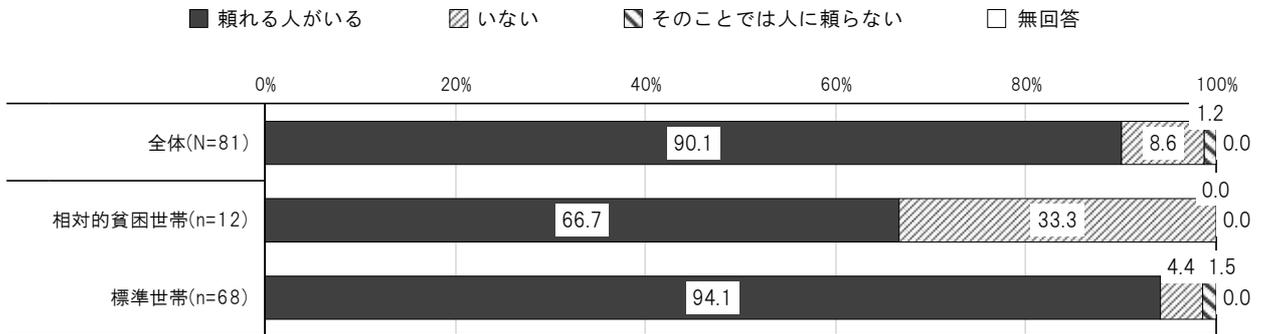
問 18_a2 相談相手

全体では、「1 家族・親族」が 86.3%と最も高く、次いで、「2 友人・知人」(68.5%)、「4 職場の人」(32.9%)の順になっています。



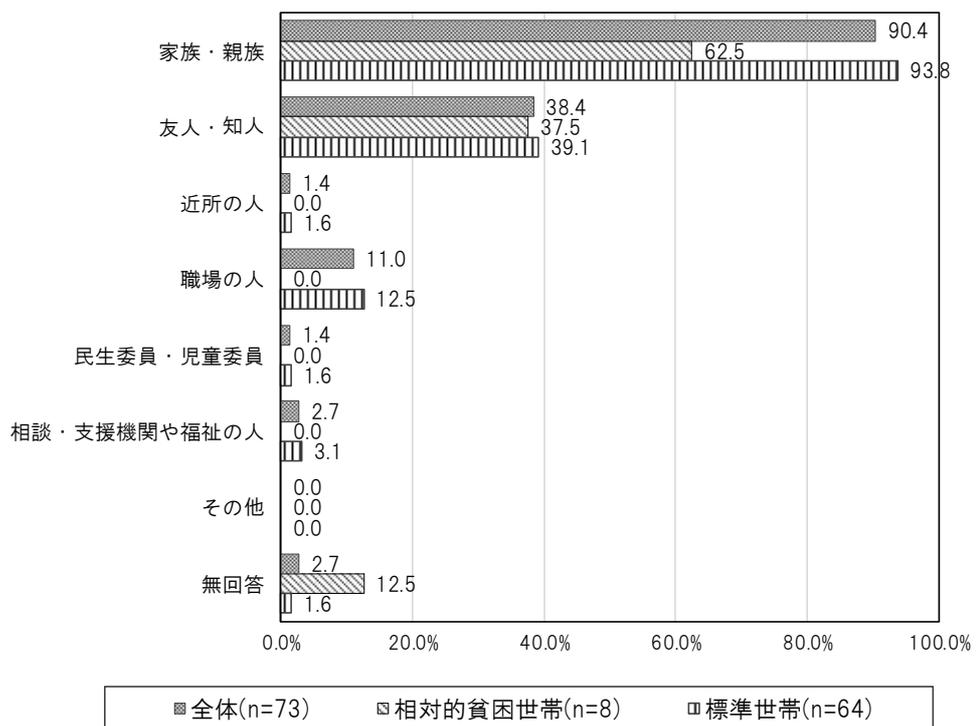
問 18_b1 重要な事柄の相談

全体では、「1 頼れる人がいる」が 90.1%と最も高く、次いで、「2 いない」(8.6%)、「3 そのことでは人に頼らない」(1.2%)の順になっています。



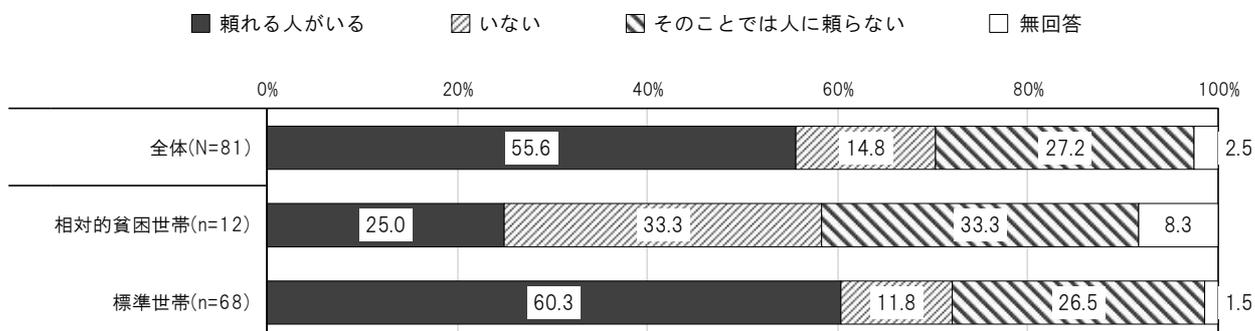
問 18_b2 相談相手

全体では、「1 家族・親族」が 90.4%と最も高く、次いで、「2 友人・知人」(38.4%)、「4 職場の人」(11.0%)の順になっています。



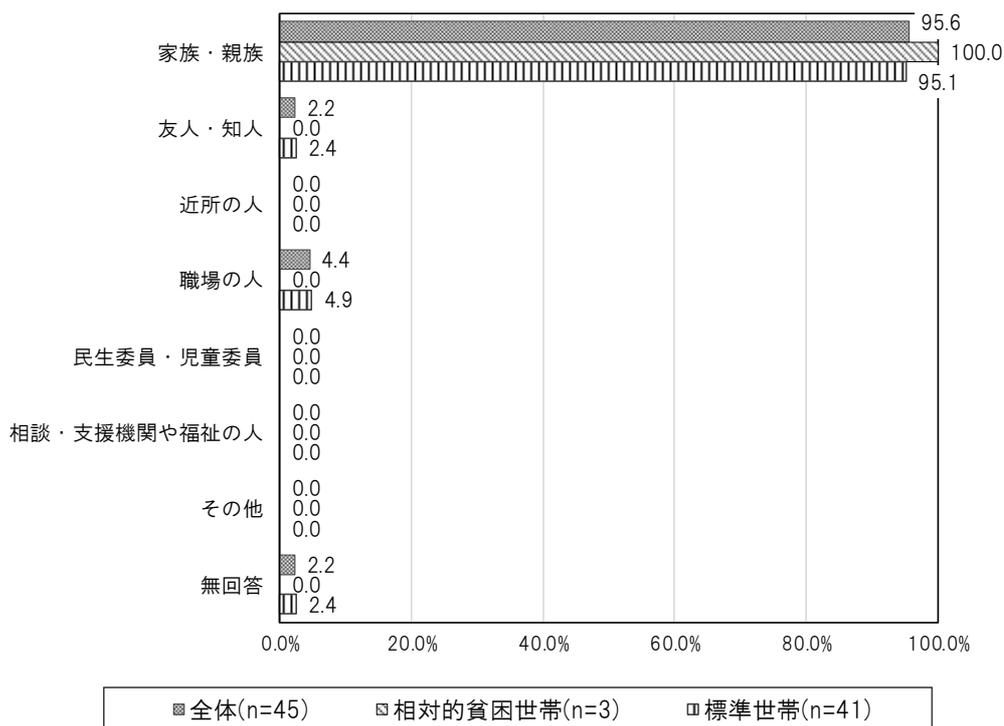
問 18_c1 いざという時のお金の援助

全体では、「1 頼れる人がいる」が55.6%と最も高く、次いで、「3 そのことでは人に頼らない」(27.2%)、「2 いない」(14.8%)の順になっています。



問 18_c2 お金の援助を頼る相手

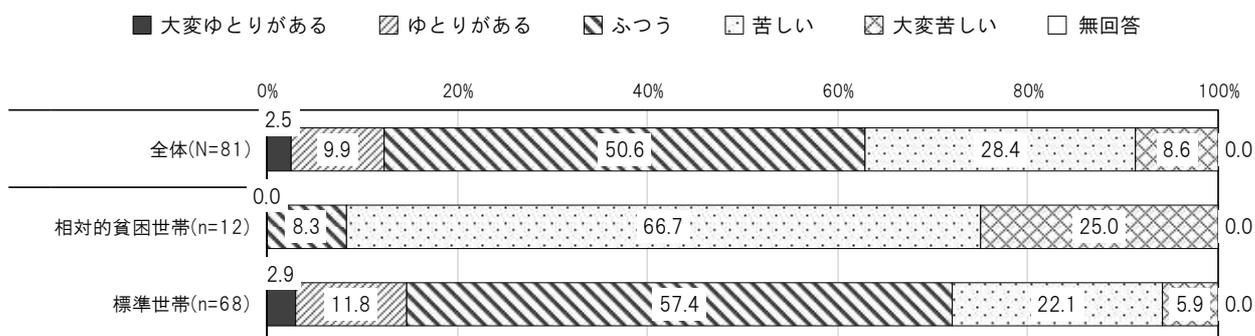
全体では、「1 家族・親族」が95.6%と最も高く、次いで、「4 職場の人」(4.4%)、「2 友人・知人」(2.2%)の順になっています。



3. 経済的な状況

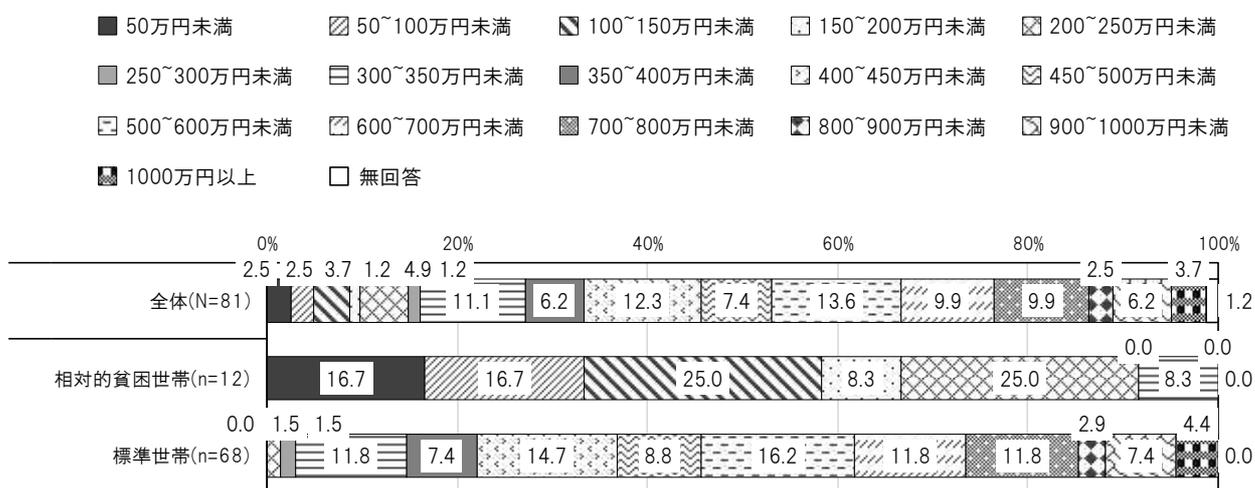
問 19 あなたは、現在の暮らしの経済的な状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「ふつう」が 50.6%と最も高く、次いで、「苦しい」(28.4%)、「ゆとりがある」(9.9%)の順になっています。



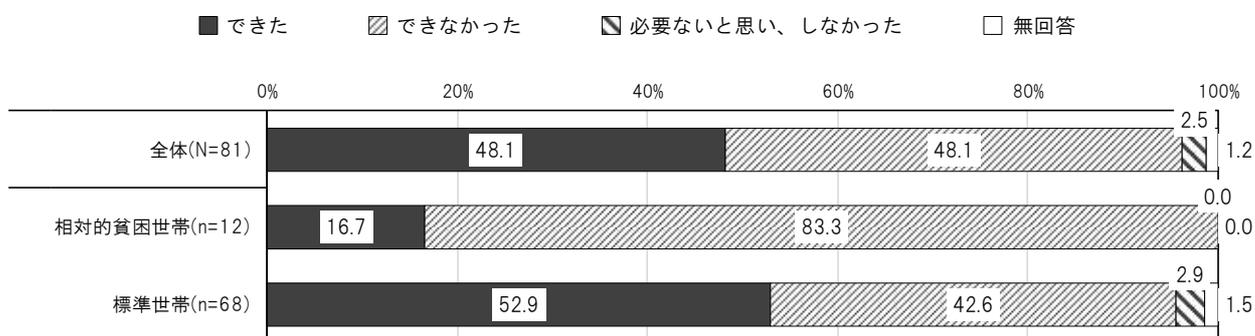
問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「500~600万円未満」が 13.6%と最も高く、次いで、「400~450万円未満」(12.3%)、「300~350万円未満」(11.1%)の順になっています。



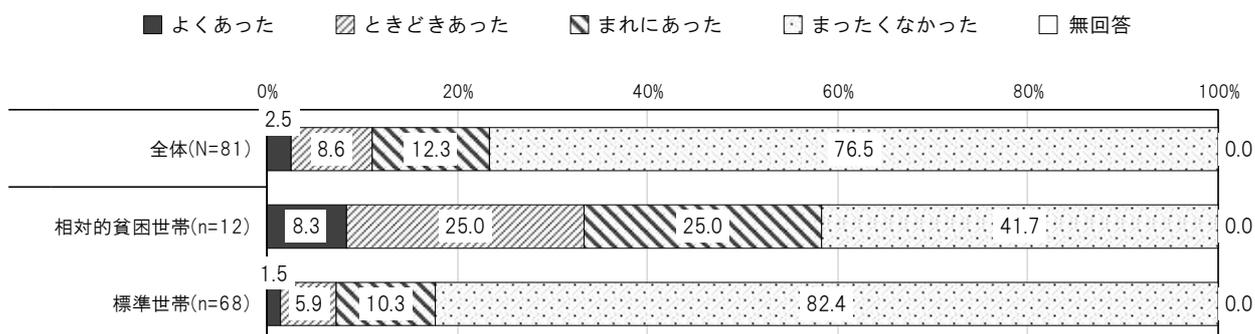
問 21 昨年、お子さんの将来のための貯蓄ができましたか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「できた」「できなかった」が 48.1%と最も高く、次いで、「必要ないと思い、しなかった」(2.5%) の順になっています。



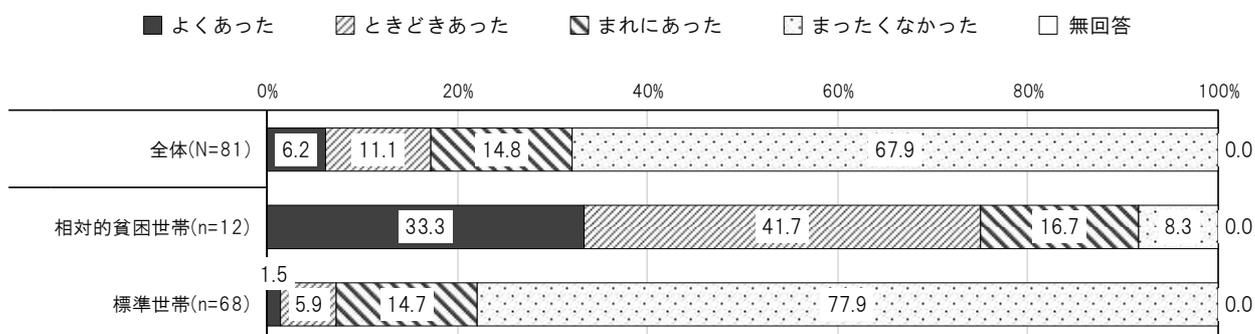
問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(※)は含みません。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「まったくなかった」が 76.5%と最も高く、次いで、「まれにあった」(12.3%)、「ときどきあった」(8.6%) の順になっています。



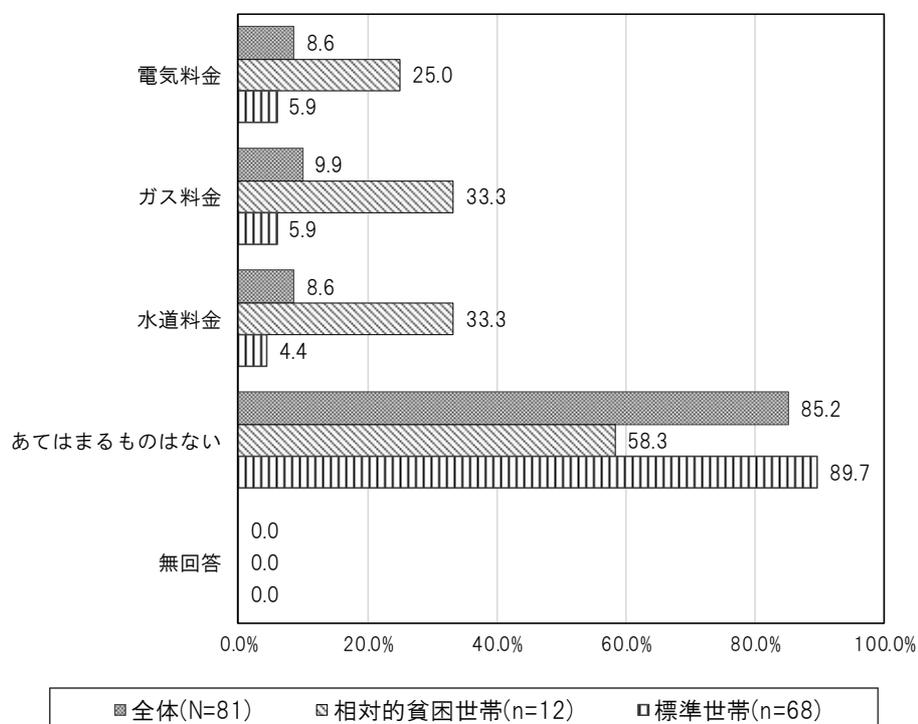
問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「まったくなかった」が67.9%と最も高く、次いで、「まれにあった」(14.8%)、「ときどきあった」(11.1%)の順になっています。



問 24 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1~3については、あてはまるものすべてに○)

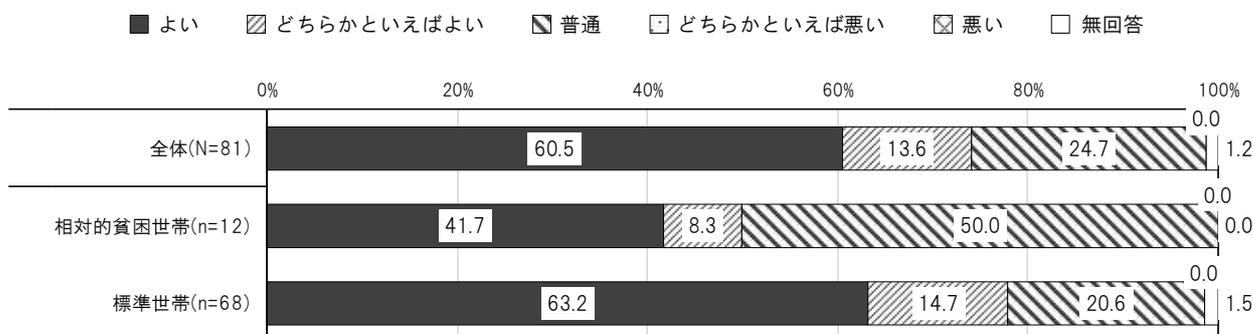
全体では、「あてはまるものはない」が85.2%と最も高く、次いで、「ガス料金」(9.9%)、「電気料金」「水道料金」(8.6%)の順になっています。



4. 健康状態について

問 25 お子さんの現在の健康状態は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

全体では、「よい」が 60.5%と最も高く、次いで、「普通」(24.7%)、「どちらかといえばよい」(13.6%)の順になっています。



問 25 で「4」「5」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 お子さん連れて医療機関を受診しましたか。(あてはまるもの1つに○)

今回調査では、該当者がいませんでした。

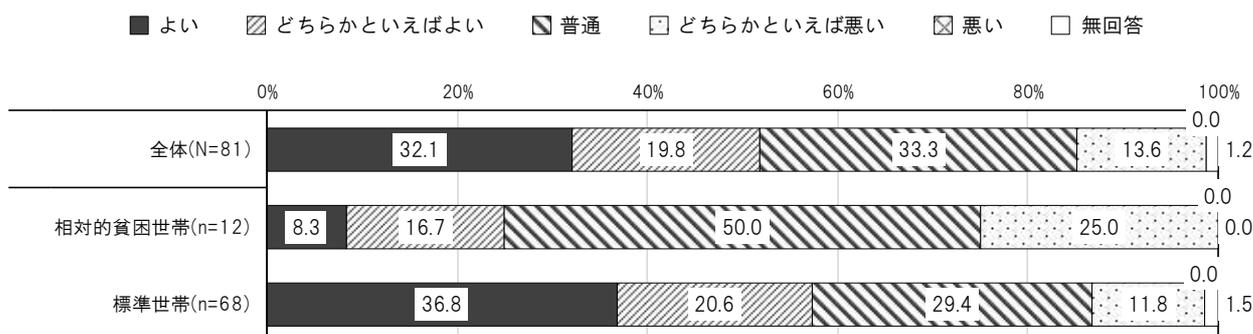
問 25-1 で「3 受診を予定していない」と答えた方にうかがいます。

問 25-2 その理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

今回調査では、該当者がいませんでした。

問 26 あなたの現在の健康状態は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

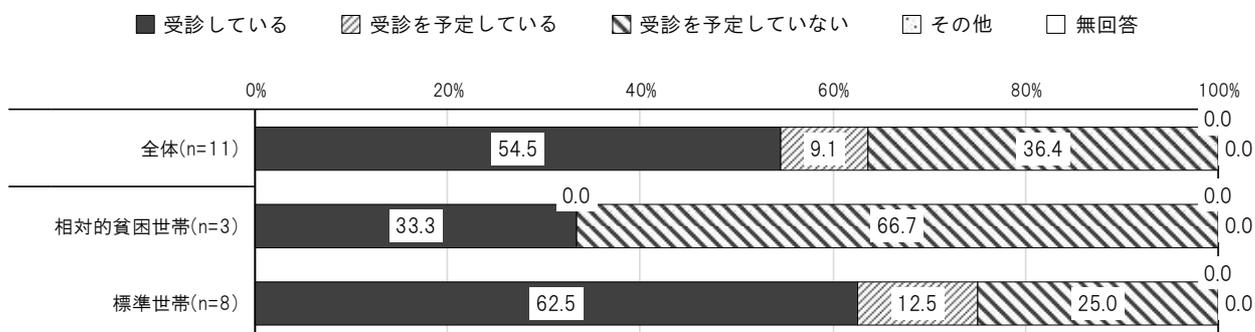
全体では、「普通」が 33.3%と最も高く、次いで、「よい」(32.1%)、「どちらかといえばよい」(19.8%)の順になっています。



問 26 で「4」「5」と答えた方にうかがいます。

問 26-1 あなたは医療機関を受診していますか。(あてはまるもの1つに○)

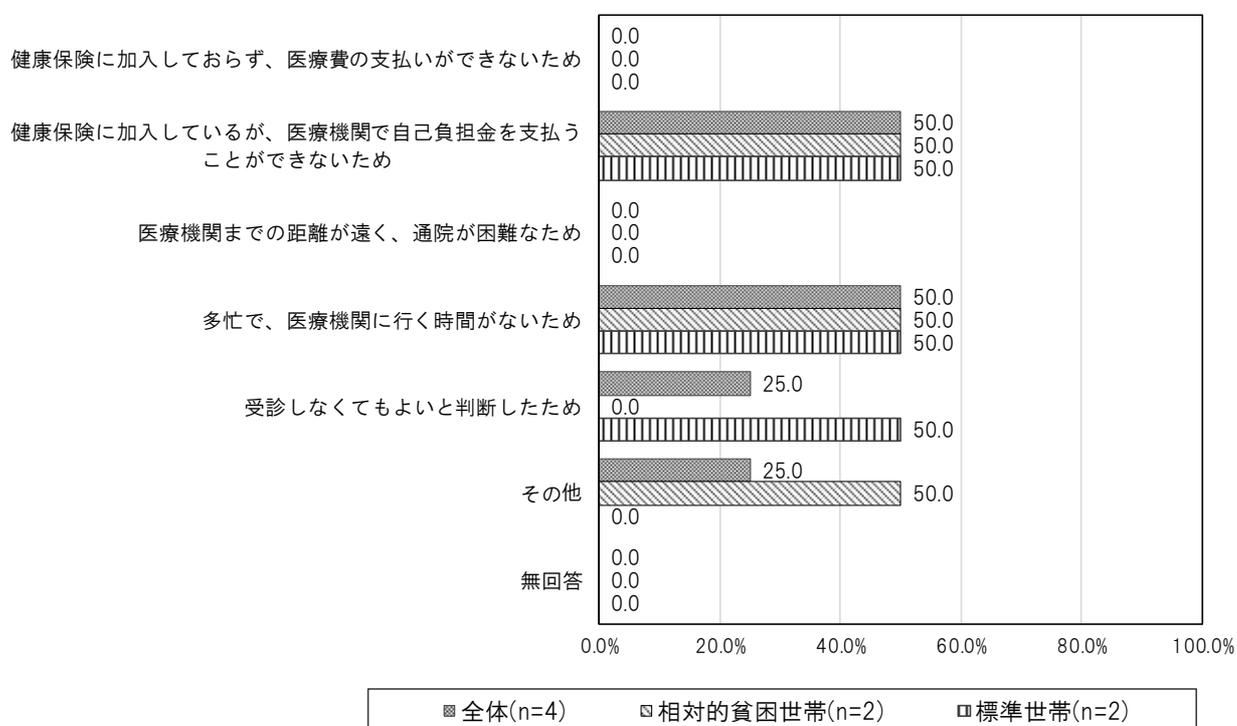
全体では、「受診している」が 54.5%と最も高く、次いで、「受診を予定していない」(36.4%)、「受診を予定している」(9.1%) の順になっています。



問 26-1 で「3 受診を予定していない」と答えた方にうかがいます。

問 26-2 その理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

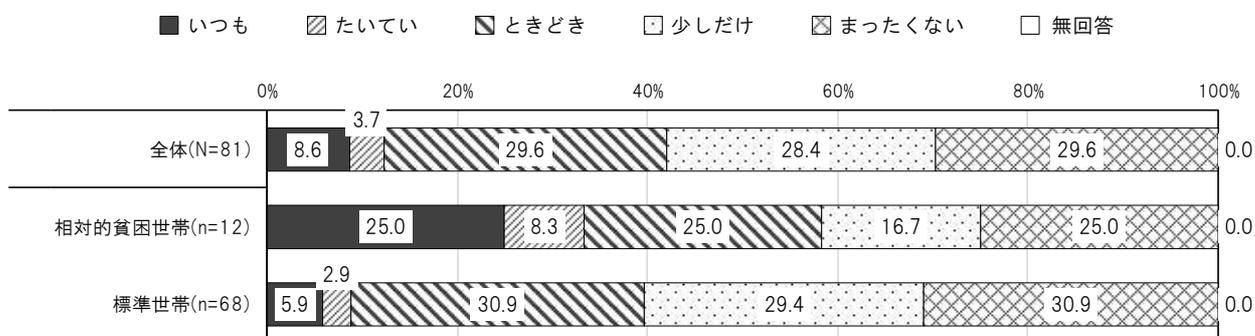
全体では、「健康保険に加入しているが、医療機関で自己負担金を支払うことができないため」「多忙で、医療機関に行く時間がないため」が 50.0%と最も高く、次いで、「受診しなくてもよいと判断したため」「その他」(25.0%) の順になっています。



問 27 次の a)～f)の質問について、この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

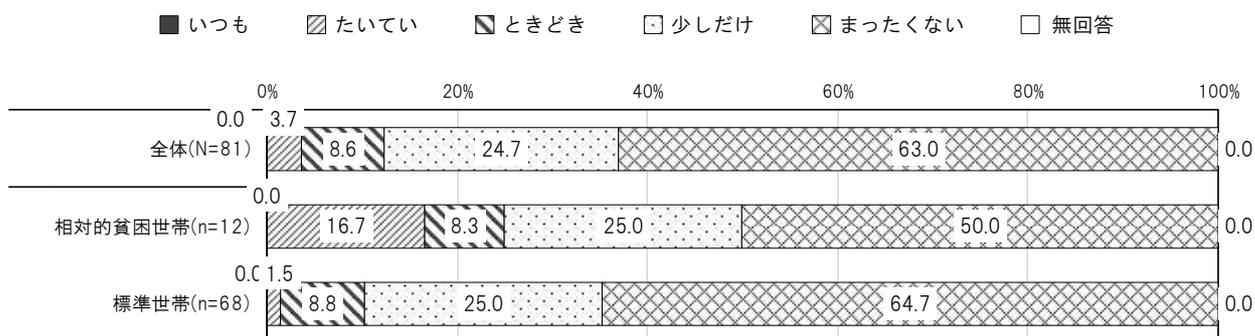
問 27a) 神経過敏に感じた

全体では、「ときどき」「まったくない」が 29.6%と最も高く、次いで、「少しだけ」(28.4%)の順になっています。



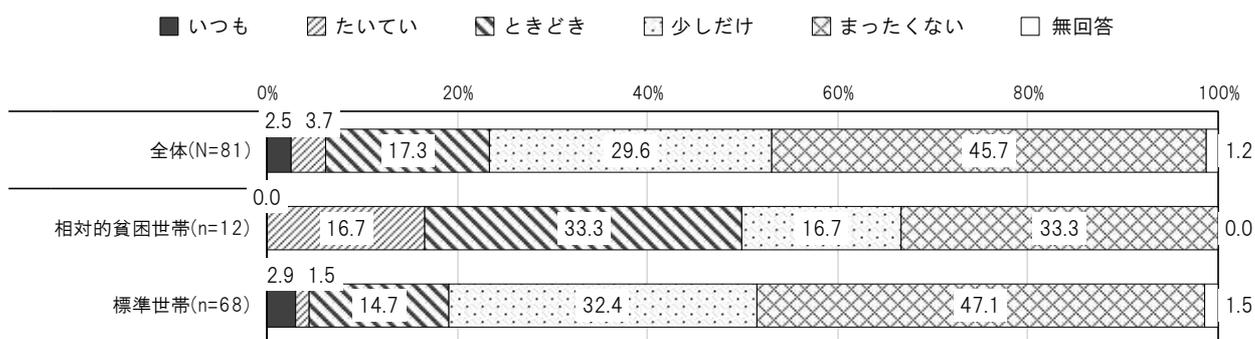
問 27b) 絶望的だと感じた

全体では、「まったくない」が 63.0%と最も高く、次いで、「少しだけ」(24.7%)、「ときどき」(8.6%)の順になっています。



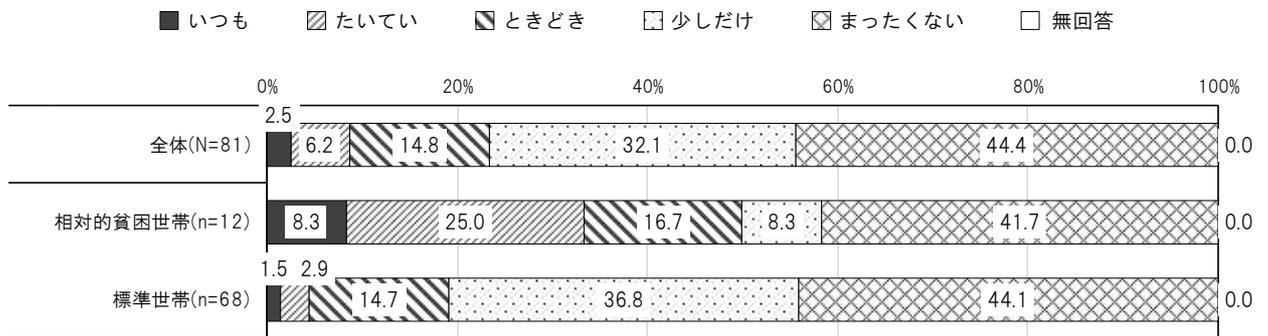
問 27c) そわそわ、落ち着かなく感じた

全体では、「まったくない」が 45.7%と最も高く、次いで、「少しだけ」(29.6%)、「ときどき」(17.3%)の順になっています。



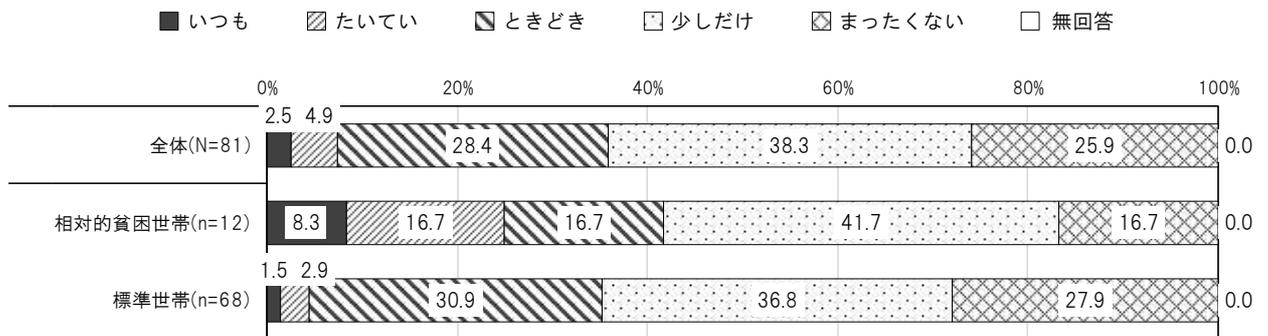
問 27d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた

全体では、「まったくない」が 44.4%と最も高く、次いで、「少しだけ」(32.1%)、「ときどき」(14.8%)の順になっています。



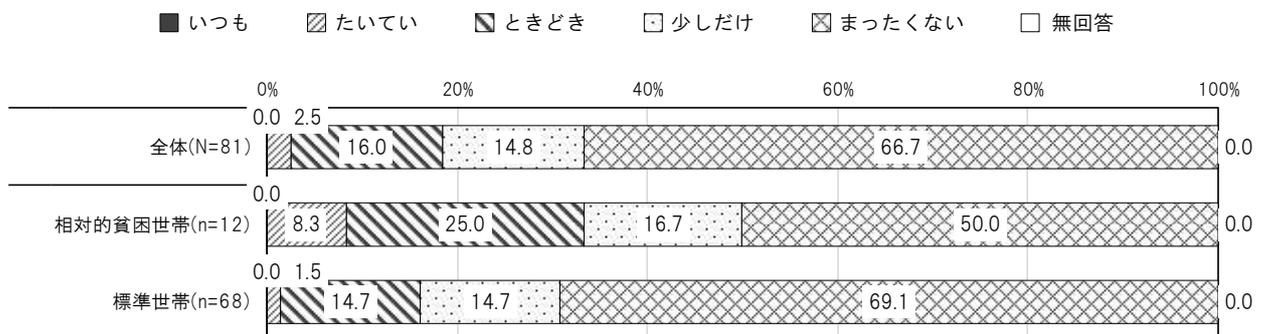
問 27e) 何をするのも面倒だと感じた

全体では、「少しだけ」が 38.3%と最も高く、次いで、「ときどき」(28.4%)、「まったくない」(25.9%)の順になっています。



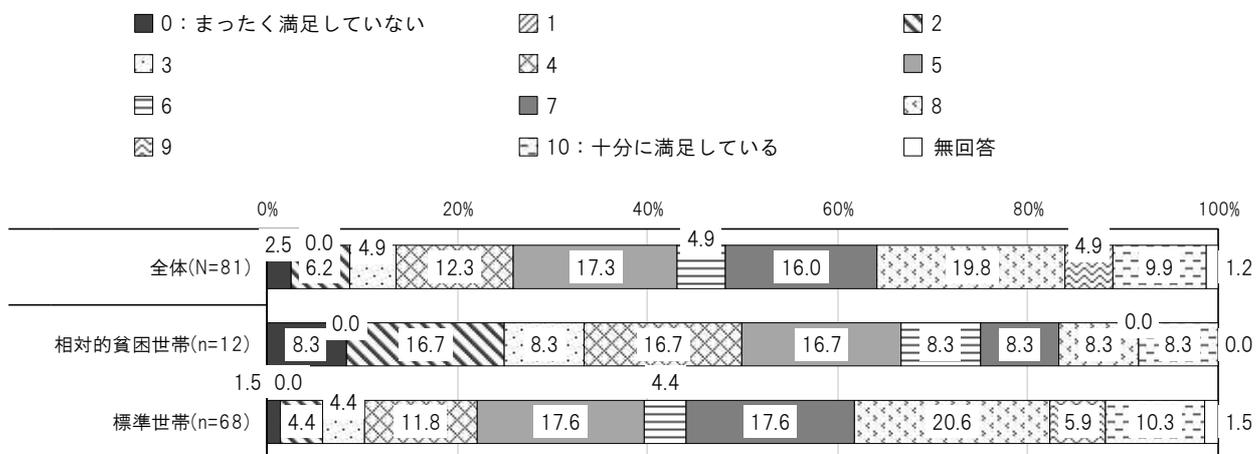
問 27f) 自分は価値のない人間だと感じた

全体では、「まったくない」が 66.7%と最も高く、次いで、「ときどき」(16.0%)、「少しだけ」(14.8%)の順になっています。



問 28 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

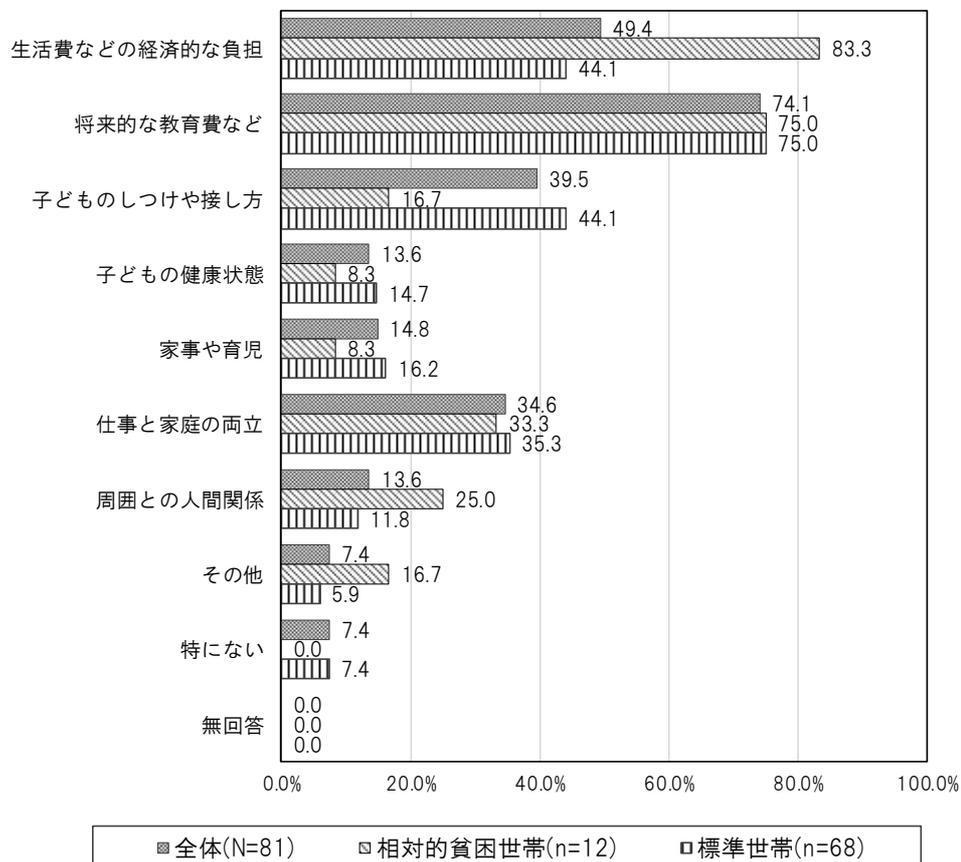
全体では、「8」が 19.8%と最も高く、次いで、「5」(17.3%)、「7」(16.0%) の順になっています。



5. 必要な支援

問 29 子育てについての心配や悩みごとは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「将来的な教育費など」が 74.1%と最も高く、次いで、「生活費などの経済的な負担」(49.4%)、「子どものしつけや接し方」(39.5%) の順になっています。

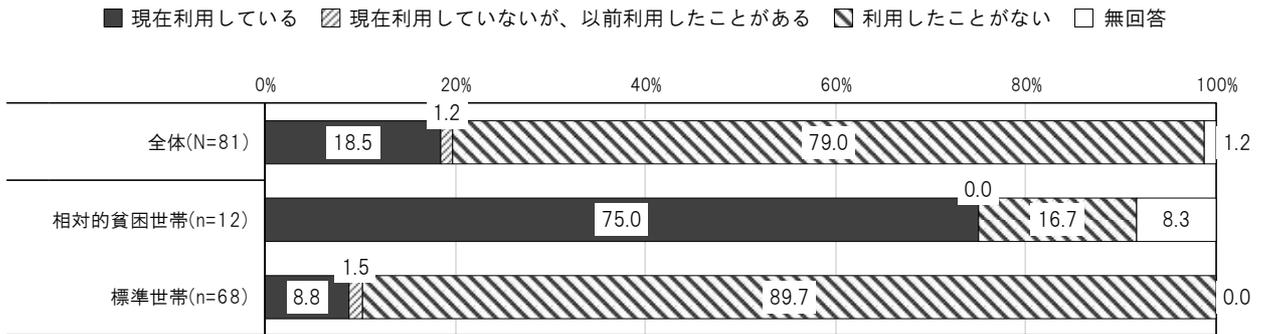


「その他」の回答…「転校で環境の変化によるストレスで学校を休みがち」「仕事や地域活動、家事育児との両立」「家が狭く、部屋がないため夜など子どもが勉強しにくい」「子供の進学について」「子供の学校生活」「高校等の通学の足が限られているので、通学用のバスなどあればと思う」など

問 30 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑥のあてはまるもの1つに○)

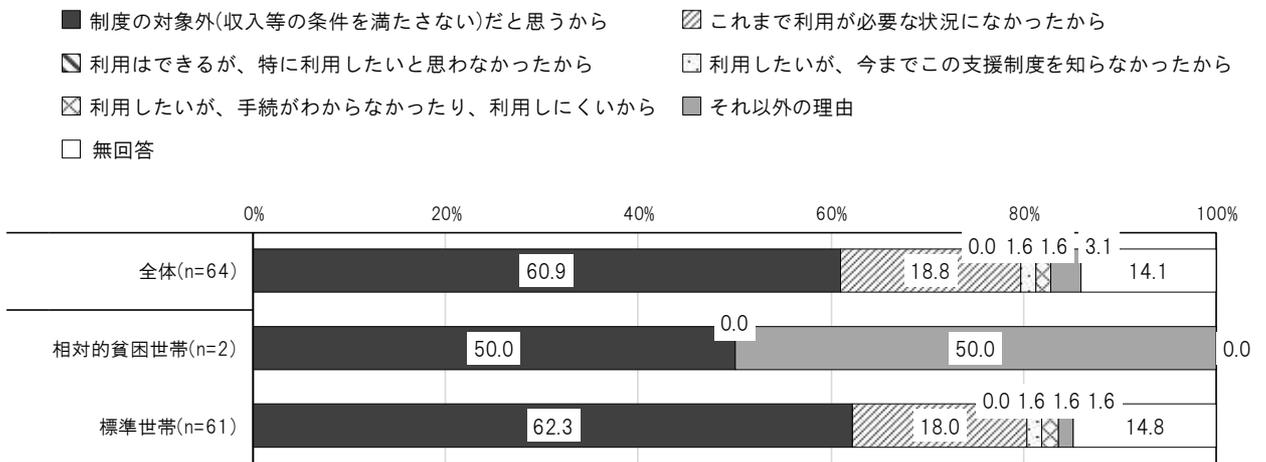
問 30 a 就学援助

全体では、「利用したことがない」が79.0%と最も高く、次いで、「現在利用している」(18.5%)、「現在利用していないが、以前利用したことがある」(1.2%)の順になっています。



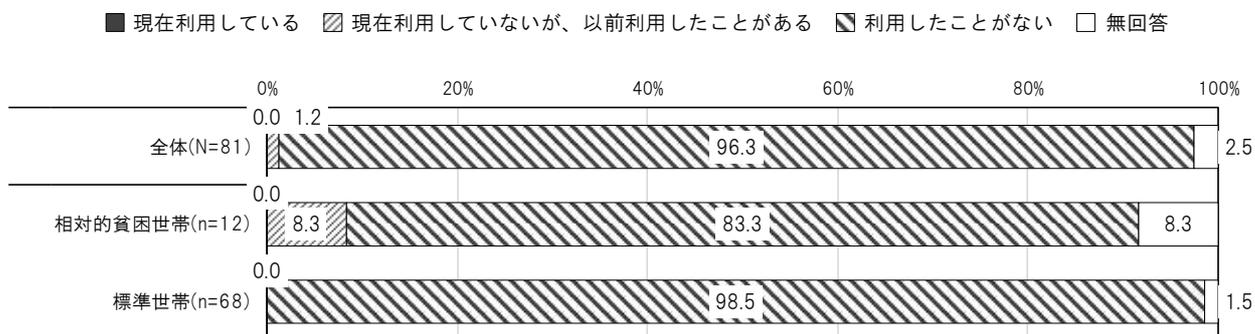
問 30 a 2 就学援助

全体では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が60.9%と最も高く、次いで、「これまで利用が必要な状況になかったから」(18.8%)、「それ以外の理由」(3.1%)の順になっています。



問 30b 生活保護

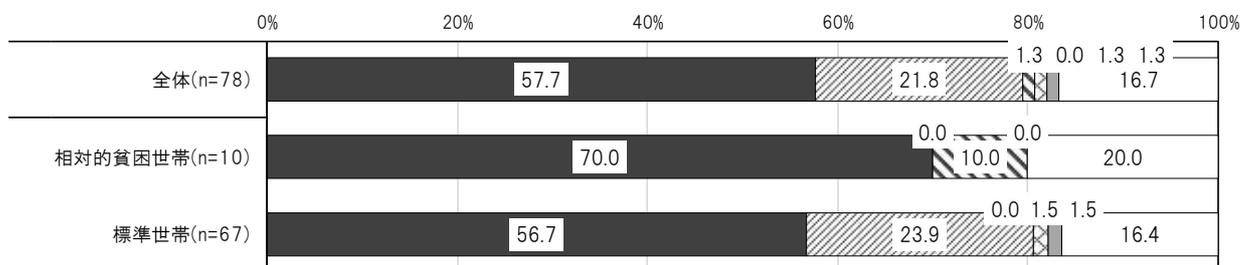
全体では、「利用したことがない」が 96.3%、次いで、「現在利用していないが、以前利用したことがある」(1.2%) の順になっています。



問 30b2 生活保護

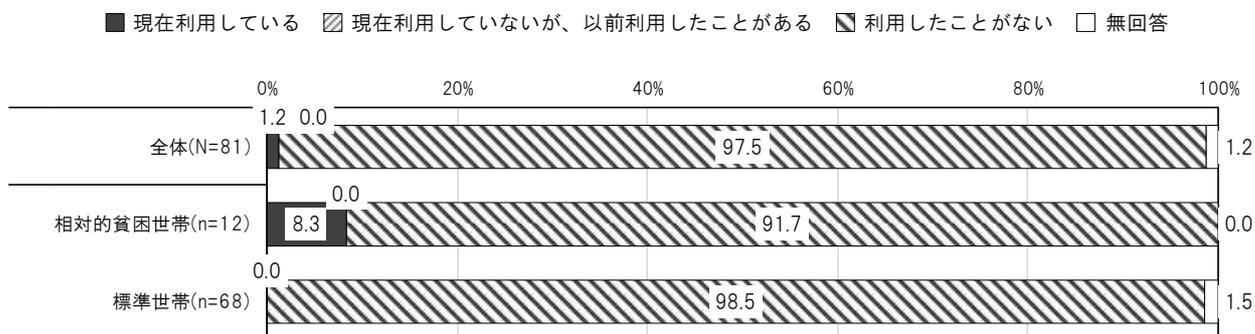
全体では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が 57.7%と最も高く、次いで、「これまで利用が必要な状況になかったから」(21.8%)、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」「それ以外の理由」(1.3%) の順になっています。

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから ▨ これまで利用が必要な状況になかったから
 ▩ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから □ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
 ▧ 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから ■ それ以外の理由
 □ 無回答



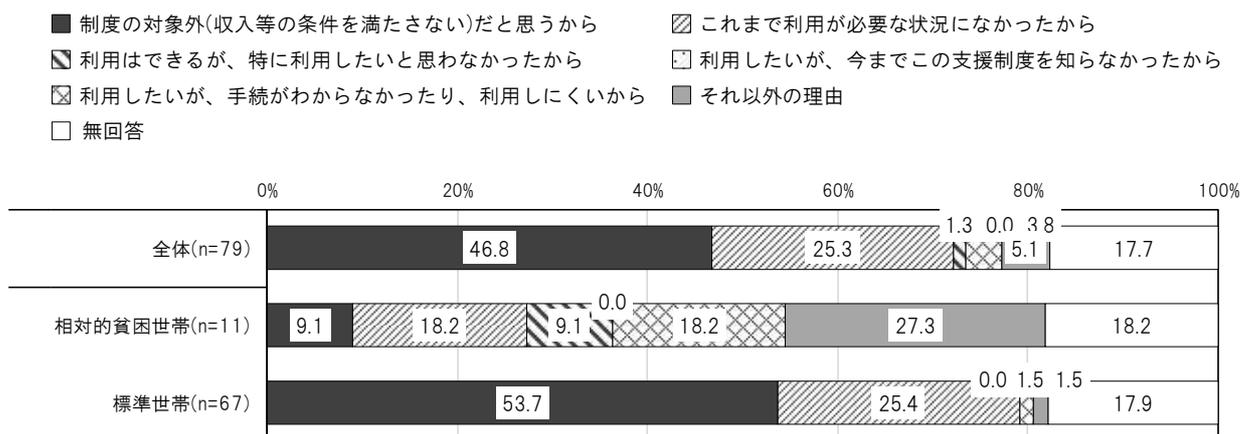
問 30 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

全体では、「利用したことがない」が 97.5%、次いで、「現在利用している」(1.2%) の順になっています。



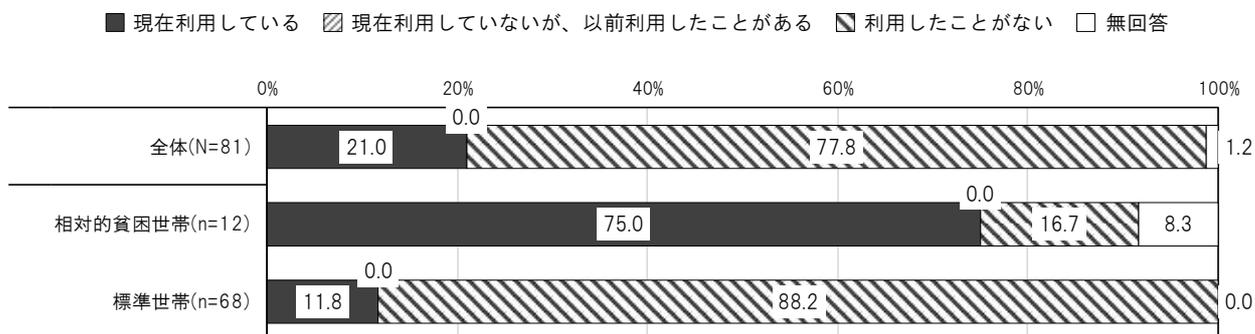
問 30 c 2 生活困窮者の自立支援相談窓口

全体では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が 46.8%と最も高く、次いで、「これまで利用が必要な状況になかったから」(25.3%)、「それ以外の理由」(5.1%) の順になっています。



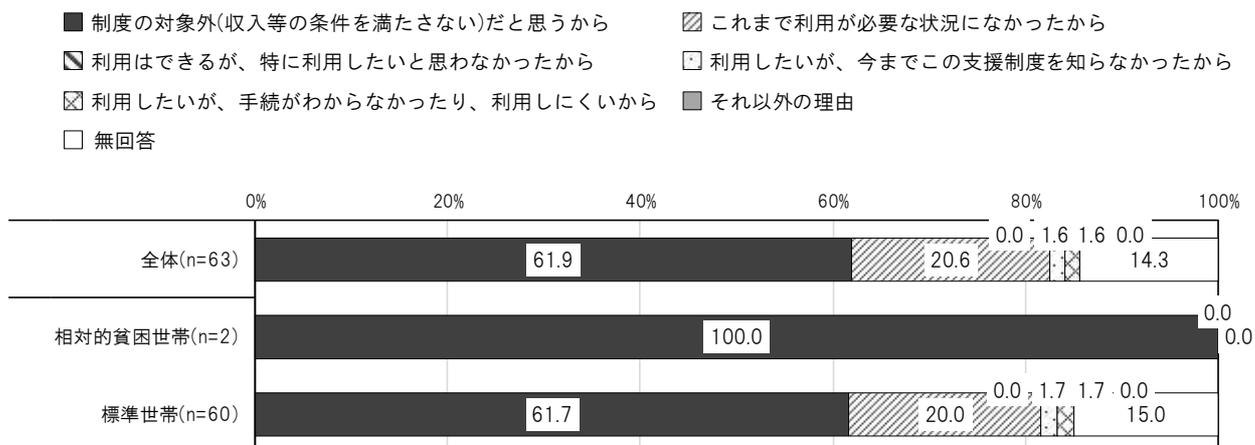
問 30 d 児童扶養手当

全体では、「利用したことがない」が 77.8%、次いで、「現在利用している」(21.0%) の順になっています。



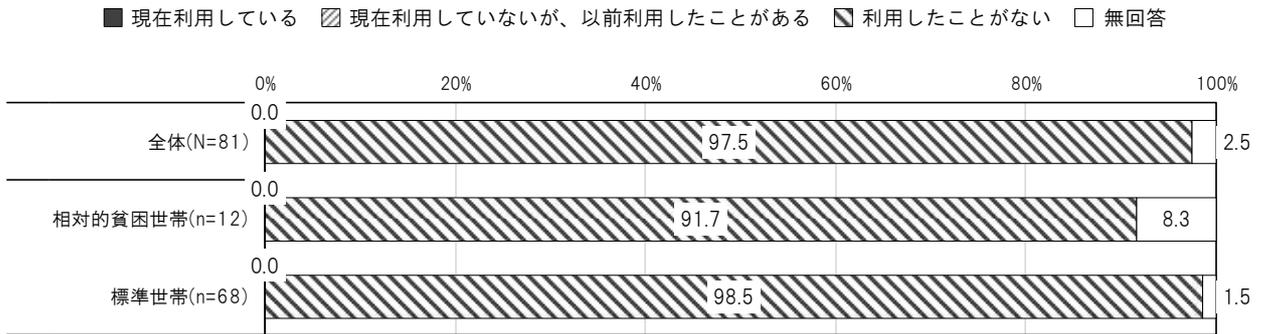
問 30 d 2 児童扶養手当

全体では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が 61.9%と最も高く、次いで、「これまで利用が必要な状況になかったから」(20.6%)、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」(1.6%) の順になっています。



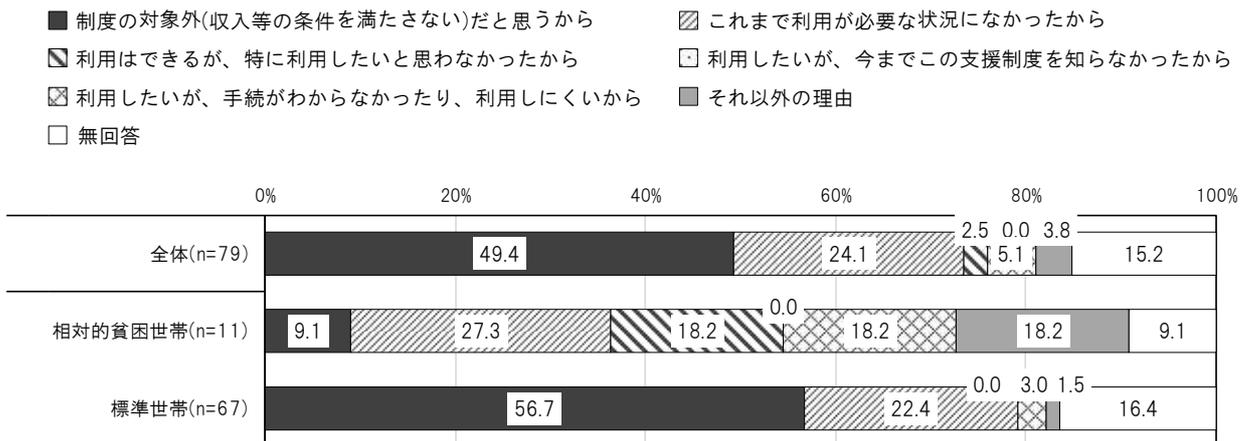
問 30e ひとり親家庭、サポートセンター

全体では、「利用したことがない」が97.5%となっています。



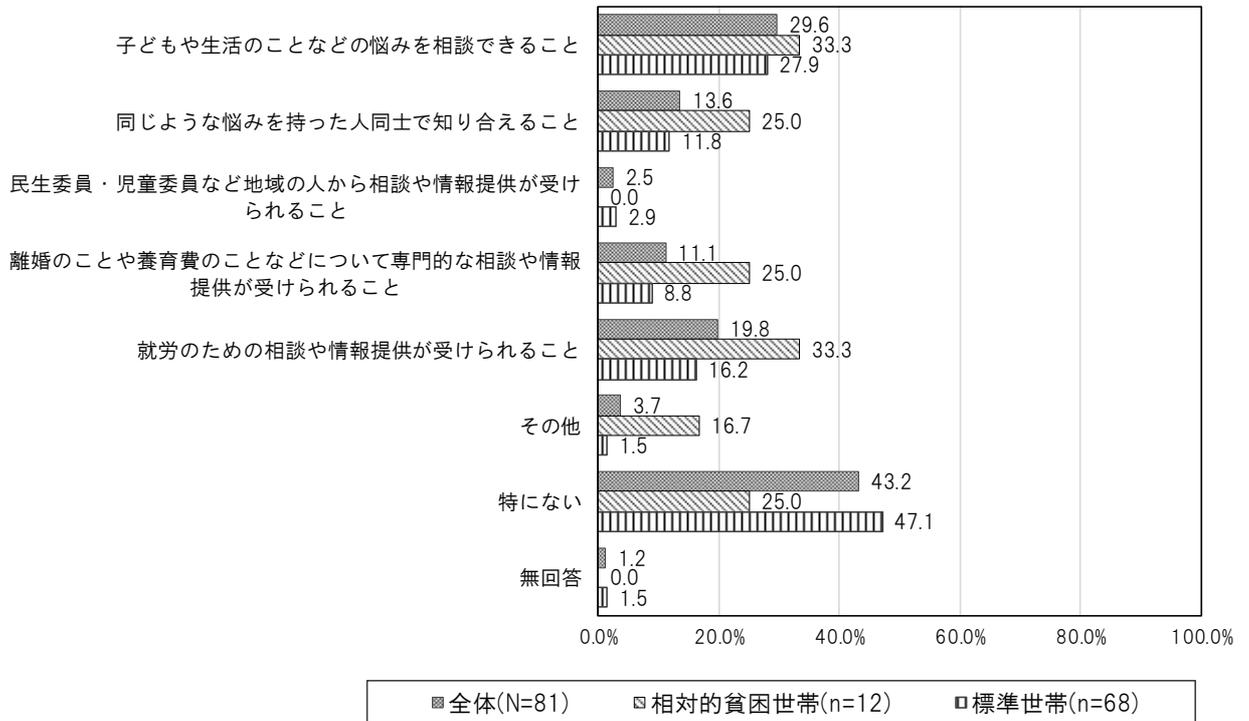
問 30e2 ひとり親家庭、サポートセンター

全体では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が49.4%と最も高く、次いで、「これまで利用が必要な状況になかったから」(24.1%)、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」(5.1%)の順になっています。



問 31 あなたが、現在または将来的にあったらよいと思う支援は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)
問 31-1 相談などについて

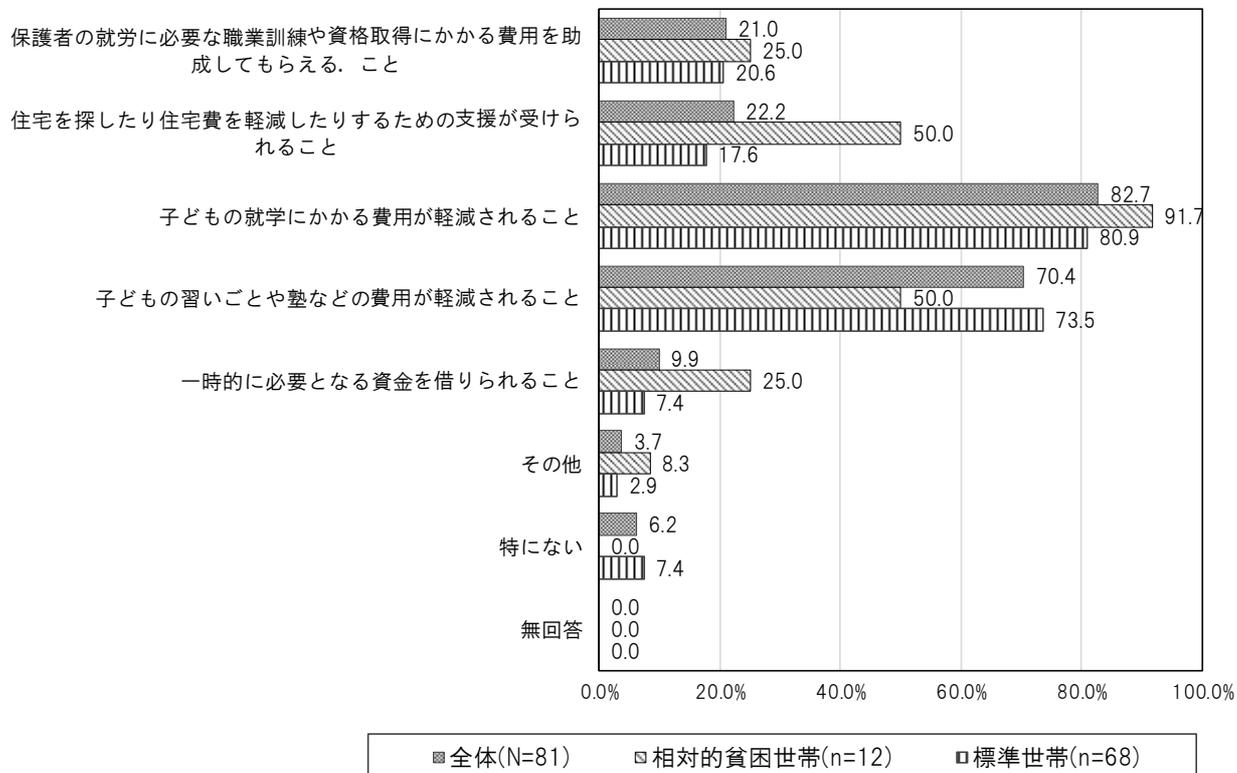
全体では、「特にない」が 43.2%と最も高く、次いで、「子どもや生活のことなどの悩みを相談できること」(29.6%)、「就労のための相談や情報提供が受けられること」(19.8%)の順になっています。



「その他」の回答…「学費の相談」「町内が狭く守秘義務が守られないので相談出来ない」など

問 31-2 経済的支援などについて

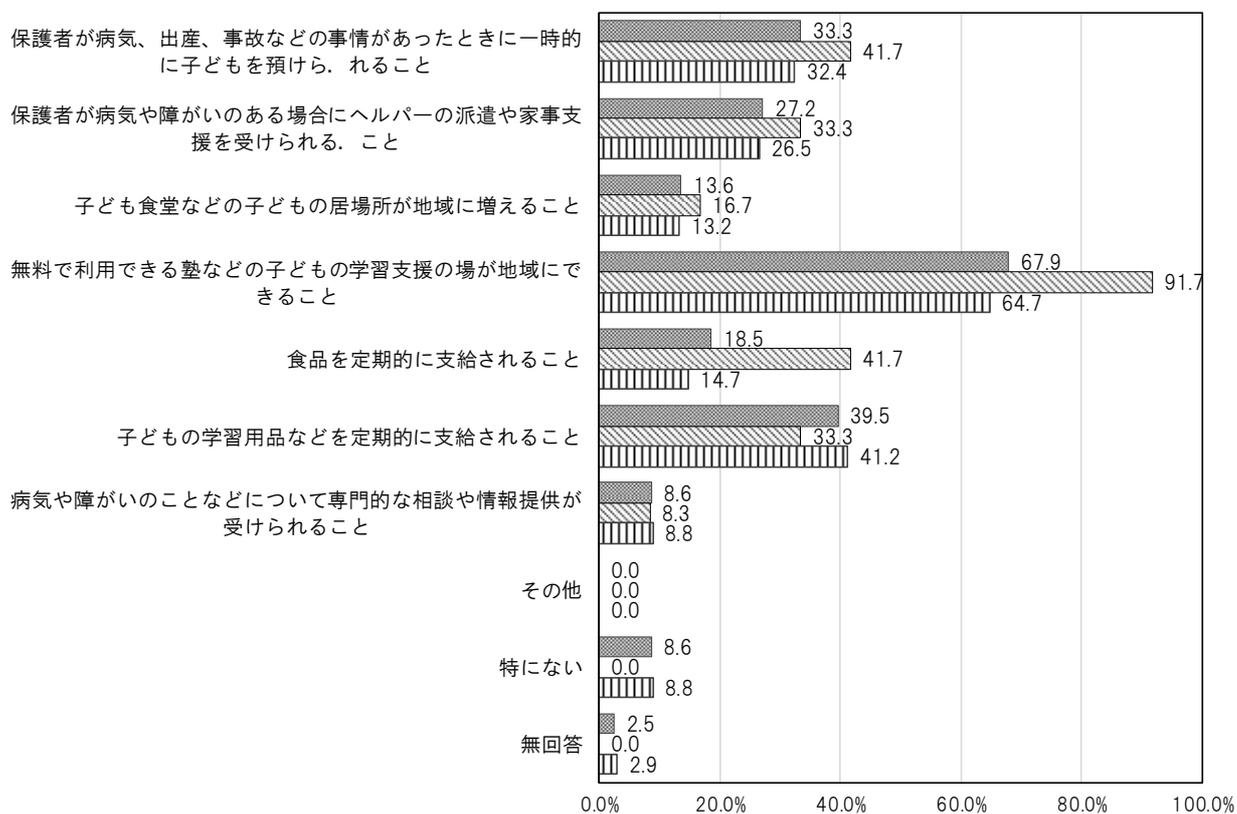
全体では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 82.7%と最も高く、次いで、「子どもの習いごとや塾などの費用が軽減されること」(70.4%)、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」(22.2%)の順になっています。



「その他」の回答…「芦屋町は駅から遠いので通学を全額補助してほしい」「通学用のバスがあればいいと思う」「交通費用の軽減」など

問 31-3 その他の支援について

全体では、「無料で利用できる塾などの子どもの学習支援の場が地域にできること」が67.9%と最も高く、次いで、「子どもの学習用品などを定期的に支給されること」(39.5%)、「保護者が病気、出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」(33.3%)の順になっています。

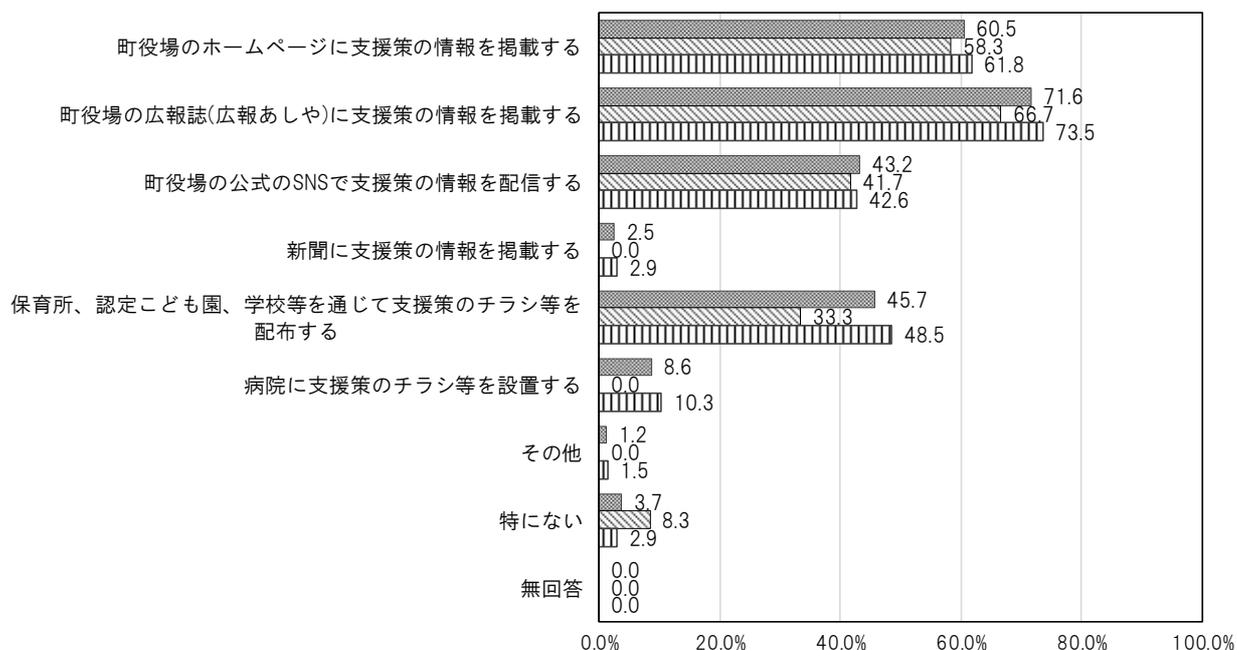


■ 全体(N=81) ▨ 相対的貧困世帯(n=12) □ 標準世帯(n=68)

問 32 あなたが、子どものための必要な支援を受けられるようにするために、必要だと思うことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

問 32-1 情報提供について

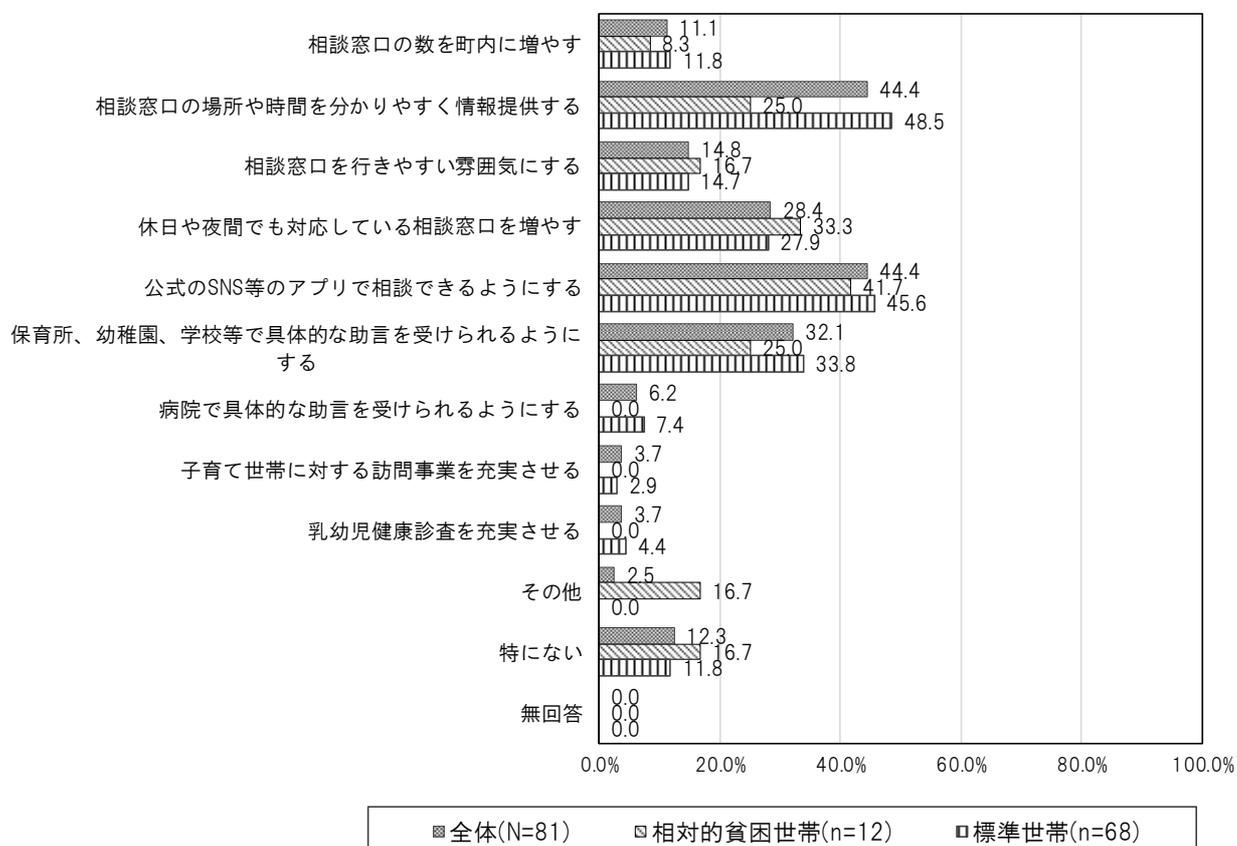
全体では、「町役場の広報誌(広報あしや)に支援策の情報を掲載する」が 71.6%と最も高く、次いで、「町役場のホームページに支援策の情報を掲載する」(60.5%)、「保育所、認定こども園、学校等を通じて支援策のチラシ等を配布する」(45.7%) の順になっています。



■全体(N=81) ▨相対的貧困世帯(n=12) □標準世帯(n=68)

問 32-2 相談・助言について

全体では、「相談窓口の場所や時間を分かりやすく情報提供する」「公式の SNS 等のアプリで相談できるようにする」が 44.4%と最も高く、次いで、「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言を受けられるようにする」(32.1%) の順になっています。



「具体的に」の回答…「カフェ風に」「子供が横で遊べるような」など

「その他」の回答…「相談会のようなものがあれば話しやすいかもしれません。親が主体というより子どもを集めて、親もいいという感じで。」など

6. 自由意見

①子育てをしやすい社会環境（2件）

共働き家庭が多く、子ども、地域等に対する余裕がなくなっていると思う。家庭の日常を支えるような事業が必要になっている。

子どもを守る環境、町になって欲しいです。

②学校（6件）

学校クラスがあれいている等の対策。町からの先生方への支援をしてほしい。

近い将来、中学の部活動が外部での活動になるという話を耳にした。4月から6年生なのでそろそろ中学の部活動を踏まえて習い事を考え直したい。実際にはどうなるのかというのを早めにお知らせして頂きたい。

子どもが安心して通える学校づくりに力を入れてほしい。教室で騒いで授業が成り立たなかったり、トラブルが起きてもやられて終わりだと、子どもが安心して学校生活を送りにくくなると思います。サポート教師の増員などで個別に支援できる環境を整えてほしいと思います。

図書館の本を増やしてほしい

図書館等に不登校や保健室登校の児童生徒が通える教室を設置して、免許を持った教師の配置ができればこのような児童生徒が助かると思う。学校という場所そのものに嫌悪感を持ってしまった児童生徒にはいい気がする。

中学校の先生が結構遅く（20時台）まで勤務されていて心配です。部活等で大変なんだと思いますが、若い方が無理されたり、家庭を持たれている先生も無理されていないか、通っている子どもも心配しています。

③子どもの教育（2件）

ジェンダー教育で子ども同士で「さん付け」で呼ばせるようにしているというが、そういうことではないのでは？と感じている。

小学生の子どもが「死ぬ」という言葉を日常的に使っている。ゲーム等の影響と思うが由々しき事態だと思っている。家では使わないよう厳しく行っているが、学校や町でも使わないように取り組んでほしい。

④放課後の過ごし方（2件）

学童とは別に、放課後に学校内の教室や図書室などで勉強や宿題、自習ができるような場所があるとよい。学校から外に出て移動せずに校内で過ごせるとお迎えなどが少し遅くなったとしても助かる。

子どもが一人で図書館や山鹿公民館を利用させていただいていますが閉まっている事が何度もあってもう少し勉強する場所を増やして欲しいと思います。役場の空いている階でも良いのでお願いします。

⑤医療体制（1件）

病院が少ない、町外の病院を利用することが多く、遠くて不便。

⑥経済的な支援（8件）

給食費を無料にしてほしい。

<p>現在父子家庭です。町のひとり親への支援からすると、母子と父子の差があり、もう少し父子家庭への支援を希望します。</p>
<p>子どもの教育費等の貯蓄ができない為、補助などあればありがたい。</p>
<p>将来のために使うであろう英語の習い事などを無料でできるようにしてほしいです。</p>
<p>小学校までは、あまりお金がかからなかったのですが、中学校に入ると、お金がかかり生活がギリギリの状態ですが、現在中学校 2 年生、4 月からは 3 年生で受験生ですが、母子家庭のため（経済的に）県立高校に行ってほしい。本人の希望は、折尾高校→短大→保育士が夢で、折尾高校の特色化を希望しているのですが、先生からは今の成績では厳しいので塾にと言われていますが、塾代まで厳しい状況なのと、高校になったらもっとお金があかると思うと、とても足りない状況だと感じています。物価も高騰し、光熱費は上がるけど、収入は増えず、お給料が月 3,000 円上がったと思ったら、児童扶養手当が 8,000 円減になり年間 60,000 円の差額マイナスです。子どもにかかる経費、物価高騰、光熱費の高騰など、もう一度見直していただき、扶養控除、収入金額を見直して頂きたいと強く思います。小学→中学→高校と出費は一定ではありません。収入は一定ですが、子どもにとってもお金がかかるご時世。今の時代の出費などを見直して控除金額を見直していただきたいとお願いします。ダブルワークをしたくても職場はダブルワーク NG、そうすると私立高校への進学は厳しく感じています。切実に見直しをお願いしたいです。控除を受けられていることにはとても感謝しております。</p>
<p>母子手当てを増やしてほしい。</p>
<p>離婚をしてるが本当は、円満で、偽装離婚をして、子どもを育ててる人がいます。結局、ひとり親世帯の支給金が目的。色々、無料になることもあり、働かなくても良い状態になりますよね。車もある、住むところもある、4 人も子どもがいる…。自分は、共働き、毎日忙しい、だけど、贅沢が出来るぐらいには稼げない。不公平ですよ。真面目に頑張ってるのに…。インフルエンザの予防接種、無料にしてもらえませんか？5 人分の予防接種代、めっちゃ高いのですが…。子どもは、2 回分ですよ。1 回 4,000 円。合計 32,000 円。今年は、流行り、予防接種を受けないためインフルエンザになりました。私はなっても子ども達のために頑張れます。子どもは、かわいそう。子どもだけでも無料にしてほしい。予防接種代が高いので受けなかったため、脳症になりました…なんて、子ども達の未来を奪わないでほしいです。他の地域は、無料、クーポン、あります。</p>
<p>経済的には決して豊かではない状況での子育ては、とても大変です。ただ、芦屋町では色々な子育て支援をして頂いて、子育てではとても助かっています。</p>

⑦交通の利便性、通学について（3件）

<p>芦屋の土地柄仕方ないと思いますが、高校までの交通手段が少なく、子どもの希望する進路を不安なく選ぶことがとても難しいと感じます。我が家も今年受験を迎えるのですが、高校選びに頭を痛めています。本当は受験したい北九州高専が遠いので、折尾高校等の近場にしてしまうかと悩んでいます。交通費補助も大変助かるのですが、距離の敷居の高さがどうしてもネックだと感じています。一部の高校の様にスクールバス等があれば、子どもにとって様々な進路への道が開けるのかな…と思っています。でも、色々難しいですよ。やはり転居がちらつきませんが、資金もないのでどん詰まりです。色々勝手なことばかり書いて申し訳ありません。このようなアンケートを用意していただき、芦屋町の子ども達のために、いつも活動してくださりありがとうございます。少しでも未来の子どもたちの幸せにつながればうれしいです。私はともかく、子どもたちには幸せに過ごしてほしいです。</p>
<p>子どもが高校へ進学する時に遠いので、通学に時間や費用がかかってしまう。</p>
<p>通学の便がもっと整備されるといいと思います。</p>

⑧住宅環境（1件）

他の意見と重複となってしまいましたが、住宅の補助や支援、入居の条件の緩和があればと思います。夫の実家で3世代同居中に夫が病で亡くなり、子どもと2人夫の実家を出ることになり、住宅を早急に探さねばならず、とても大変な思いをしたので、ぜひ、芦屋町でも母子シェルター等があれば（前調べた時はなかったと思います、今はあったらすみません。）助かる人がいると思います。以前、環境住宅課に相談に行ったけれど、保証人がいなくて難しかったです…。しかも芦屋はアパートが高額で数も少ないので。

⑨その他（3件）

町民会館の館内に公衆電話を設置してほしい。子どもが利用しづらい、少し離れている。

通学費助成の申請期間が短すぎます。また、役場が平日しかないので、SNSや封書などで手続きできるようにしてほしい。働いてる人は役場に行く暇もないことを理解して頂きたいです。

医療費や通学費支援、給付金など有難く活用させていただいています。中学生の子どもに対する子育ては手をかけるものから精神的な子育てへ変化しており、日々工夫して接していますが、未来や自分自身に自信と夢を持って進んでいくことに親だけでは力不足を感じている所です。自分たちで多く情報をとれる時代だからこそ町からの活力ある情報が子どもたちの力になるものとなれば、より良いものになると思います。

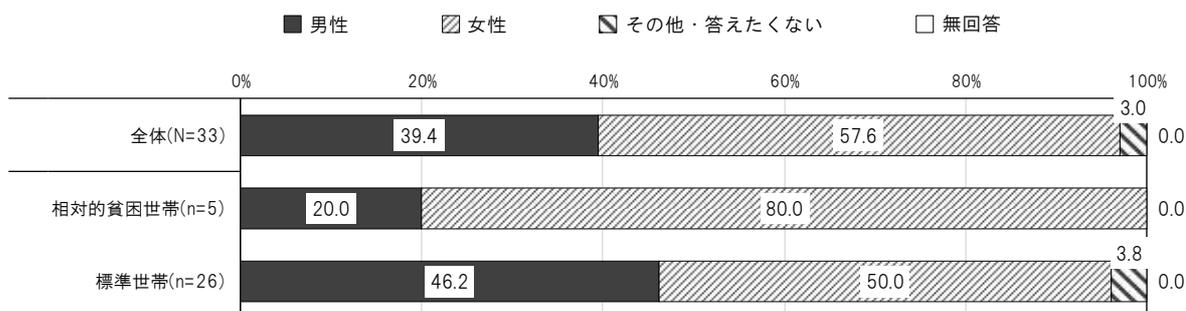
4 子どもの貧困対策計画、 子ども・若者計画調査（小学生本人）

1) 生活状況調査

1. 学習の状況

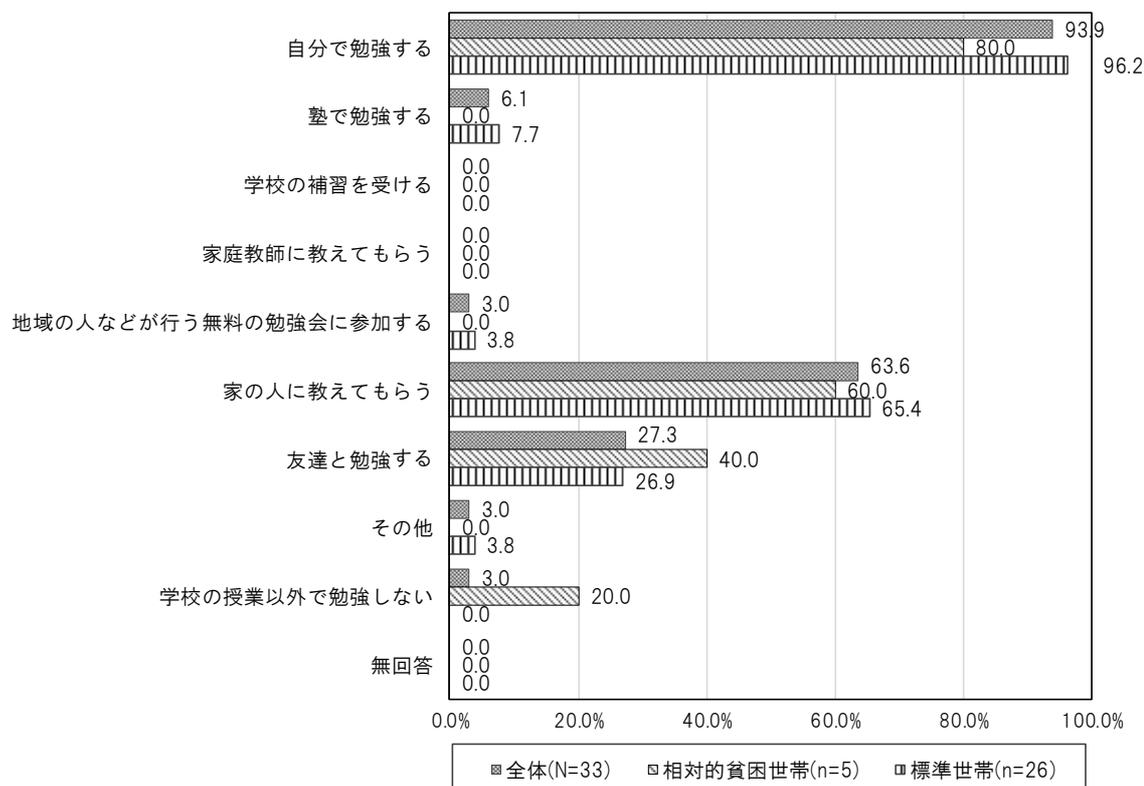
問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「女性」が 57.6%と最も高く、次いで、「男性」（39.4%）、「その他・答えたくない」（3.0%）の順になっています。



問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強や学校の宿題をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

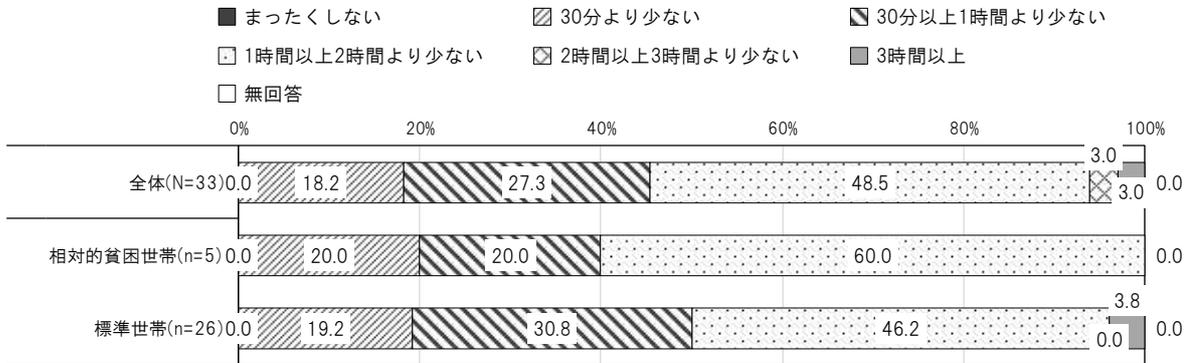
全体では、「自分で勉強する」が 93.9%と最も高く、次いで、「家の人に教えてもらう」（63.6%）、「友達と勉強する」（27.3%）の順になっています。



問3 あなたは学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。（あてはまる番号1つに○）

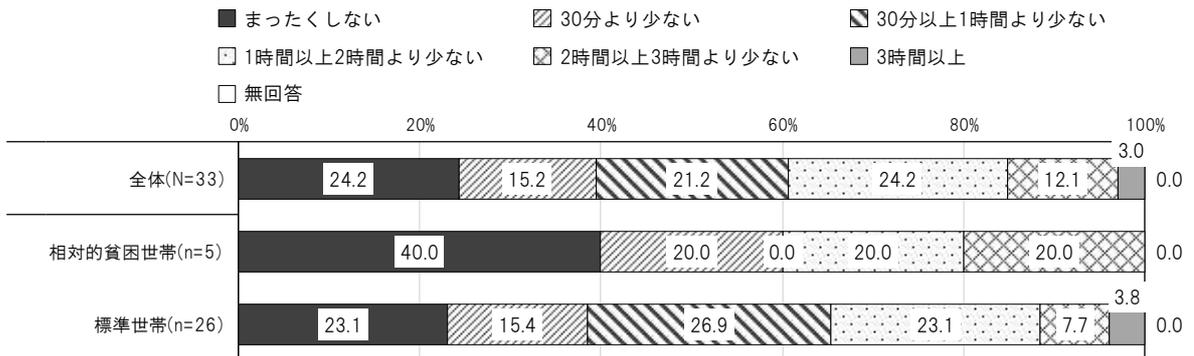
問3① 学校がある日（月～金曜日）

全体では、「1時間以上2時間より少ない」が48.5%と最も高く、次いで、「30分以上1時間より少ない」（27.3%）、「30分より少ない」（18.2%）の順になっています。



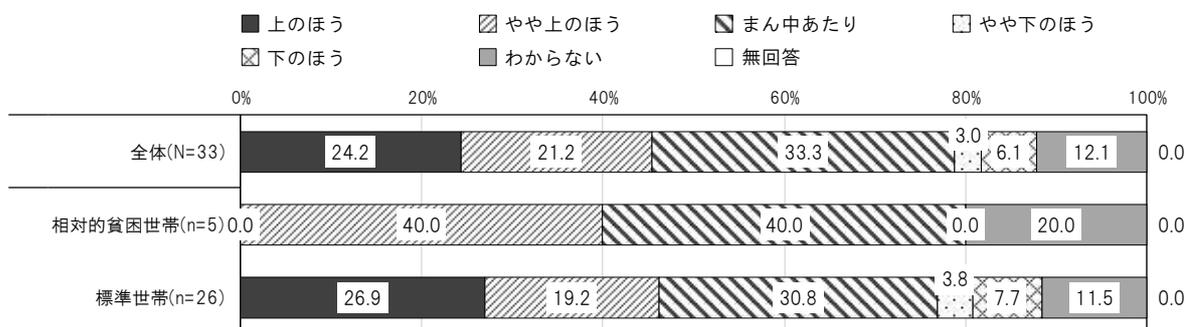
問3② 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）

全体では、「まったくしない」「1時間以上2時間より少ない」が24.2%と最も高く、次いで、「30分以上1時間より少ない」（21.2%）の順になっています。



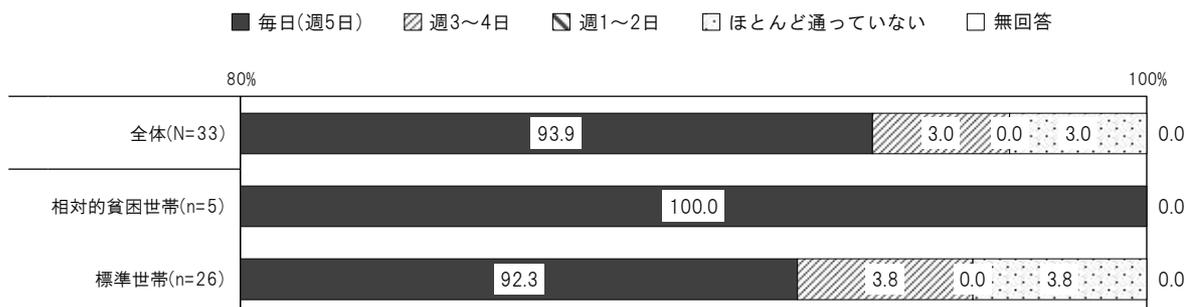
問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「まん中あたり」が33.3%と最も高く、次いで、「上のほう」（24.2%）、「やや上のほう」（21.2%）の順になっています。



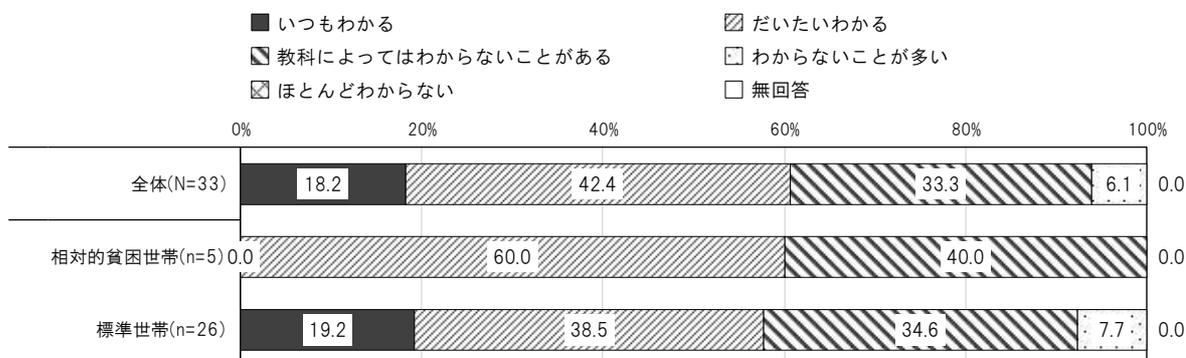
問5 あなたは、学校にどのくらい通っていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎日(週5日)」が93.9%と最も高く、次いで、「週3~4日」「ほとんど通っていない」（3.0%）の順になっています。



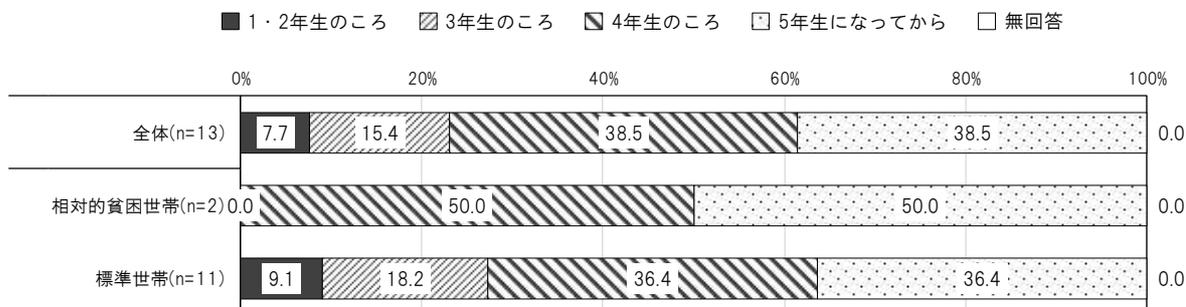
問6 あなたは学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「だいたいわかる」が42.4%と最も高く、次いで、「教科によってはわからないことがある」（33.3%）、「いつもわかる」（18.2%）の順になっています。



問 6-1 問 6 で「3」～「5」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

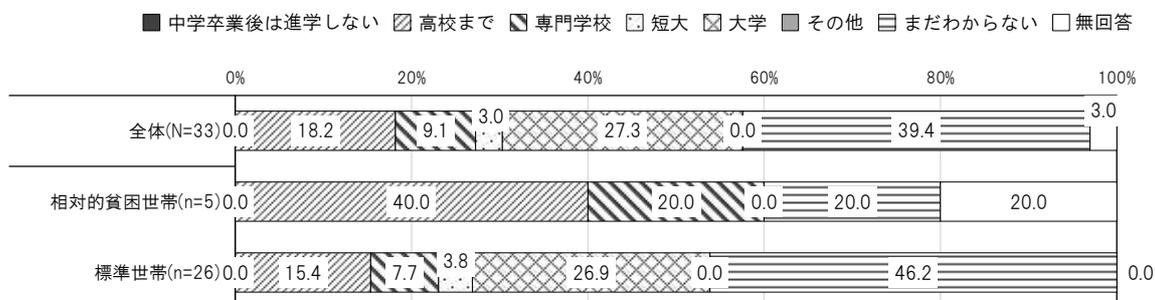
全体では、「4年生のころ」「5年生になってから」が38.5%と最も高く、次いで、「3年生のころ」（15.4%）の順になっています。



2. 進学希望

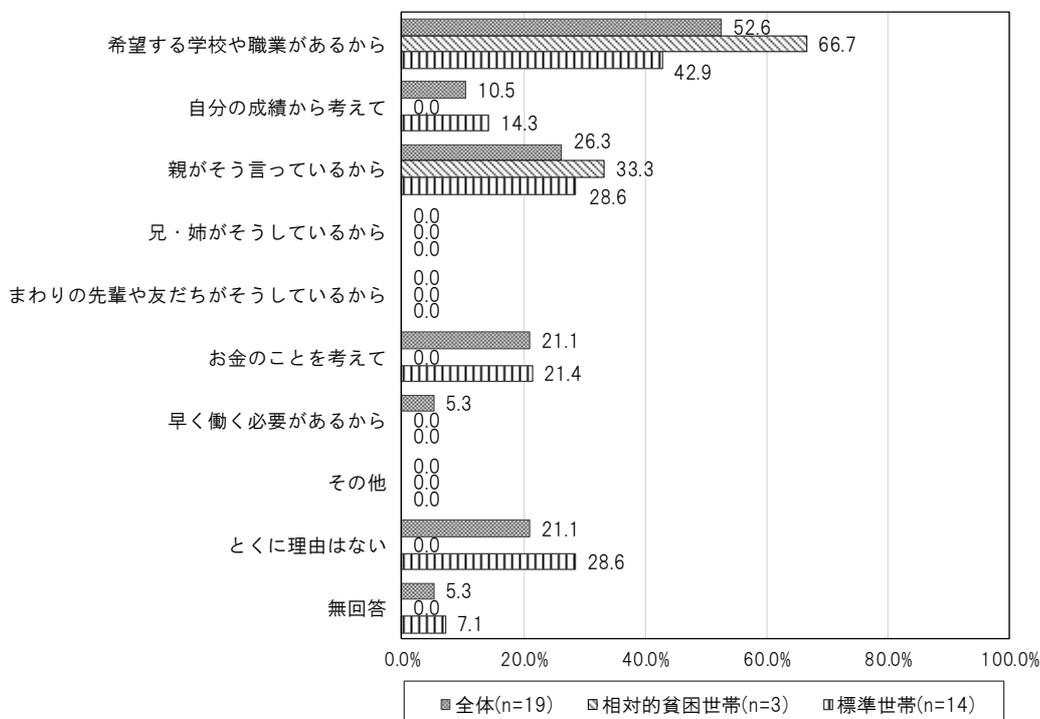
問7 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「まだわからない」が39.4%と最も高く、次いで、「大学」（27.3%）、「高校まで」（18.2%）の順になっています。



問7-1 問7で「1」～「6」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

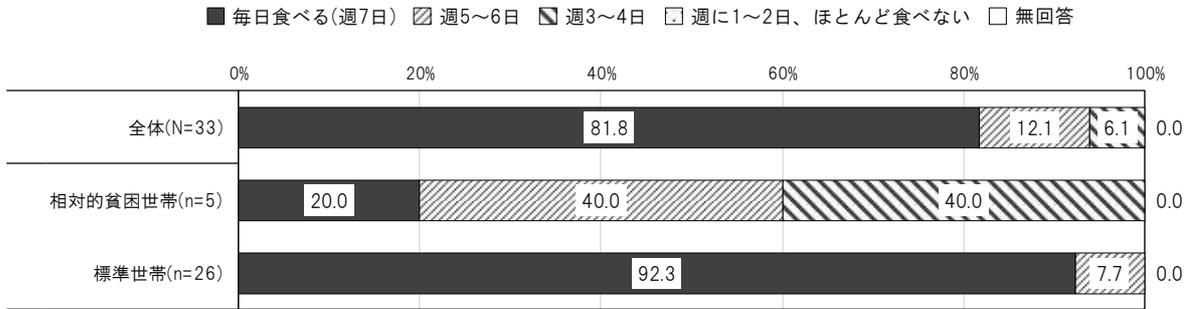
全体では、「希望する学校や職業があるから」が52.6%と最も高く、次いで、「親がそう言っているから」（26.3%）、「お金のことを考えて」「とくに理由はない」（21.1%）の順になっています。



3. 日常的な生活の状況

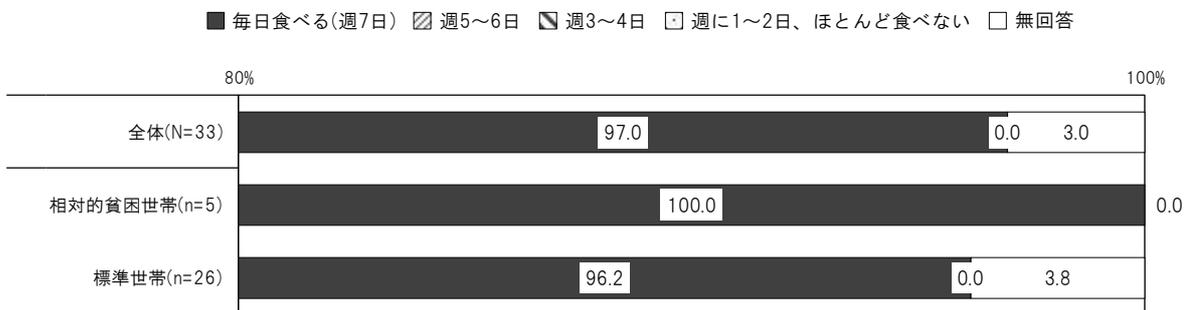
問 8 あなたは週にどのくらい朝食を食べていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が81.8%と最も高く、次いで、「週5～6日」(12.1%)、「週3～4日」(6.1%)の順になっています。



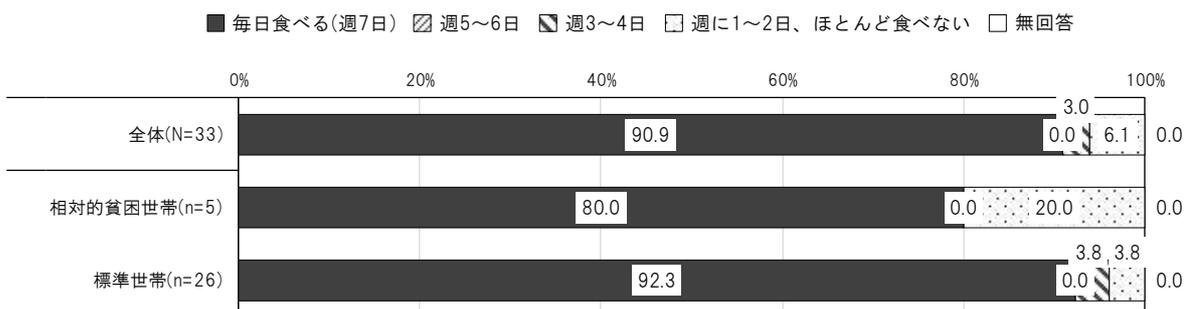
問 9 あなたは週にどのくらい夕食を食べていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が97.0%と最も高く、次いで、「週5～6日」「週3～4日」「週に1～2日、ほとんど食べない」(0.0%)の順になっています。



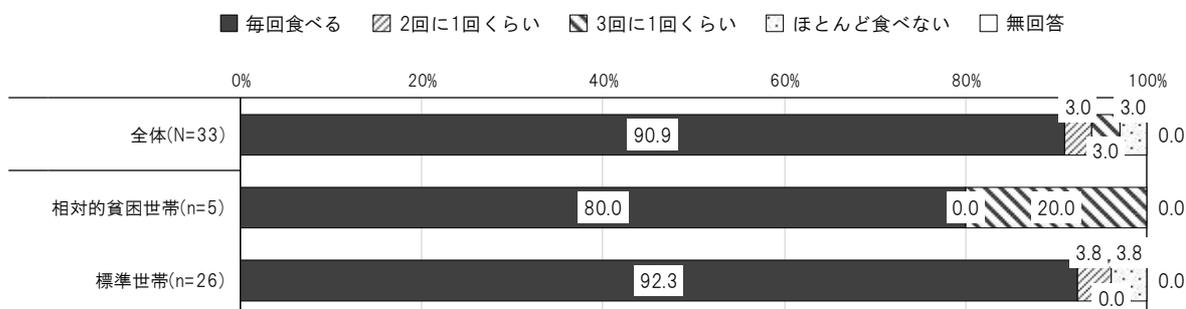
問 10 あなたは夏休みや冬休みなどの期間は、週にどのくらい昼食を食べていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が90.9%と最も高く、次いで、「週に1～2日、ほとんど食べない」(6.1%)、「週3～4日」(3.0%)の順になっています。



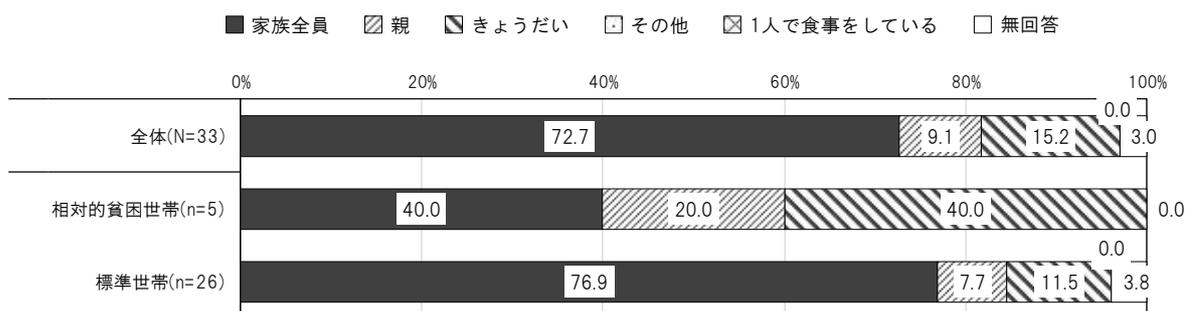
問 11 あなたは土・日曜日・祝日の昼食は、どのくらい食べていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎回食べる」が90.9%と最も高く、次いで、「2回に1回くらい」「3回に1回くらい」「ほとんど食べない」（3.0%）の順になっています。



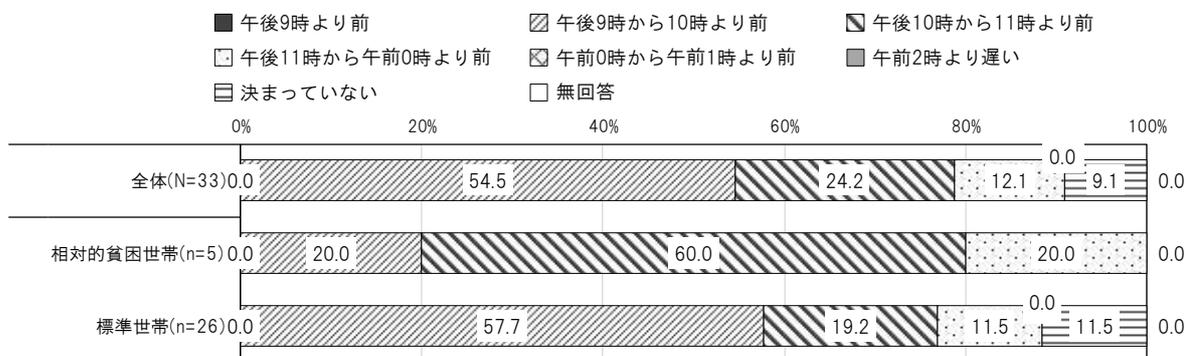
問 12 あなたは主にだれと食事をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「家族全員」が72.7%と最も高く、次いで、「きょうだい」（15.2%）、「親」（9.1%）の順になっています。



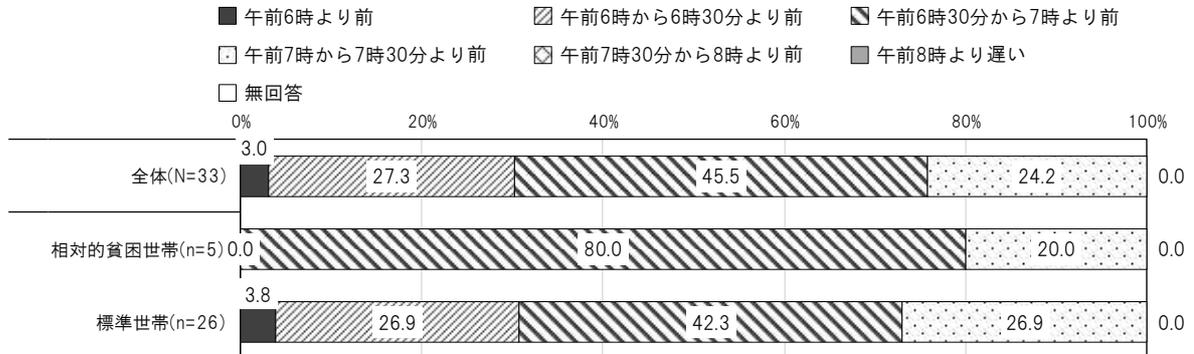
問 13 あなたは、次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろに寝ますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「午後9時から10時より前」が54.5%と最も高く、次いで、「午後10時から11時より前」（24.2%）、「午後11時から午前0時より前」（12.1%）の順になっています。



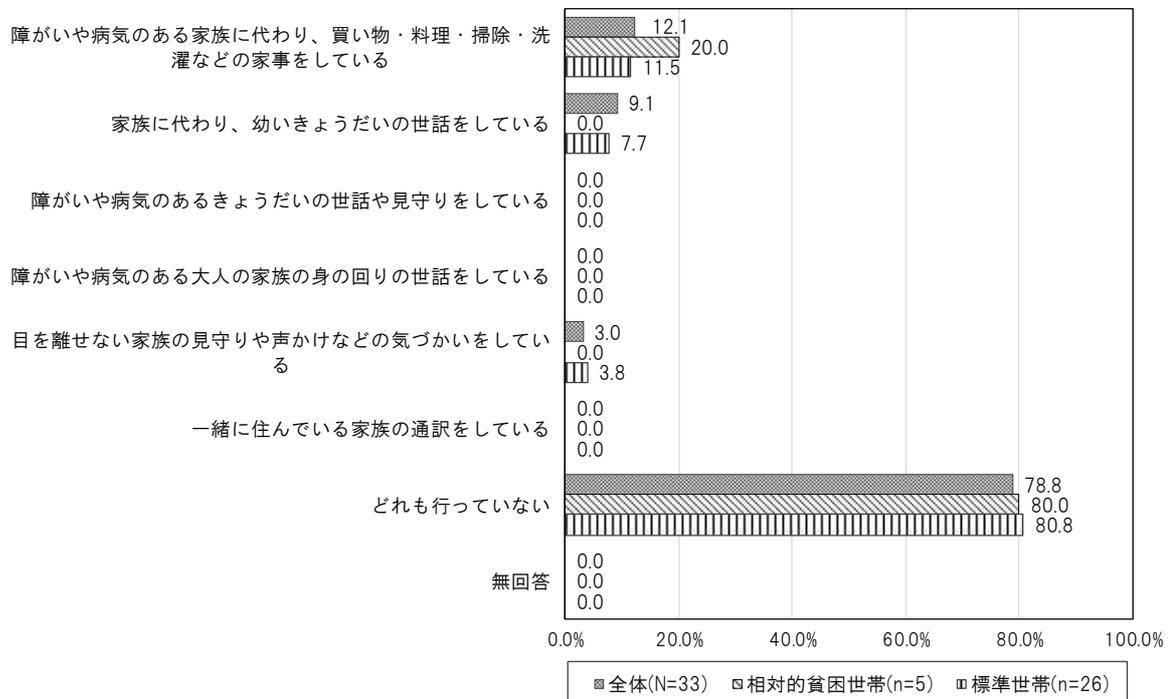
問 14 あなたは、学校がある日は、ふだん何時ごろに起きますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「午前6時30分から7時より前」が45.5%と最も高く、次いで、「午前6時から6時30分より前」（27.3%）、「午前7時から7時30分より前」（24.2%）の順になっています。



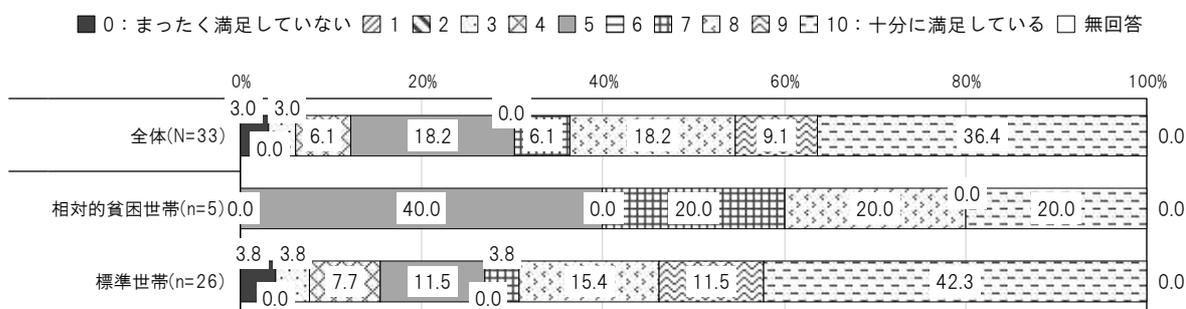
問 15 あなたは、家族の大人の代わりにほぼ毎日行っていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「どれも行っていない」が78.8%と最も高く、次いで、「障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」（12.1%）、「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」（9.1%）の順になっています。



問 16 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0：まったく満足していない」から「10：十分に満足している」までの数字で教えてください。（あてはまる番号1つに○）

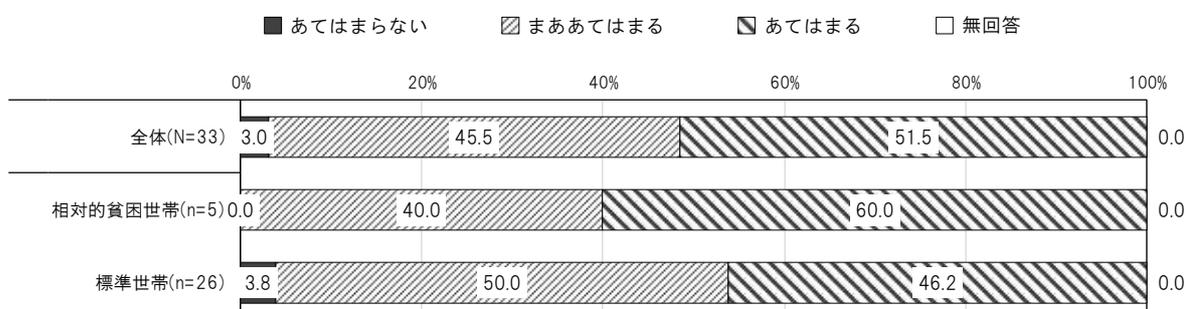
全体では、「10：十分に満足している」が 36.4%と最も高く、次いで、「5」「8」（18.2%）の順になっています。



問 17 以下の質問について回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。（①～⑮それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

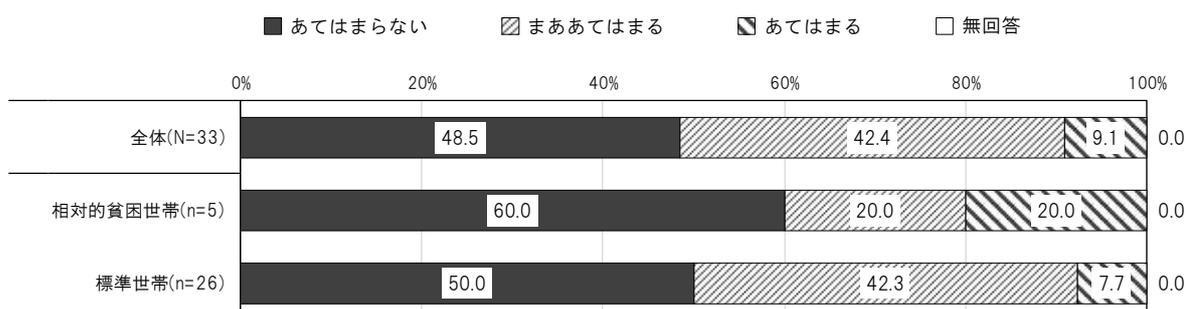
問 17① 私は、他人の気持ちを考えて、親切にしている。

全体では、「あてはまる」が 51.5%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（45.5%）、「あてはまらない」（3.0%）の順になっています。



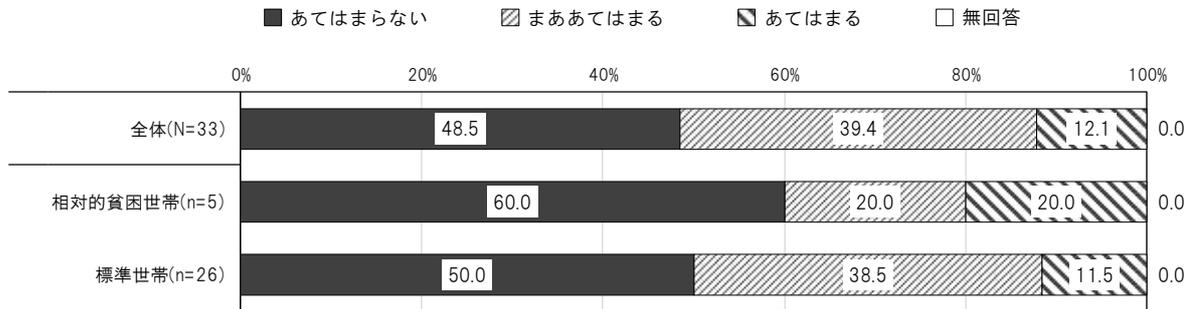
問 17② 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気分が悪くなったりする。

全体では、「あてはまらない」が 48.5%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（42.4%）、「あてはまる」（9.1%）の順になっています。



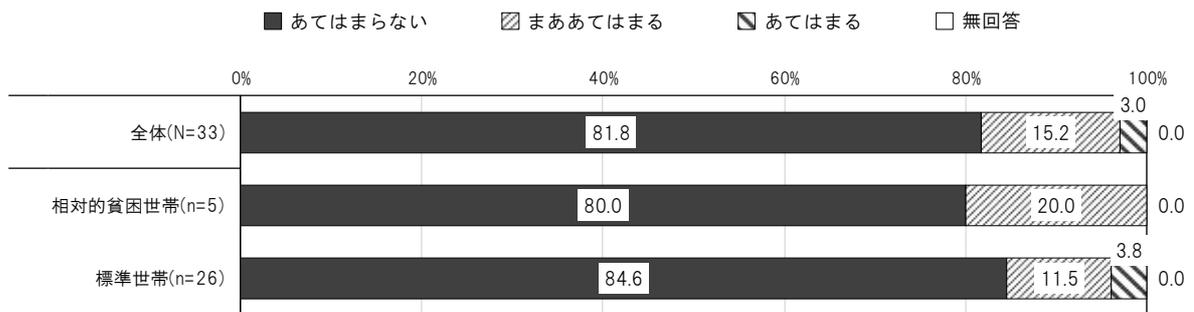
問 17③ 私は、他の人たちと、よく食べ物を分け合ったり、ゲームやペンなどを貸し借りする。

全体では、「あてはまらない」が 48.5%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（39.4%）、「あてはまる」（12.1%）の順になっています。



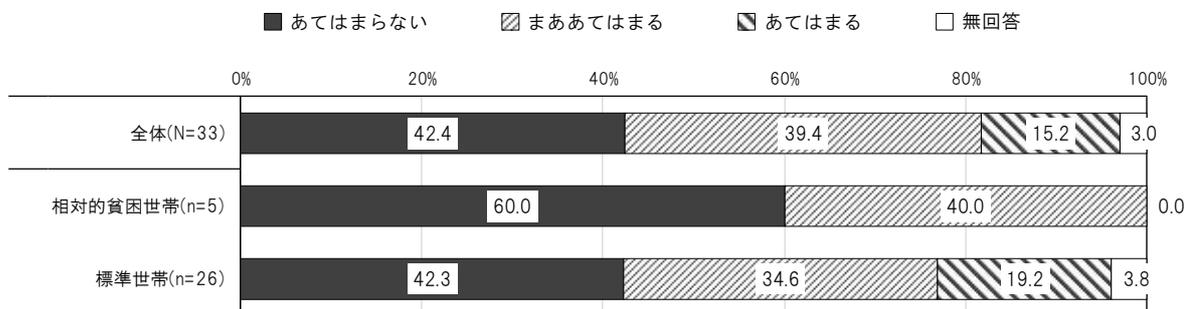
問 17④ 私は、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けている。

全体では、「あてはまらない」が 81.8%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（15.2%）、「あてはまる」（3.0%）の順になっています。



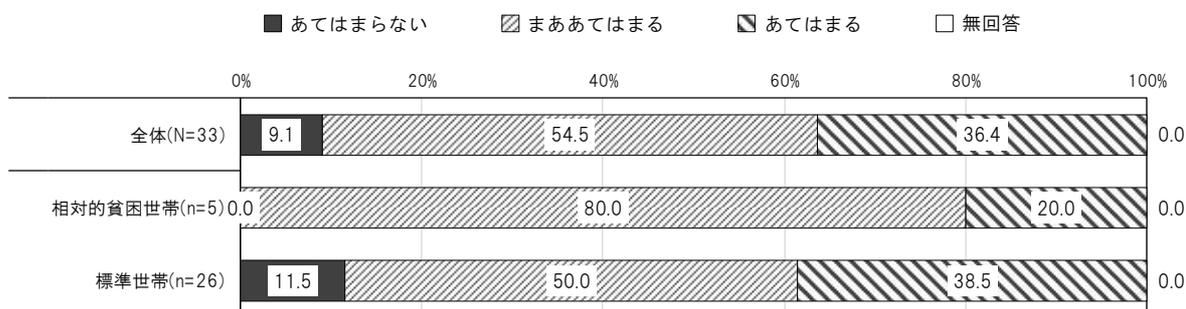
問 17⑤ 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

全体では、「あてはまらない」が 42.4%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（39.4%）、「あてはまる」（15.2%）の順になっています。



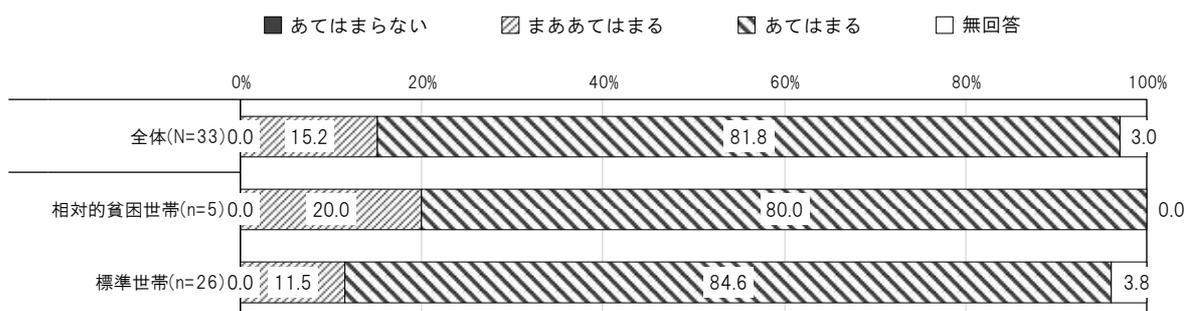
問 17⑥ 私は、だれかが落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

全体では、「まああてはまる」が 54.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」(36.4%)、「あてはまらない」(9.1%) の順になっています。



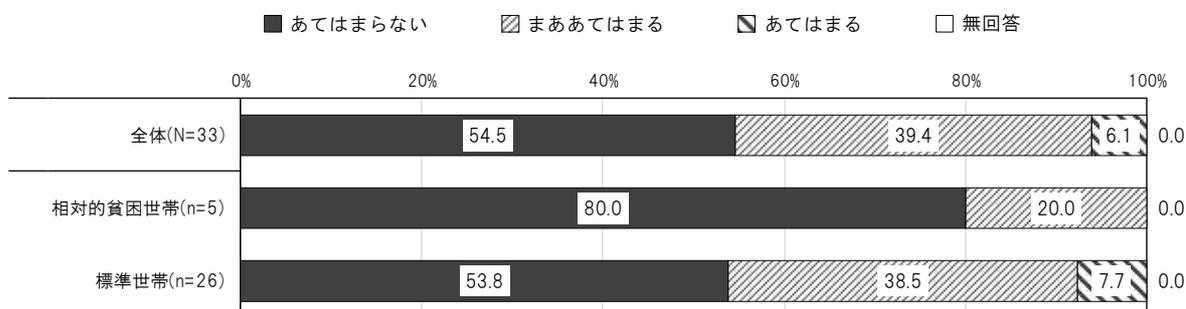
問 17⑦ 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

全体では、「あてはまる」が 81.8%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(15.2%)、「あてはまらない」(0.0%) の順になっています。



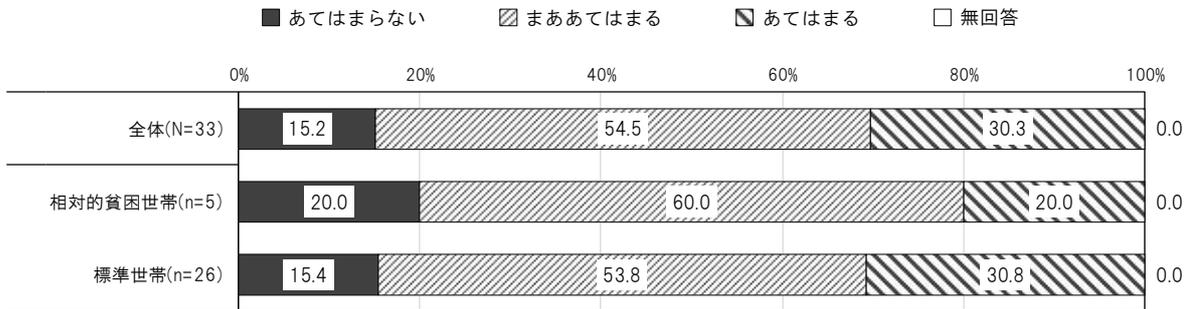
問 17⑧ 私は、落ち込んだり、涙ぐんだりすることがよくある。

全体では、「あてはまらない」が 54.5%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(39.4%)、「あてはまる」(6.1%) の順になっています。



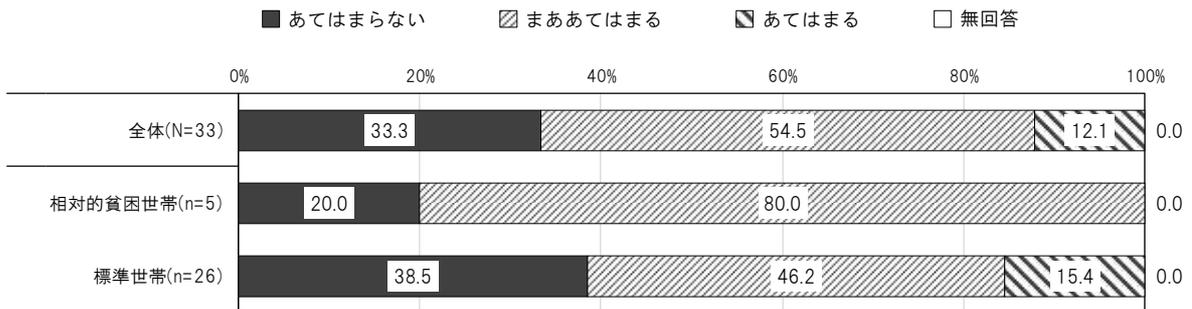
問 17⑨ 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたい好かれている。

全体では、「まああてはまる」が 54.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」(30.3%)、「あてはまらない」(15.2%) の順になっています。



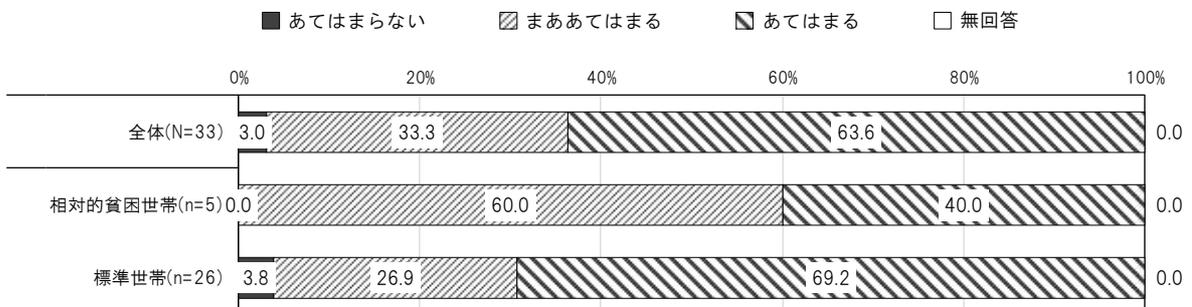
問 17⑩ 私は、新しい場面に直面すると、自信をなくしやすい。

全体では、「まああてはまる」が 54.5%と最も高く、次いで、「あてはまらない」(33.3%)、「あてはまる」(12.1%) の順になっています。



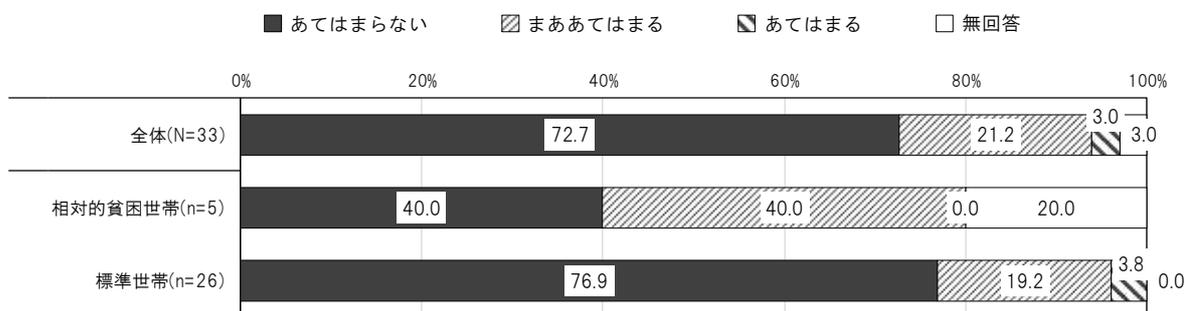
問 17⑪ 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。

全体では、「あてはまる」が 63.6%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(33.3%)、「あてはまらない」(3.0%) の順になっています。



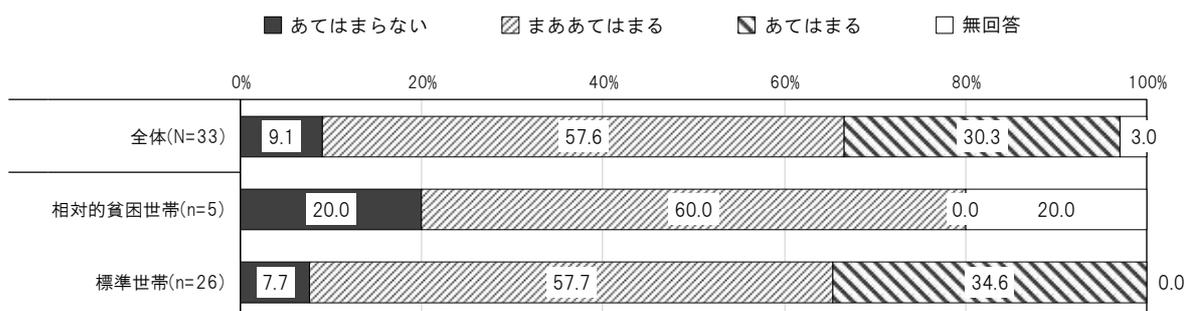
問 17⑫ 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。

全体では、「あてはまらない」が 72.7%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(21.2%)、「あてはまる」(3.0%)の順になっています。



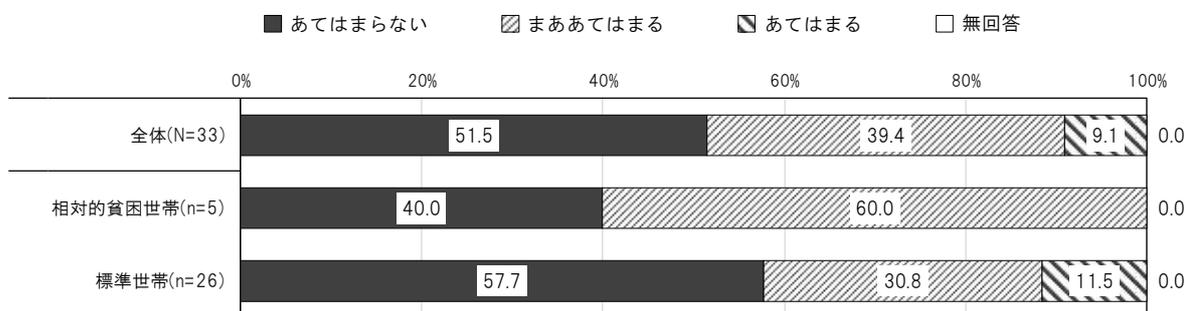
問 17⑬ 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）

全体では、「まああてはまる」が 57.6%と最も高く、次いで、「あてはまる」(30.3%)、「あてはまらない」(9.1%)の順になっています。



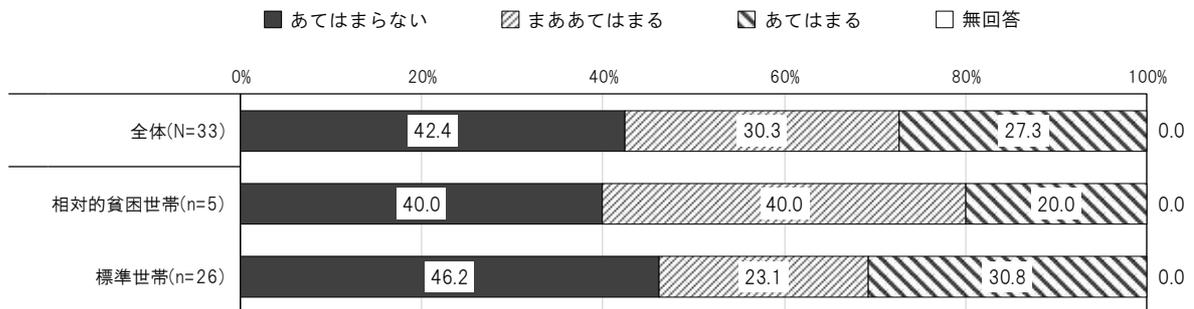
問 17⑭ 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。

全体では、「あてはまらない」が 51.5%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(39.4%)、「あてはまる」(9.1%)の順になっています。



問 17⑮ 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

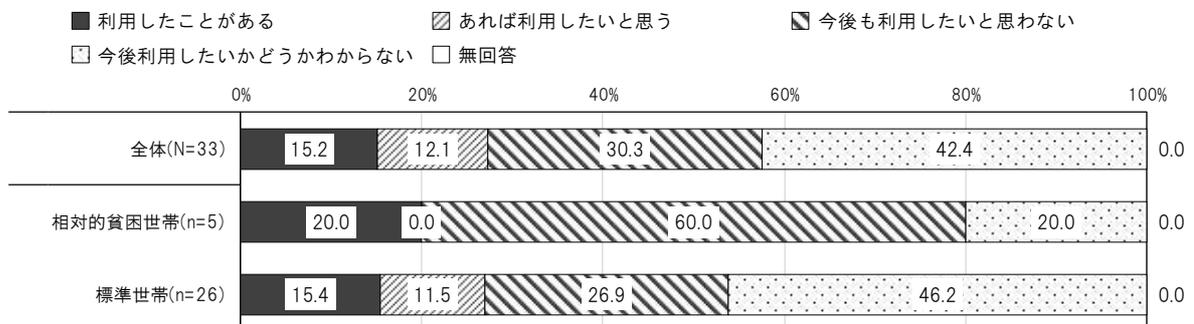
全体では、「あてはまらない」が 42.4%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（30.3%）、「あてはまる」（27.3%）の順になっています。



問 18 あなたは、次のような場所などを利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

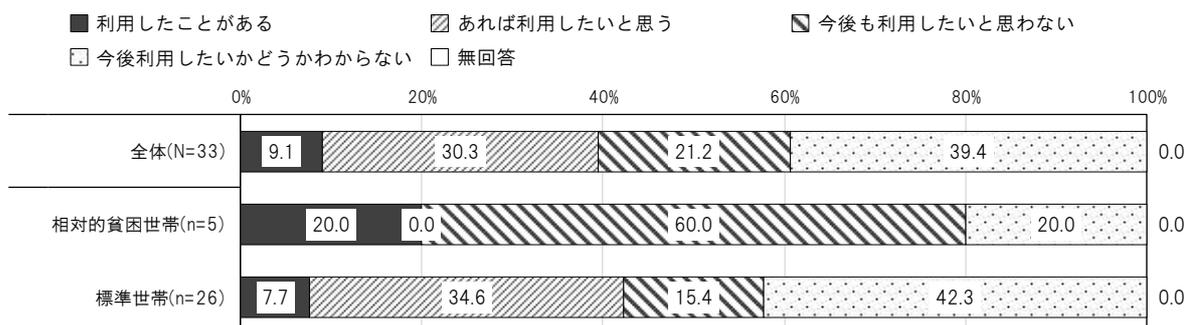
問 18① （自分や友だちの家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂）

全体では、「今後利用したいかわからない」が 42.4%と最も高く、次いで、「今後も利用したいと思わない」（30.3%）、「利用したことがある」（15.2%）の順になっています。



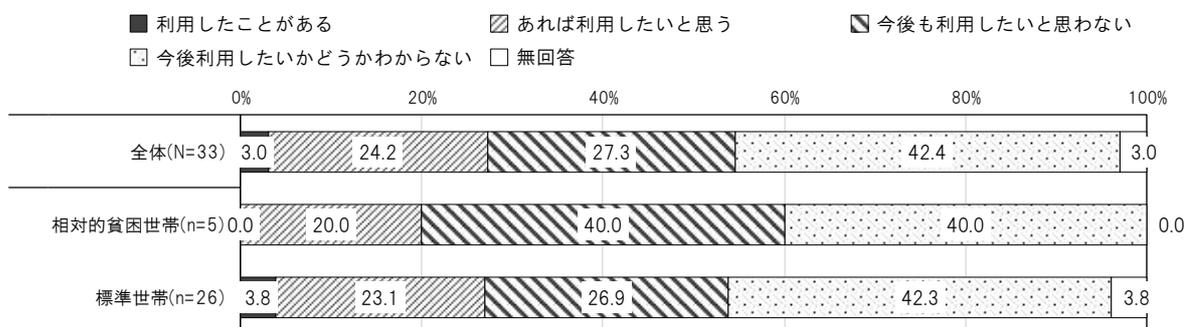
問 18② 勉強を無料または安いお金でみてくれる場所

全体では、「今後利用したいかわからない」が 39.4%と最も高く、次いで、「あれば利用したいと思う」（30.3%）、「今後も利用したいと思わない」（21.2%）の順になっています。



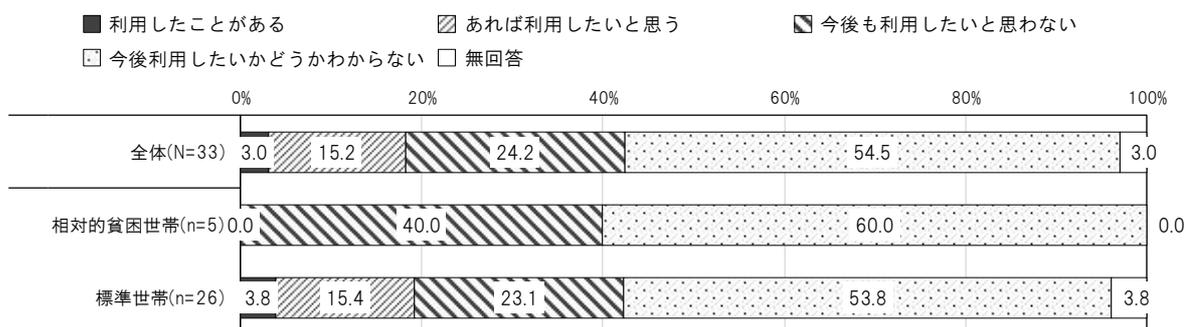
問 18③ （家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ）

全体では、「今後利用したいかどうか分からない」が 42.4%と最も高く、次いで、「今後も利用したいと思わない」（27.3%）、「あれば利用したいと思う」（24.2%）の順になっています。



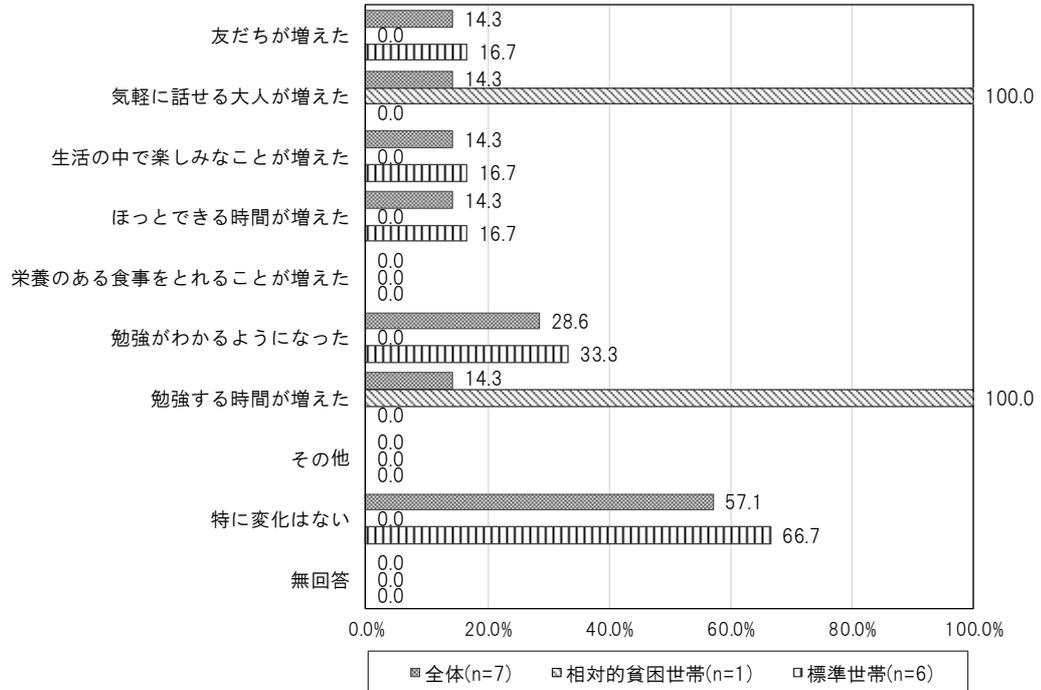
問 18④ スクールソーシャルワーカー

全体では、「今後利用したいかどうか分からない」が 54.5%と最も高く、次いで、「今後も利用したいと思わない」（24.2%）、「あれば利用したいと思う」（15.2%）の順になっています。



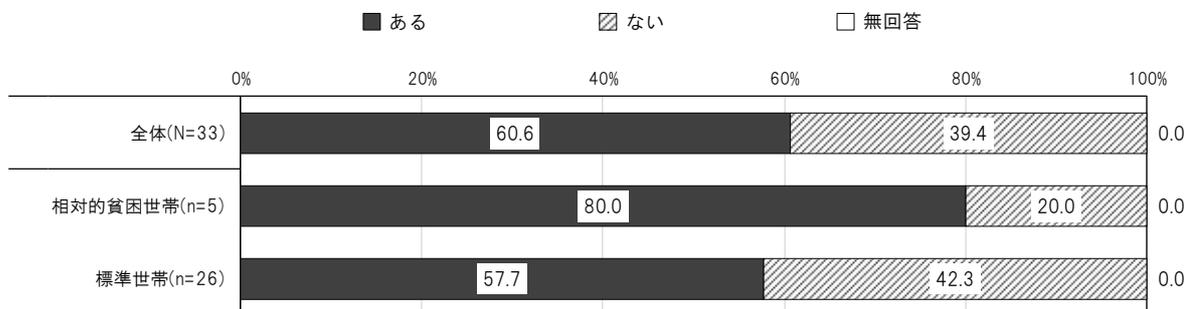
問 18-1 問 18 で「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします。そこを利用したことで変化はありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「特に変化はない」が 57.1%と最も高く、次いで、「勉強がわかるようになった」（28.6%）、「友だちが増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「勉強する時間が増えた」（14.3%）の順になっています。



問 19 あなたは、1か月に自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「ある」が 60.6%と最も高く、次いで、「ない」（39.4%）の順になっています。



問 19-1 問 19 で「1. ある」と答えた人にお聞きします。その金額はどのくらいですか（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「1,000円より少ない」が50.0%と最も高く、次いで、「1,000円～5,000円」（45.0%）、「10,000円より多い」（5.0%）の順になっています。



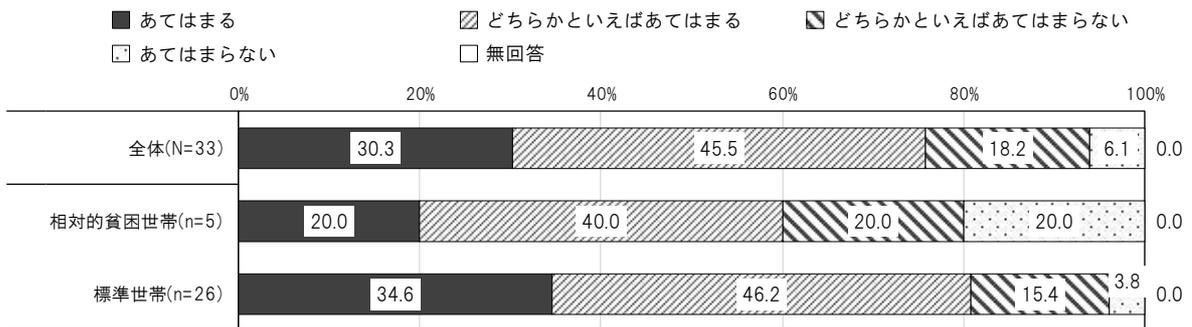
2) 子ども・若者計画調査

1. 人生観・充実度

問 20 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(①～④の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

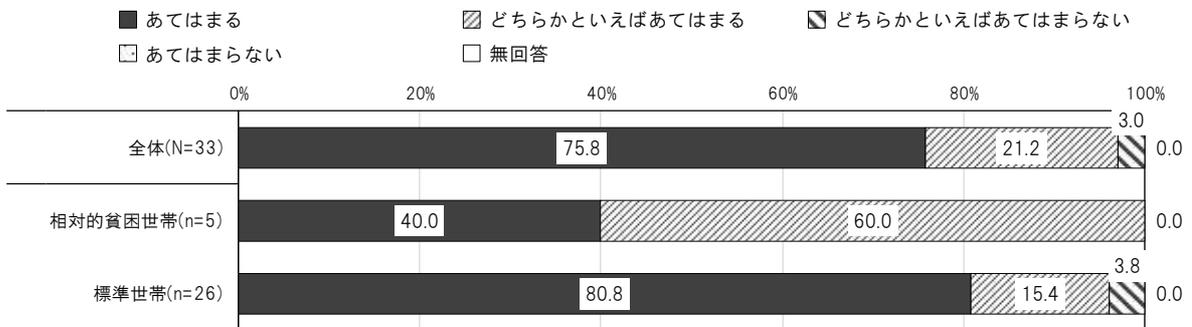
問 20① 今の自分が好きだ

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 45.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」(30.3%)、「どちらかといえばあてはまらない」(18.2%)の順になっています。



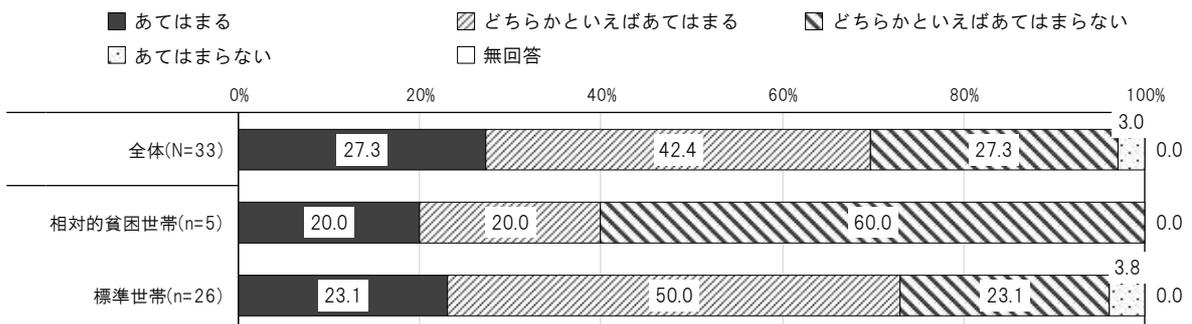
問 20② 自分の親（保護者）から大事にされていると思う

全体では、「あてはまる」が 75.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまる」(21.2%)、「どちらかといえばあてはまらない」(3.0%)の順になっています。



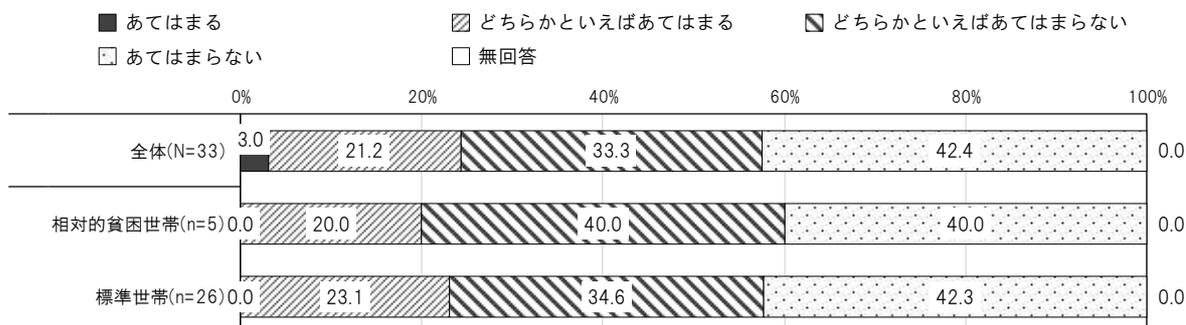
問 20③ うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 42.4%と最も高く、次いで、「あてはまる」(27.3%)、「どちらかといえばあてはまらない」(27.3%)の順になっています。



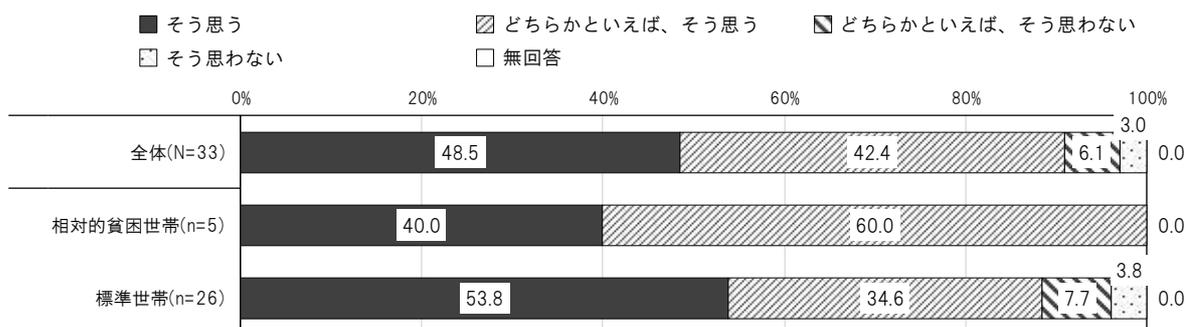
問 20④ 自分は役に立たないと強く感じる（1つに〇）

全体では、「あてはまらない」が 42.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」（33.3%）、「どちらかといえばあてはまる」（21.2%）の順になっています。



問 21 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。（あてはまる番号1つに〇）

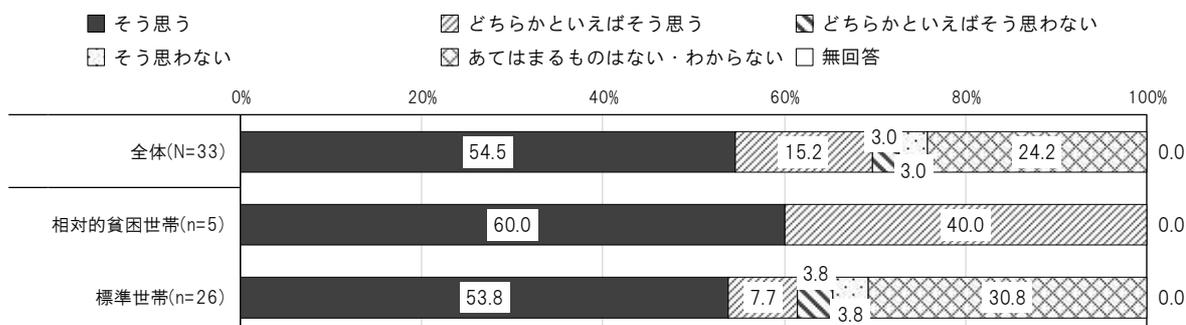
全体では、「そう思う」が 48.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（42.4%）、「どちらかといえば、そう思わない」（6.1%）の順になっています。



問 22 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（①～⑤の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに〇）

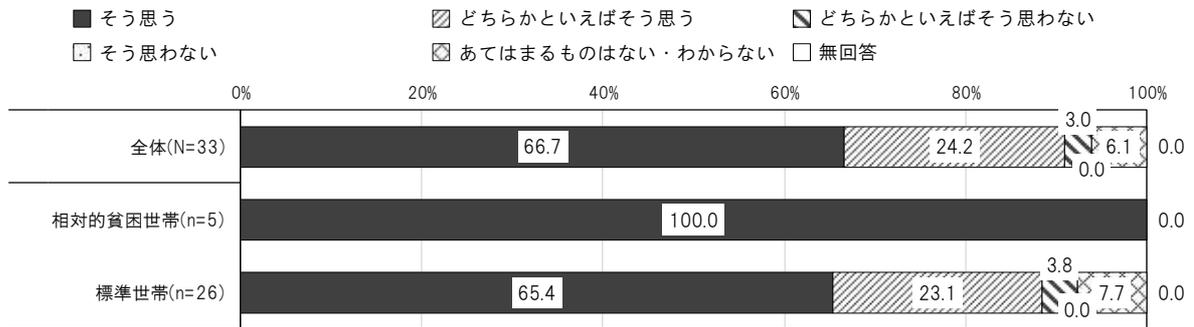
問 22① 自分の部屋

全体では、「そう思う」が 54.5%と最も高く、次いで、「あてはまるものはない・わからない」（24.2%）、「どちらかといえばそう思う」（15.2%）の順になっています。



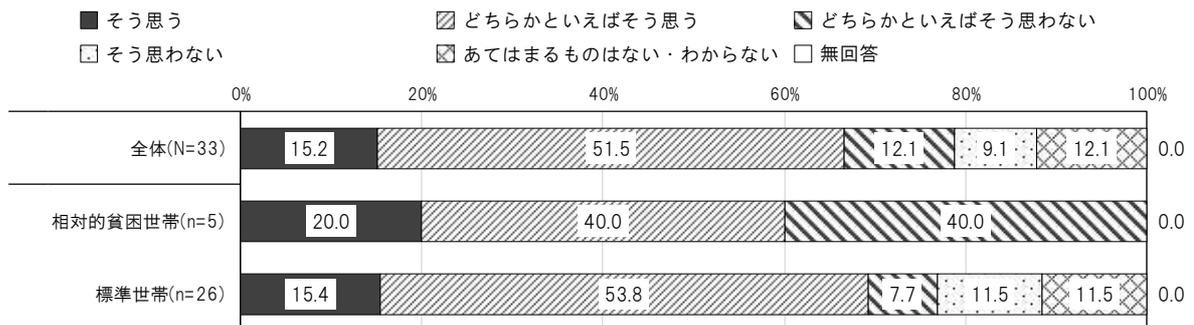
問 22② 家庭（親せきの家を含む）

全体では、「そう思う」が 66.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（24.2%）、「あてはまるものはない・わからない」（6.1%）の順になっています。



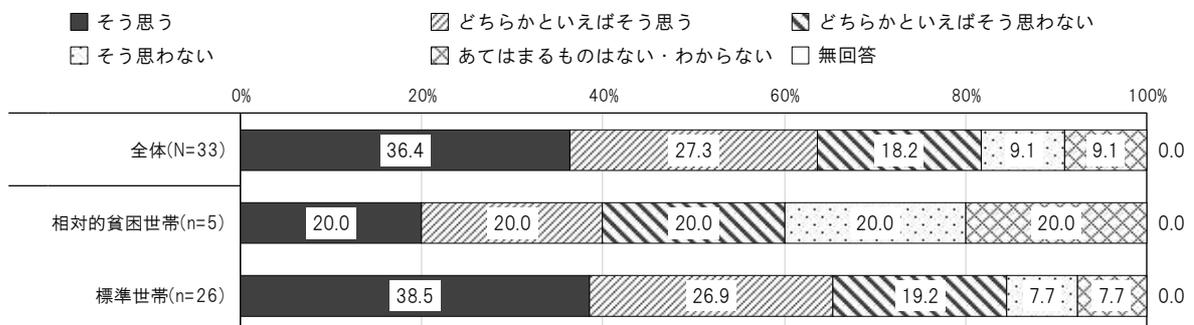
問 22③ 学校

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 51.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（15.2%）、「どちらかといえばそう思わない」「あてはまるものはない・わからない」（12.1%）の順になっています。



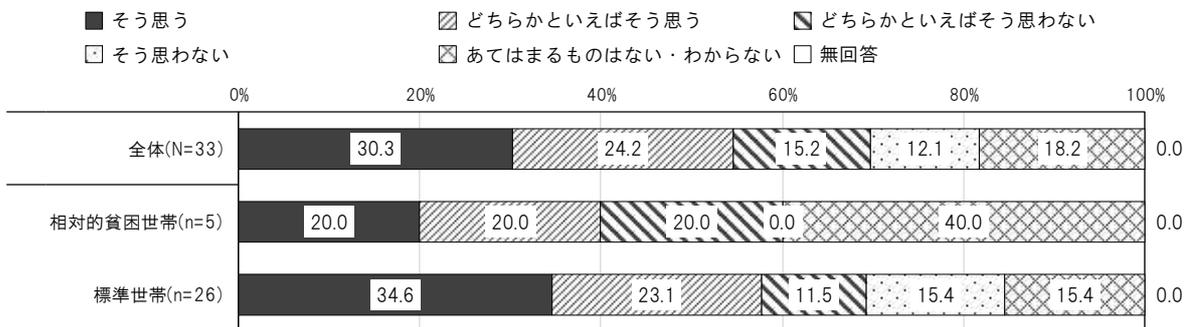
問 22④ 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

全体では、「そう思う」が 36.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（27.3%）、「どちらかといえばそう思わない」（18.2%）の順になっています。



問 22⑤ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど

全体では、「そう思う」が 30.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（24.2%）、「あてはまるものはない・わからない」（18.2%）の順になっています。

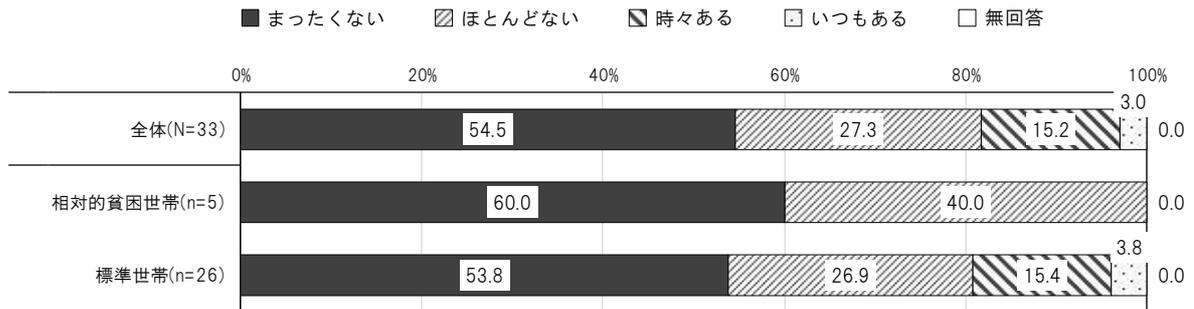


2. 人とのつながり

問 23 以下の項目について、あなたはどれくらい感じていますか。(①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

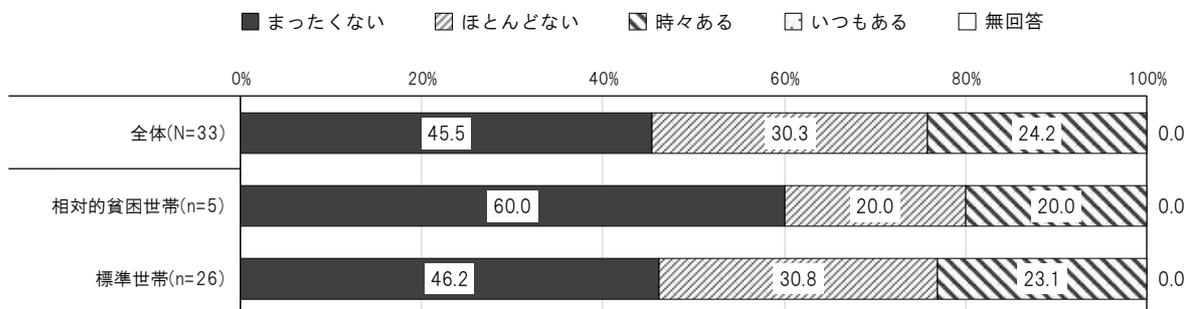
問 23① 自分には話せる人がいないと感じることがある

全体では、「まったくない」が 54.5%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(27.3%)、「時々ある」(15.2%)の順になっています。



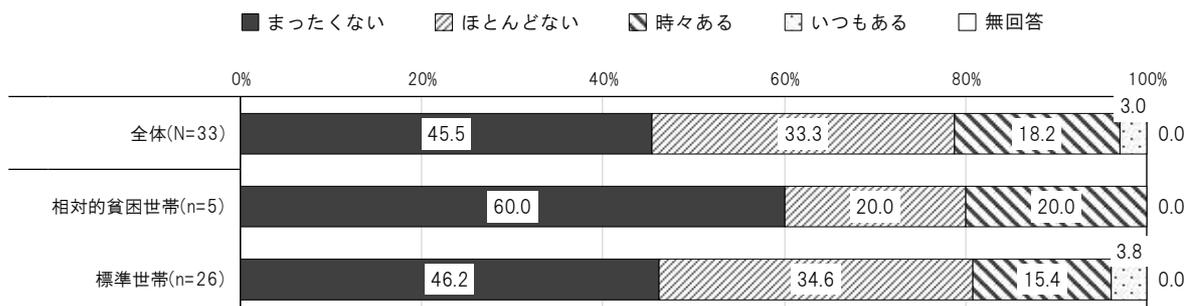
問 23② 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある

全体では、「まったくない」が 45.5%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(30.3%)、「時々ある」(24.2%)の順になっています。



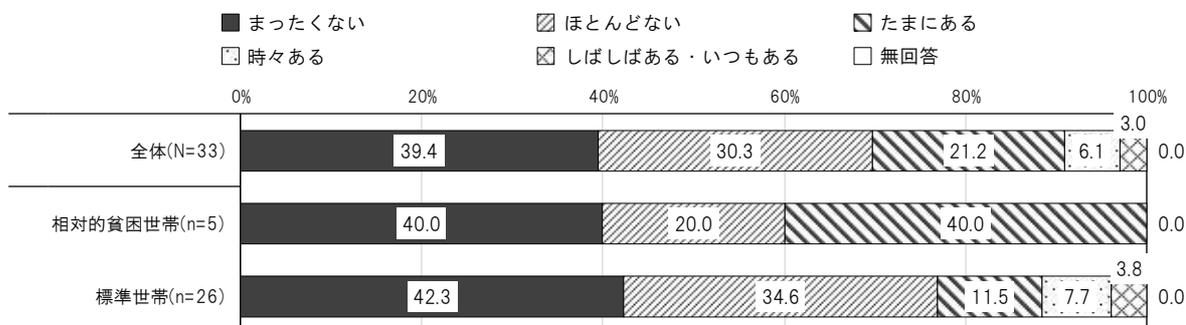
問 23③ 自分はひとりぼっちだと感じることがある

全体では、「まったくない」が 45.5%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(33.3%)、「時々ある」(18.2%)の順になっています。



問 24 あなたはどの程度、ひとりぼっちであると感じることがありますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「まったくない」が 39.4%と最も高く、次いで、「ほとんどない」（30.3%）、「たまにある」（21.2%）の順になっています。

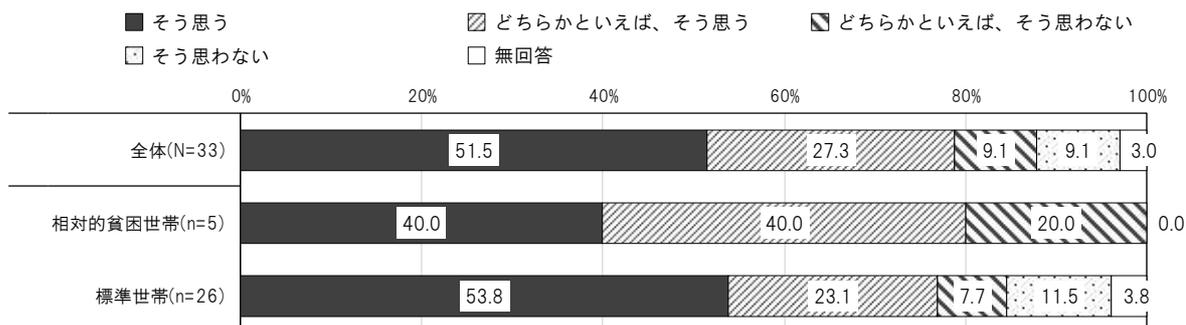


3. 他者との関わり方

問 25 あなたと家族・親せきのかかわりは、どのようなものですか。(①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

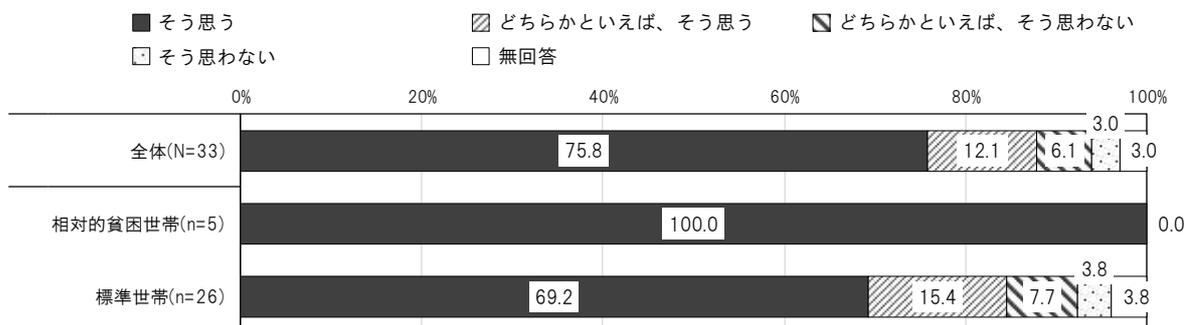
問 25① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思う」が 51.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(27.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」(9.1%) の順になっています。



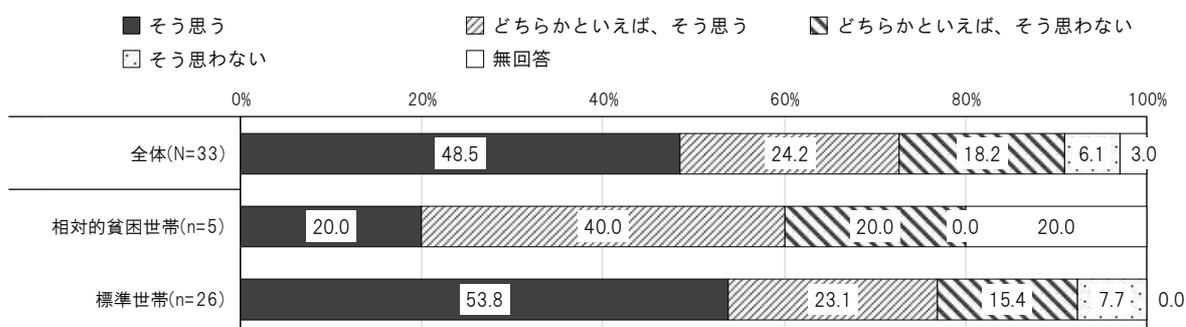
問 25② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 75.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(12.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」(6.1%)の順になっています。



問 25③ 他の人には言えない本音を話せることがある

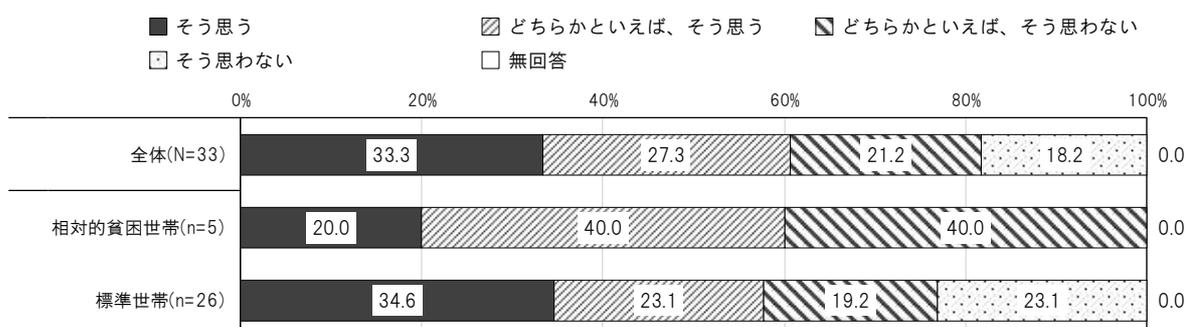
全体では、「そう思う」が 48.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(24.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(18.2%)の順になっています。



問 26 あなたと学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）のかかわりは、どのようなものですか。（①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

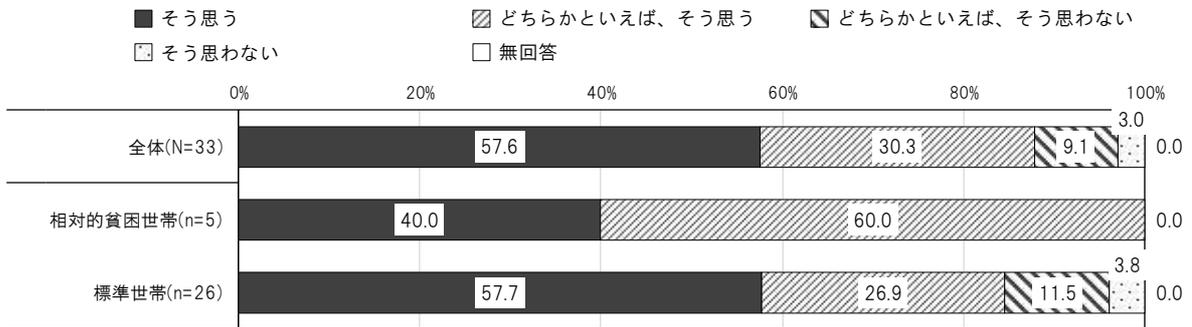
問 26① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思う」が 33.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(27.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(21.2%)の順になっています。



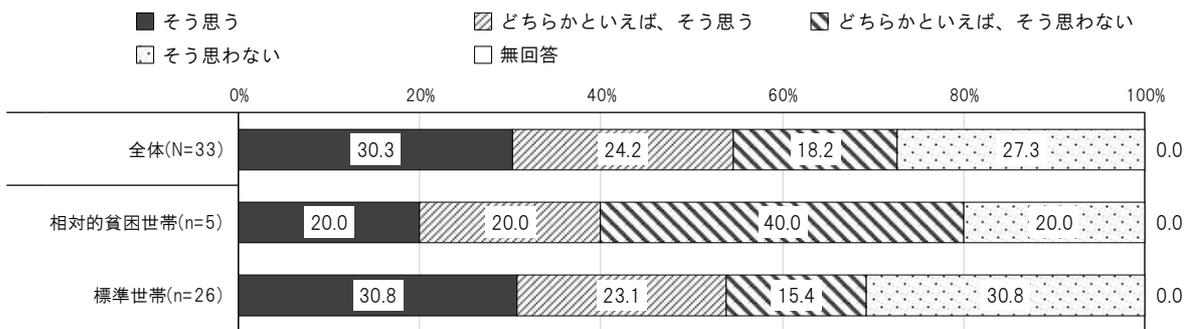
問 26② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 57.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(30.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(9.1%)の順になっています。



問 26③ 他の人には言えない本音を話せることがある

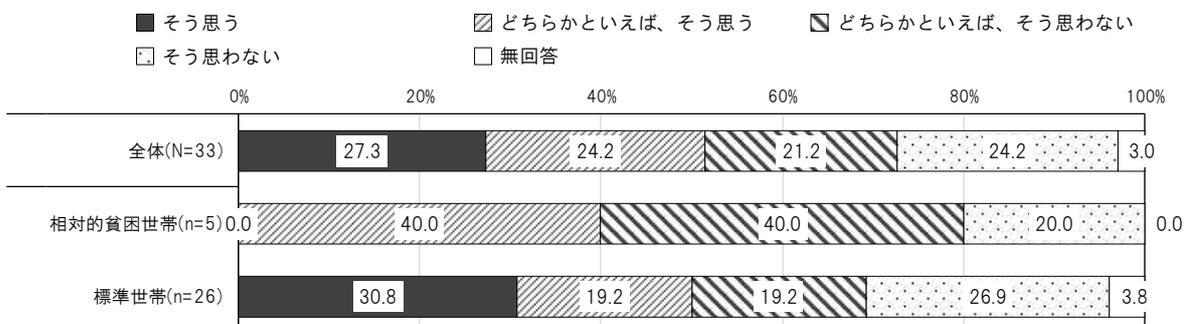
全体では、「そう思う」が 30.3%と最も高く、次いで、「そう思わない」(27.3%)、「どちらかといえば、そう思う」(24.2%)の順になっています。



問 27 あなたと地域の人（近所の人、塾や習い事での友だちなど）のかかわりは、どのようなものですか。（①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

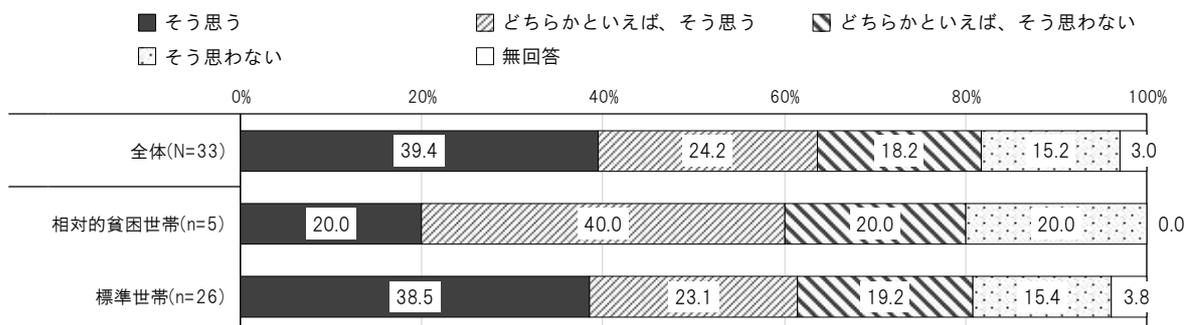
問 27① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思う」が 27.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」「そう思わない」(24.2%)の順になっています。



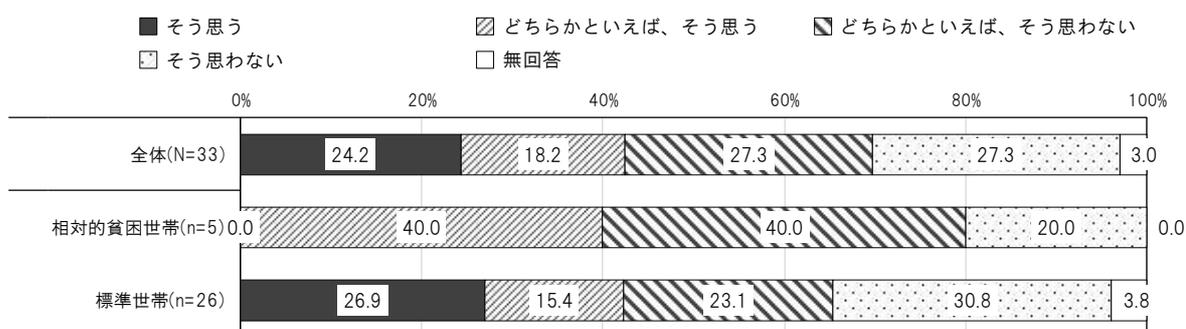
問 27② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 39.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(24.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(18.2%)の順になっています。



問 27③ 他の人には言えない本音を話せることがある

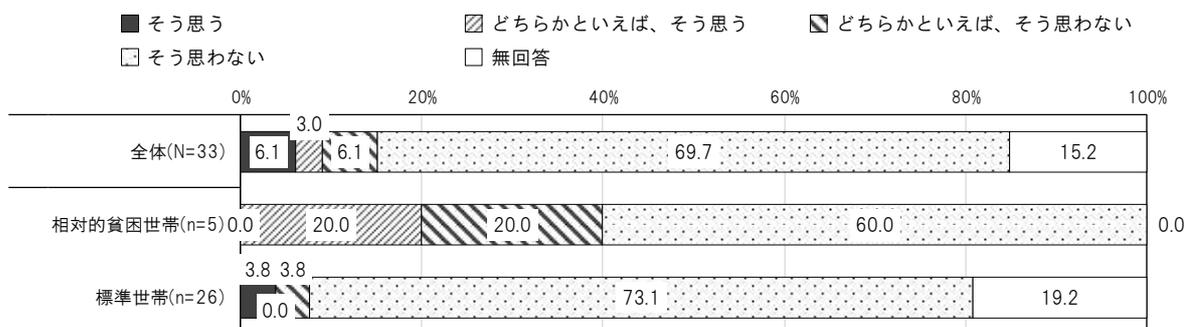
全体では、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」が 27.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(24.2%)の順になっています。



問 28 あなたとインターネット上で知り合った人とのかわりについて、どのように思いますか。(①～④の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

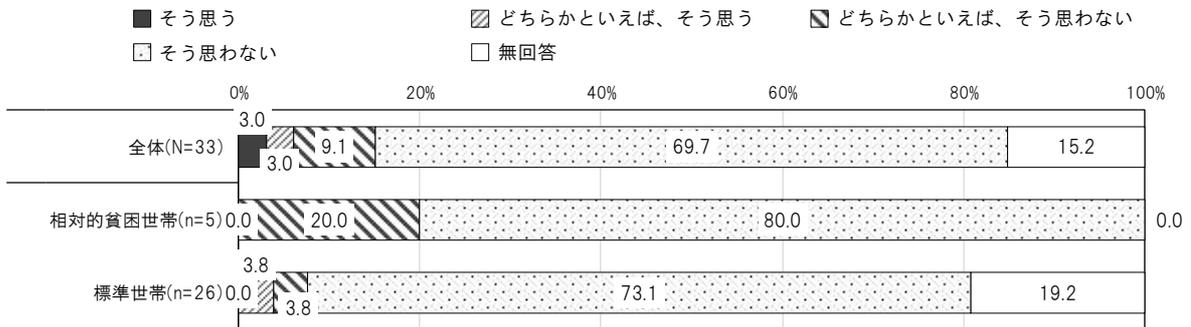
問 28① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思わない」が 69.7%と最も高く、次いで、「そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」(6.1%)の順になっています。



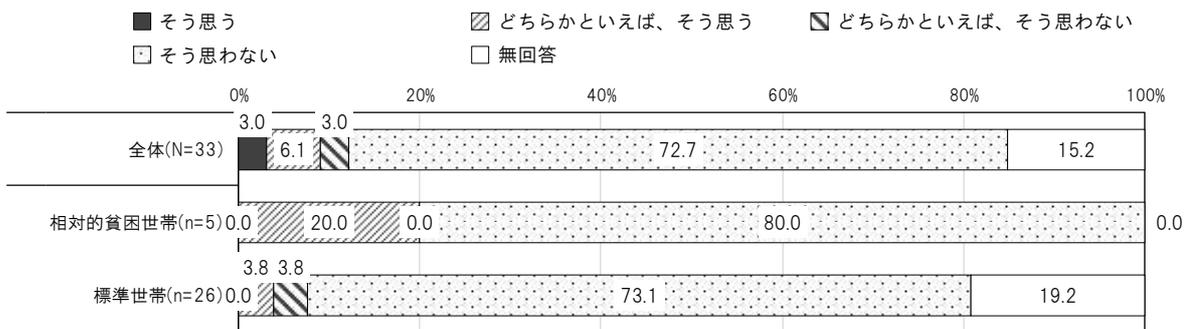
問 28② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思わない」が 69.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」（9.1%）、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」（3.0%）の順になっています。



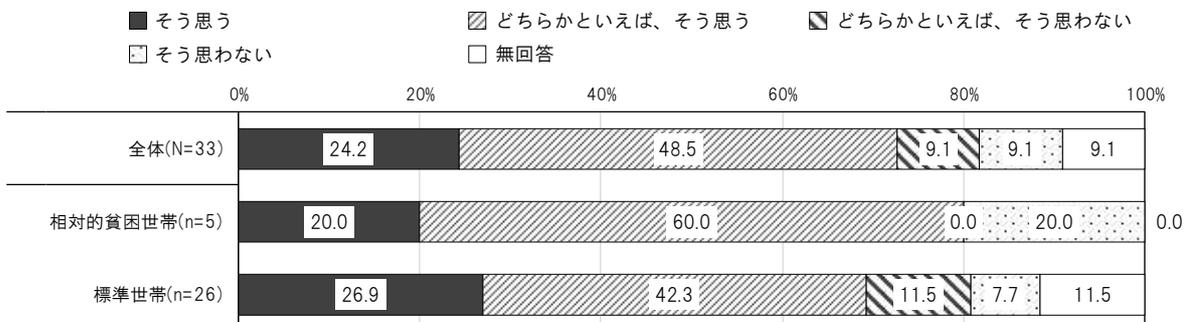
問 28③ 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思わない」が 72.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（6.1%）、「そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」（3.0%）の順になっています。



問 29 あなたはだれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。（あてはまる番号1つに○）

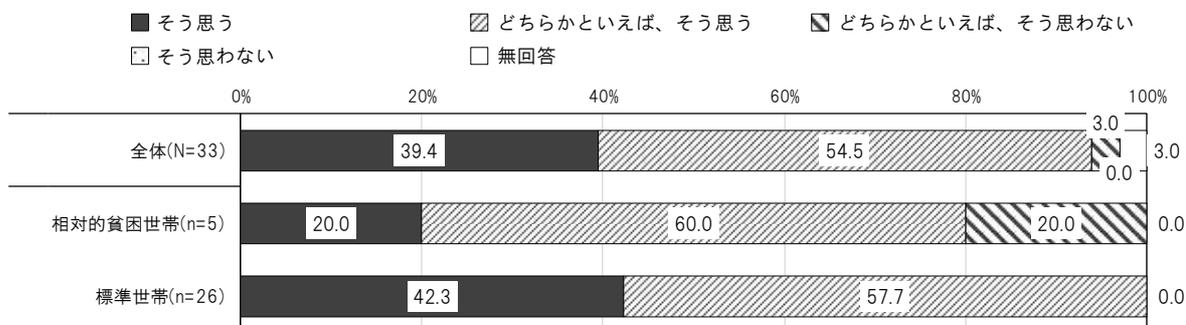
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 48.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（24.2%）、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」（9.1%）の順になっています。



4. 社会参加

問 30 あなたは「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（あてはまる番号1つに○）

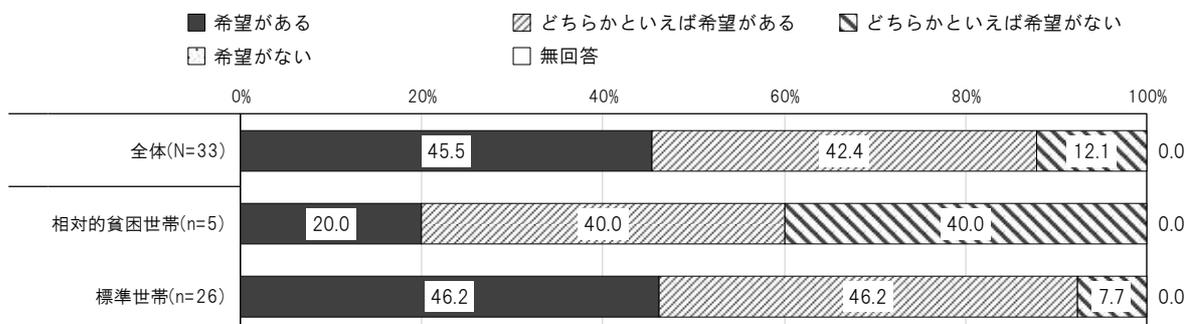
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 54.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（39.4%）、「どちらかといえば、そう思わない」（3.0%）の順になっています。



5. 将来像

問 31 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○）

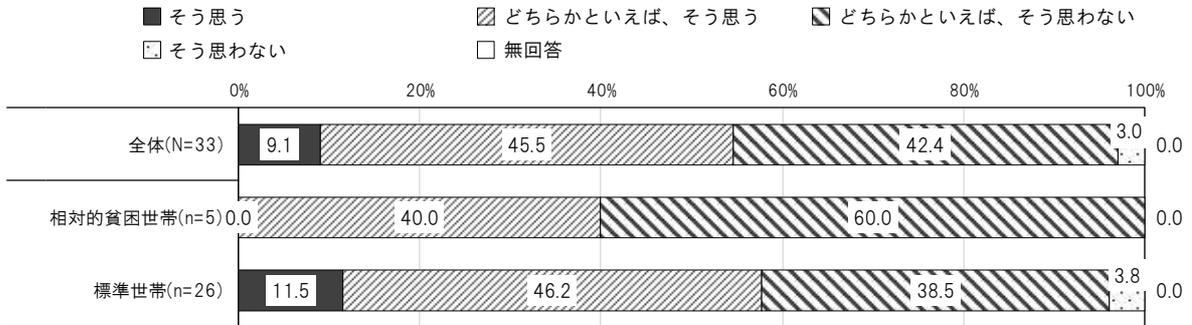
全体では、「希望がある」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば希望がある」（42.4%）、「どちらかといえば希望がない」（12.1%）の順になっています。



問 32 あなたが大人になったとき、どのようになっていると思いますか。（①～⑪の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

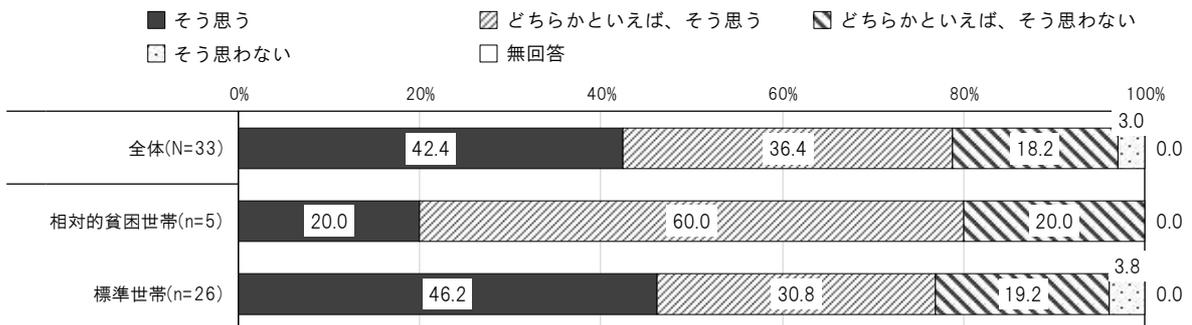
問 32① お金持ちになっている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」（42.4%）、「そう思う」（9.1%）の順になっています。



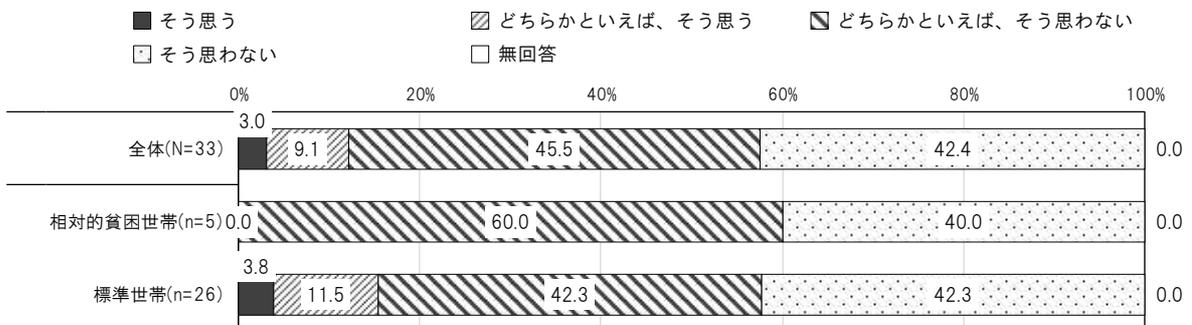
問 32② 自由にのんびり暮らしている

全体では、「そう思う」が 42.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（36.4%）、「どちらかといえば、そう思わない」（18.2%）の順になっています。



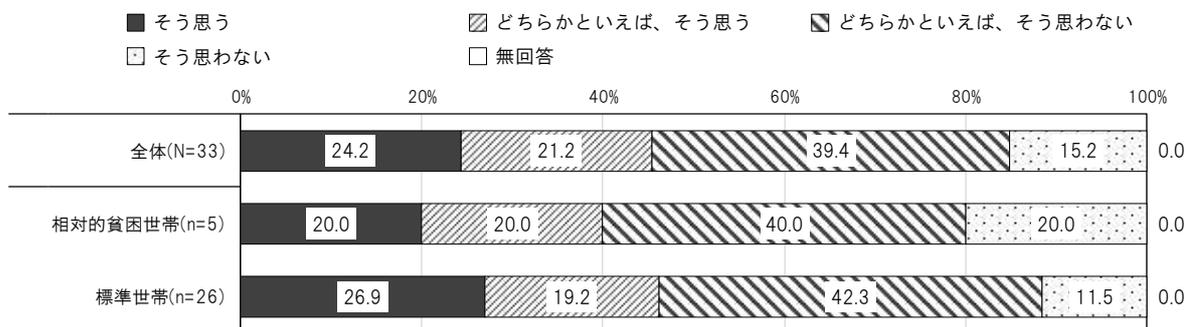
問 32③ 世界で活躍している

全体では、「どちらかといえば、そう思わない」が 45.5%と最も高く、次いで、「そう思わない」（42.4%）、「どちらかといえば、そう思う」（9.1%）の順になっています。



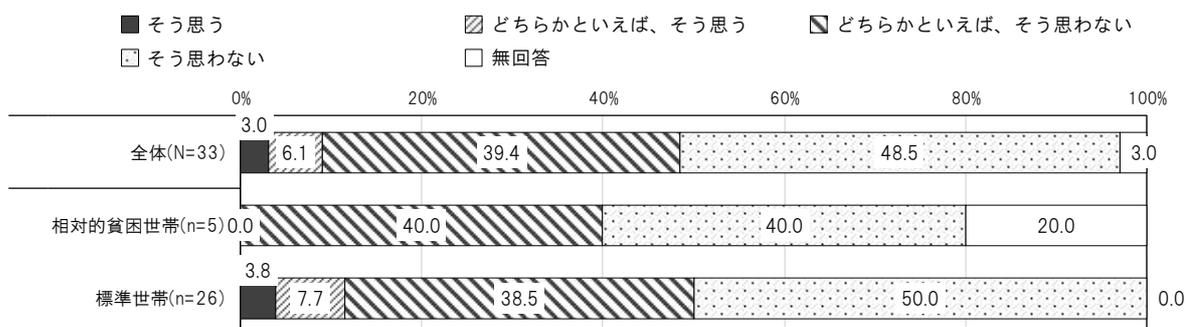
問 32④ 多くの人の役に立っている

全体では、「どちらかといえば、そう思わない」が 39.4%と最も高く、次いで、「そう思う」(24.2%)、「どちらかといえば、そう思う」(21.2%) の順になっています。



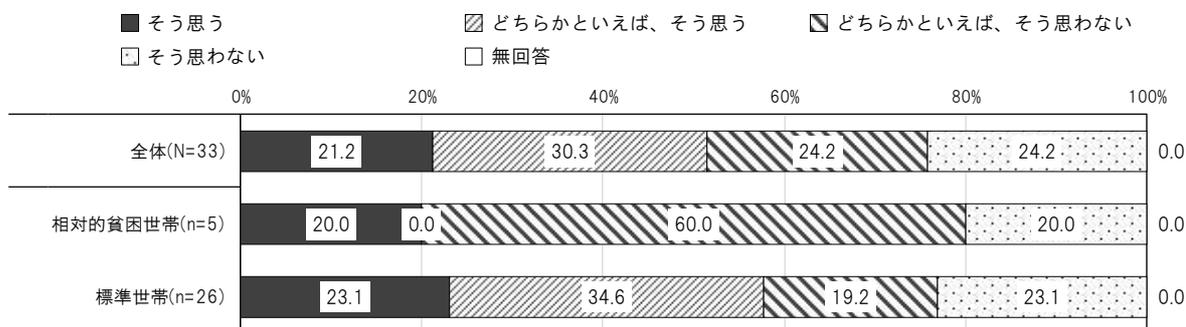
問 32⑤ 有名になっている

全体では、「そう思わない」が 48.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」(39.4%)、「どちらかといえば、そう思う」(6.1%) の順になっています。



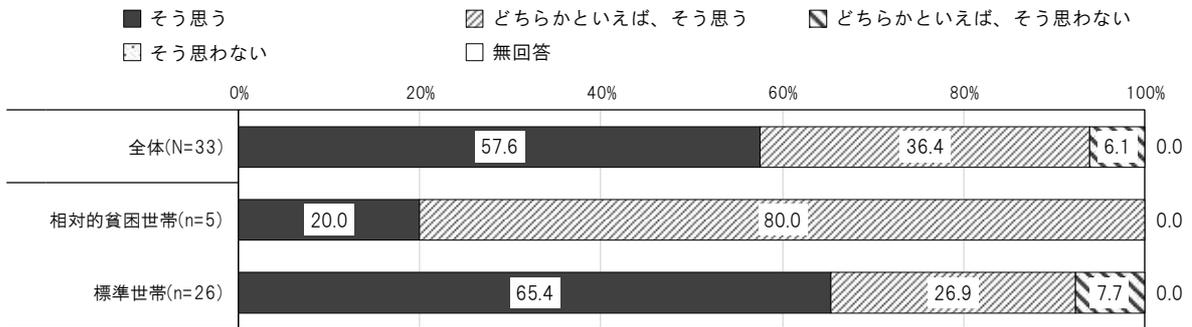
問 32⑥ 子どもを育てている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 30.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」(24.2%)、「そう思わない」(24.2%) の順になっています。



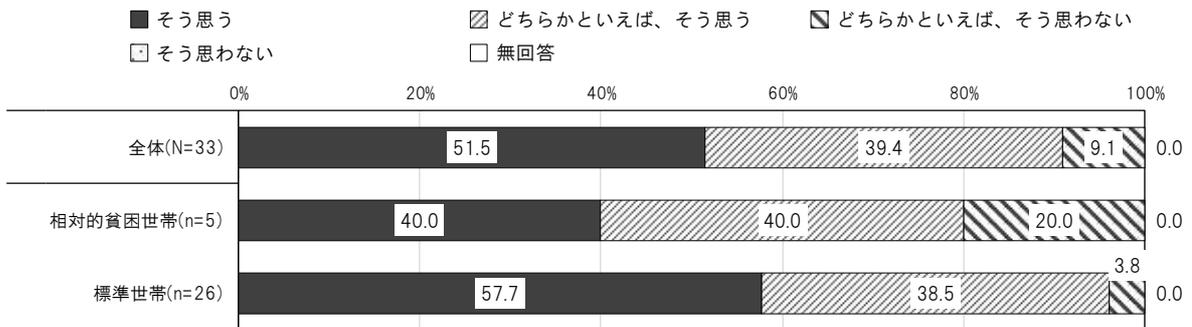
問 32⑦ 親を大切にしている

全体では、「そう思う」が 57.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(36.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(6.1%)の順になっています。



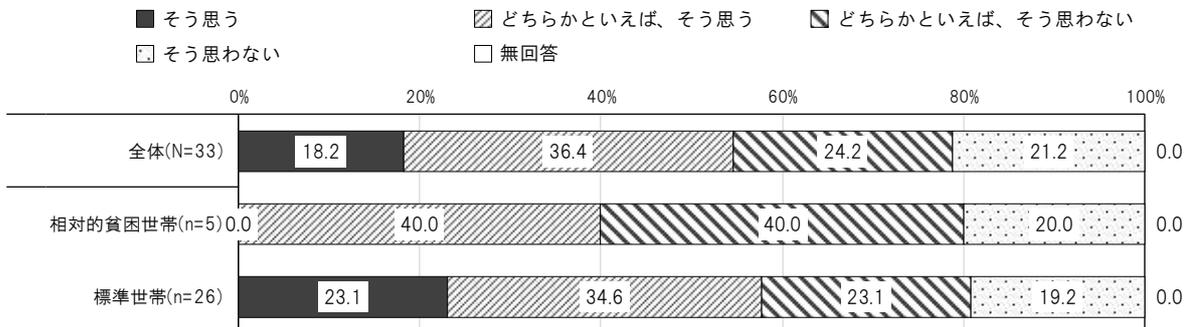
問 32⑧ 幸せになっている

全体では、「そう思う」が 51.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(39.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(9.1%)の順になっています。



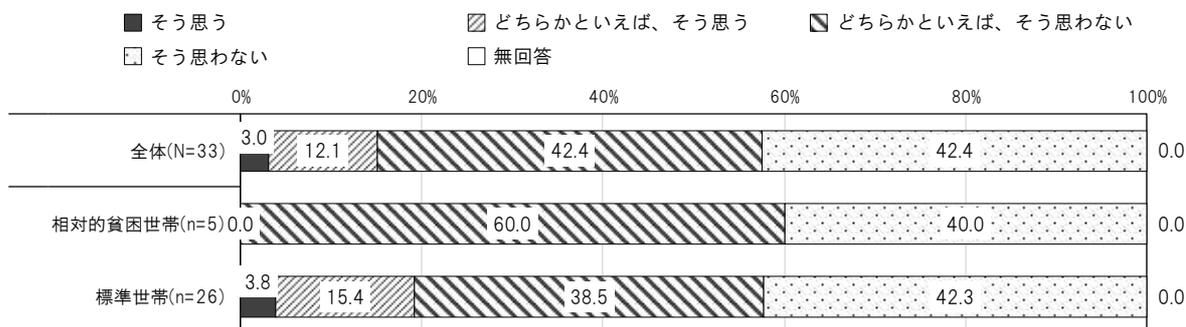
問 32⑨ 結婚している

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 36.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」(24.2%)、「そう思わない」(21.2%)の順になっています。



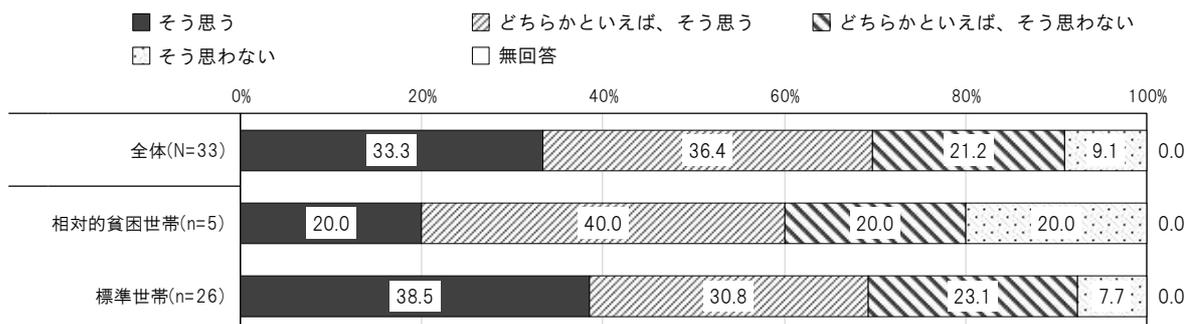
問 32⑩ 偉い人になっている

全体では、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」が 42.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（12.1%）の順になっています。



問 32⑪ 仲間と仲良く暮らしている

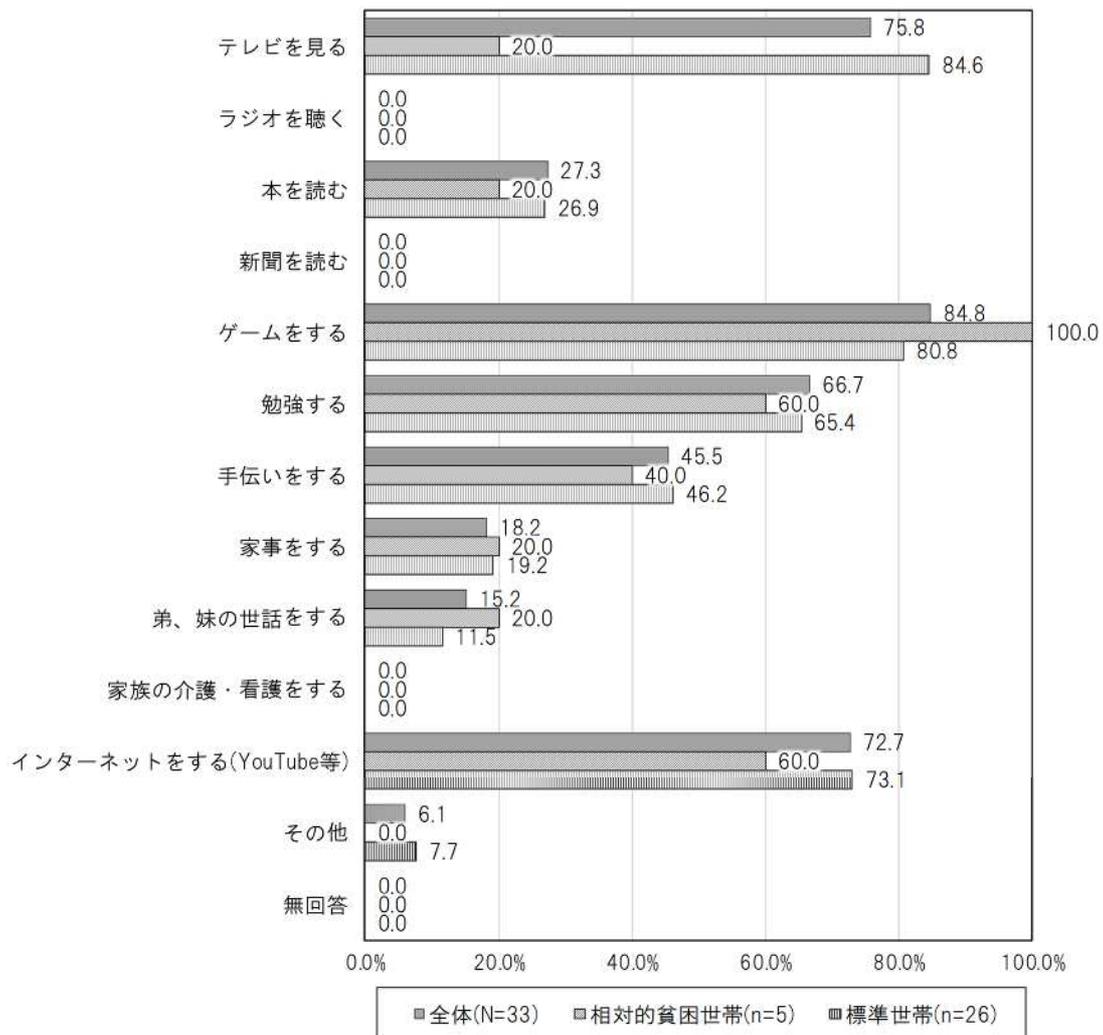
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 36.4%と最も高く、次いで、「そう思う」（33.3%）、「どちらかといえば、そう思わない」（21.2%）の順になっています。



6. 普段の活動

問 33 ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

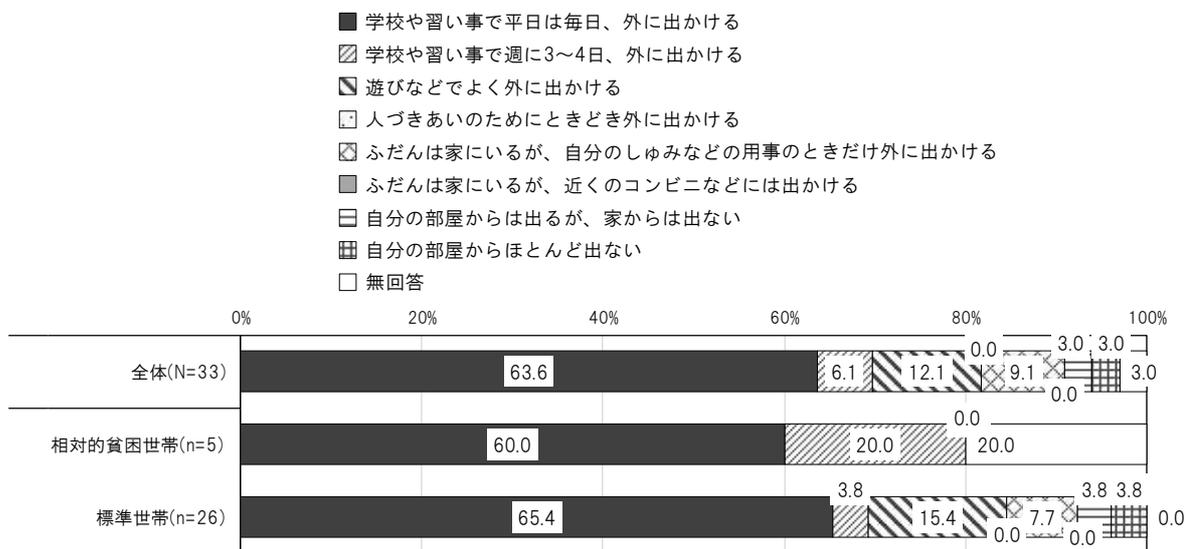
全体では、「ゲームをする」が 84.8%と最も高く、次いで、「テレビを見る」（75.8%）、
「インターネットをする(YouTube等）」（72.7%）の順になっています。



7. 外出状況

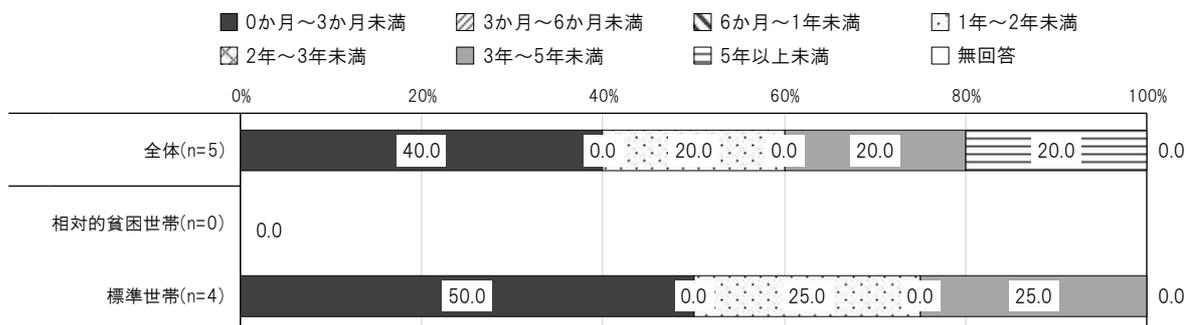
問 34 あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」が 63.6%と最も高く、次いで、「遊びなどでよく外に出かける」（12.1%）、「ふだんは家にいるが、自分のしゅみなどの用事のときだけ外に出かける」（9.1%）の順になっています。



問 35 問 34 で「5」～「8」と答えた人にお聞きます。あなたの外出のしかたが現在のようになって、どのくらい経ちますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「0 か月～3 か月未満」が 40.0%と最も高く、次いで、「1 年～2 年未満」「3 年～5 年未満」「5 年以上未満」（20.0%）の順になっています。

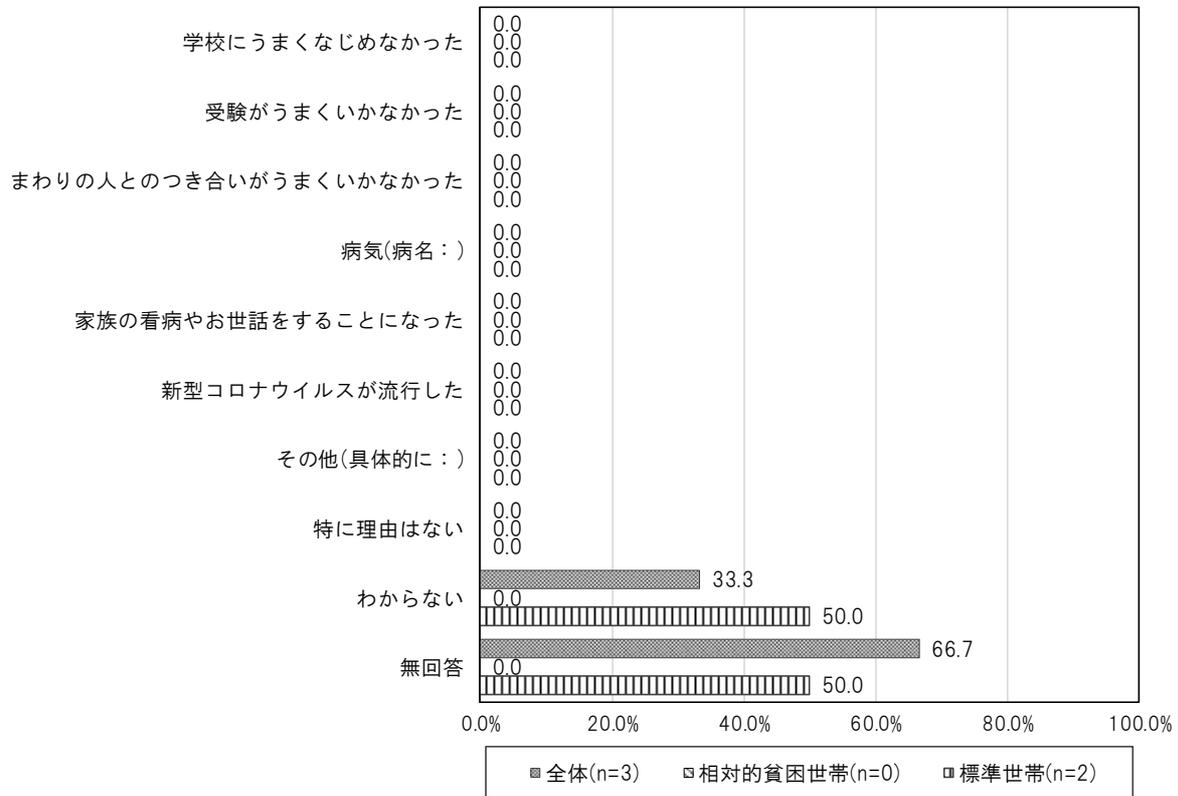


問 36 問 35 で「3」～「7」と答えた人にお聞きます。あなたの外出のしかたが現在のようになったのは何歳の頃ですか。（数字を記入してください）

3名の回答者のうち、1名ずつ、8歳、11歳、無回答という回答がありました。

問 37 問 35 で「3」～「7」と答えた人にお聞きします。あなたの外出のしかたが現在のようにな
った主な理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「わからない」が 33.3%と最も高くなっています。

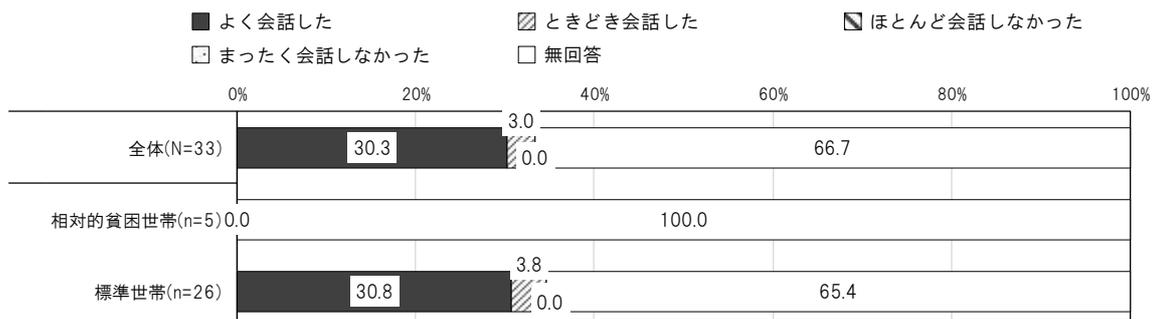


問 37-1 問 37 で「1」～「7」と答えた人にお聞きします。あなたの外出状況が現在の状況になっ
た最も大きな理由は何ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、該当者がいませんでした。

問 38 最近 6 か月間に、家族以外の人と会話しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

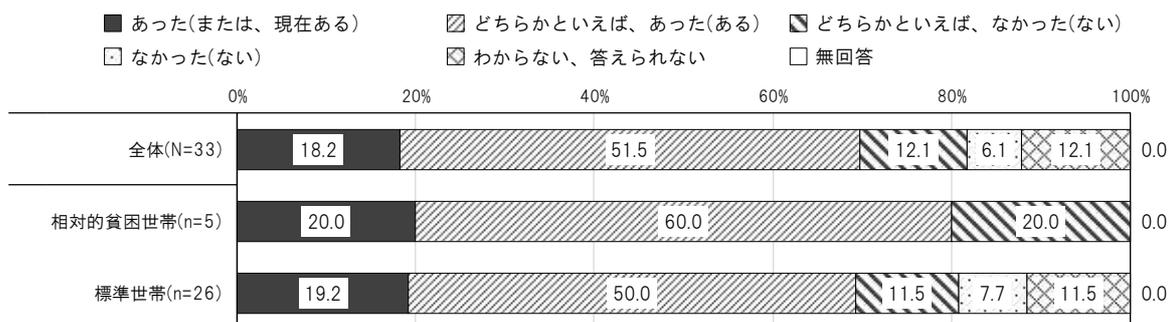
全体では、「よく会話した」が 30.3%と最も高くなっています。



8. ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験

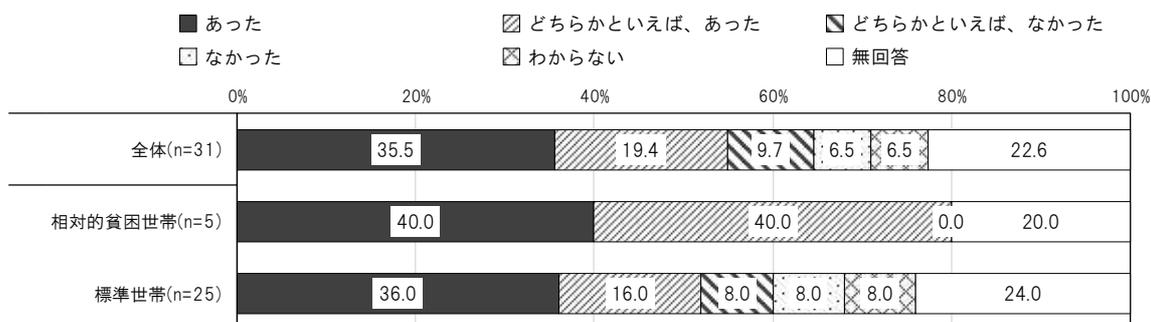
問 39 あなたは今までに、ものがうまくいかず落ち込んだ経験がありますか。または、現在ありますか。最もあてはまるものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「どちらかといえば、あった(ある)」が 51.5%と最も高く、次いで、「あった(または、現在ある)」(18.2%)、「どちらかといえば、なかった(ない)」「わからない、答えられない」(12.1%)の順になっています。



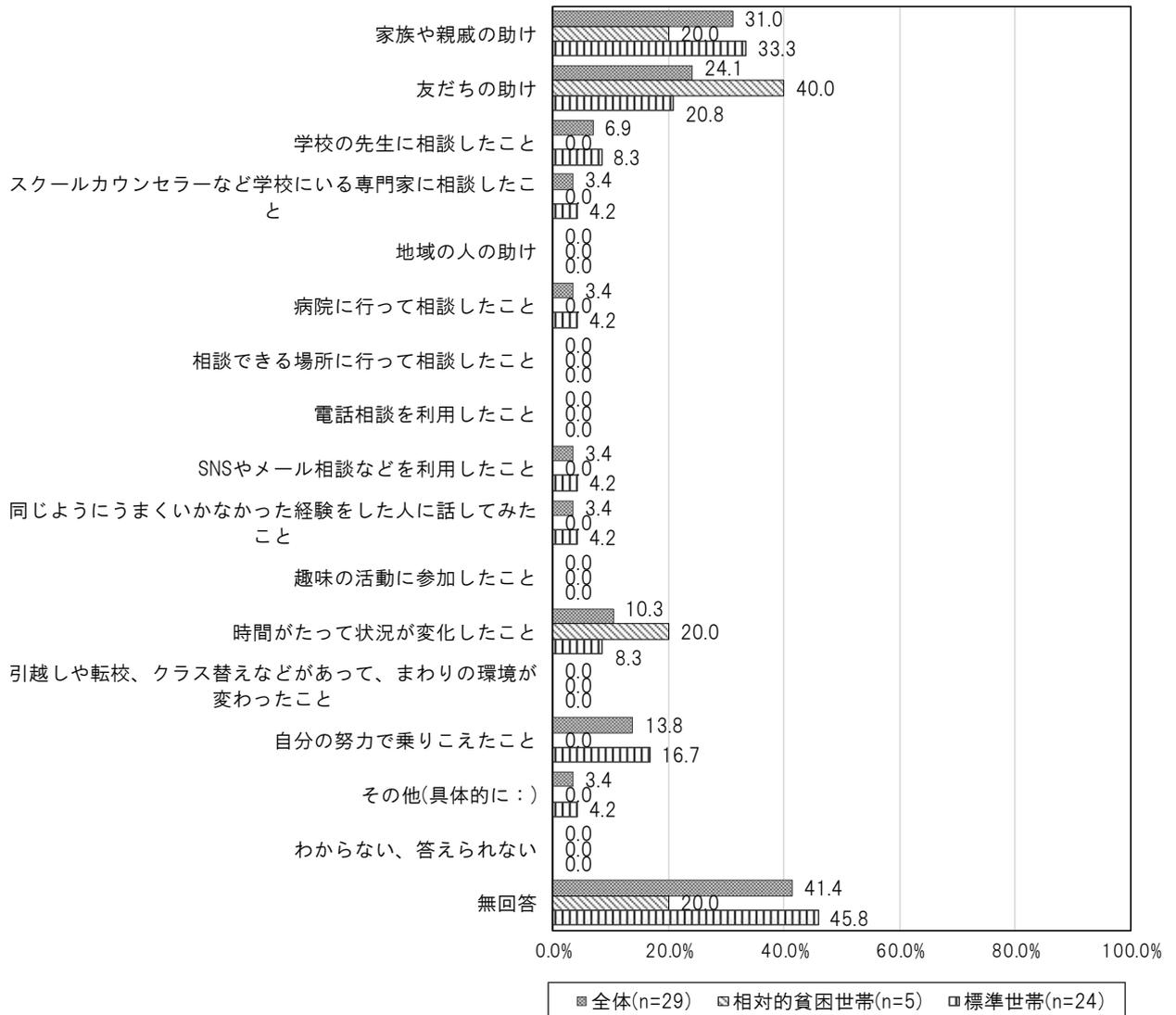
問 40 問 39 で「1」～「2」と答えた人にお聞きします。あなたは今までに、ものがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験がありますか。最もあてはまるものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「あった」が 35.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あった」(19.4%)、「どちらかといえば、なかった」(9.7%)の順になっています。



問 41 問 40 で「1」～「2」と答えた人にお聞きします。落ち込んだ状態から元に戻ったのは、どのようなきっかけだったと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

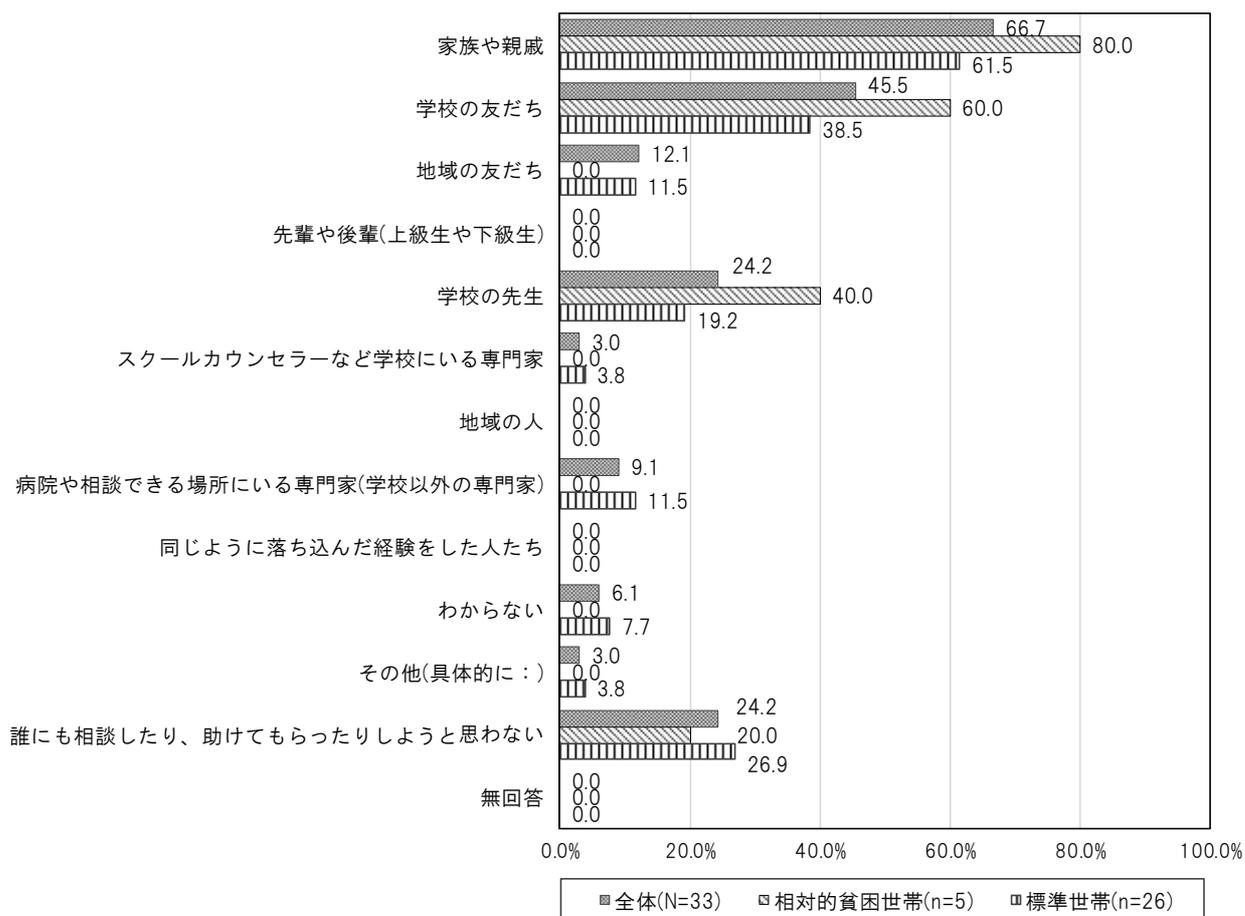
全体では、「家族や親戚の助け」が 31.0%と最も高く、次いで、「友だちの助け」（24.1%）、「自分の努力で乗りこえたこと」（13.8%）の順になっています。



9. 相談・支援

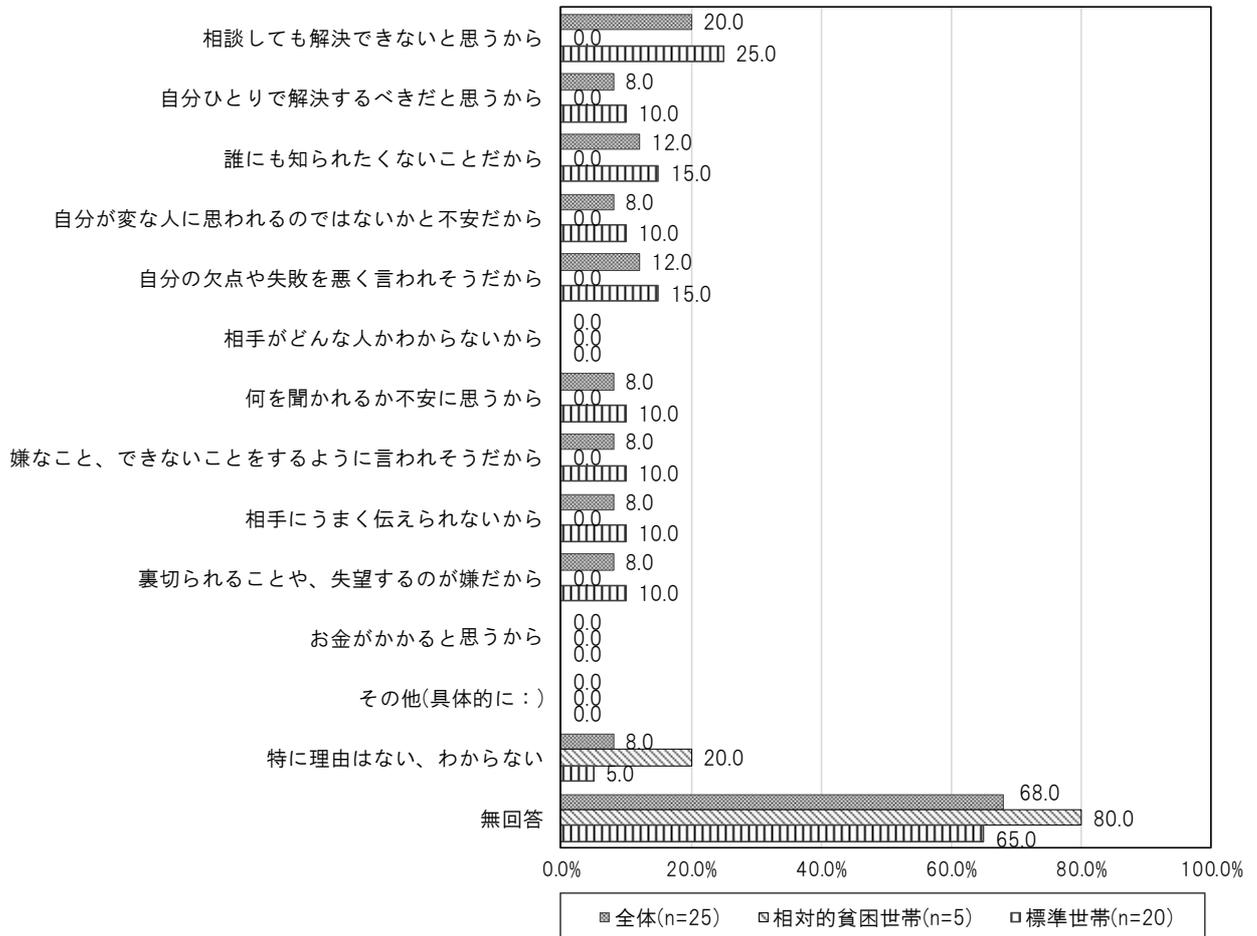
問 42 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、誰に相談したり助けてもらったりしたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「家族や親戚」が 66.7%と最も高く、次いで、「学校の友だち」（45.5%）、「学校の先生」「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」（24.2%）の順になっています。



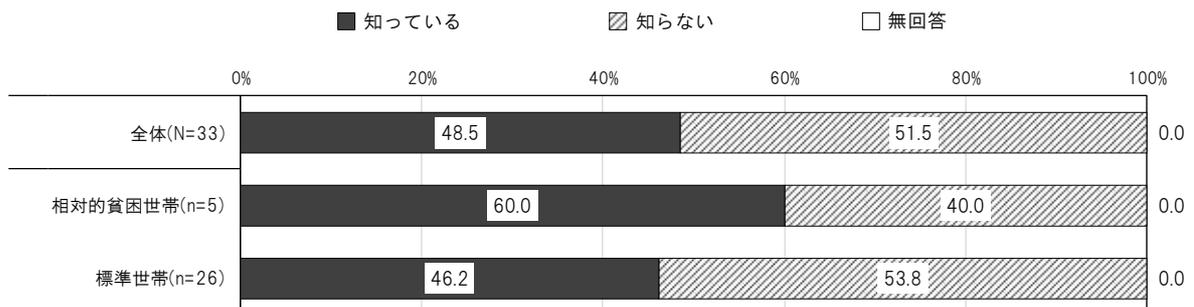
問 43 問 42 で「12」と答えた人にお聞きします。「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「相談しても解決できないと思うから」が 20.0%と最も高く、次いで、「誰にも知られたくないことだから」「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」（12.0%）の順になっています。



問 44 あなたは、家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「知らない」が 51.5%と最も高く、次いで、「知っている」（48.5%）の順になっています。



10. 自由意見

問 45 学校や家での生活で困っていること、悩んでいることなどがあれば自由に記入して下さい。

信用できる環境がなく、前へ進んでいこうとは思えない。子どもの気持ちを考えて行動できる人はどこにいるのだろうと思う。

毎日どうしてもママと喧嘩してしまう。弟がうるさい。学校給食が嫌だ。

先生から毎日勉強のことで厳しくされて、怖くて学校に行けなくなり、保健室登校になった。カウンセラーの先生は私がしたいことをなかなか言えないとき、話さなくてもよく理解してくれるけど、このまま保健室登校でいいのか悩んでいる。

11. 場ごとの認識

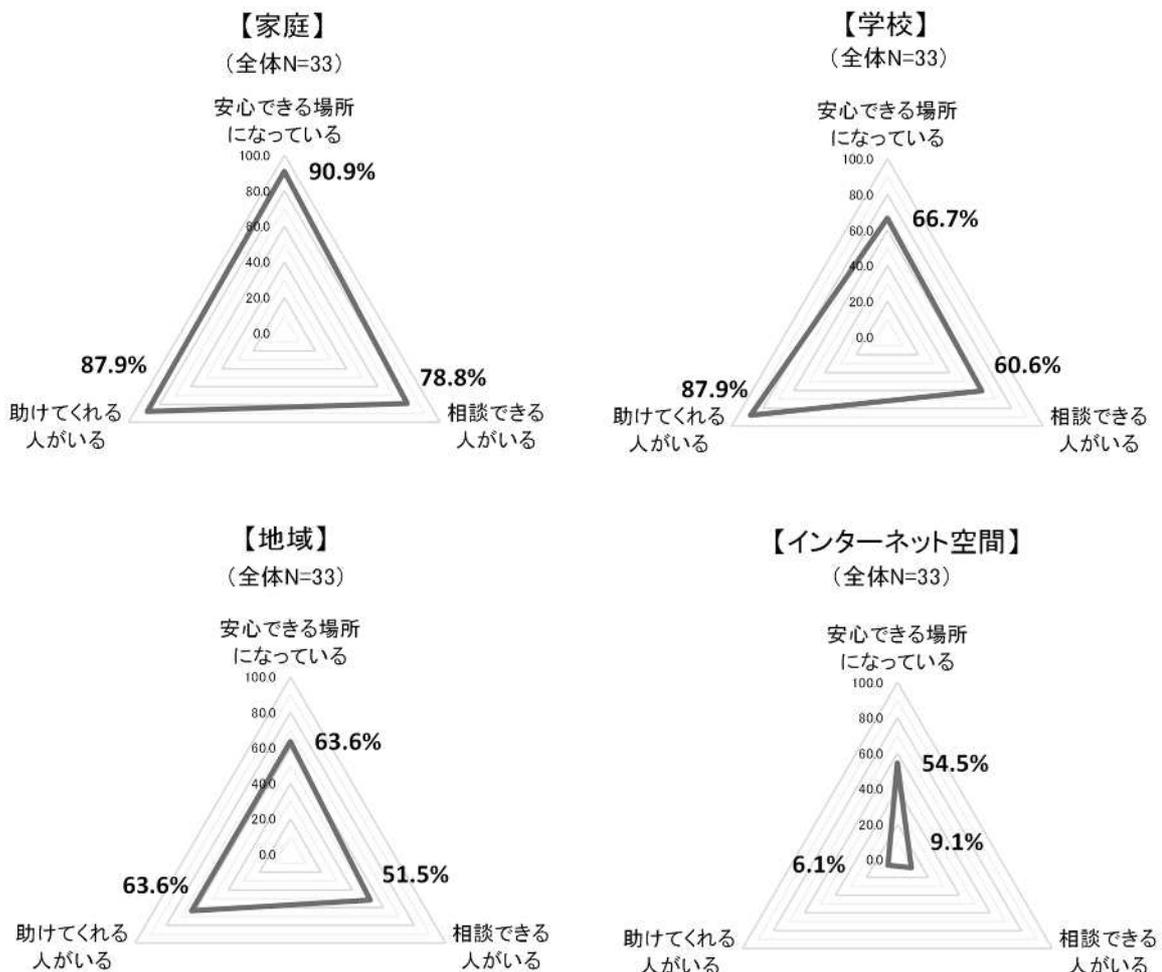
“家庭”、“学校”、“地域”、“インターネット空間”の4つの場ごとの認識について、「安心できる場所になっている」、「相談できる人がいる」、「助けてくれる人がいる」の3項目について、肯定的な認識（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の回答者の割合を示しています。

“家庭”に関しては、3項目いずれについても、肯定的な回答者の割合が4つの場の中で最も高く、特に「安心できる場所になっている」（90.9%）、「助けてくれる人がいる」（87.9%）の割合は約9割を占めています。

“学校”に関しては、「助けてくれる人がいる」（87.9%）が“家庭”と同率で4つの場の中で最も高く、「安心できる場所になっている」（66.7%）、「相談できる人がいる」（60.6%）は“家庭”に次いで高い割合となっています。

“地域”に関しては、「安心できる場所になっている」「助けてくれる人がいる」（63.6%）、「相談できる人がいる」（51.5%）はいずれも“家庭”、“学校”に次いで高い割合となっています。

“インターネット空間”に関しては、3項目いずれについても、4つの場の中で最も割合が低くなっていますが、「安心できる場所になっている」（54.5%）は半数以上が肯定的な回答となっています。一方、「相談できる人がいる」（9.1%）、「助けてくれる人がいる」（6.1%）は1割未満となっています。



4 子どもの貧困対策計画、
子ども・若者計画調査（小学生本人）

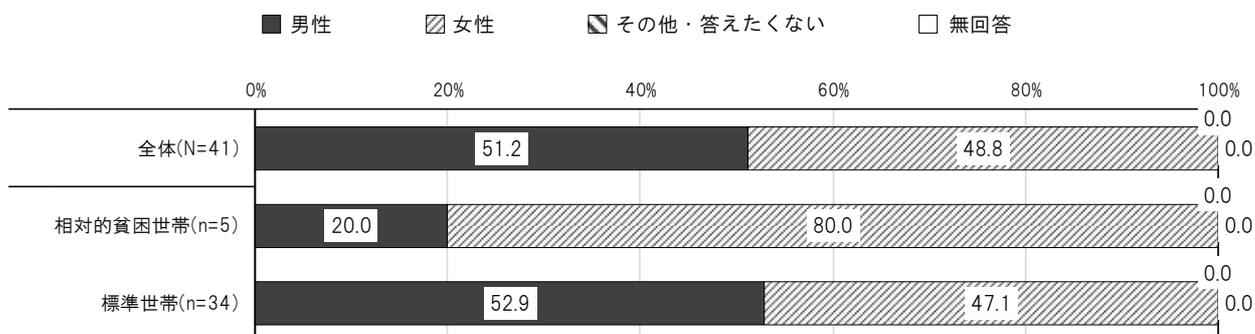
5 子どもの貧困対策計画、
子ども・若者計画調査（中学生本人）

1) 生活状況調査

1. 学習の状況

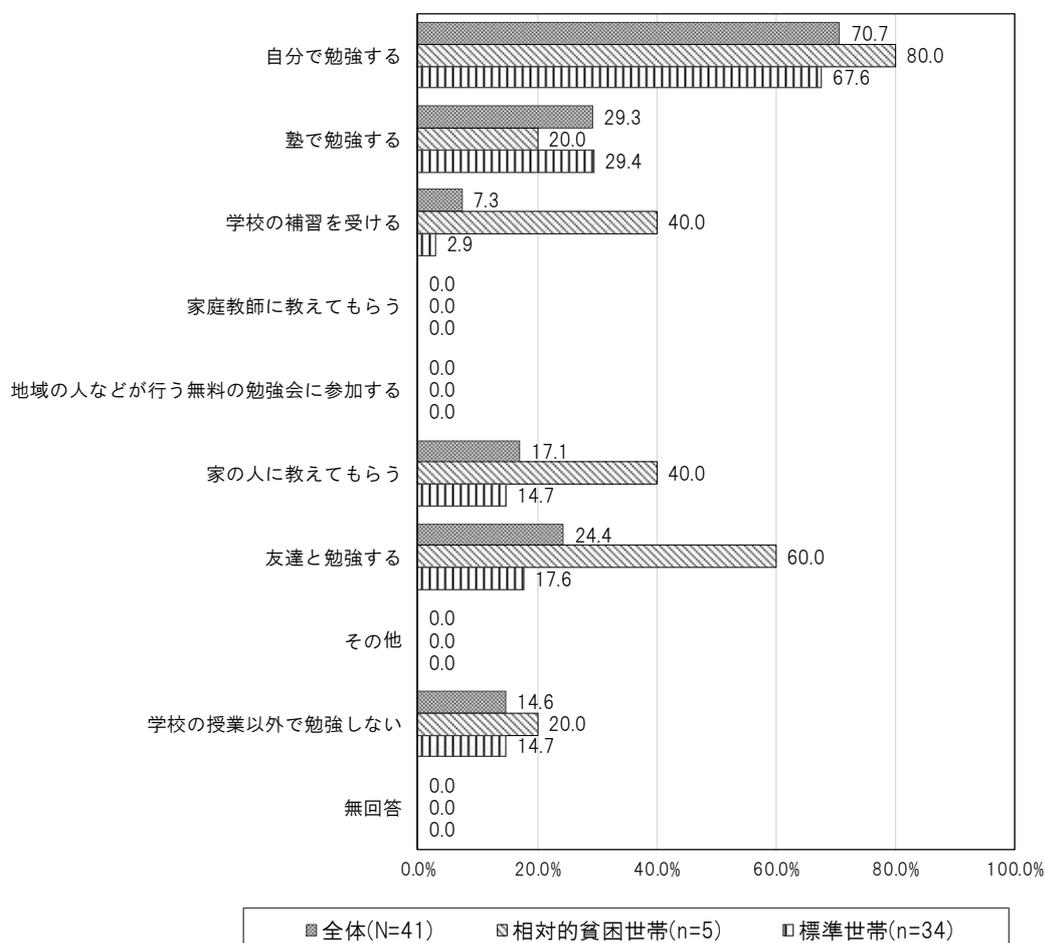
問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「男性」が51.2%、次いで、「女性」（48.8%）の順になっています。



問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強や学校の宿題をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

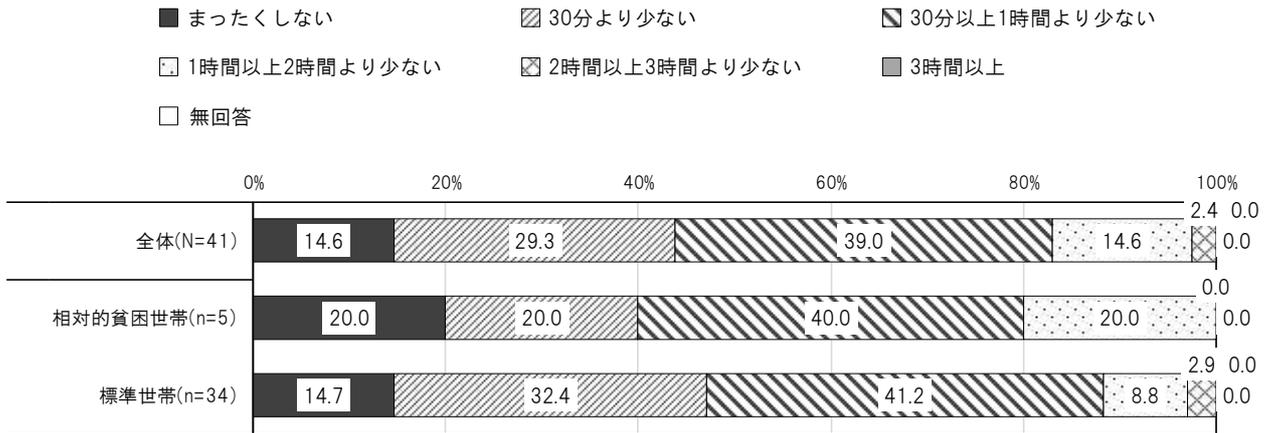
全体では、「自分で勉強する」が70.7%と最も高く、次いで、「塾で勉強する」（29.3%）、
「友達と勉強する」（24.4%）の順になっています。



問3 あなたは学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。①学校がある日（月～金曜日）（あてはまる番号1つに○）

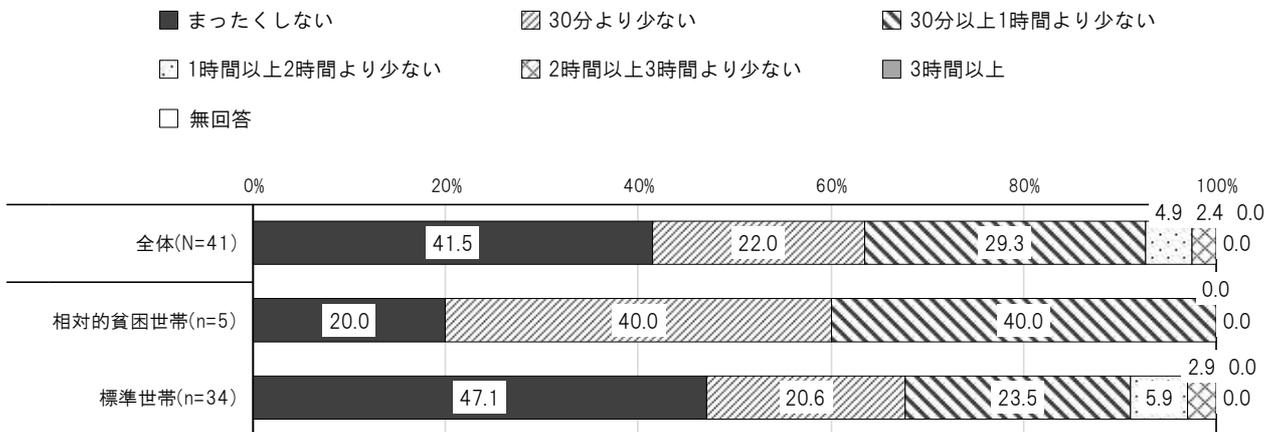
問3① 学校がある日（月～金曜日）

全体では、「30分以上1時間より少ない」が39.0%と最も高く、次いで、「30分より少ない」（29.3%）、「まったくしない」（14.6%）の順になっています。



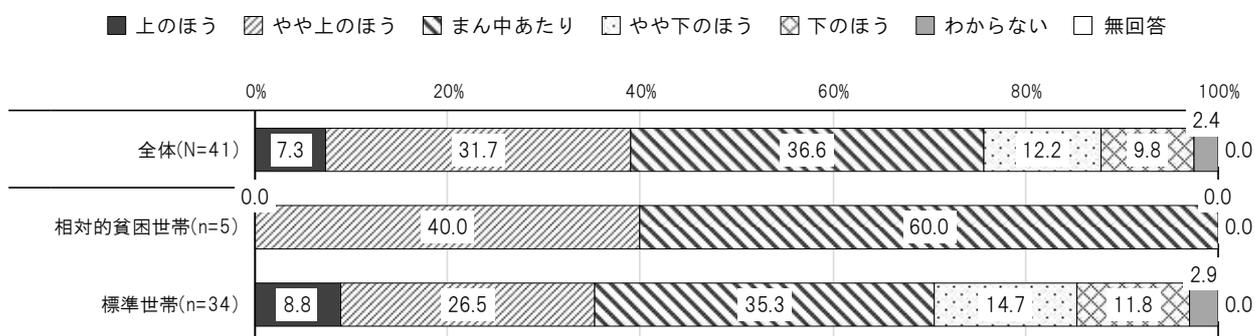
問3② 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）

全体では、「まったくしない」が41.5%と最も高く、次いで、「30分以上1時間より少ない」（29.3%）、「30分より少ない」（22.0%）の順になっています。



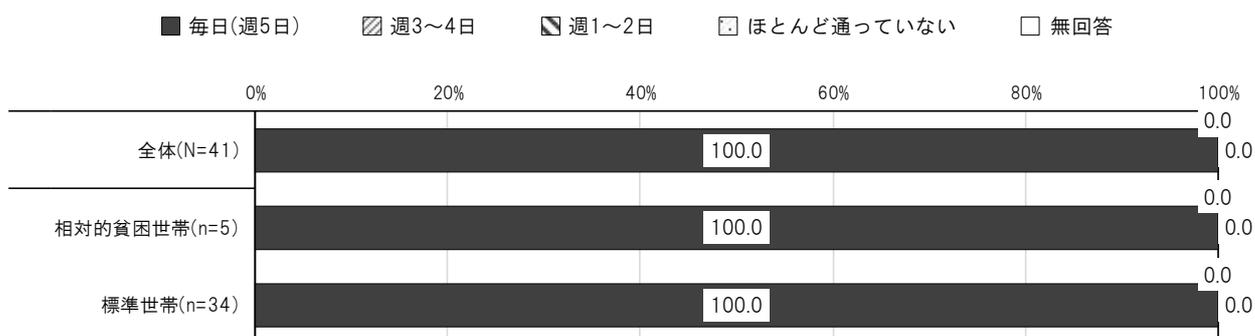
問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「まん中あたり」が36.6%と最も高く、次いで、「やや上のほう」（31.7%）、「やや下のほう」（12.2%）の順になっています。



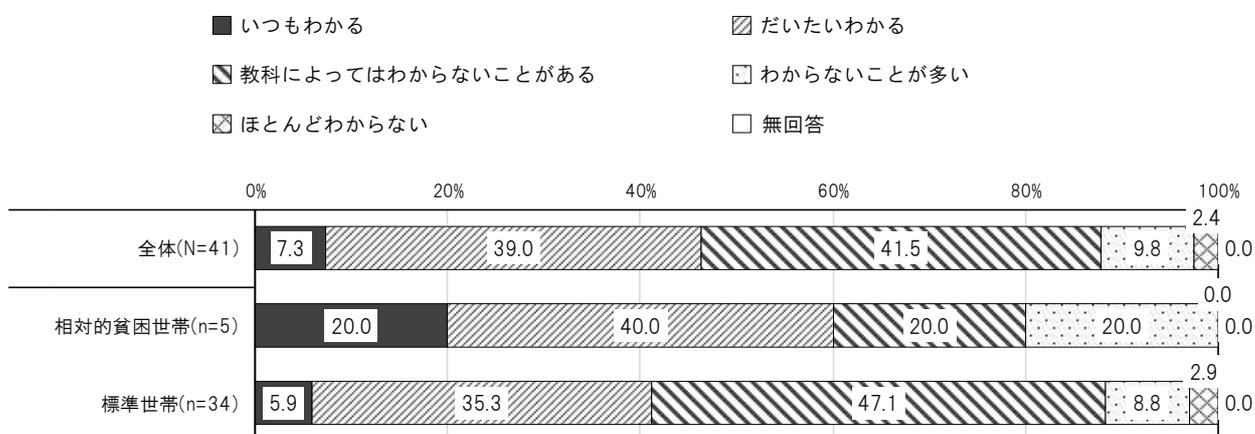
問5 あなたは、学校にどのくらい通っていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎日(週5日)」が100.0%となっています。



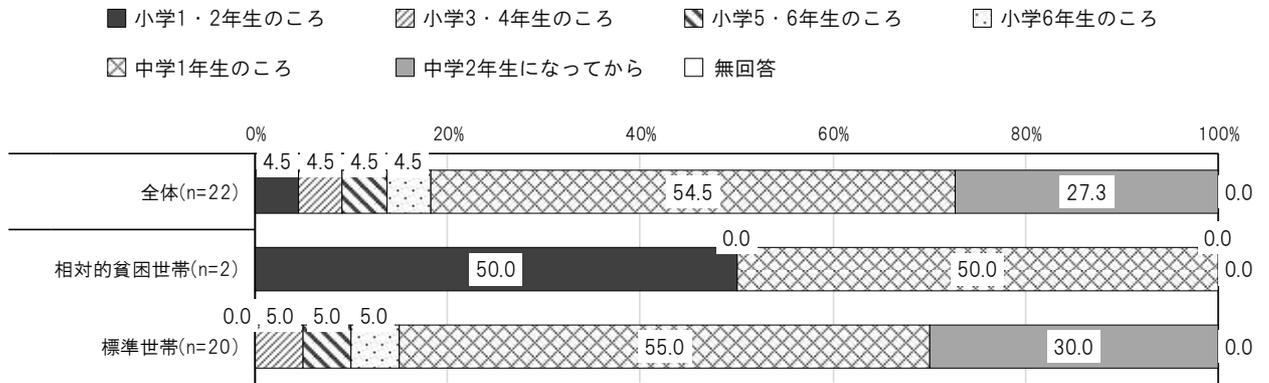
問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「教科によってはわからないことがある」が41.5%と最も高く、次いで、「だいたいわかる」（39.0%）、「わからないことが多い」（9.8%）の順になっています。



問 6-1 問 6 で「3」～「5」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

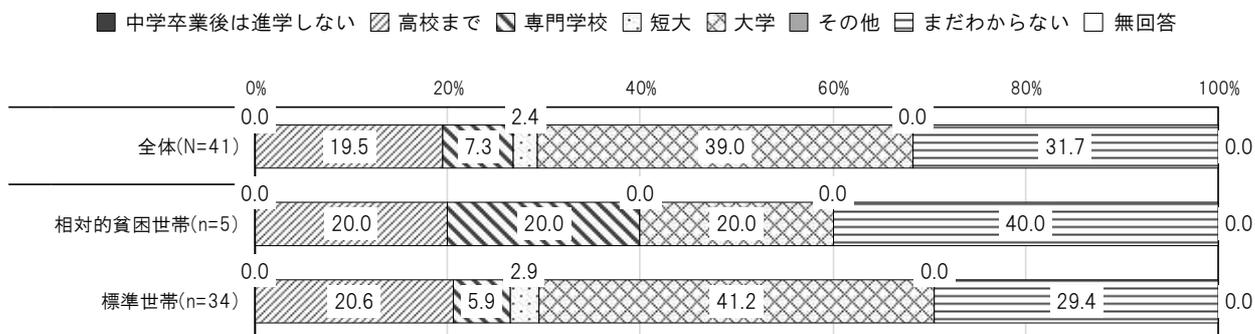
全体では、「中学 1 年生のころ」が 54.5%と最も高く、次いで、「中学 2 年生になってから」(27.3%)、「小学 1・2 年生のころ」「小学 3・4 年生のころ」「小学 5・6 年生のころ」「小学 6 年生のころ」(4.5%) の順になっています。



2. 進学希望

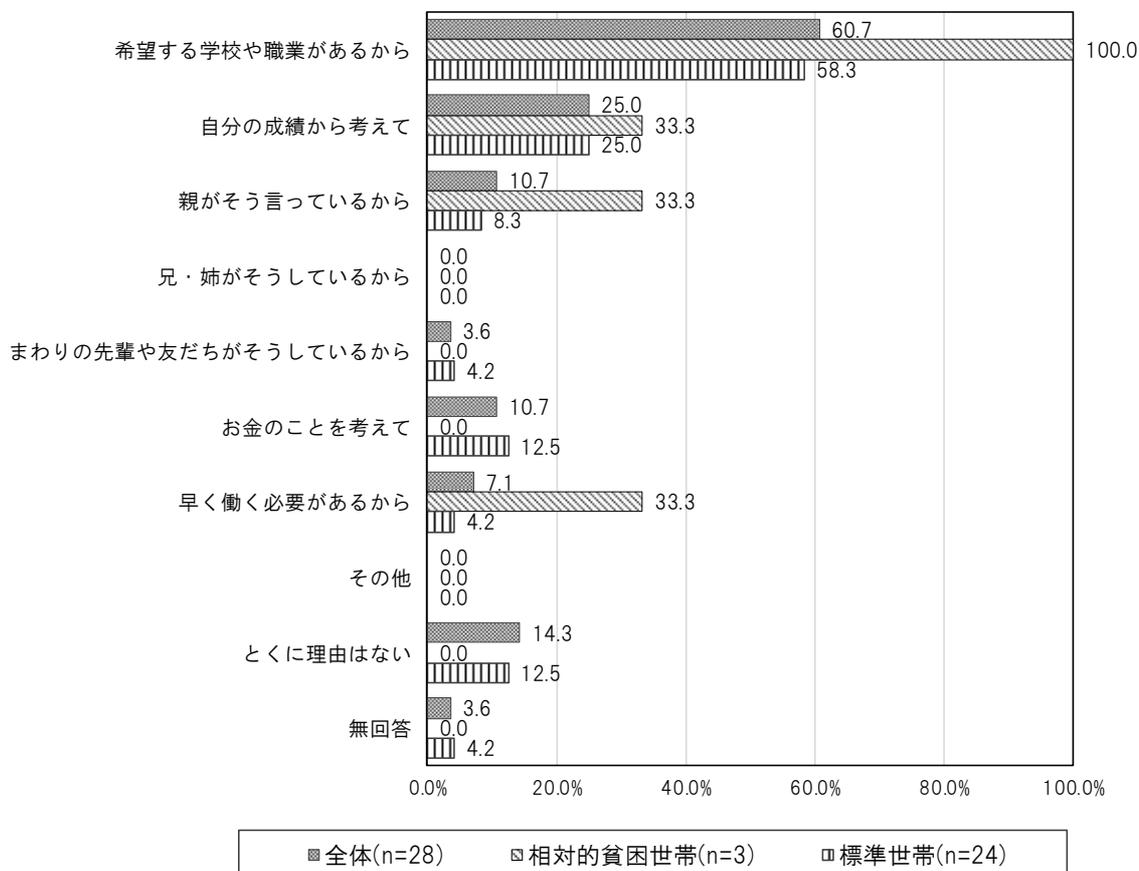
問7 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「大学」が39.0%と最も高く、次いで、「まだわからない」（31.7%）、「高校まで」（19.5%）の順になっています。



問7-1 問7で「1」～「6」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

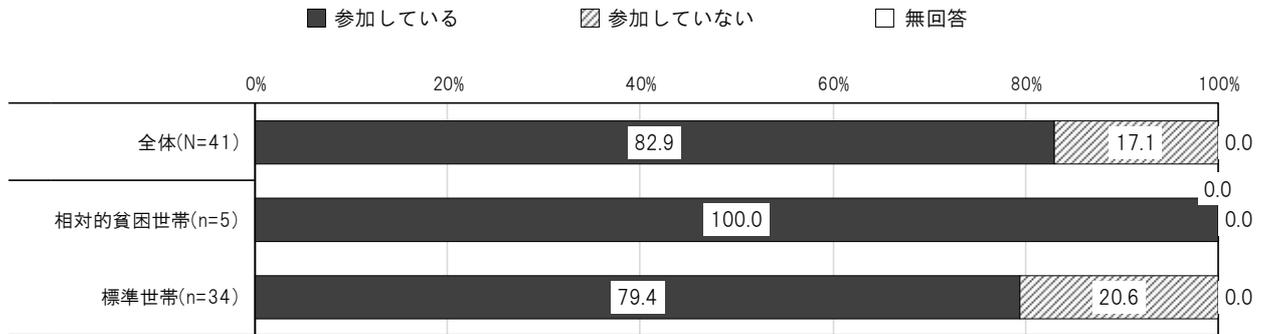
全体では、「希望する学校や職業があるから」が60.7%と最も高く、次いで、「自分の成績から考えて」（25.0%）、「とくに理由はない」（14.3%）の順になっています。



3. 日常的な生活の状況

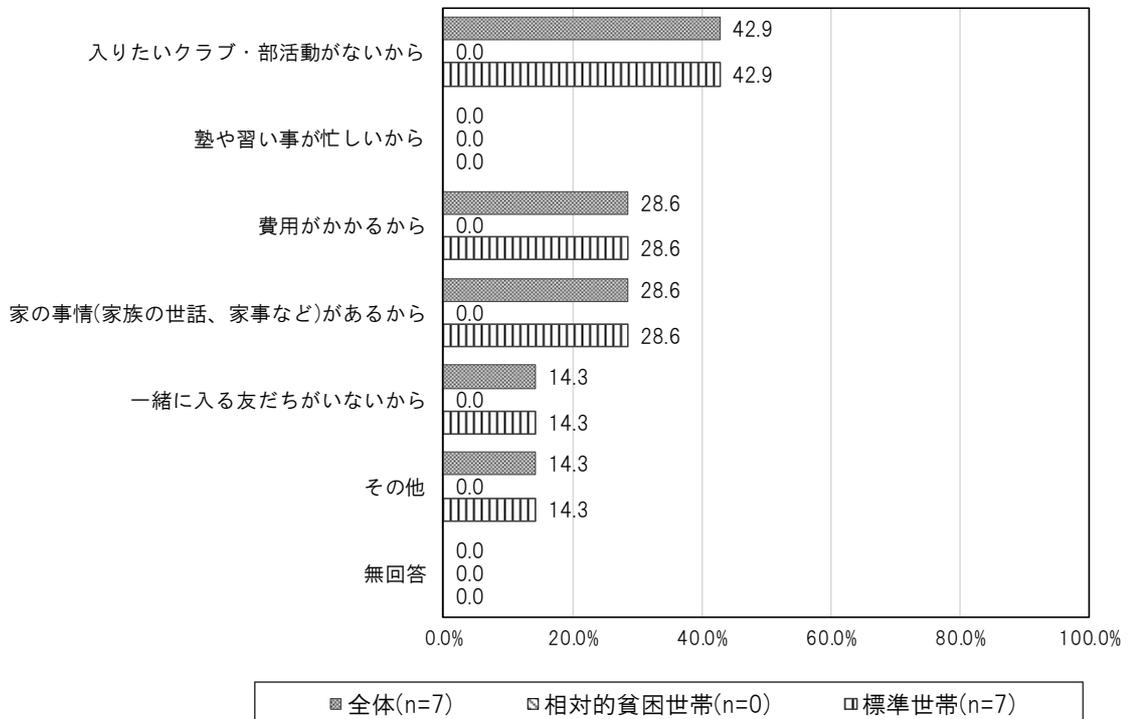
問 8 あなたは地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「参加している」が 82.9%、次いで、「参加していない」（17.1%）の順になっています。



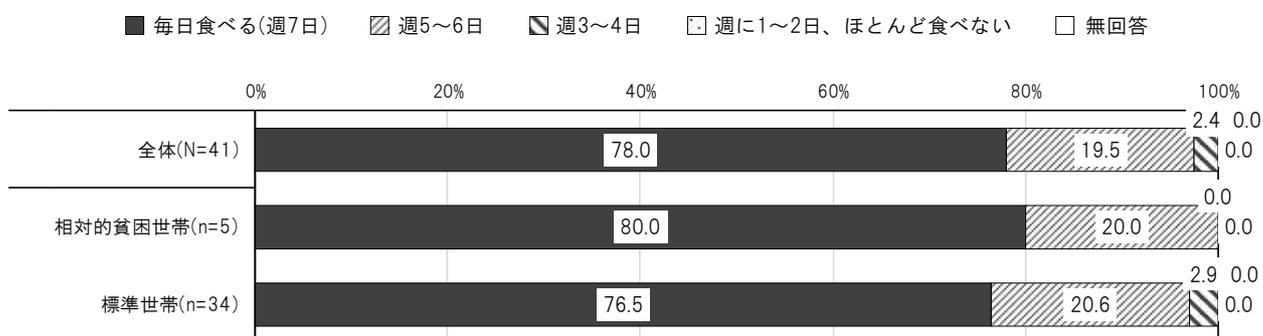
問 8-1 問 8 で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 42.9%、次いで、「費用がかかるから」「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」（28.6%）の順になっています。



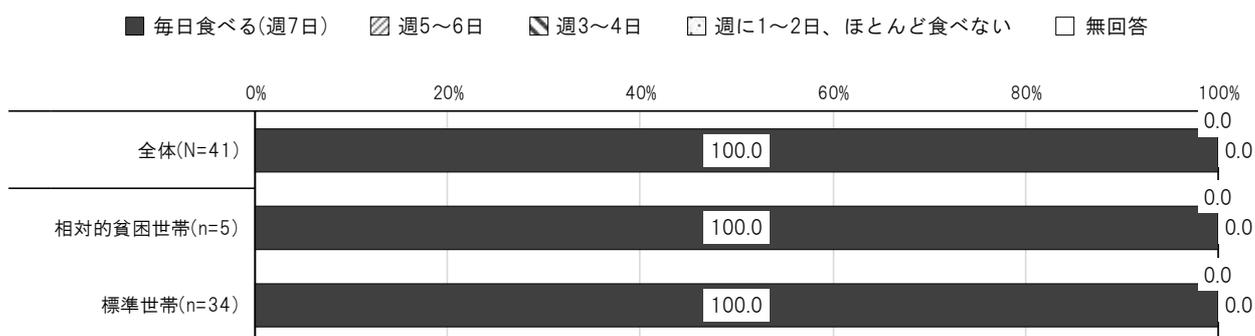
問9 あなたは週にどのくらい朝食を食べていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が78.0%と最も高く、次いで、「週5~6日」(19.5%)、「週3~4日」(2.4%)の順になっています。



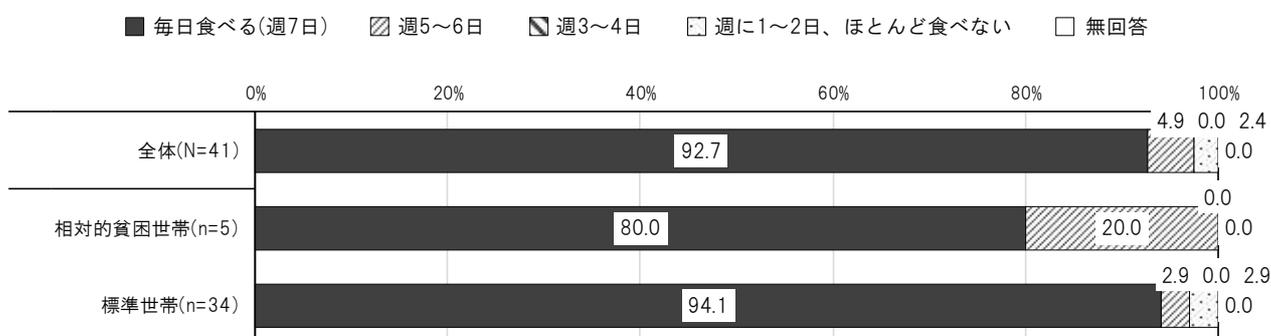
問10 あなたは週にどのくらい夕食を食べていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が100.0%となっています。



問11 あなたは夏休みや冬休みなどの期間は、週にどのくらい昼食を食べていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎日食べる(週7日)」が92.7%と最も高く、次いで、「週5~6日」(4.9%)、「週に1~2日、ほとんど食べない」(2.4%)の順になっています。



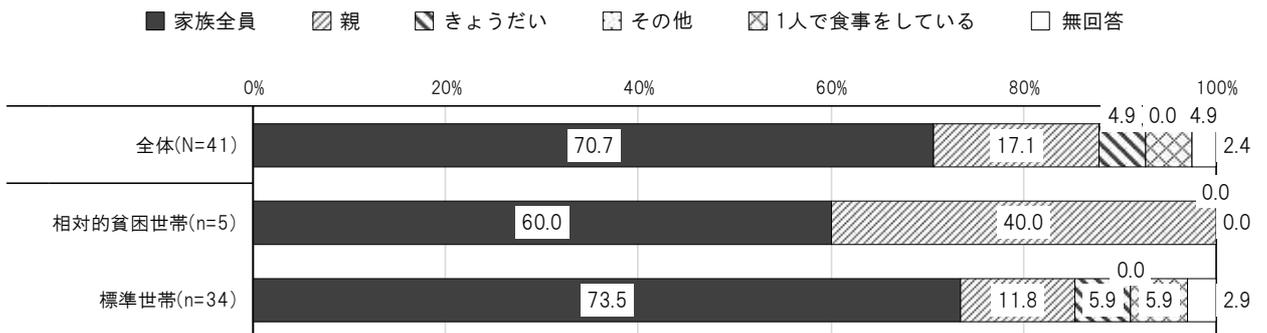
問 12 あなたは土・日曜日・祝日の昼食は、どのくらい食べていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「毎回食べる」が 87.8%、次いで、「2 回に 1 回くらい」（12.2%）の順になっています。



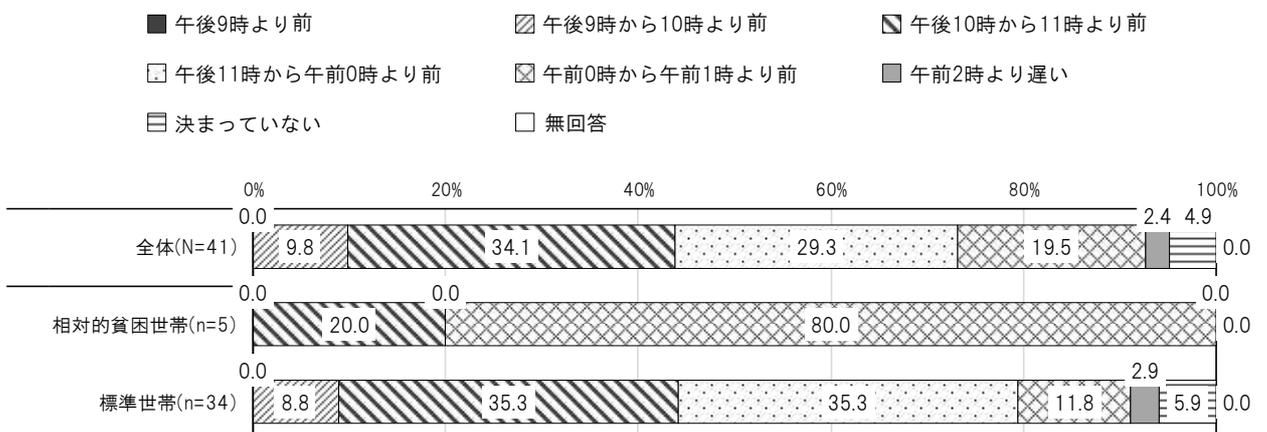
問 13 あなたは主にだれと食事をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「家族全員」が 70.7%と最も高く、次いで、「親」（17.1%）、「きょうだい」「1人で食事をしている」（4.9%）の順になっています。



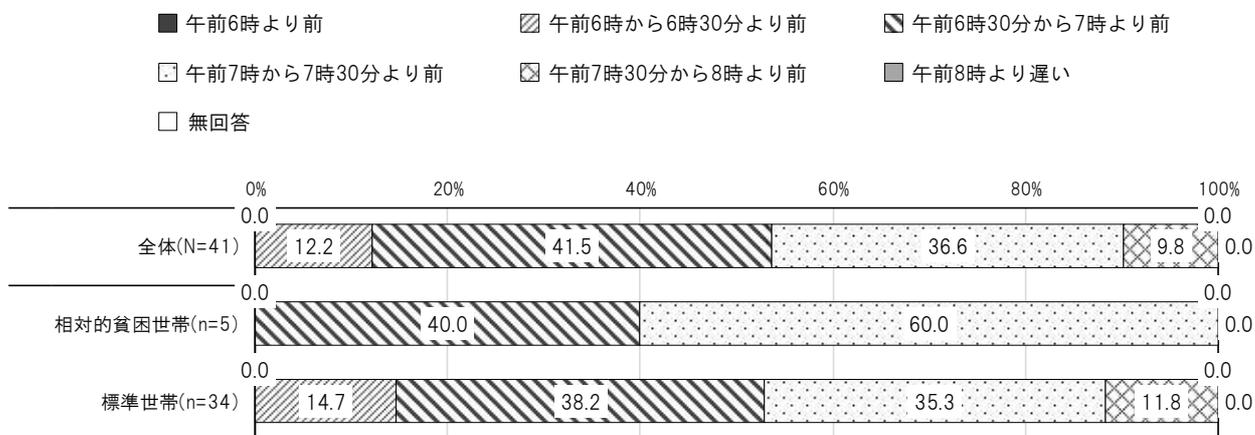
問 14 あなたは、次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろに寝ますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「午後 10 時から 11 時より前」が 34.1%と最も高く、次いで、「午後 11 時から午前 0 時より前」（29.3%）、「午前 0 時から午前 1 時より前」（19.5%）の順になっています。



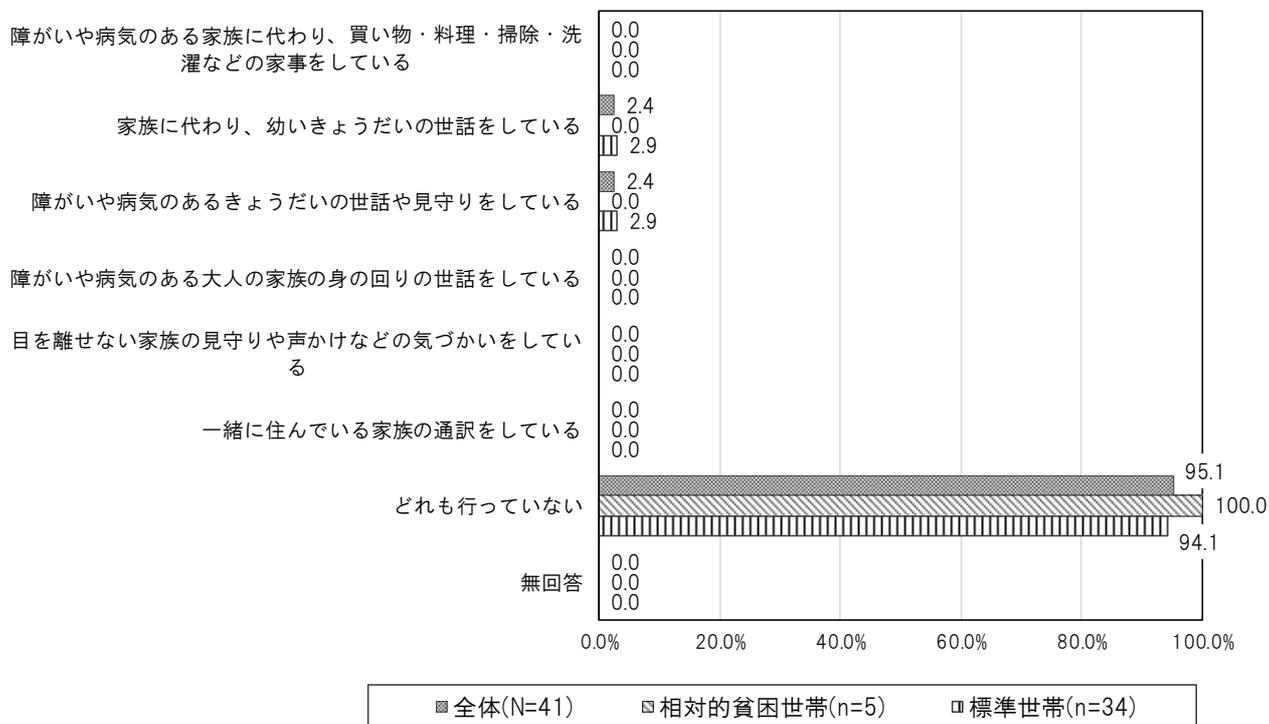
問 15 あなたは、学校がある日は、ふだん何時ごろに起きますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「午前6時30分から7時より前」が41.5%と最も高く、次いで、「午前7時から7時30分より前」（36.6%）、「午前6時から6時30分より前」（12.2%）の順になっています。



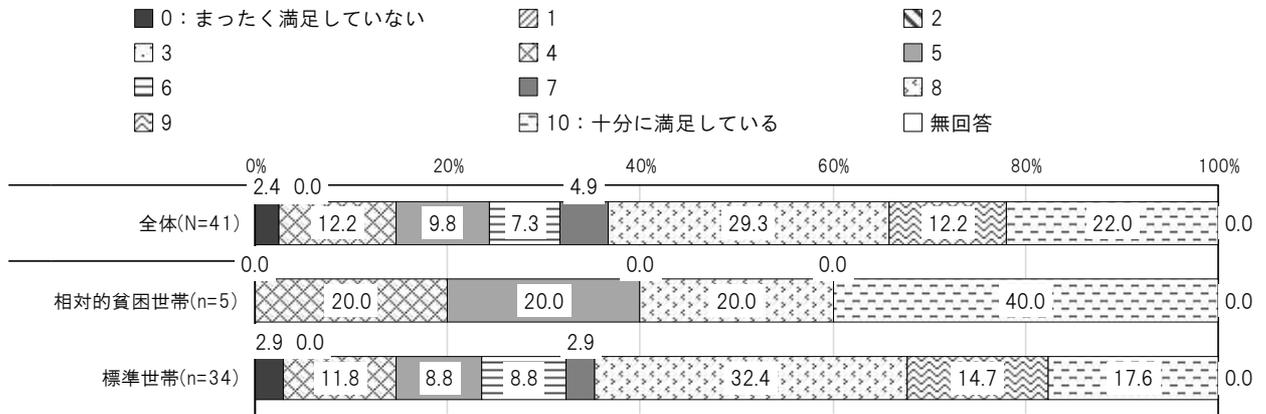
問 16 あなたは、家族の大人の代わりにほぼ毎日行っていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「どれも行っていない」が95.1%、次いで、「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」「障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている」（2.4%）の順になっています。



問 17 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0：まったく満足していない」から「10：十分に満足している」までの数字で教えてください。（あてはまる番号1つに○）

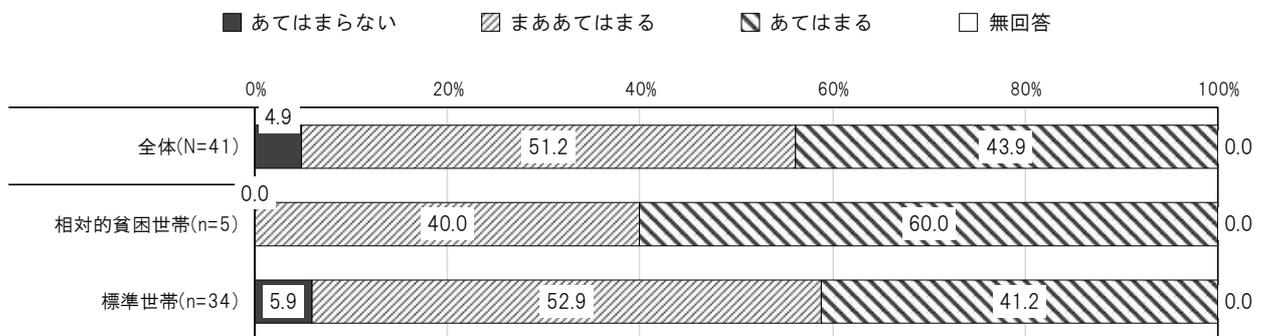
全体では、「8」が29.3%と最も高く、次いで、「10：十分に満足している」（22.0%）、「4」（12.2%）の順になっています。



問 18 以下の質問について回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。（①～⑮それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

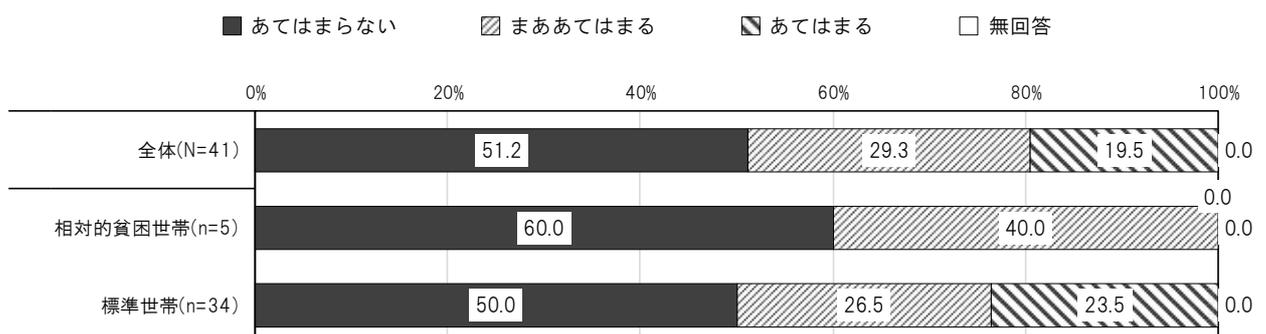
問 18① 私は、他人の気持ちを考えて、親切にしている。

全体では、「まああてはまる」が 51.2%と最も高く、次いで、「あてはまる」（43.9%）、「あてはまらない」（4.9%）の順になっています。



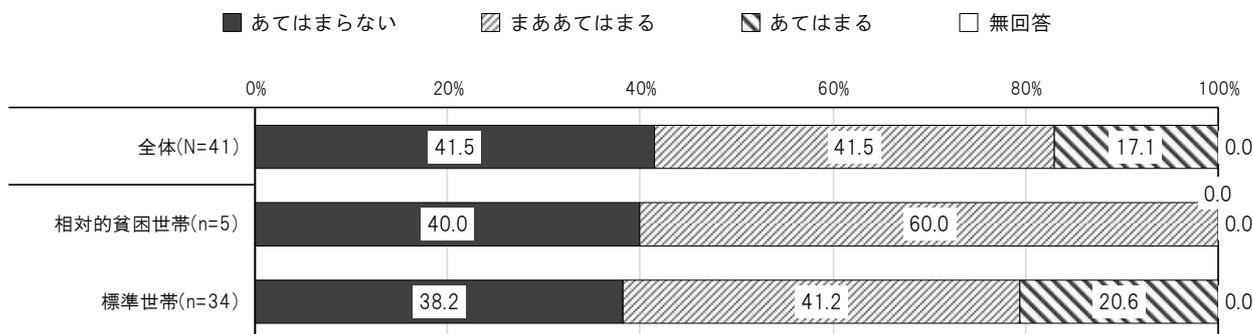
問 18② 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

全体では、「あてはまらない」が 51.2%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（29.3%）、「あてはまる」（19.5%）の順になっています。



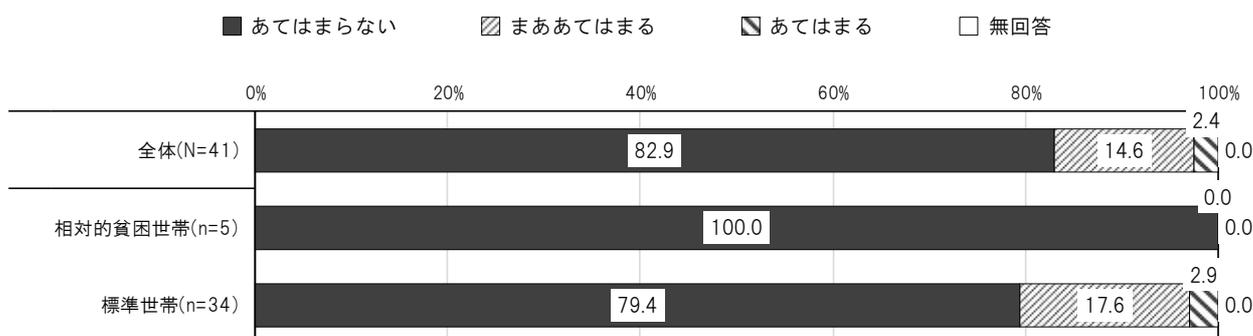
問 18③ 私は、他の人たちと、よく食べ物を分け合ったり、ゲームやペンなどを貸し借りする。

全体では、「あてはまらない」「まああてはまる」が 41.5%と最も高く、次いで、「あてはまる」（17.1%）の順になっています。



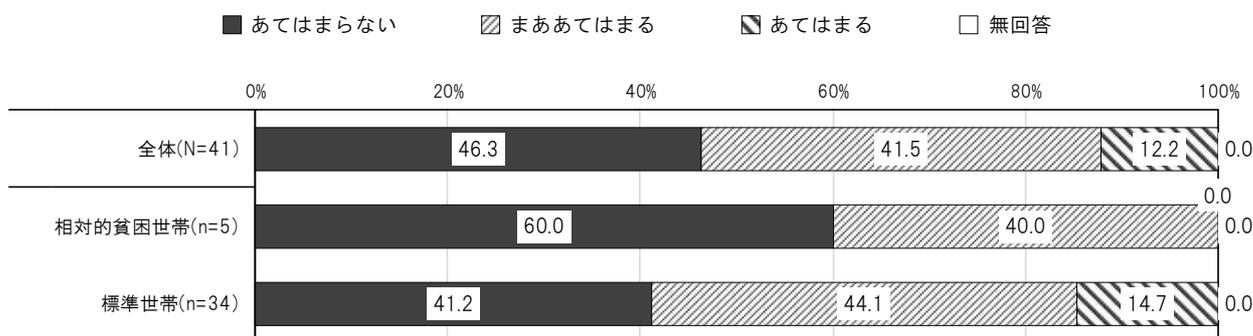
問 18④ 私は、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けている。

全体では、「あてはまらない」が 82.9%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（14.6%）、「あてはまる」（2.4%）の順になっています。



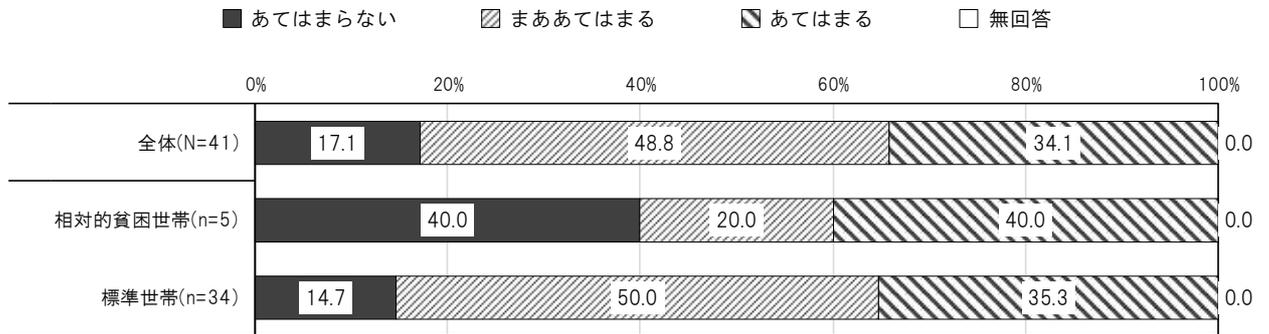
問 18⑤ 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

全体では、「あてはまらない」が 46.3%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（41.5%）、「あてはまる」（12.2%）の順になっています。



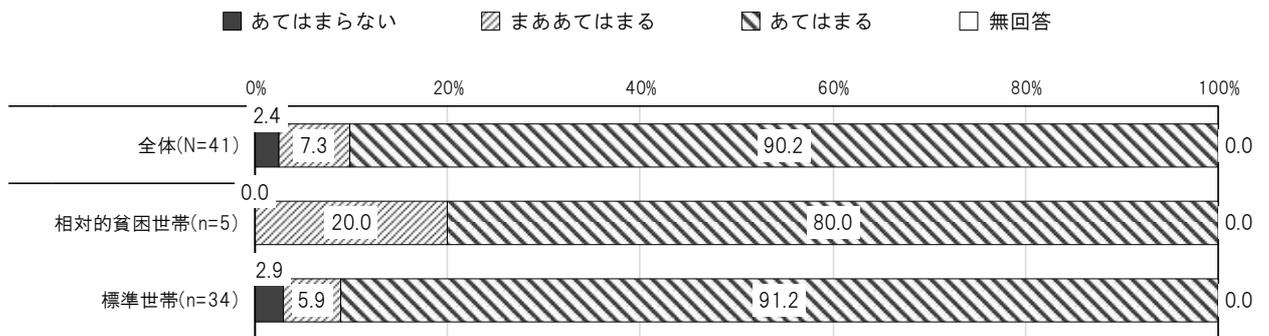
問 18⑥ 私は、だれかが落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

全体では、「まああてはまる」が 48.8%と最も高く、次いで、「あてはまる」(34.1%)、「あてはまらない」(17.1%) の順になっています。



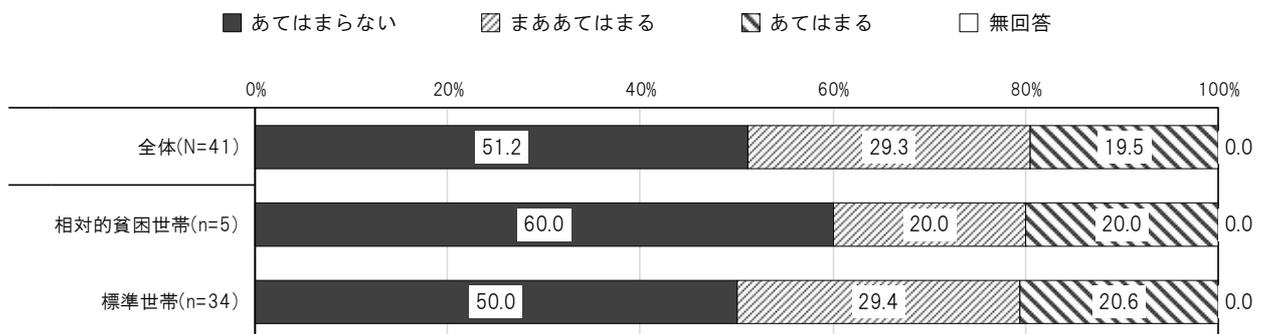
問 18⑦ 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

全体では、「あてはまる」が 90.2%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(7.3%)、「あてはまらない」(2.4%) の順になっています。



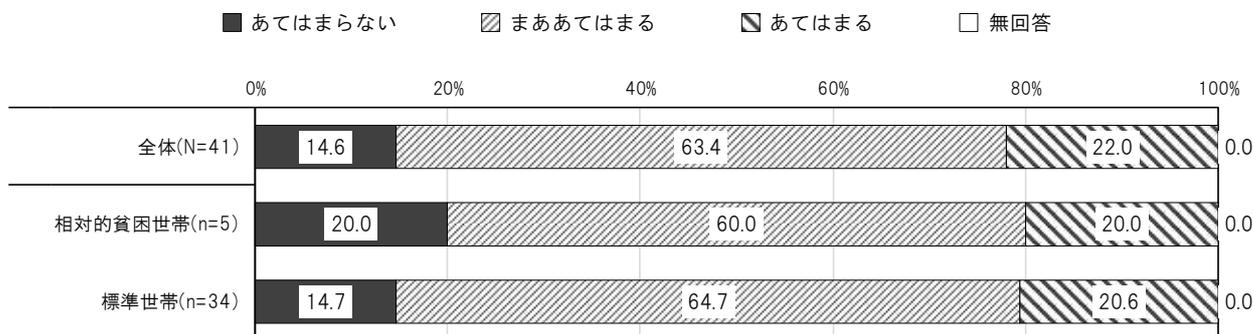
問 18⑧ 私は、落ち込んだり、涙ぐんだりすることがよくある。

全体では、「あてはまらない」が 51.2%と最も高く、次いで、「まああてはまる」(29.3%)、「あてはまる」(19.5%) の順になっています。



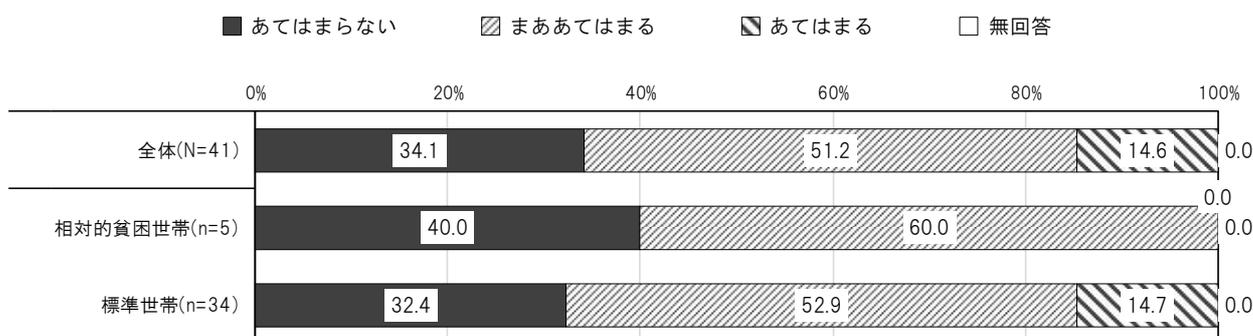
問 18⑨ 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたい好かれている。

全体では、「まああてはまる」が 63.4%と最も高く、次いで、「あてはまる」(22.0%)、「あてはまらない」(14.6%)の順になっています。



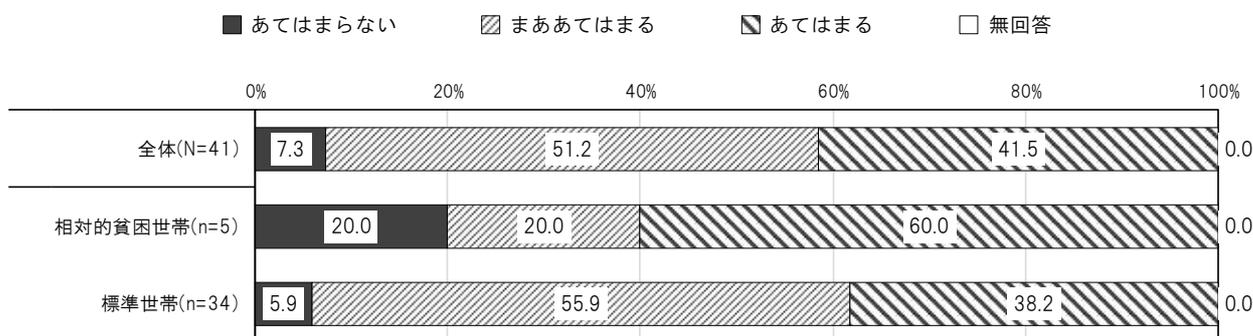
問 18⑩ 私は、新しい場面に直面すると、自信をなくしやすい。

全体では、「まああてはまる」が 51.2%と最も高く、次いで、「あてはまらない」(34.1%)、「あてはまる」(14.6%)の順になっています。



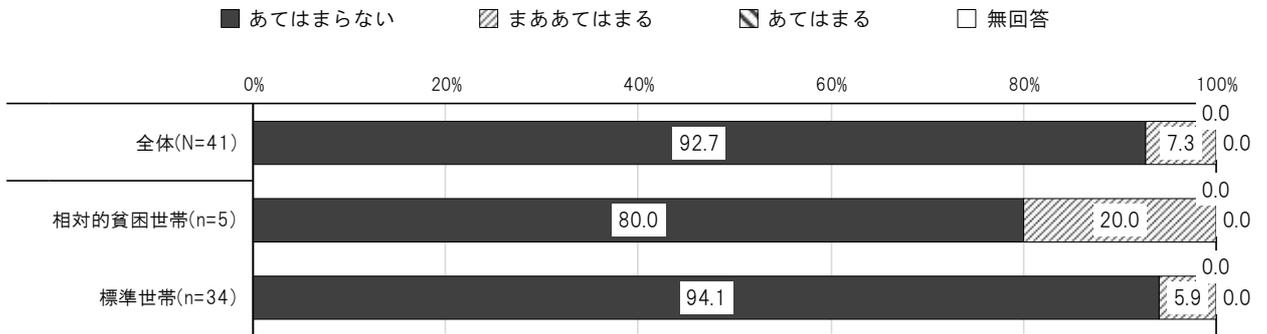
問 18⑪ 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。

全体では、「まああてはまる」が 51.2%と最も高く、次いで、「あてはまる」(41.5%)、「あてはまらない」(7.3%)の順になっています。



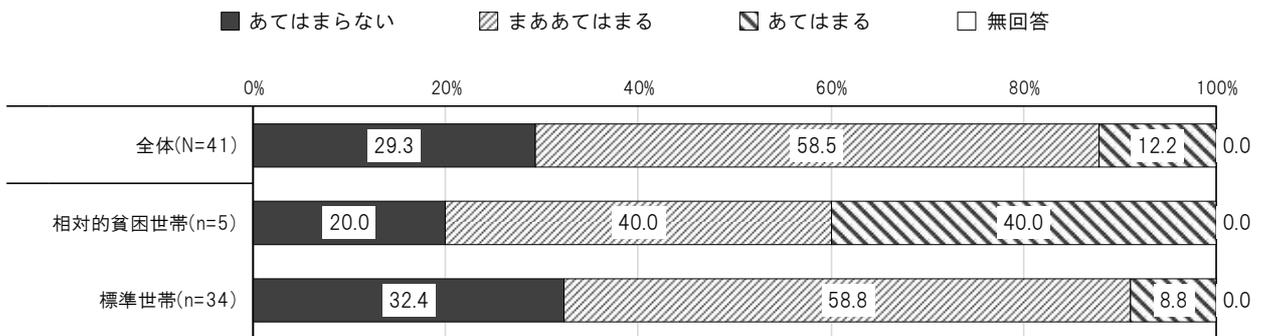
問 18⑫ 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。

全体では、「あてはまらない」が 92.7%、次いで、「まああてはまる」（7.3%）の順になっています。



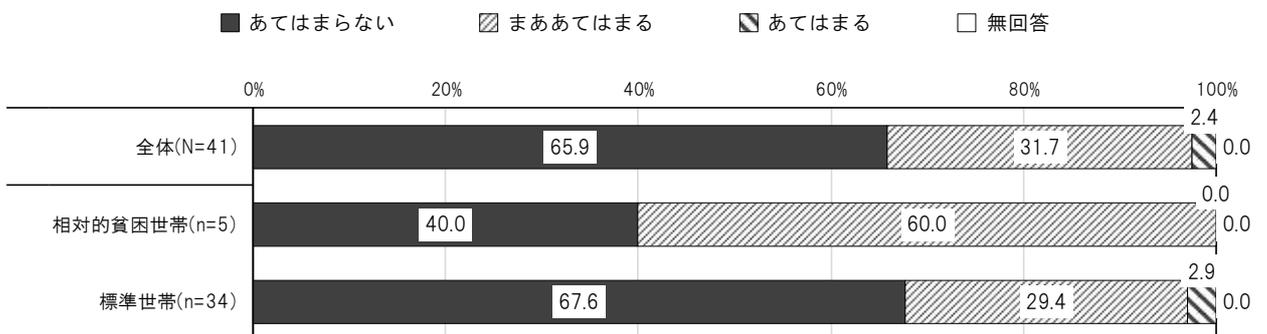
問 18⑬ 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）

全体では、「まああてはまる」が 58.5%と最も高く、次いで、「あてはまらない」（29.3%）、「あてはまる」（12.2%）の順になっています。



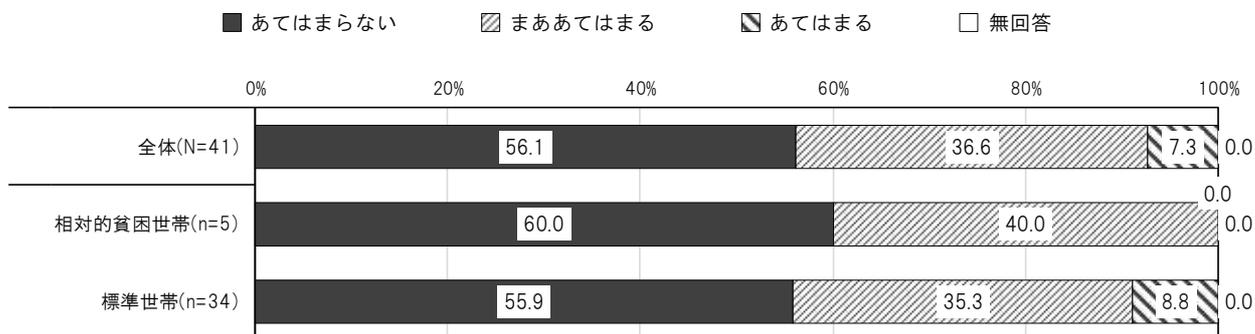
問 18⑭ 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。

全体では、「あてはまらない」が 65.9%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（31.7%）、「あてはまる」（2.4%）の順になっています。



問 18⑮ 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

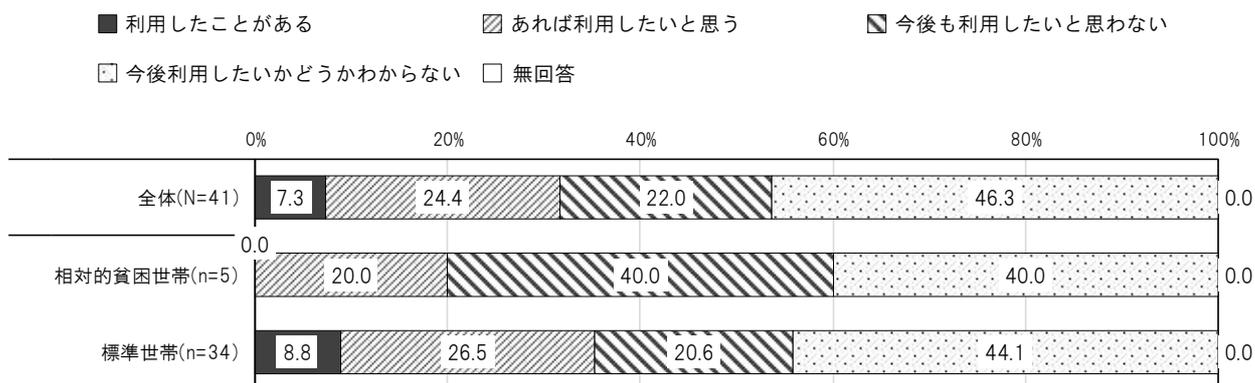
全体では、「あてはまらない」が 56.1%と最も高く、次いで、「まああてはまる」（36.6%）、「あてはまる」（7.3%）の順になっています。



問 19 あなたは、次のような場所などを利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

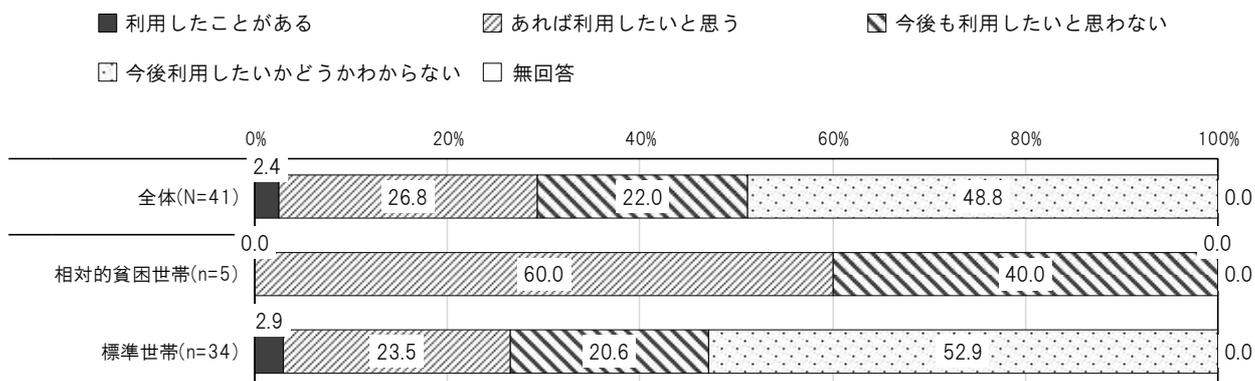
問 19①（自分や友だちの家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂）

全体では、「今後利用したいかどうかわからない」が 46.3%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」（24.4%）、「今後も利用したいと思わない」（22.0%）の順になっています。



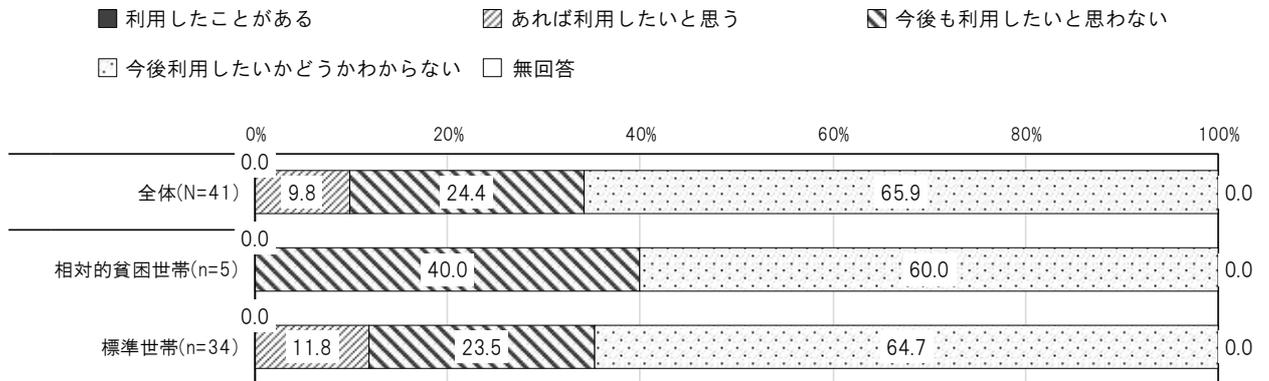
問 19② 勉強を無料または低額でみてくれる場所

全体では、「今後利用したいかどうかわからない」が 48.8%と最も高く、次いで「あれば利用したいと思う」（26.8%）、「今後も利用したいと思わない」（22.0%）の順になっています。



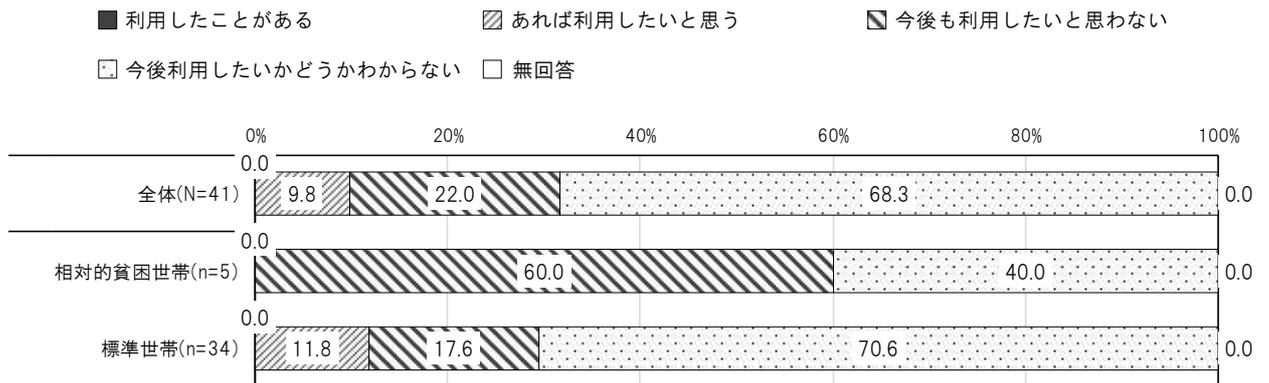
問 19③ （家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ）

全体では、「今後利用したいかどうか分からない」が 65.9%と最も高く、次いで、「今後も利用したいと思わない」（24.4%）、「あれば利用したいと思う」（9.8%）の順になっています。



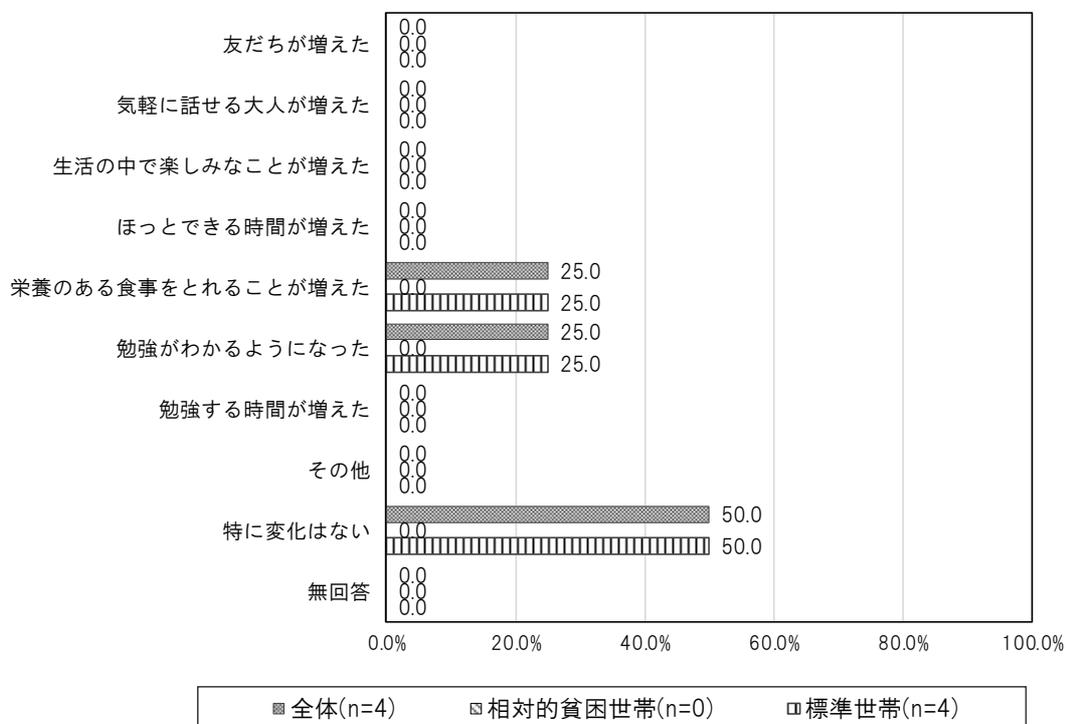
問 19④ スクールソーシャルワーカー

全体では、「今後利用したいかどうか分からない」が 68.3%と最も高く、次いで、「今後も利用したいと思わない」（22.0%）、「あれば利用したいと思う」（9.8%）の順になっています。



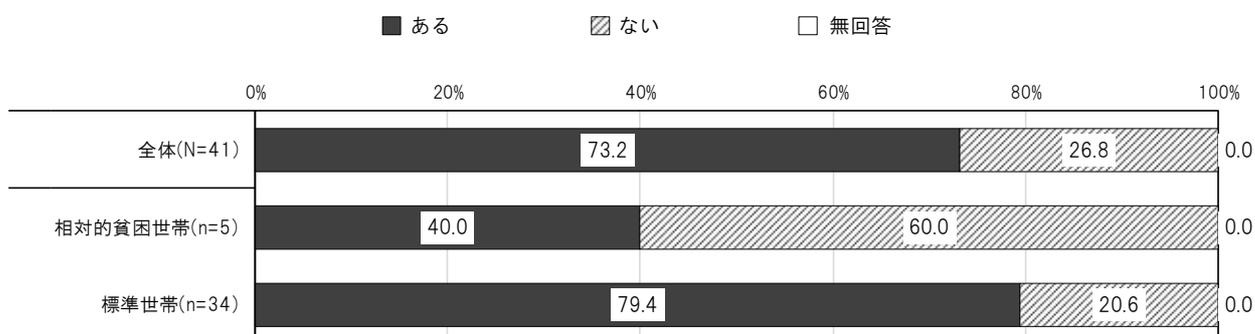
問 19-1 問 19 で「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします。そこを利用したことで変化はありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「特に変化はない」が 50.0%、次いで、「栄養のある食事をとれることが増えた」「勉強がわかるようになった」（25.0%）の順になっています。



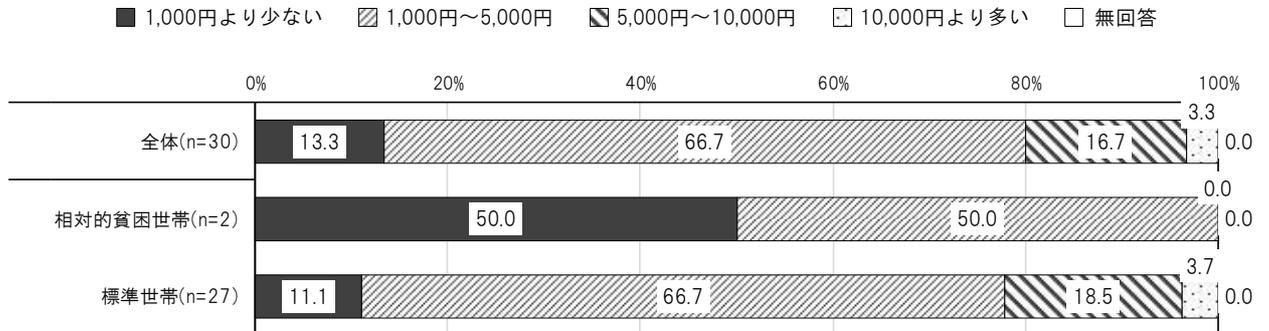
問 20 あなたは、1 か月に自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「ある」が 73.2%、次いで、「ない」（26.8%）の順になっています。



問 20-1 問 20 で「1. ある」と答えた人にお聞きします。その金額はどのくらいですか（あてはまる番号 1 つに○）

全体では、「1,000 円～5,000 円」が 66.7%と最も高く、次いで、「5,000 円～10,000 円」（16.7%）、「1,000 円より少ない」（13.3%）の順になっています。



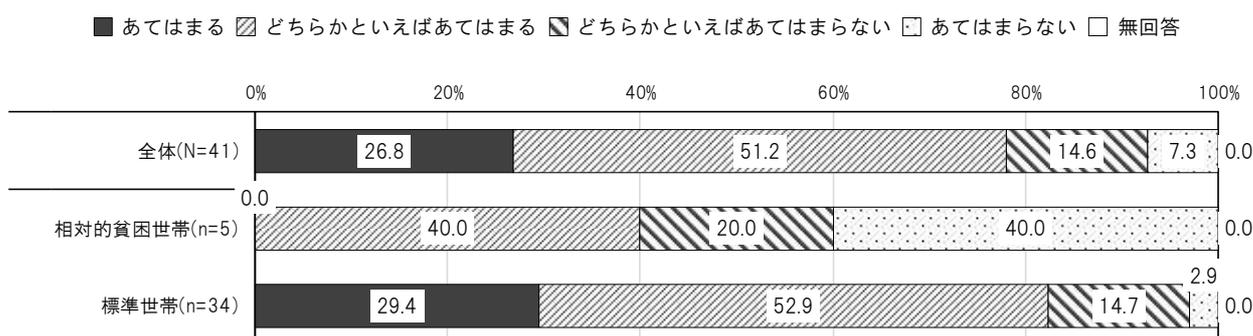
2) 子ども・若者計画調査

1. 人生観・充実度

問 21 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(①～④の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

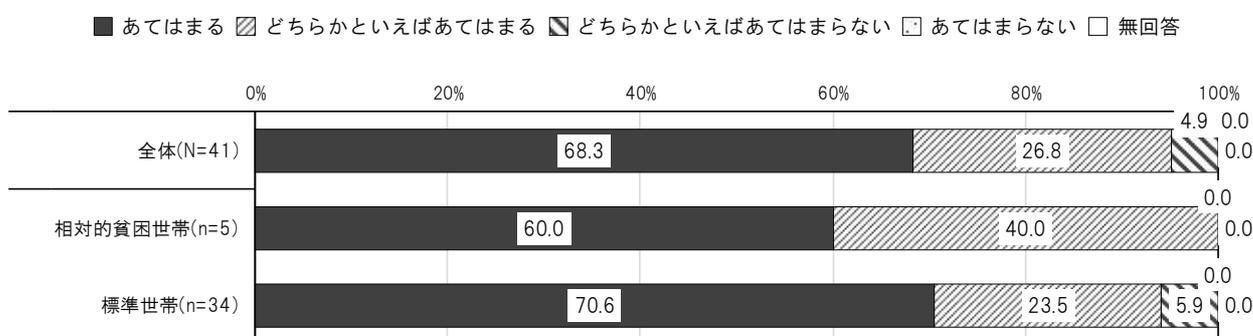
問 21① 今の自分が好きだ

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 51.2%と最も高く、次いで、「あてはまる」(26.8%)、「どちらかといえばあてはまらない」(14.6%)の順になっています。



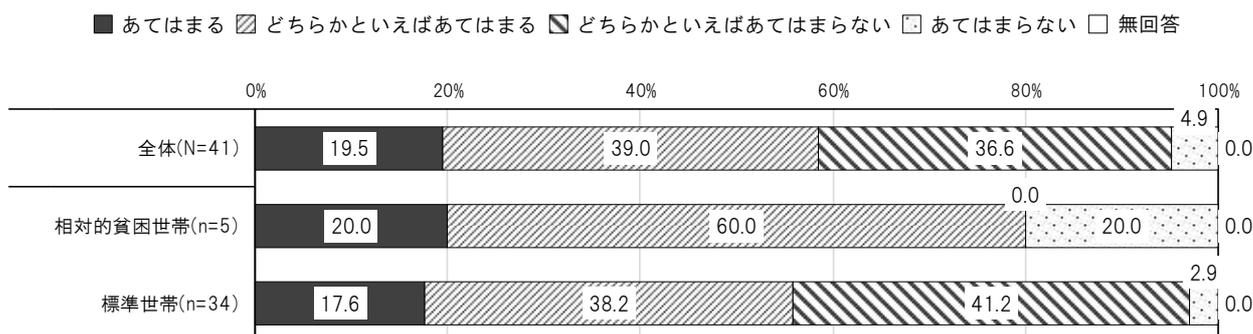
問 21② 自分の親（保護者）から愛されていると思う

全体では、「あてはまる」が 68.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまる」(26.8%)、「どちらかといえばあてはまらない」(4.9%)の順になっています。



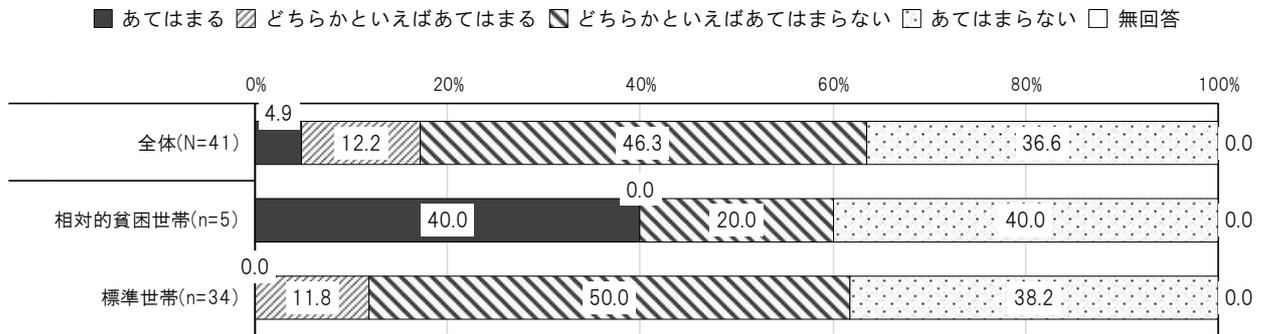
問 21③ うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(36.6%)、「あてはまる」(19.5%)の順になっています。



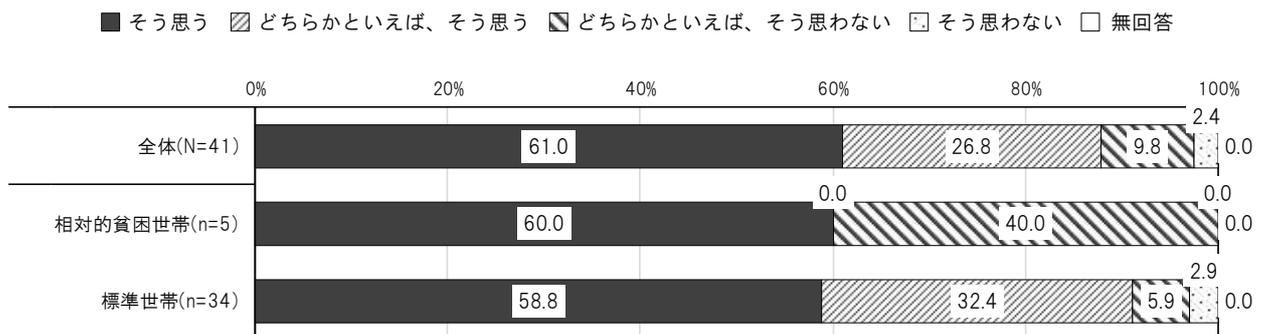
問 21④ 自分は役に立たないと強く感じる

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が 46.3%と最も高く、次いで、「あてはまらない」（36.6%）、「どちらかといえばあてはまる」（12.2%）の順になっています。



問 22 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

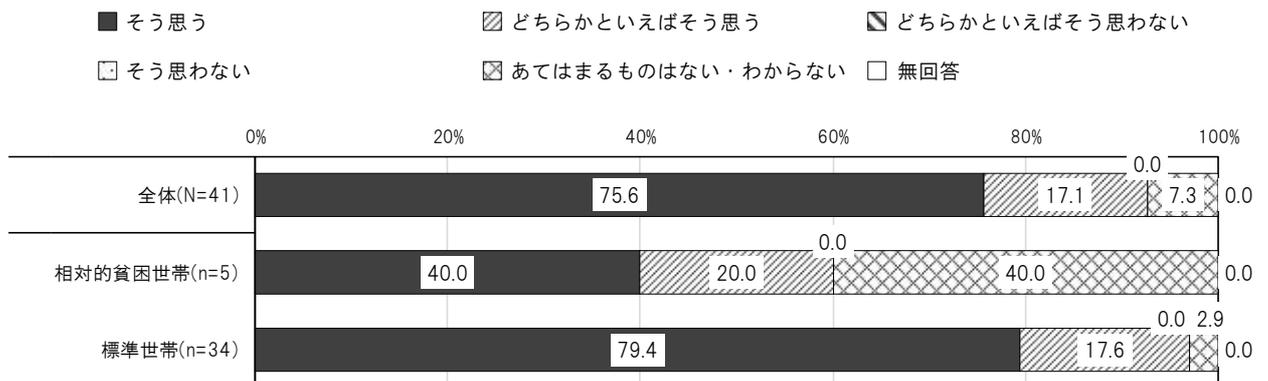
全体では、「そう思う」が 61.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（26.8%）、「どちらかといえば、そう思わない」（9.8%）の順になっています。



問 23 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（①～⑤の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

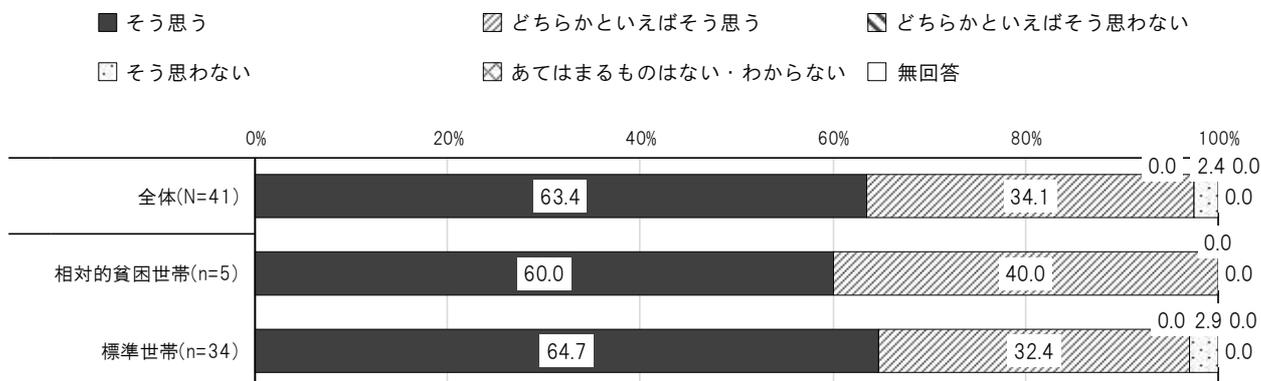
問 23① 自分の部屋

全体では、「そう思う」が 75.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（17.1%）、「あてはまるものはない・わからない」（7.3%）の順になっています。



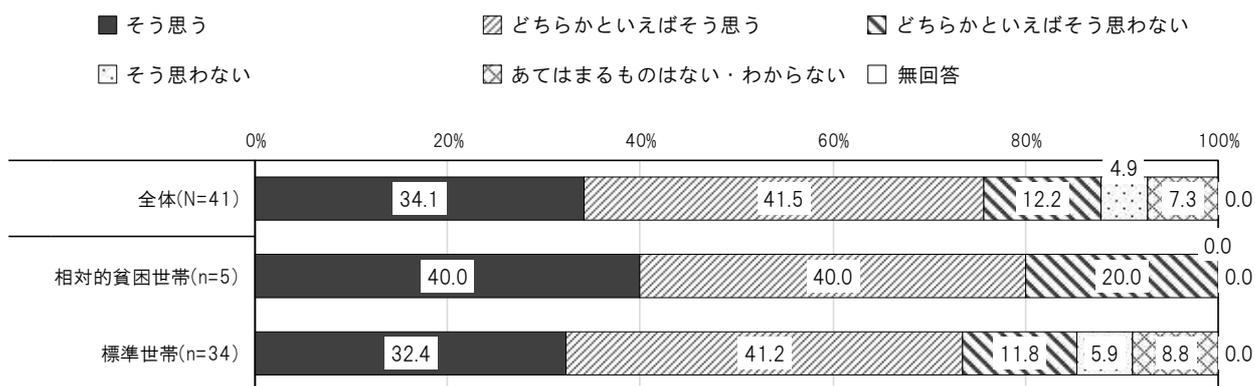
問 23② 家庭（親せきの家を含む）

全体では、「そう思う」が 63.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（34.1%）、「そう思わない」（2.4%）の順になっています。



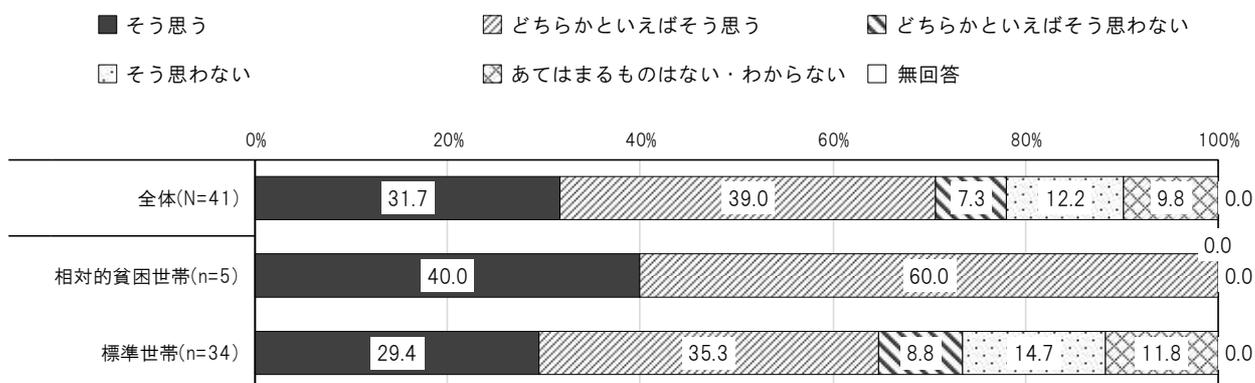
問 23③ 学校

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 41.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（34.1%）、「どちらかといえばそう思わない」（12.2%）の順になっています。



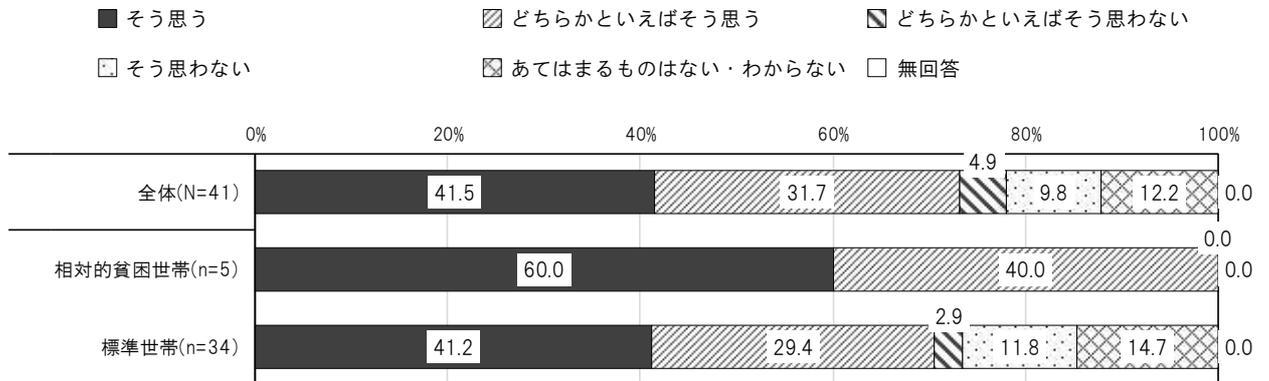
問 23④ 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 39.0%と最も高く、次いで、「そう思う」（31.7%）、「そう思わない」（12.2%）の順になっています。



問 23⑤ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

全体では、「そう思う」が 41.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（31.7%）、「あてはまるものはない・わからない」（12.2%）の順になっています。

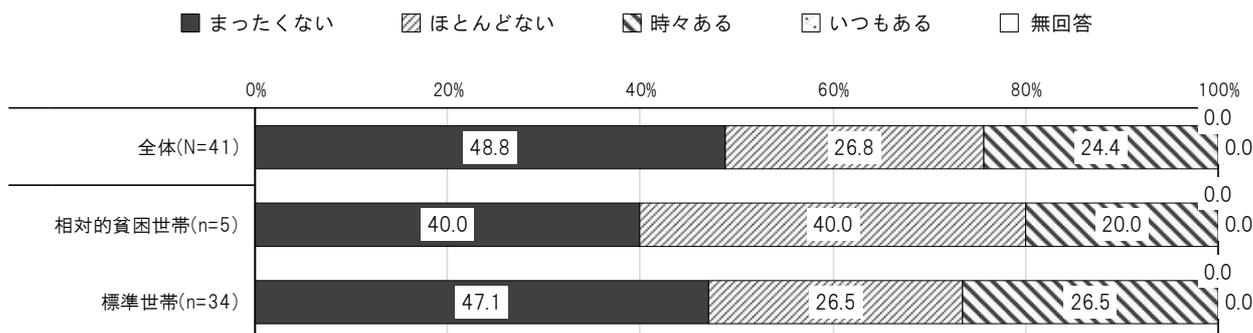


2. 人とのつながり

問 24 以下の項目について、あなたはどれくらい感じていますか。(①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

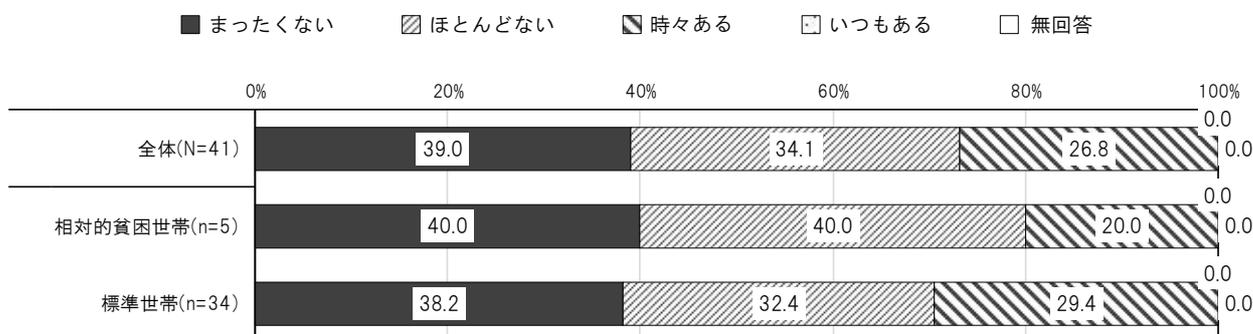
問 24① 自分には話せる人がいないと感じることがある

全体では、「まったくない」が 48.8%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(26.8%)、「時々ある」(24.4%)の順になっています。



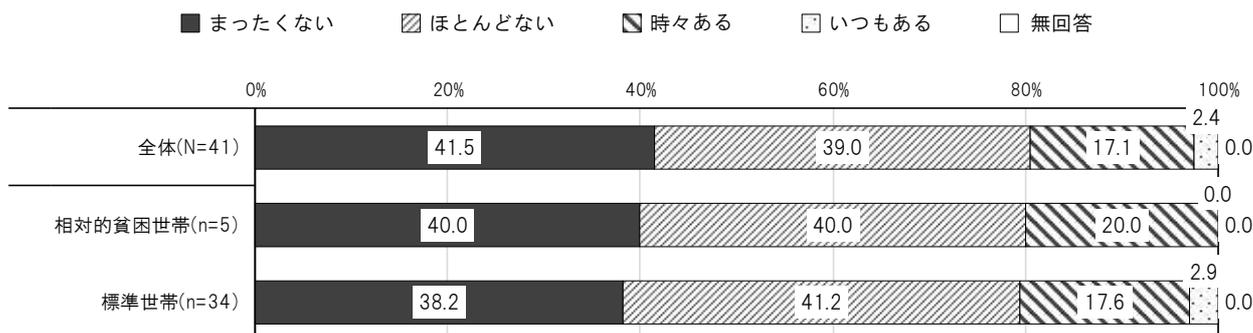
問 24② 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある

全体では、「まったくない」が 39.0%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(34.1%)、「時々ある」(26.8%)の順になっています。



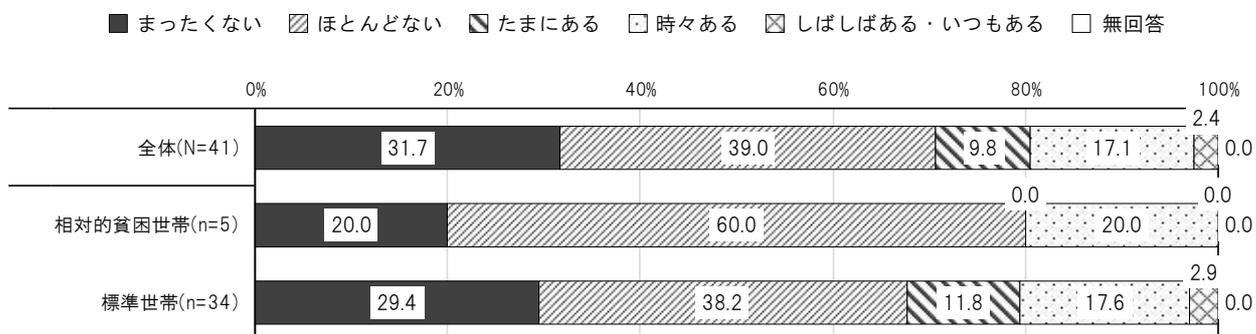
問 24③ 自分はひとりぼっちだと感じることがある

全体では、「まったくない」が 41.5%と最も高く、次いで、「ほとんどない」(39.0%)、「時々ある」(17.1%)の順になっています。



問 25 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「ほとんどない」が 39.0%と最も高く、次いで、「まったくない」（31.7%）、
「時々ある」（17.1%）の順になっています。

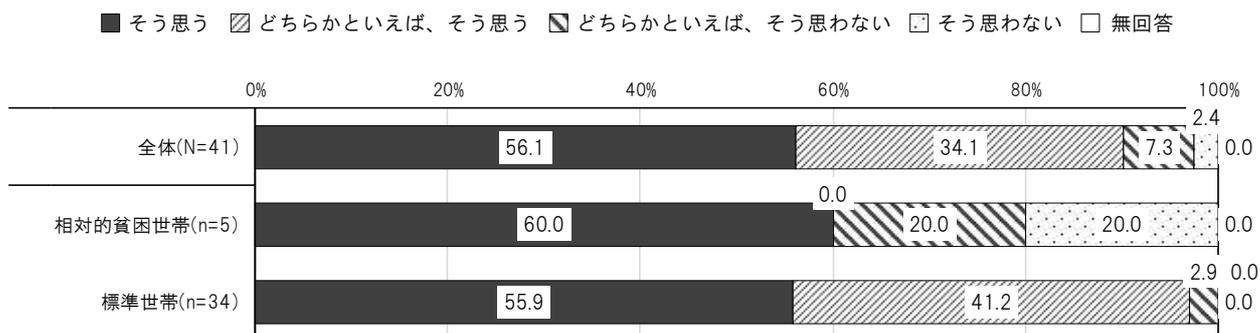


3. 他者との関わり方

問 26 あなたと家族・親せきのかかわりは、どのようなものですか。(①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

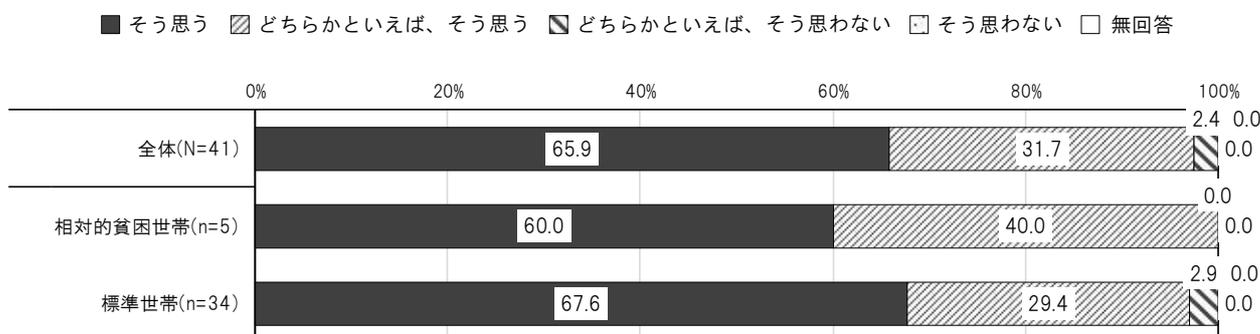
問 26① 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「そう思う」が 56.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(34.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」(7.3%) の順になっています。



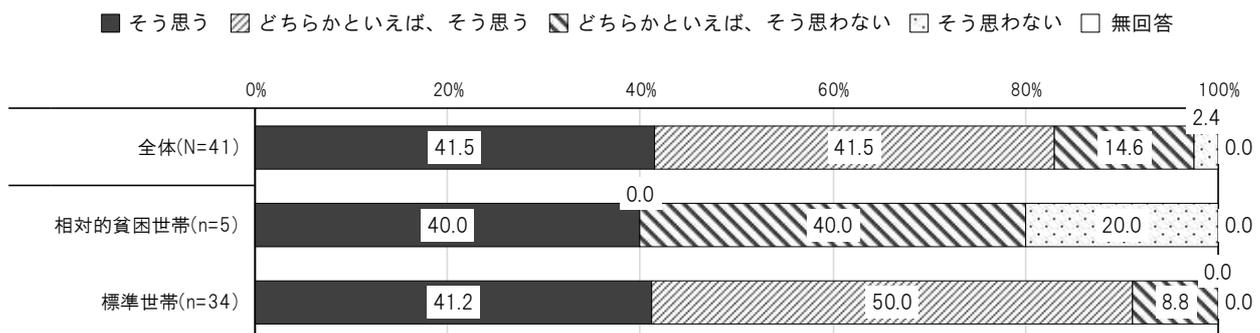
問 26② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 65.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(31.7%)、「どちらかといえば、そう思わない」(2.4%) の順になっています。



問 26③ 他の人には言えない本音を話せることがある

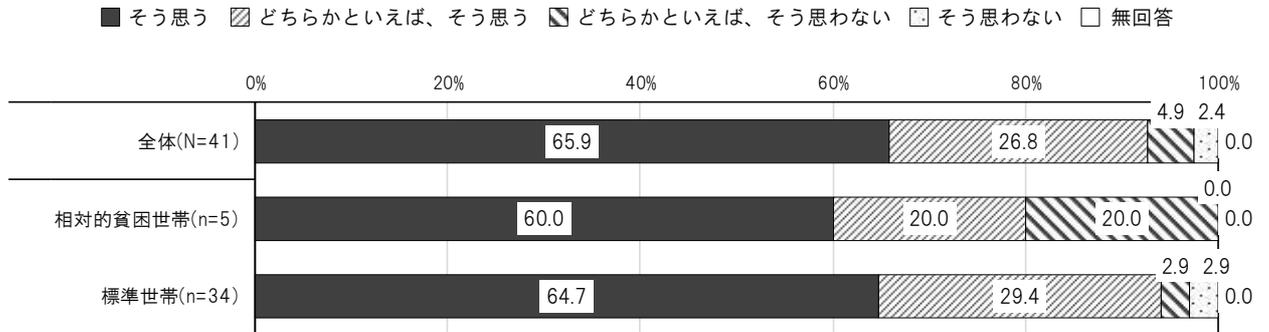
全体では、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が 41.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」(14.6%) の順になっています。



問 27 あなたと学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）のかかわりは、どのようなものですか。（①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

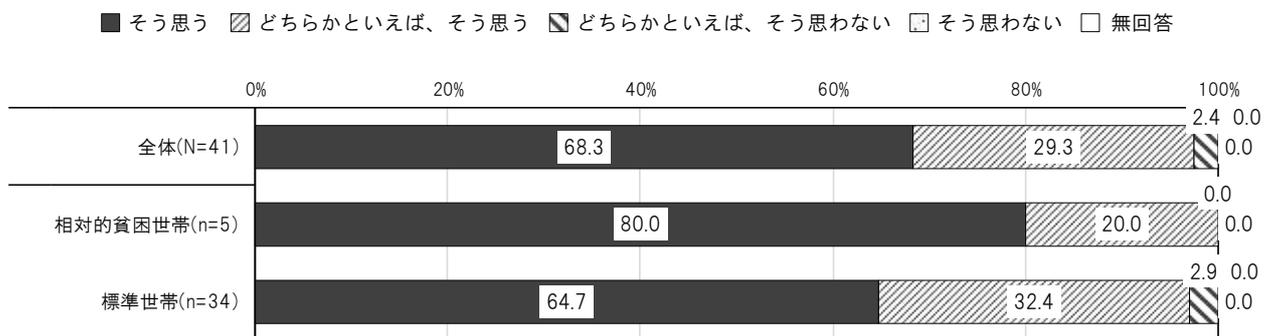
問 27① 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「そう思う」が 65.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（26.8%）、「どちらかといえば、そう思わない」（4.9%）の順になっています。



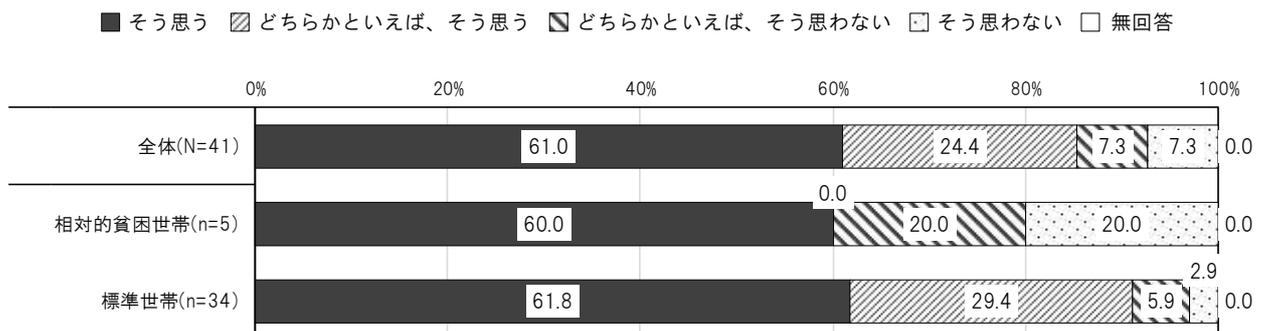
問 27② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 68.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（29.3%）、「どちらかといえば、そう思わない」（2.4%）の順になっています。



問 27③ 他の人には言えない本音を話せることがある

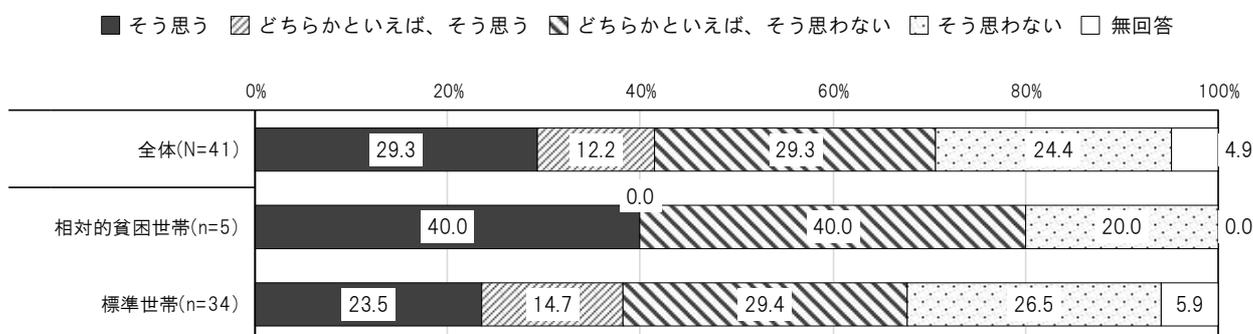
全体では、「そう思う」が 61.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（24.4%）、「どちらかといえば、そう思わない」（7.3%）の順になっています。



問 28 あなたと地域の人（近所の人、塾や習い事での友だちなど）のかかわりは、どのようなものですか。（①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

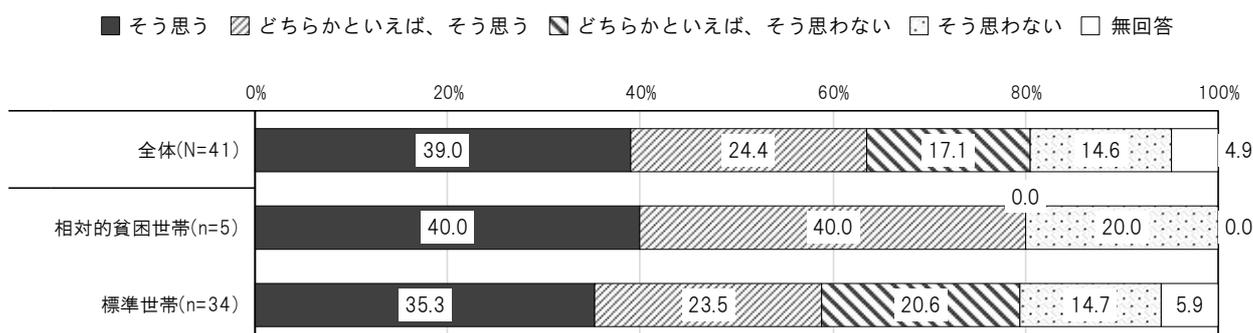
問 28① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が 29.3%と最も高く、次いで、「そう思わない」（24.4%）の順になっています。



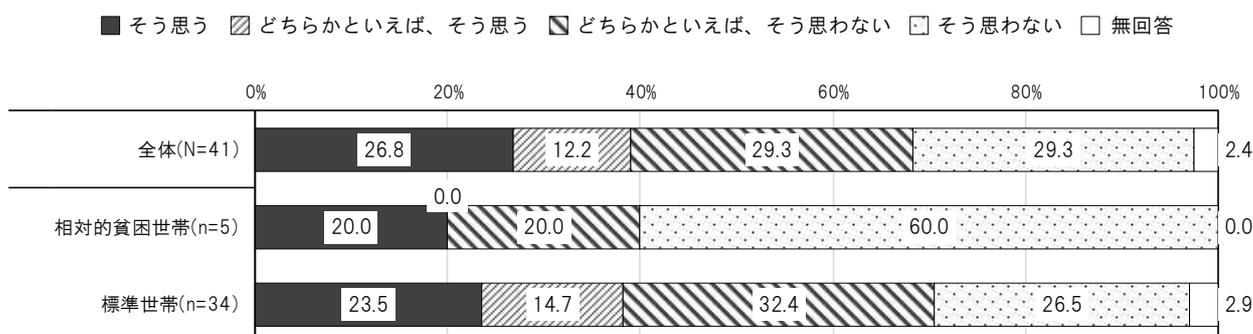
問 28② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（24.4%）、「どちらかといえば、そう思わない」（17.1%）の順になっています。



問 28③ 他の人には言えない本音を話せることがある

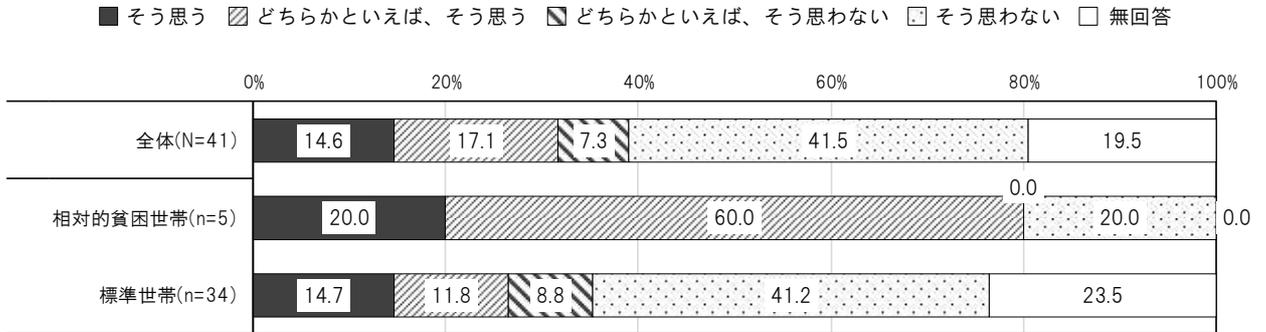
全体では、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」が 29.3%と最も高く、次いで、「そう思う」（26.8%）の順になっています。



問 29 あなたとインターネット上で知り合った人とのかわりについて、どのように思いますか。（①～③の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

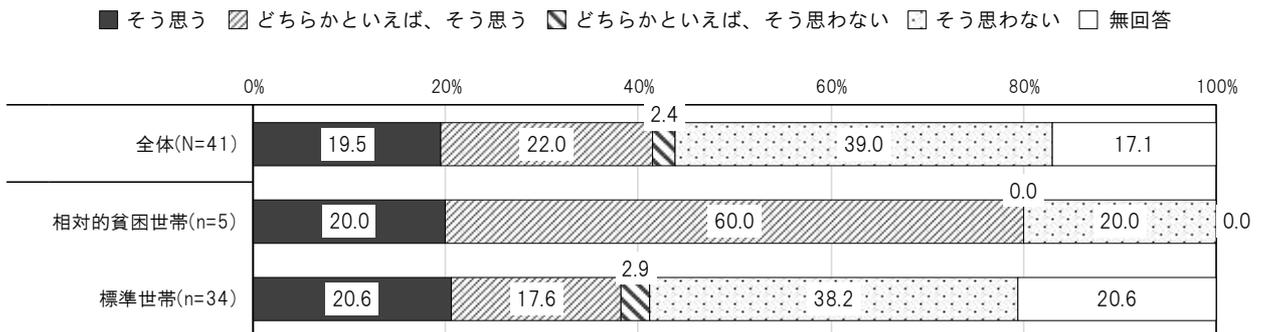
問 29① 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「そう思わない」が 41.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（17.1%）、「そう思う」（14.6%）の順になっています。



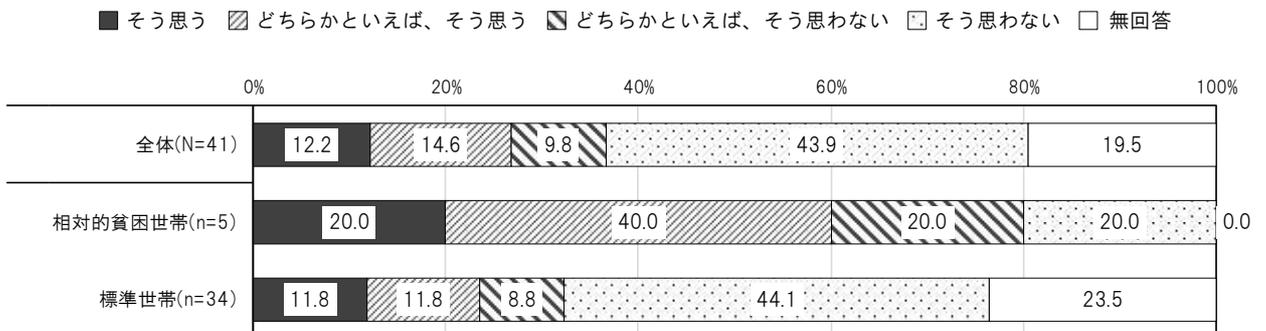
問 29② 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思わない」が 39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（22.0%）、「そう思う」（19.5%）の順になっています。



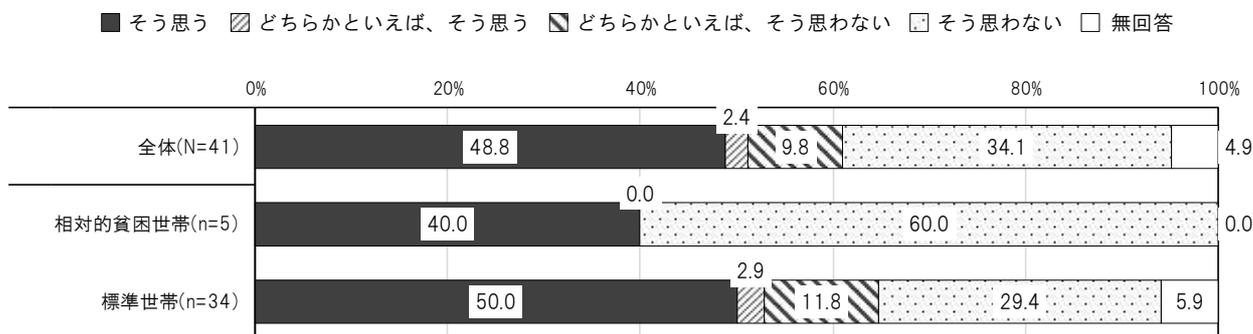
問 29③ 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思わない」が 43.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」（14.6%）、「そう思う」（12.2%）の順になっています。



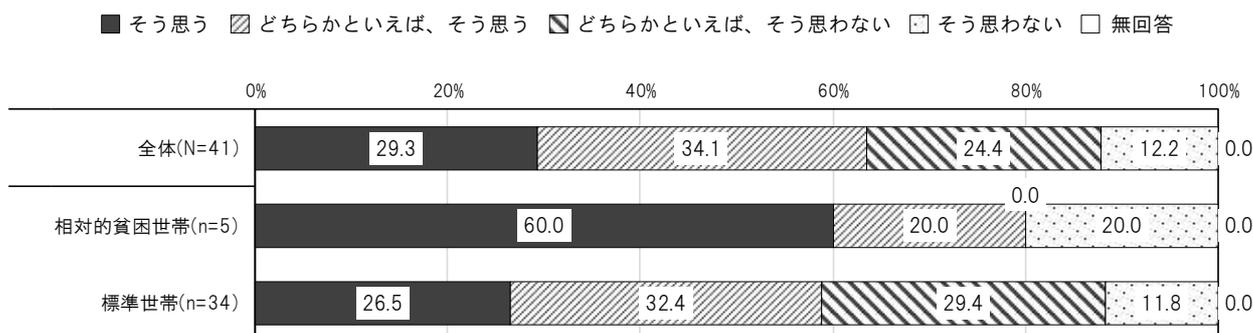
問 29④ かかわりがない

全体では、「そう思う」が 48.8%と最も高く、次いで、「そう思わない」（34.1%）、「どちらかといえば、そう思わない」（9.8%）の順になっています。



問 30 あなたはだれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。（あてはまる番号1つに○）

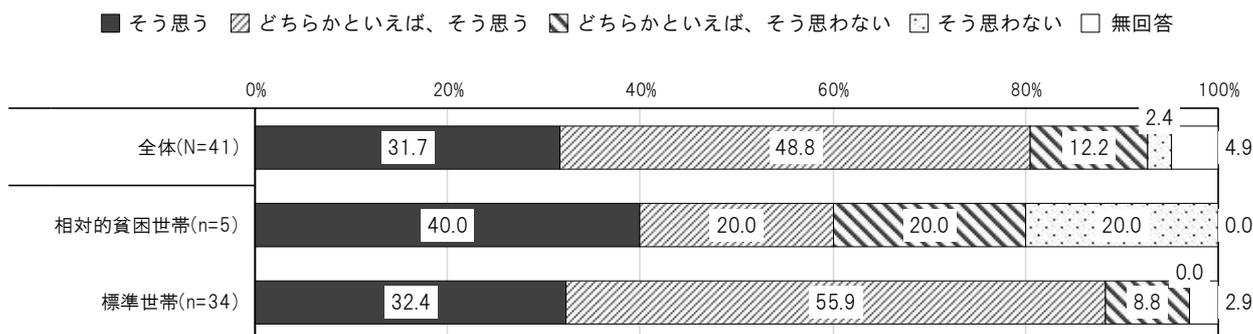
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 34.1%と最も高く、次いで、「そう思う」（29.3%）、「どちらかといえば、そう思わない」（24.4%）の順になっています。



4. 社会参加

問 31 あなたは「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（あてはまる番号1つに○）

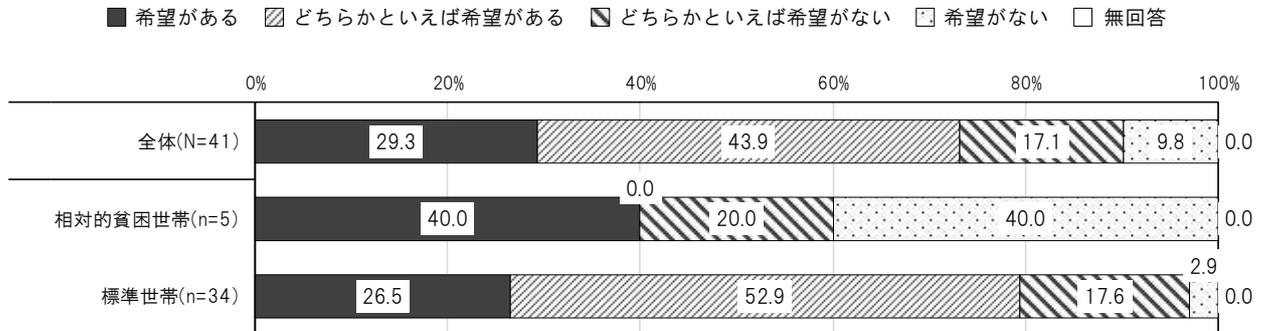
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 48.8%と最も高く、次いで、「そう思う」（31.7%）、「どちらかといえば、そう思わない」（12.2%）の順になっています。



5. 将来像

問 32 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○）

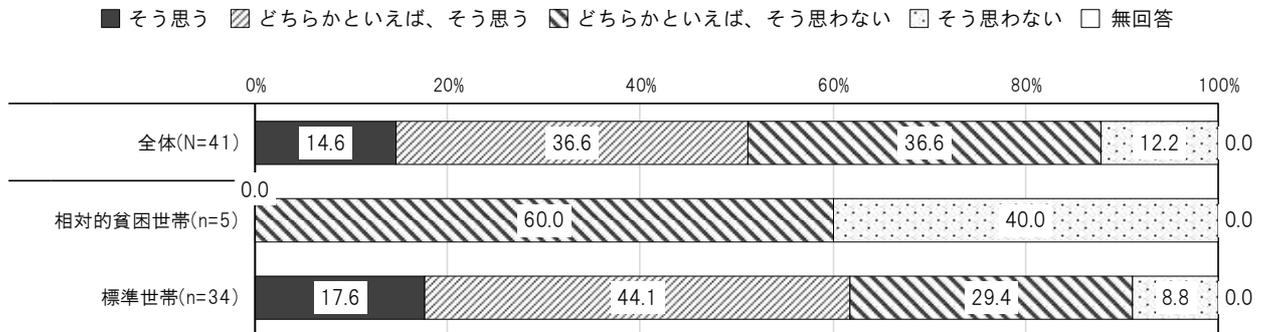
全体では、「どちらかといえば希望がある」が 43.9%と最も高く、次いで、「希望がある」（29.3%）、「どちらかといえば希望がない」（17.1%）の順になっています。



問 33 あなたが大人になったとき、どのようになっていると思いますか。（①～⑪の質問それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

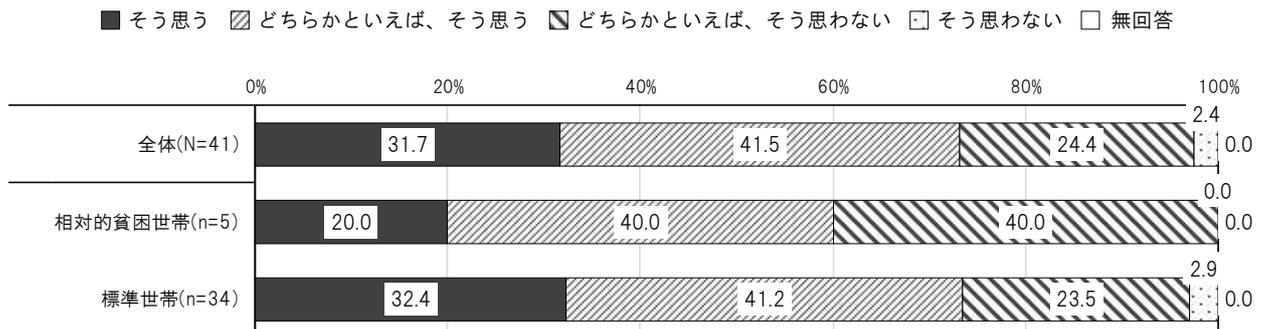
問 33① お金持ちになっている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」が 36.6%と最も高く、次いで、「そう思う」（14.6%）の順になっています。



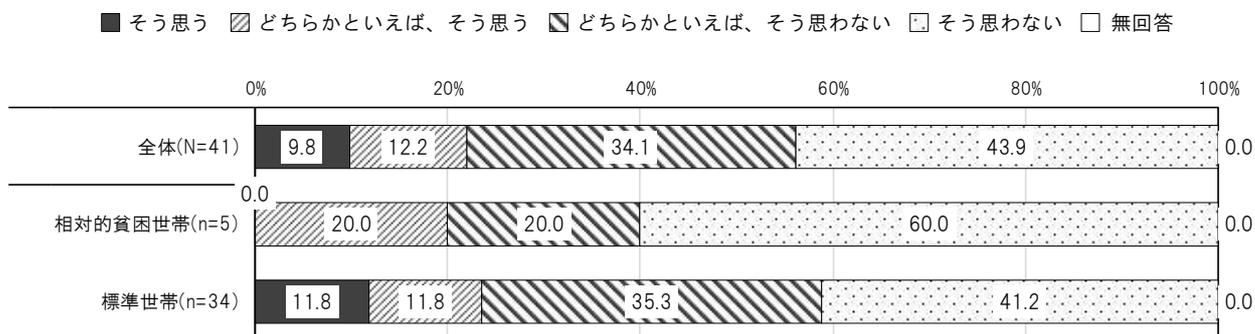
問 33② 自由にのんびり暮らしている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 41.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（31.7%）、「どちらかといえば、そう思わない」（24.4%）の順になっています。



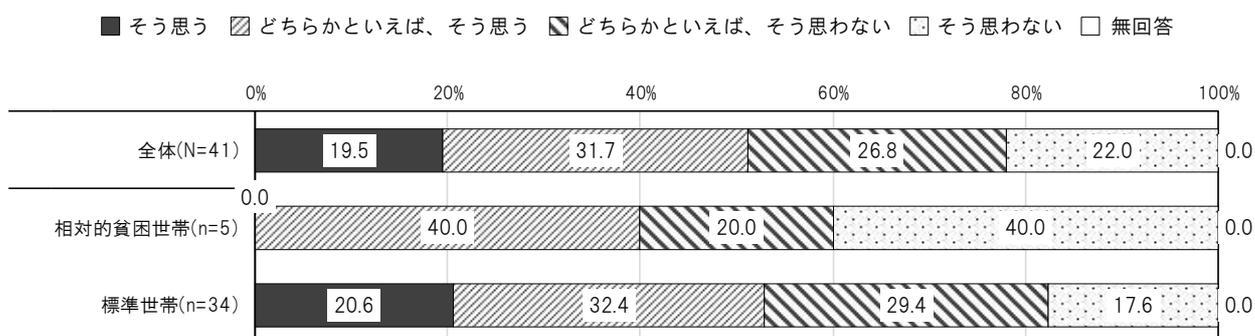
問 33③ 世界で活躍している

全体では、「そう思わない」が 43.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」（34.1%）、「どちらかといえば、そう思う」（12.2%）の順になっています。



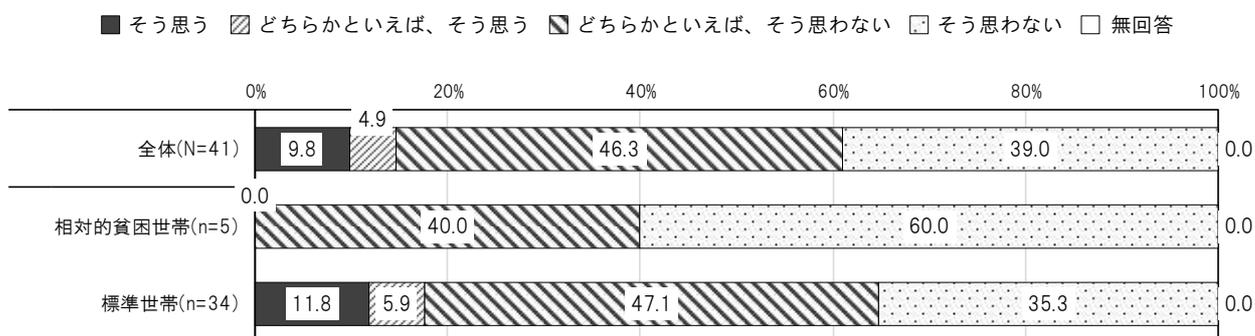
問 33④ 多くの人の役に立っている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 31.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思わない」（26.8%）、「そう思わない」（22.0%）の順になっています。



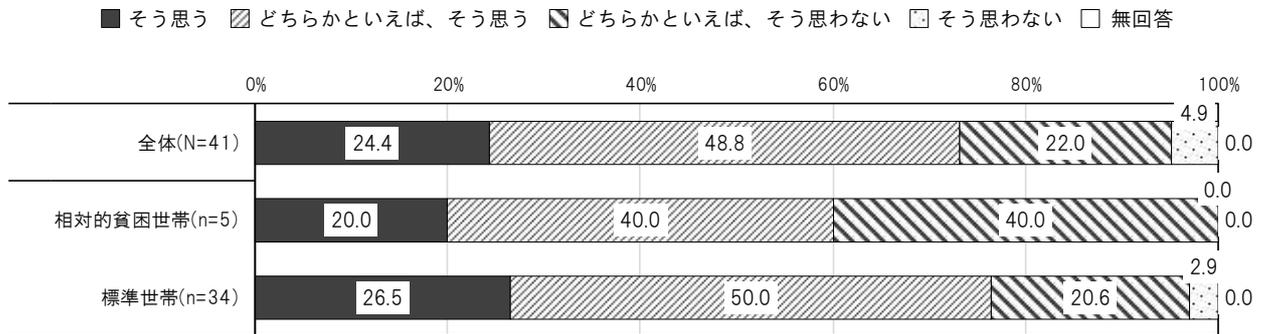
問 33⑤ 有名になっている

全体では、「どちらかといえば、そう思わない」が 46.3%と最も高く、次いで、「そう思わない」（39.0%）、「そう思う」（9.8%）の順になっています。



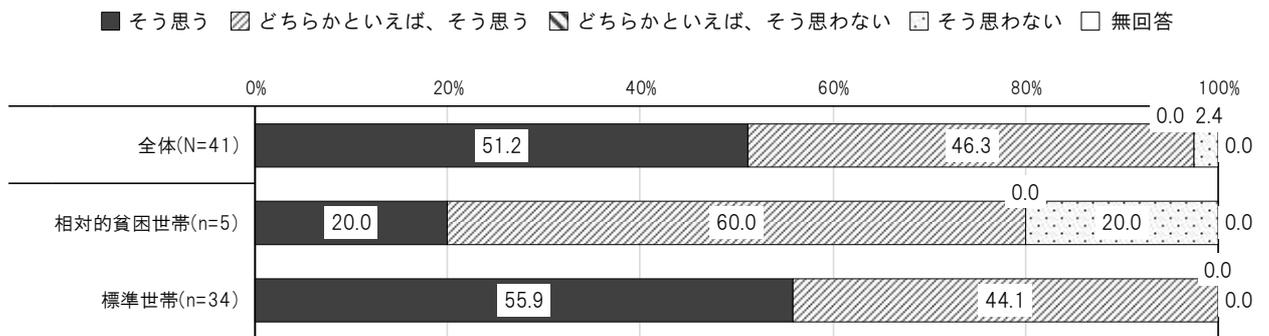
問 33⑥ 子どもを育てている

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 48.8%と最も高く、次いで、「そう思う」(24.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(22.0%)の順になっています。



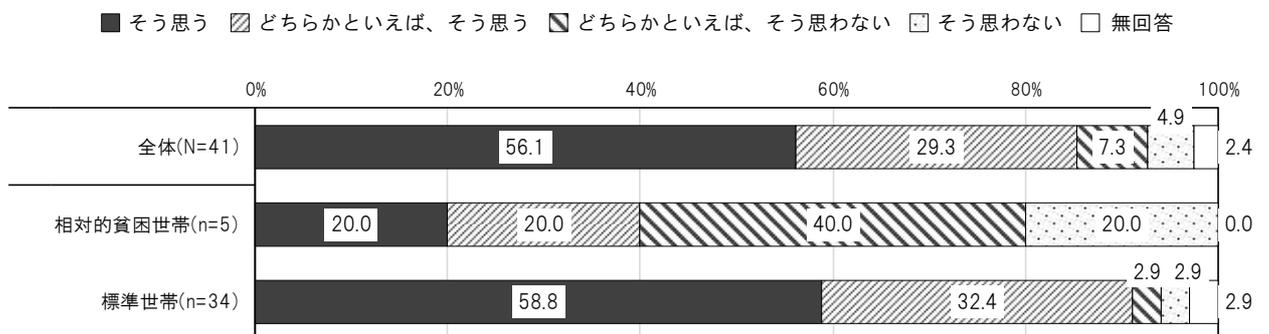
問 33⑦ 親を大切にしている

全体では、「そう思う」が 51.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(46.3%)、「そう思わない」(2.4%)の順になっています。



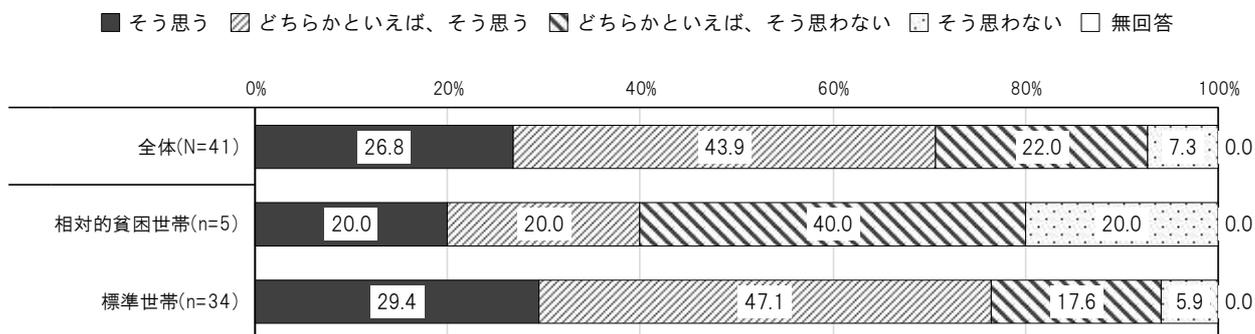
問 33⑧ 幸せになっている

全体では、「そう思う」が 56.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(29.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(7.3%)の順になっています。



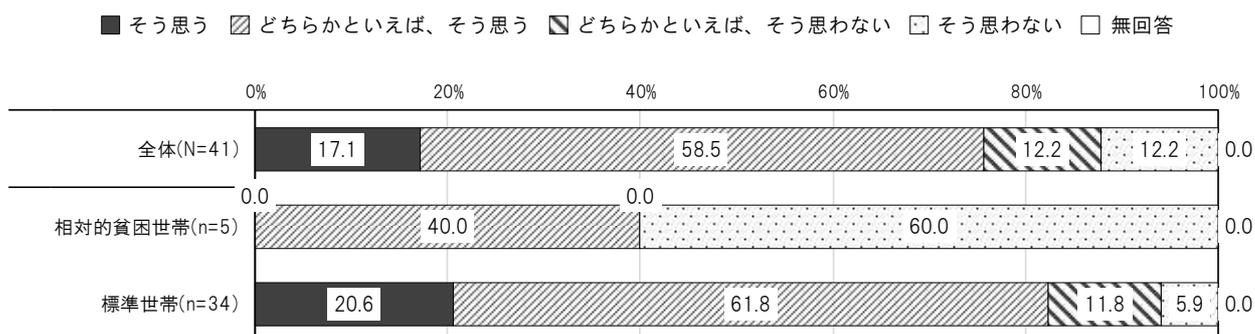
問 33⑨ 結婚している

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 43.9%と最も高く、次いで、「そう思う」(26.8%)、「どちらかといえば、そう思わない」(22.0%) の順になっています。



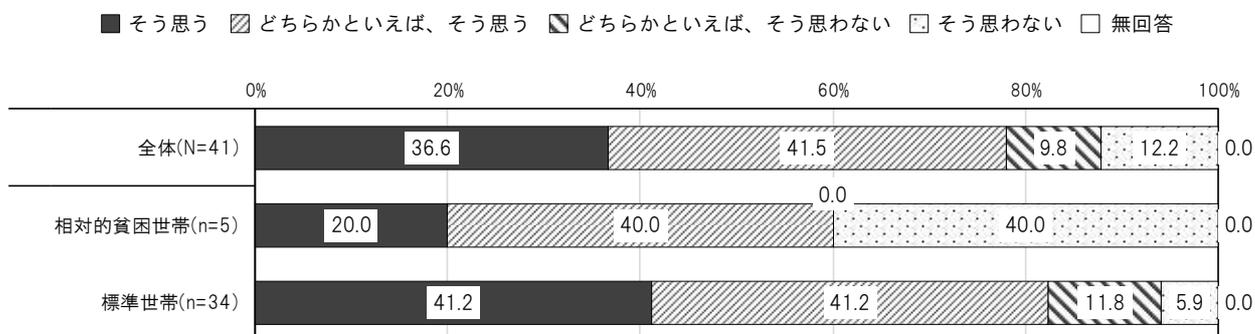
問 33⑩ 出世している

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 58.5%と最も高く、次いで、「そう思う」(17.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」(12.2%) の順になっています。



問 33⑪ 仲間と仲良く暮らしている

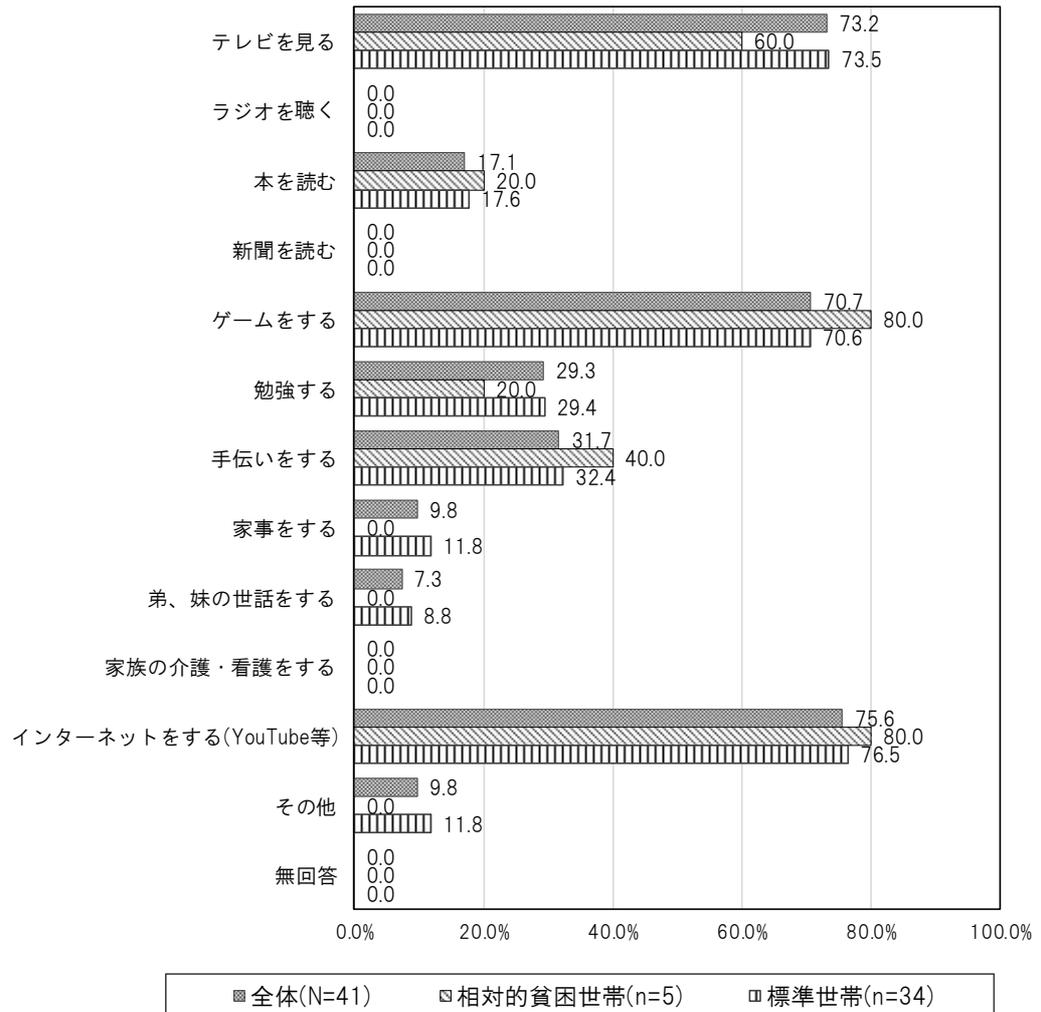
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 41.5%と最も高く、次いで、「そう思う」(36.6%)、「そう思わない」(12.2%) の順になっています。



6. 普段の活動

問 34 ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「インターネットをする(YouTube等)」が75.6%と最も高く、次いで、「テレビを見る」(73.2%)、「ゲームをする」(70.7%)の順になっています。

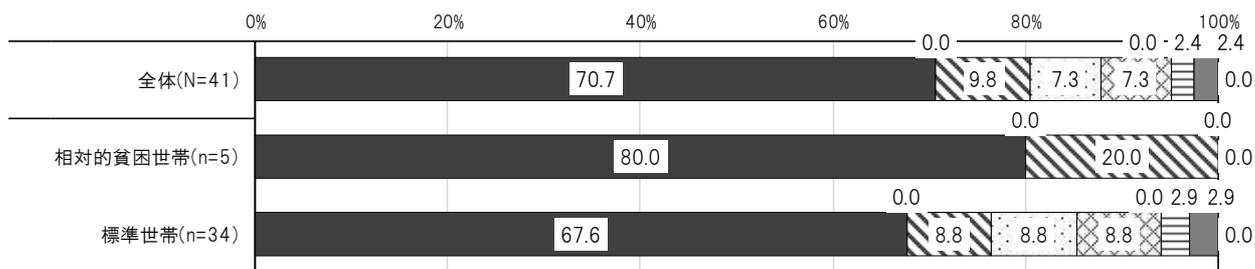


7. 外出状況

問 35 あなたはふだんどのくらい外に出かけますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」が70.7%と最も高く、次いで、「遊びなどでよく外に出かける」（9.8%）、「人づきあいのためにときどき外に出かける」「ふだんは家にいるが、自分のしゅみなどの用事のときだけ外に出かける」（7.3%）の順になっています。

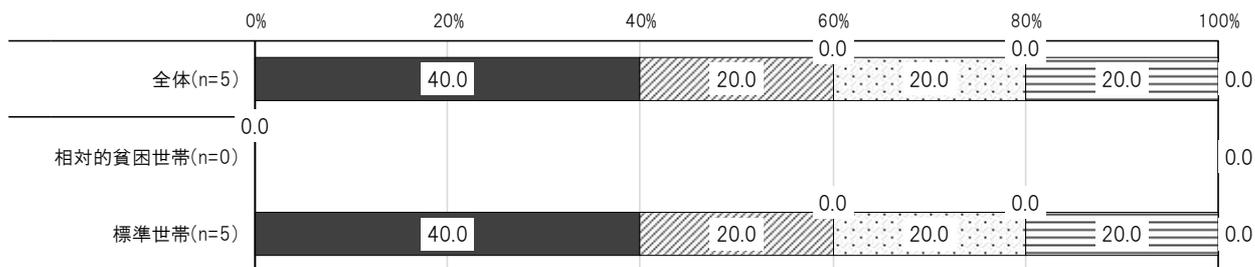
- 学校や習い事で平日は毎日、外に出かける
- ▨ 学校や習い事で週に3～4日、外に出かける
- ▩ 遊びなどでよく外に出かける
- ▧ 人づきあいのためにときどき外に出かける
- ▦ ふだんは家にいるが、自分のしゅみなどの用事のときだけ外に出かける
- ▤ ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける
- ▣ 自分の部屋からは出るが、家からは出ない
- ▢ 自分の部屋からほとんど出ない
- 無回答



問 36 問 35 で「5」～「8」と答えた人にお聞きします。あなたの外出のしかたが現在のようになって、どのくらい経ちますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「0 か月～3 か月未満」が40.0%、次いで、「3 か月～6 か月未満」「1 年～2 年未満」「5 年以上」（20.0%）の順になっています。

- 0か月～3か月未満
- ▨ 3か月～6か月未満
- ▩ 6か月～1年未満
- ▧ 1年～2年未満
- ▦ 2年～3年未満
- ▤ 3年～5年未満
- ▣ 5年以上
- 無回答

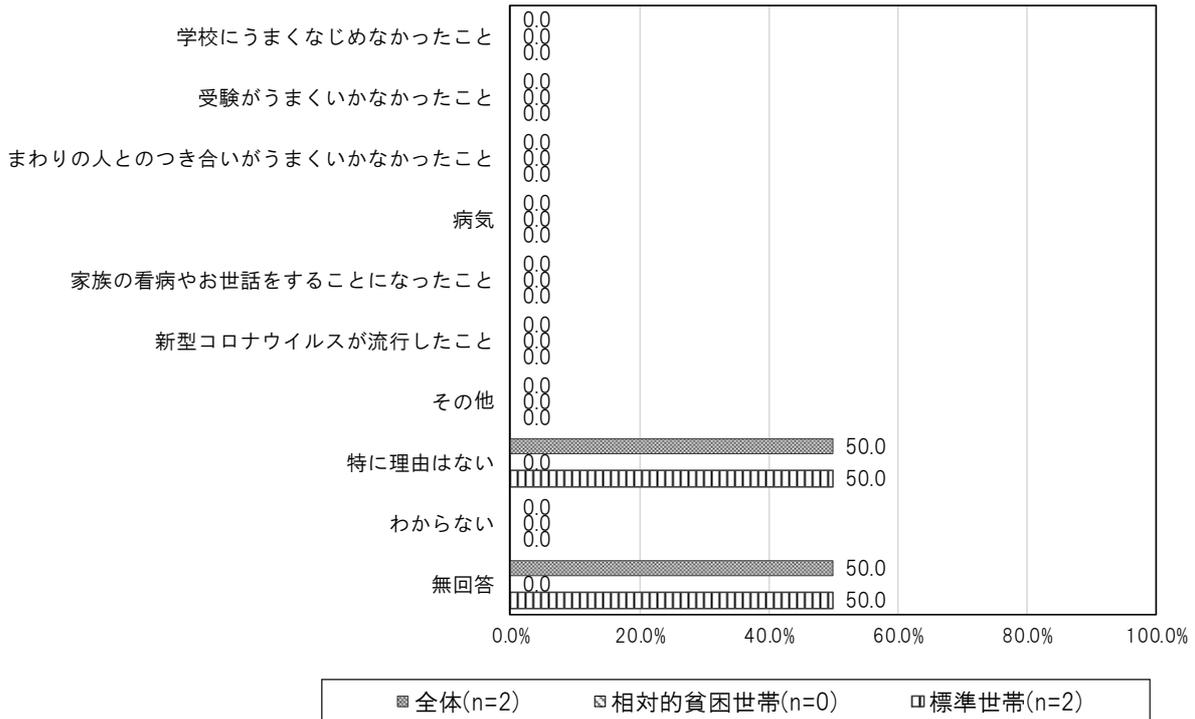


問 37 問 36 で「3」～「7」と答えた人にお聞きします。あなたの外出のしかたが現在のようにな
ったのは何歳の頃ですか。（数字を記入してください）（ ）歳

2名から 12 歳という回答がありました。

問 38 問 36 で「3」～「7」と答えた人にお聞きします。あなたの外出のしかたが現在のようにな
った主な理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「特に理由はない」が 50.0%となっています。

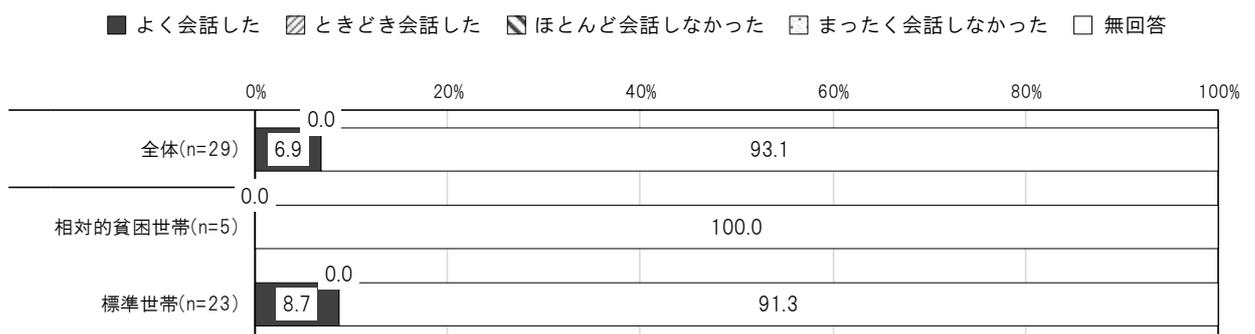


問 38-1 問 38 で「1」～「7」と答えた人にお聞きします。あなたの外出状況が現在の状況になっ
た最も大きな理由は何ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

今回調査では、該当する方はいらっしゃいませんでした。

問 39 最近 6 か月間に、家族以外の人と会話しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

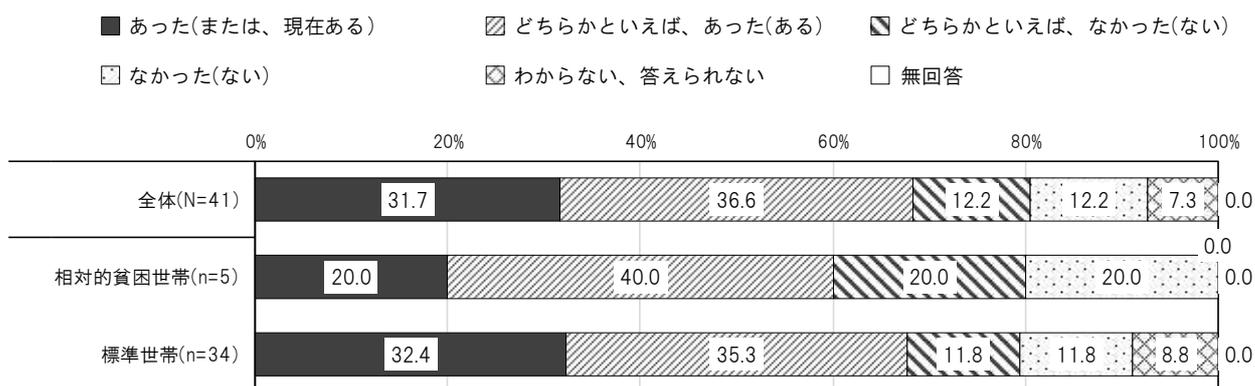
全体では、「よく会話した」が 6.9%となっています。



8. ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験

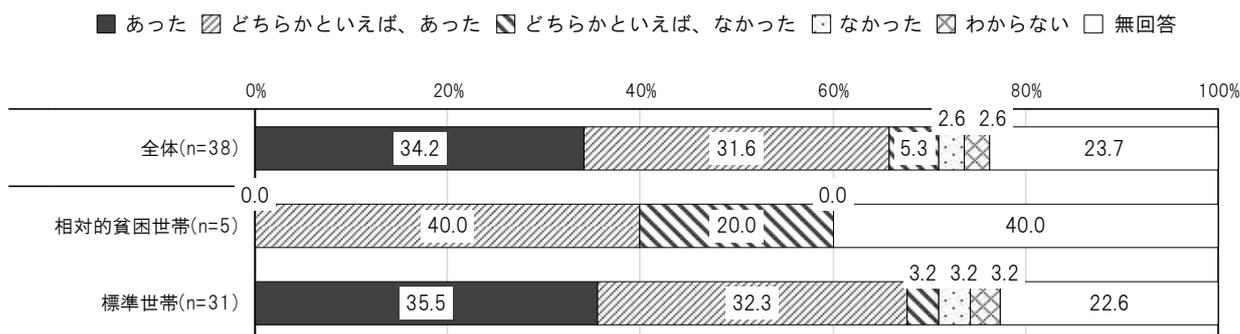
問 40 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在ありますか。最もあてはまるものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「どちらかといえば、あった(ある)」が 36.6%と最も高く、次いで、「あった(または、現在ある)」(31.7%)、「どちらかといえば、なかった(ない)」「なかった(ない)」(12.2%)の順になっています。



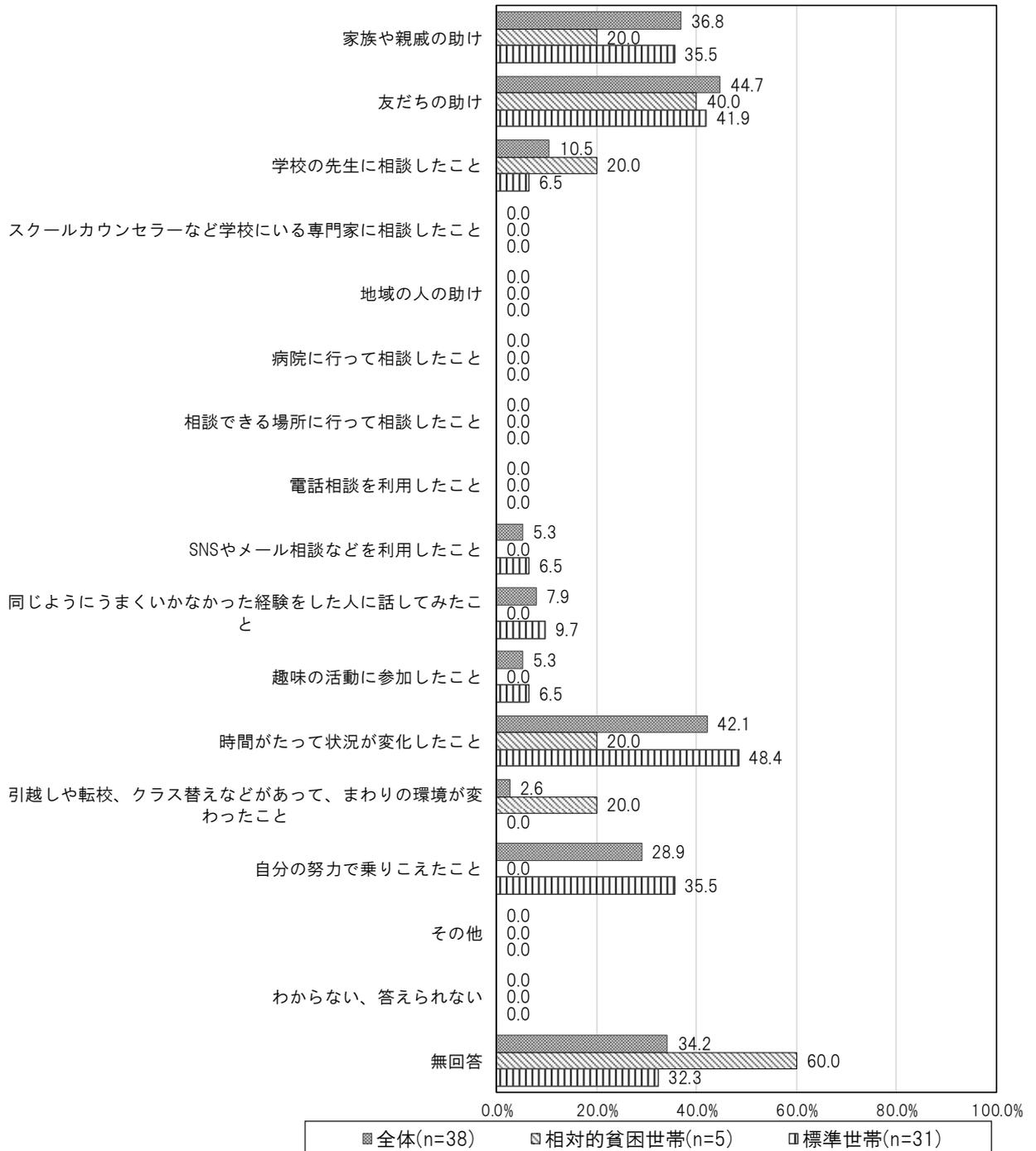
問 41 問 40 で「1」～「2」と答えた人にお聞きします。あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「あった」が 34.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あった」(31.6%)、「どちらかといえば、なかった」(5.3%)の順になっています。



問 42 問 41 で「1」～「2」と答えた人にお聞きします。落ち込んだ状態から元に戻ったのは、どのようなきっかけだったと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

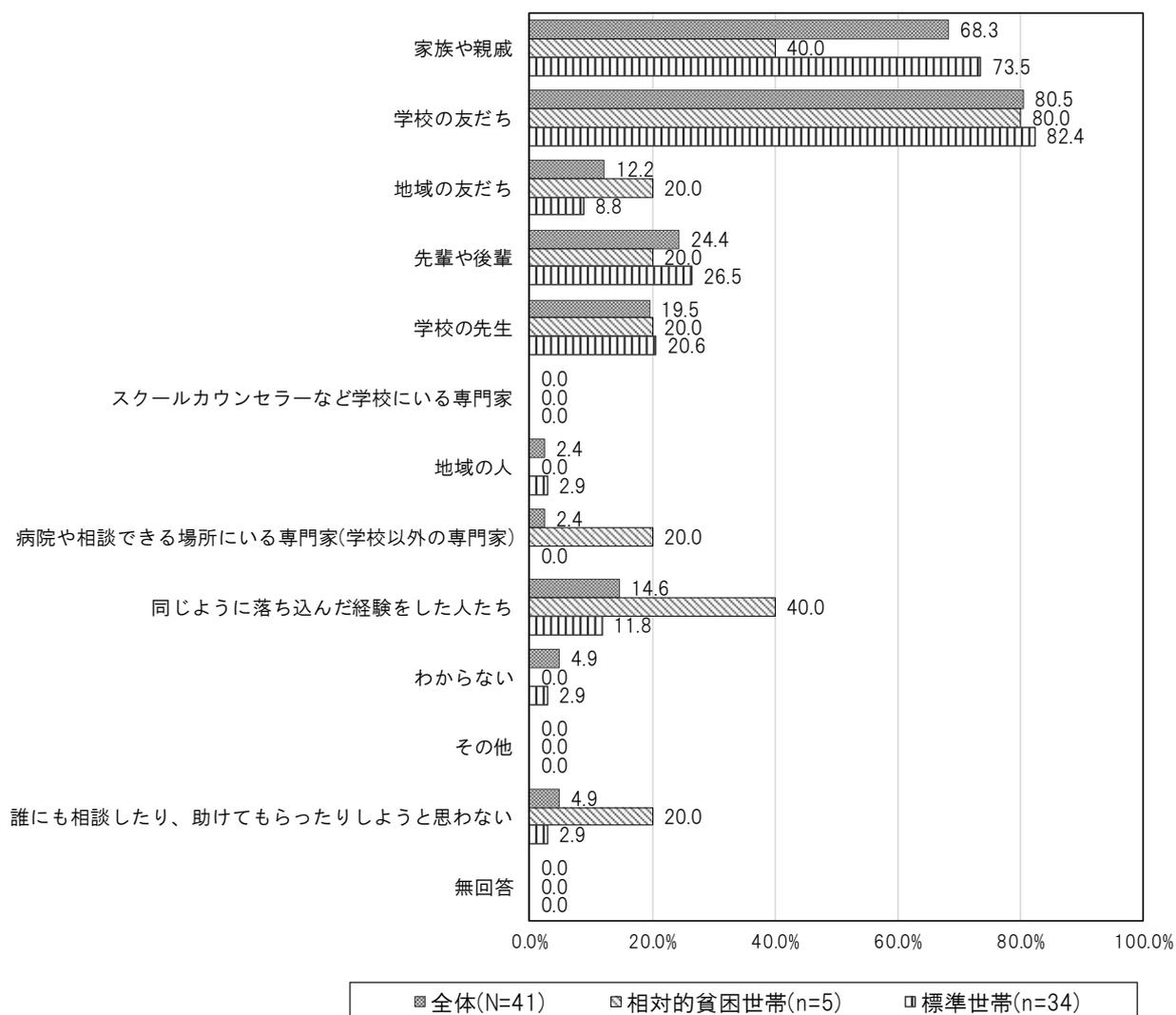
全体では、「友だちの助け」が 44.7%と最も高く、次いで、「時間がたって状況が変化したこと」（42.1%）、「家族や親戚の助け」（36.8%）の順になっています。



9. 相談・支援

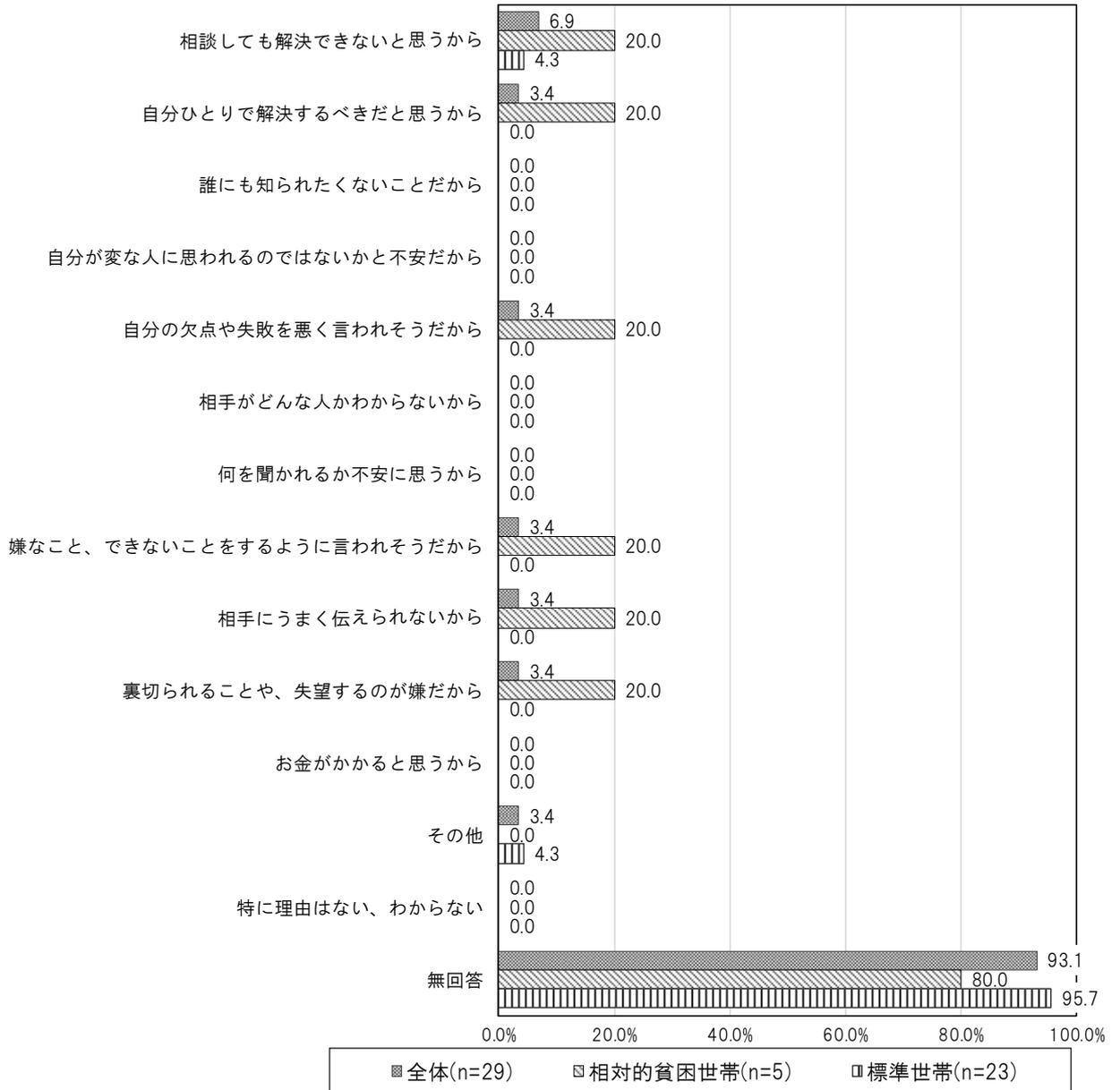
問 43 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、誰に相談したり助けてもらったりしたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「学校の友だち」が 80.5%と最も高く、次いで、「家族や親戚」（68.3%）、「先輩や後輩」（24.4%）の順になっています。



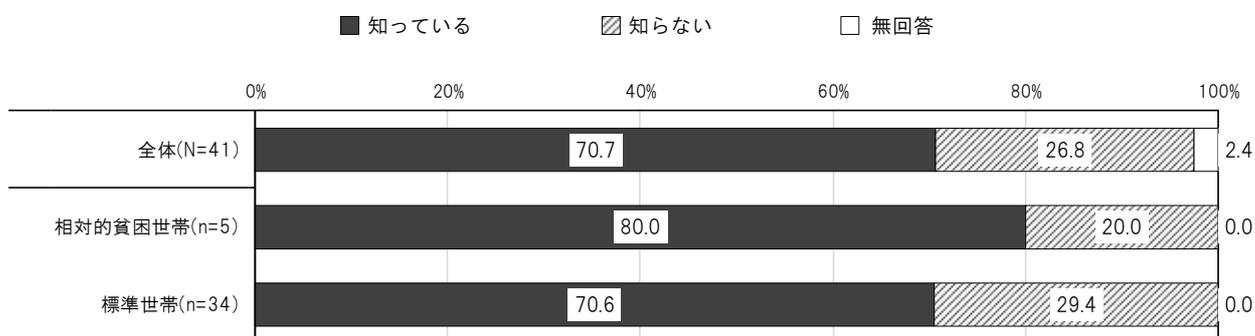
問 44 問 43 で「12」と答えた人にお聞きします。「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「相談しても解決できないと思うから」が 6.9%、次いで、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」「嫌なこと、できないことをするように言われそうだから」「相手にうまく伝えられないから」「裏切られることや、失望するのが嫌だから」「その他」（3.4%）の順になっています。



問 45 あなたは、家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「知っている」が 70.7%、次いで、「知らない」（26.8%）の順になっています。



10. 自由意見

問 46 学校や家での生活で困っていること、悩んでいることなどがあれば自由に記入して下さい。

私は今、中学2年生でもうすぐ3年生になります。中学3年生というと受験があります。私の将来の夢は保育士です。でも母子家庭で、塾や保育士になるために短大まで行かないと保育士にはなれません。しかし、行くためには学費が必要です。私は勉強がわからないので、塾に行きたいなと思っていますが、塾に行くお金の余裕がありません。受験などの助成があればいいなと思いました。

普通の自転車は学校には辛いので、電動自転車がオッケーになって欲しい。取れても自己責任、電動自転車が無理な場合は坂を開拓して欲しいです。本当に、本当にお願ひします。

自分は今すぐこの世を去るべきであること。

11. 場ごとの認識

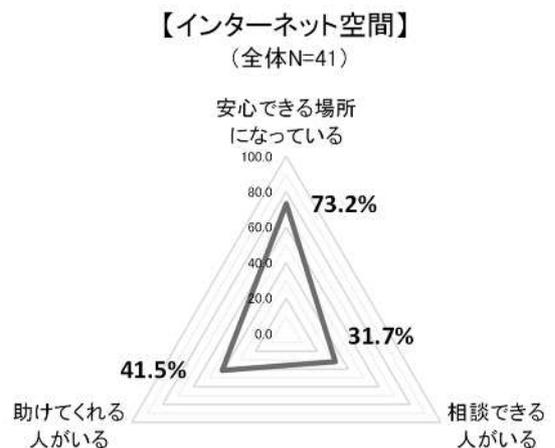
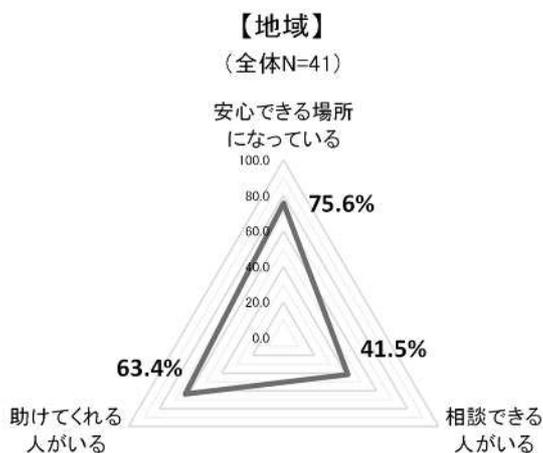
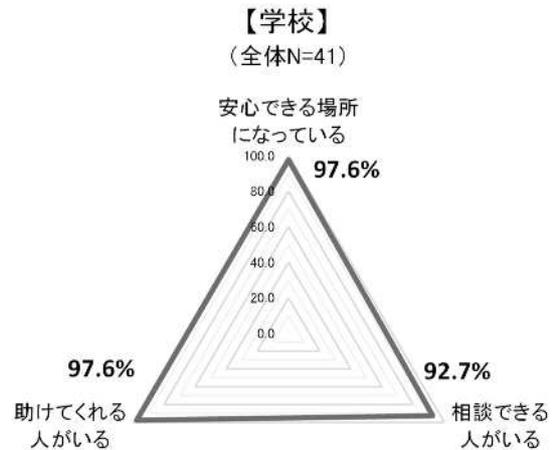
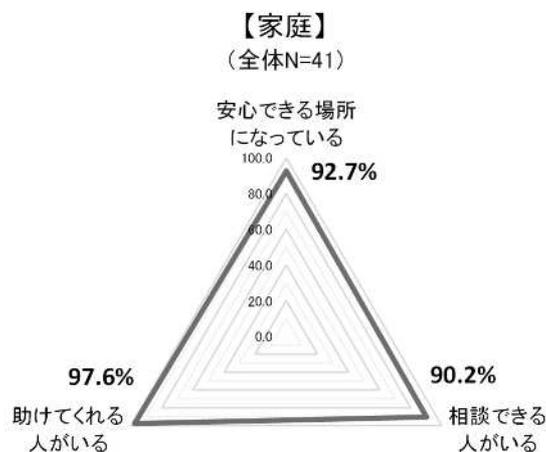
“家庭”、“学校”、“地域”、“インターネット空間”の4つの場ごとの認識について、「安心できる場所になっている」、「相談できる人がいる」、「助けてくれる人がいる」の3項目について、肯定的な認識（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の回答者の割合を示しています。

“家庭”に関しては、3項目いずれも肯定的な回答の割合が9割を超えており、特に「助けてくれる人がいる」は97.6%で“学校”と同率で最も高くなっています。

“学校”に関しては、“家庭”と同様に3項目いずれも肯定的な回答の割合が9割を超えており、各項目ともに4つの場の中で最も高い割合となっています。

“地域”に関しては、「安心できる場所になっている」（75.6%）は“家庭”、“学校”よりも割合が低いものの、7割以上が肯定的な回答となっています。また、「助けてくれる人がいる」（63.4%）、「相談できる人がいる」（41.5%）はどちらも“インターネット空間”に次いで低い割合となっています。

“インターネット空間”に関しては、3項目いずれについても、4つの場の中で最も割合が低くなっていますが、「安心できる場所になっている」（73.2%）は7割以上が肯定的な回答となっています。一方、「助けてくれる人がいる」（41.5%）、「相談できる人がいる」（31.7%）は半数以下の割合となっています。



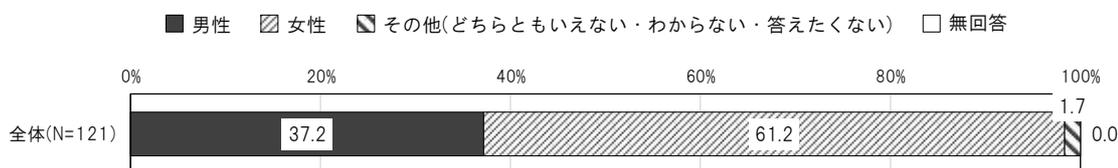
5 子どもの貧困対策計画、
子ども・若者計画調査（中学生本人）

6 子ども・若者計画調査
(高校生世代以上 39 歳まで)

1. あなた自身のことについて

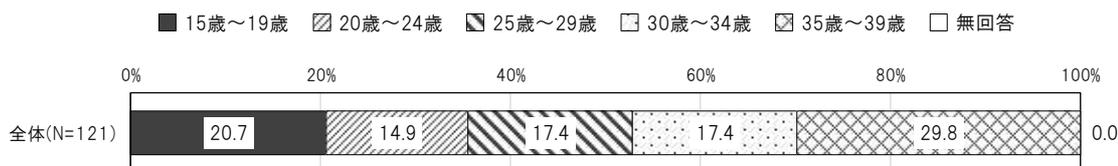
問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけ○)

全体では、「女性」が 61.2%と最も高く、次いで、「男性」(37.2%)、「その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)」(1.7%)の順になっています。



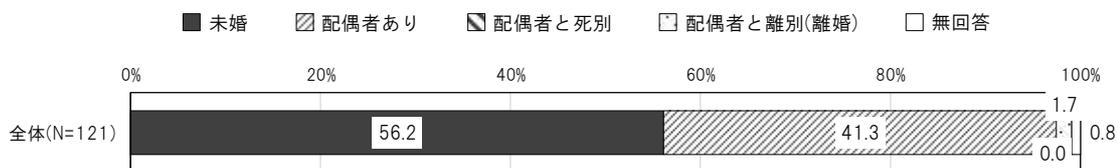
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つだけ○)

全体では、「35歳～39歳」が 29.8%と最も高く、次いで、「15歳～19歳」(20.7%)、「25歳～29歳」「30歳～34歳」(17.4%)の順になっています。



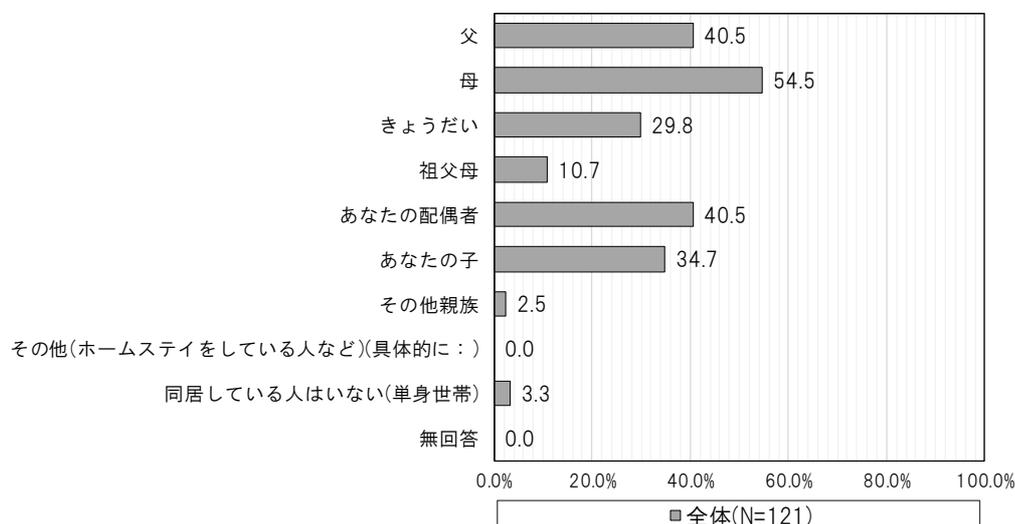
問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(1つだけ○) ※「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

全体では、「未婚」が 56.2%と最も高く、次いで、「配偶者あり」(41.3%)、「4. 配偶者と離別(離婚)」(1.7%)の順になっています。



問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまるものすべてに○) ※「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「8 その他」をお選びください。

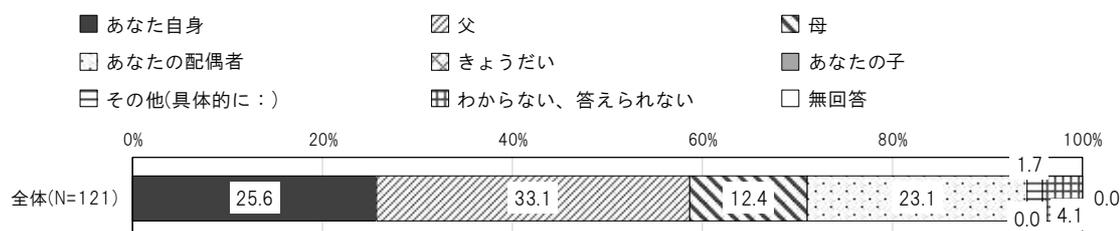
全体では、「母」が 54.5%と最も高く、次いで、「父」「あなたの配偶者」(40.5%) の順になっています。



問5 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。(1)生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(1つだけ○)

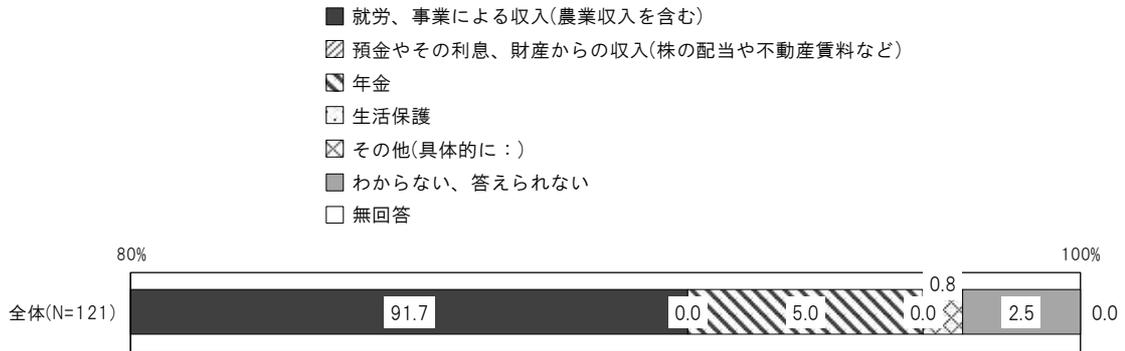
問5(1) 生計を支えている方

全体では、「父」が 33.1%と最も高く、次いで、「あなた自身」(25.6%)、「あなたの配偶者」(23.1%) の順になっています。



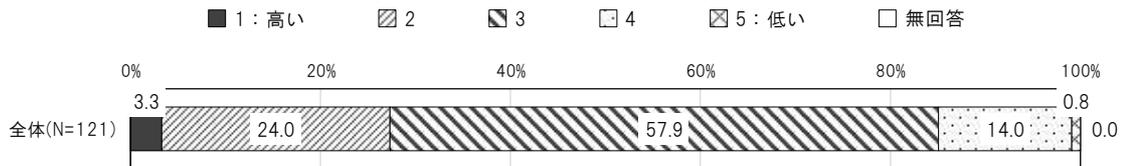
問 5 (2) 生計を支えている方収入源

全体では、「就労、事業による収入(農業収入を含む)」が 91.7%と最も高く、次いで、「年金」(5.0%)、「わからない、答えられない」(2.5%) の順になっています。



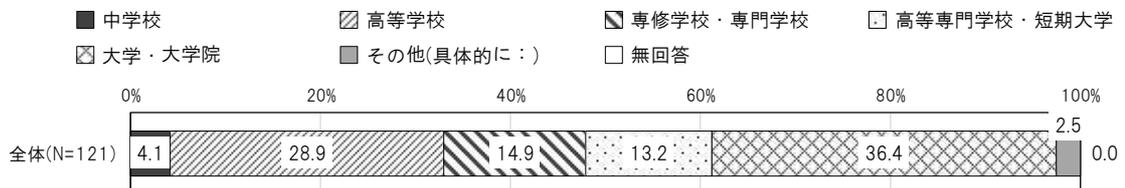
問 6 あなたの暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、次のどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。(1つだけ○)

全体では、「3」が 57.9%と最も高く、次いで、「2」(24.0%)、「4」(14.0%) の順になっています。



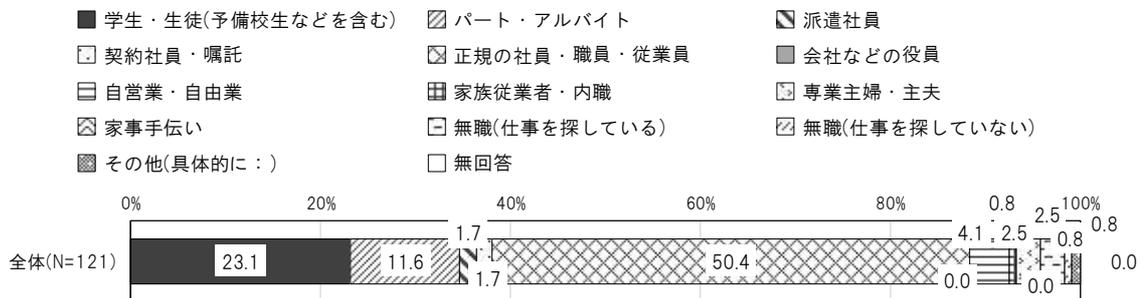
問 7 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。(1つだけ○) ※在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

全体では、「大学・大学院」が 36.4%と最も高く、次いで、「高等学校」(28.9%)、「専修学校・専門学校」(14.9%) の順になっています。



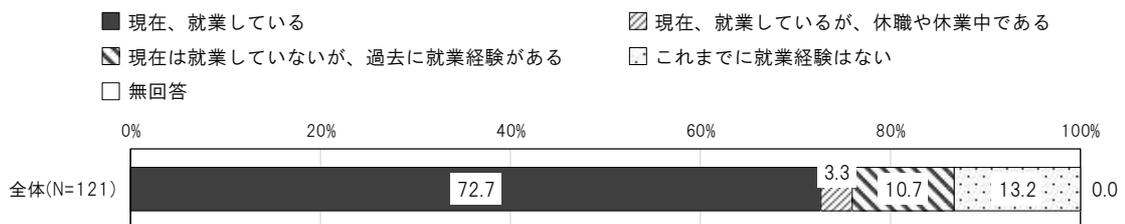
問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(1つだけ○)

全体では、「正規の社員・職員・従業員」が 50.4%と最も高く、次いで、「学生・生徒(予備校生などを含む)」(23.1%)、「パート・アルバイト」(11.6%) の順になっています。



問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む) (1つだけ○)

全体では、「現在、就業している」が 72.7%と最も高く、次いで、「これまでに就業経験はない」(13.2%)、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」(10.7%) の順になっています。

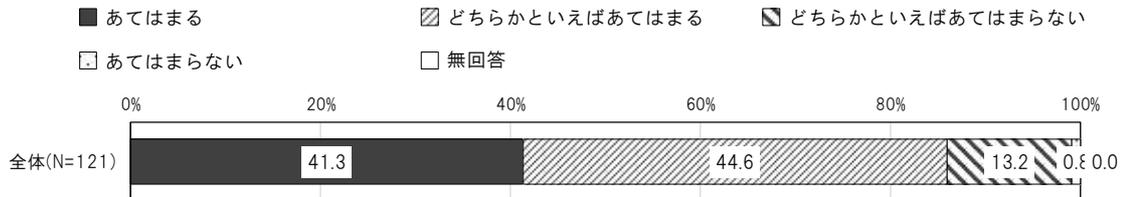


2. 日頃の意識と生活について

問 10 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

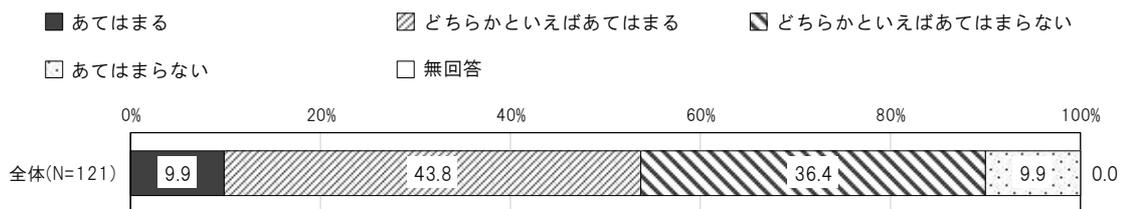
問 10 ア) 自分には自分らしさというものがあると思う

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 44.6%と最も高く、次いで、「あてはまる」(41.3%)、「どちらかといえばあてはまらない」(13.2%)の順になっています。



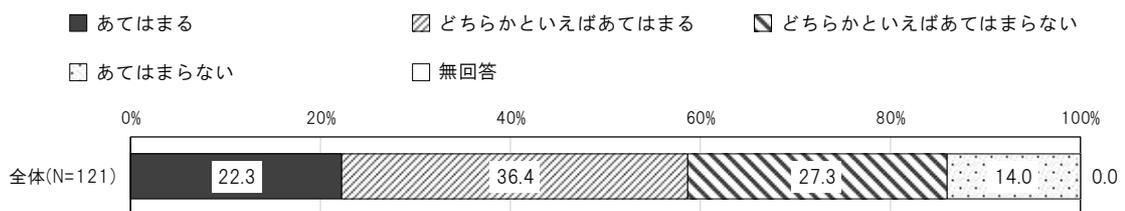
問 10 イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 43.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(36.4%)、「あてはまる」「あてはまらない」(9.9%)の順になっています。



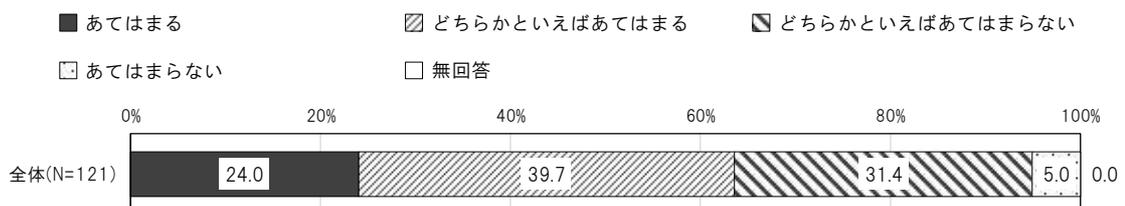
問 10 ウ) 今の自分を変えたいと思う

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 36.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(27.3%)、「あてはまる」(22.3%)の順になっています。



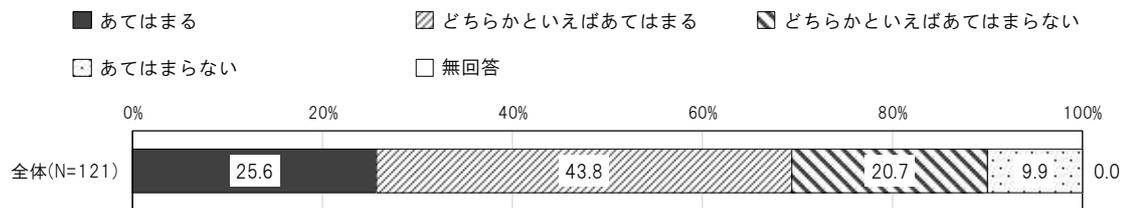
問 10 エ) 将来よりも今の生活を楽しみたい

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 39.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(31.4%)、「あてはまる」(24.0%)の順になっています。



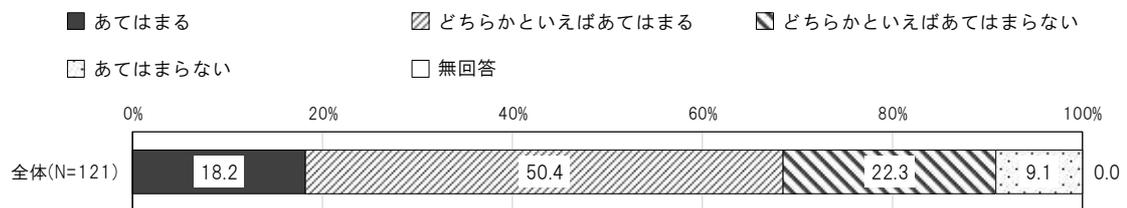
問 10 オ) 努力すれば希望する職業につくことができる

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 43.8%と最も高く、次いで、「あてはまる」(25.6%)、「どちらかといえばあてはまらない」(20.7%) の順になっています。



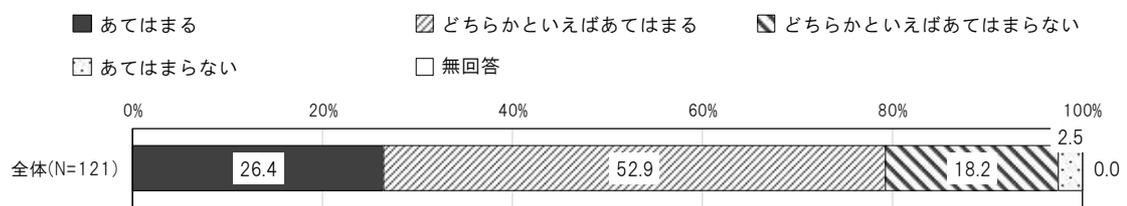
問 10 カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 50.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(22.3%)、「あてはまる」(18.2%) の順になっています。



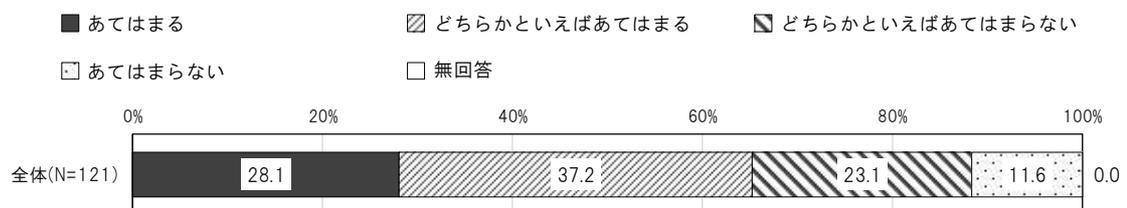
問 10 キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 52.9%と最も高く、次いで、「あてはまる」(26.4%)、「どちらかといえばあてはまらない」(18.2%) の順になっています。



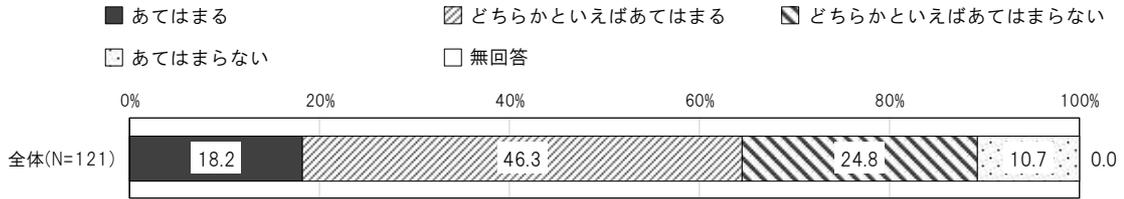
問 10 ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 37.2%と最も高く、次いで、「あてはまる」(28.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(23.1%) の順になっています。



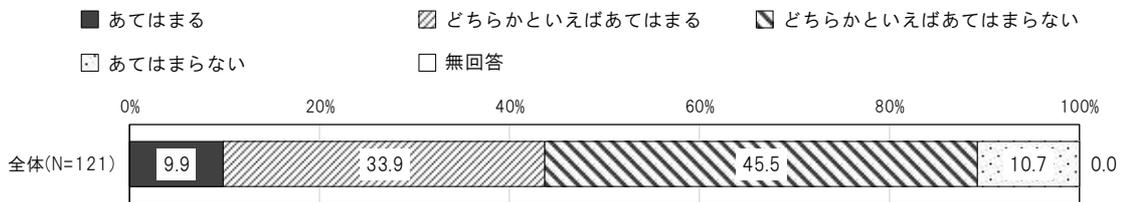
問 10 ケ) 今の自分が好きだ(1つ)

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 46.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえあてはまらない」(24.8%)、「あてはまる」(18.2%) の順になっています。



問 10 コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ

全体では、「どちらかといえあてはまらない」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえあてはまる」(33.9%)、「あてはまらない」(10.7%) の順になっています。



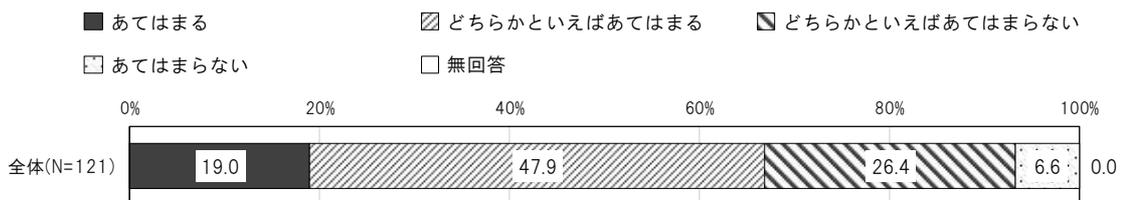
問 10 サ) 自分の親(保護者)から愛されていると思う

全体では、「あてはまる」が 64.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまる」(32.2%)、「どちらかといえあてはまらない」(3.3%) の順になっています。



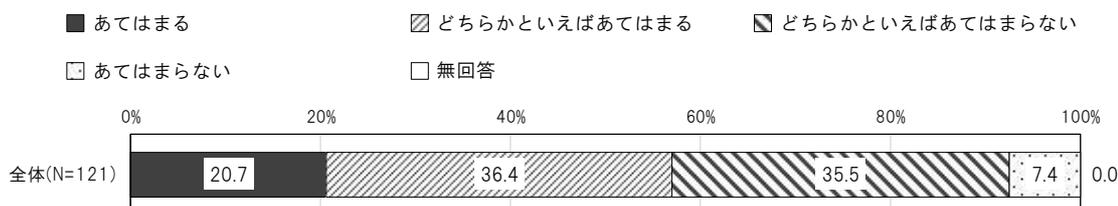
問 10 シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 47.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえあてはまらない」(26.4%)、「あてはまる」(19.0%) の順になっています。



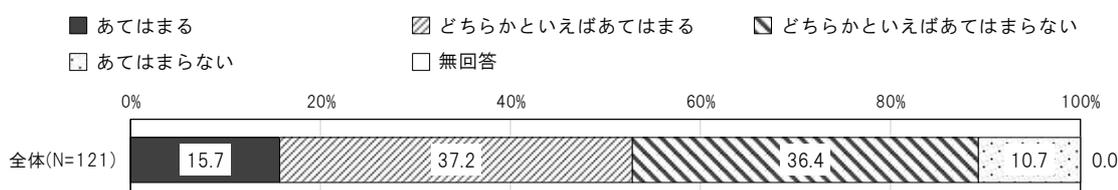
問 10 ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 36.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(35.5%)、「あてはまる」(20.7%) の順になっています。



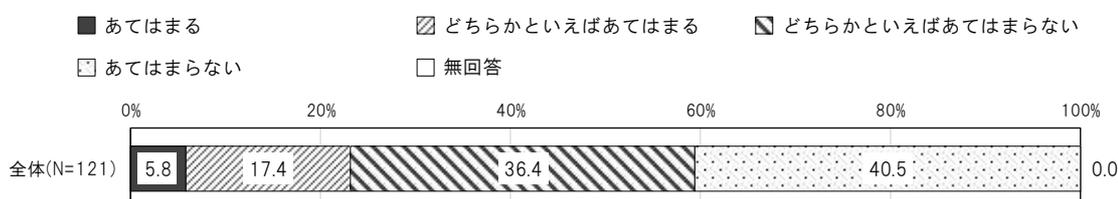
問 10 セ) 自分自身に満足している

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 37.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(36.4%)、「あてはまる」(15.7%) の順になっています。



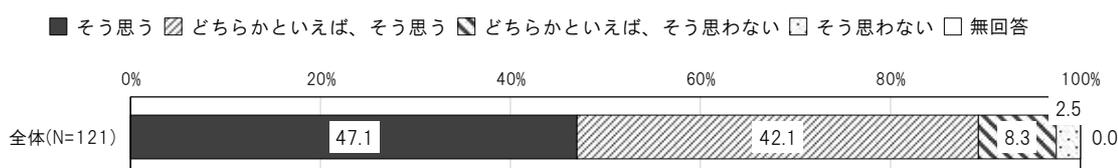
問 10 ソ) 自分は役に立たないと強く感じる

全体では、「あてはまらない」が 40.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(36.4%)、「どちらかといえばあてはまる」(17.4%) の順になっています。



問 11 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つだけ○)

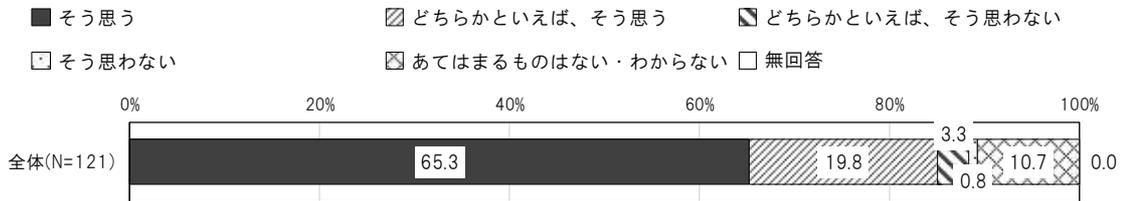
全体では、「そう思う」が 47.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(42.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」(8.3%) の順になっています。



問 12 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

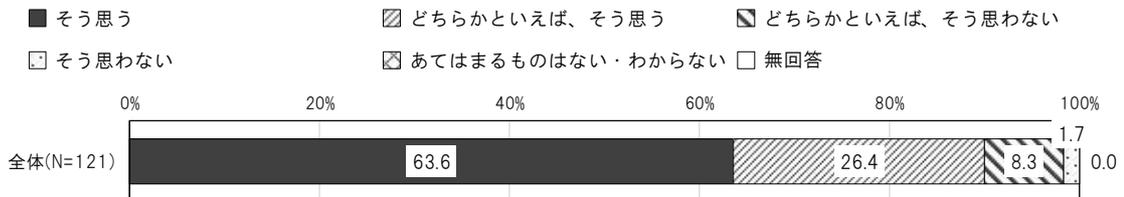
問 12 ア) 自分の部屋

全体では、「そう思う」が 65.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(19.8%)、「あてはまるものはない・わからない」(10.7%)の順になっています。



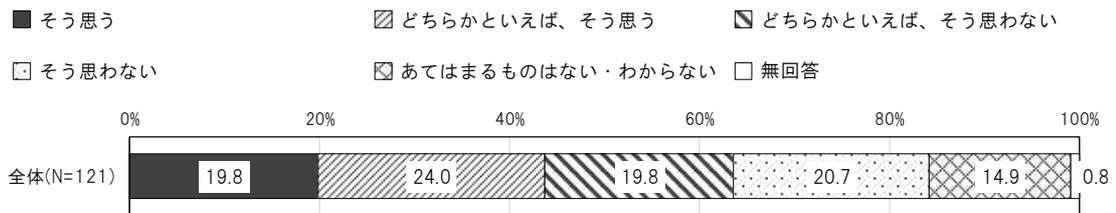
問 12 イ) 家庭（実家や親族の家を含む）

全体では、「そう思う」が 63.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、そう思う」(26.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(8.3%)の順になっています。



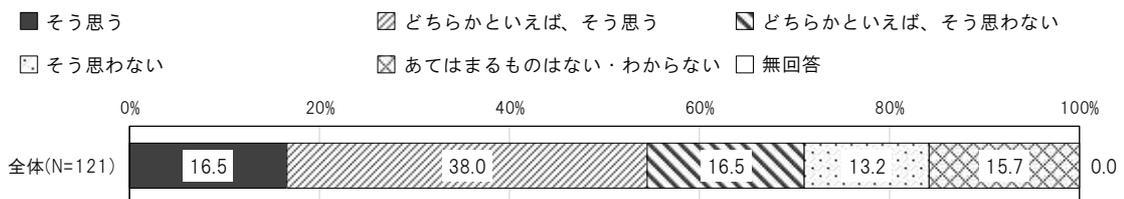
問 12 ウ) 学校（卒業した学校を含む）

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 24.0%と最も高く、次いで、「そう思わない」(20.7%)、「そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」(19.8%)の順になっています。



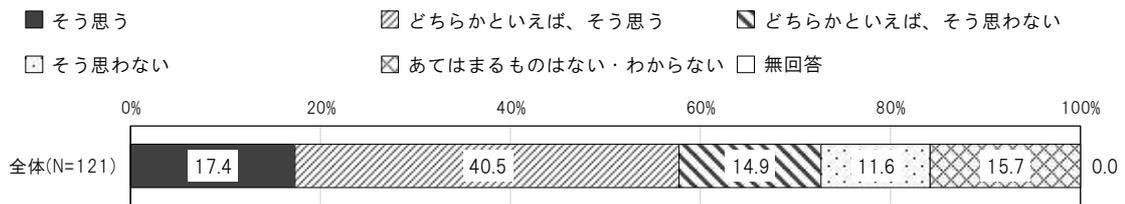
問 12 エ) 職場（過去の職場を含む）

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 38.0%と最も高く、次いで、「そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」(16.5%)の順になっています。



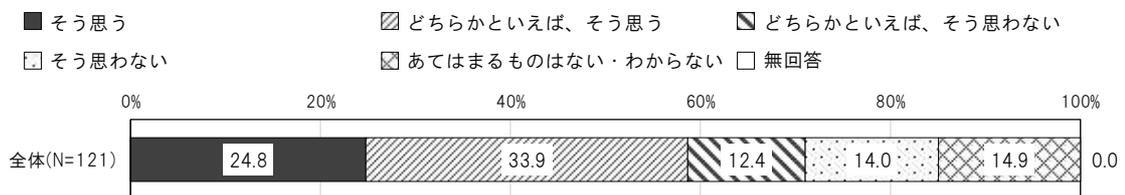
問 12 オ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 40.5%と最も高く、次いで、「そう思う」（17.4%）、「あてはまるものはない・わからない」（15.7%）の順になっています。



問 12 カ) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

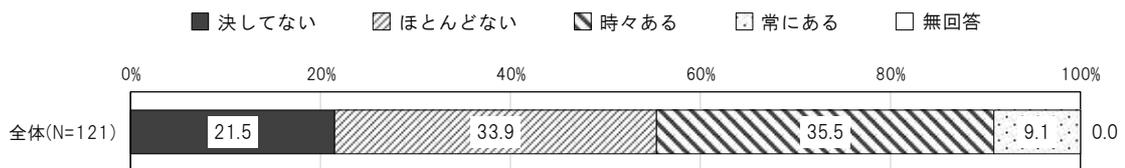
全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 33.9%と最も高く、次いで、「そう思う」（24.8%）、「あてはまるものはない・わからない」（14.9%）の順になっています。



問 13 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。

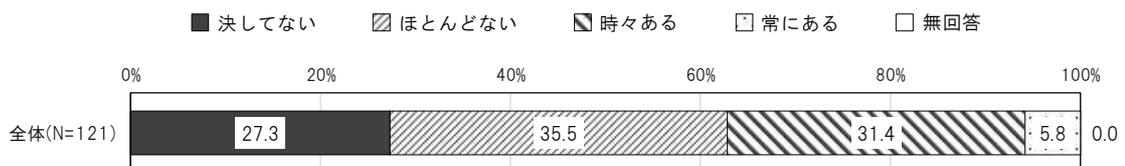
問 13 ア) 自分には人とのつきあいがないと感じることもある

全体では、「時々ある」が 35.5%と最も高く、次いで、「ほとんどない」（33.9%）、「決してない」（21.5%）の順になっています。



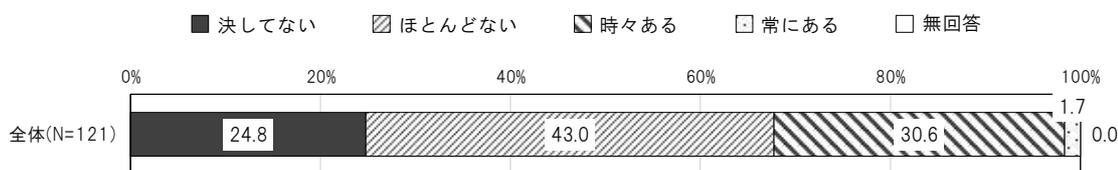
問 13 イ) 自分は取り残されていると感じることがある

全体では、「ほとんどない」が 35.5%と最も高く、次いで、「時々ある」（31.4%）、「決してない」（27.3%）の順になっています。



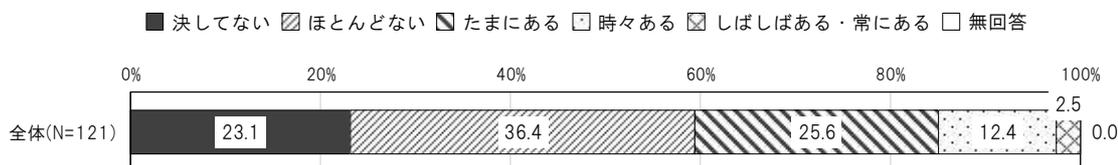
問 13 ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある(1つ)

全体では、「ほとんどない」が 43.0%と最も高く、次いで、「時々ある」(30.6%)、「決してない」(24.8%)の順になっています。



問 14 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つだけ〇)

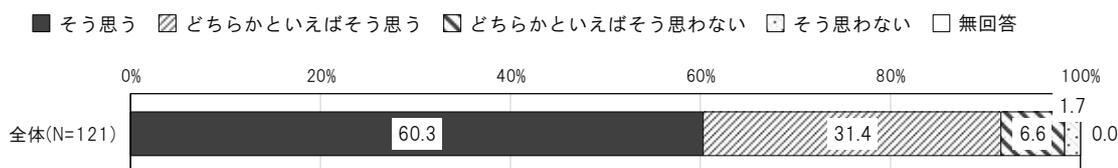
全体では、「ほとんどない」が 36.4%と最も高く、次いで、「たまにある」(25.6%)、「決してない」(23.1%)の順になっています。



問 15 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

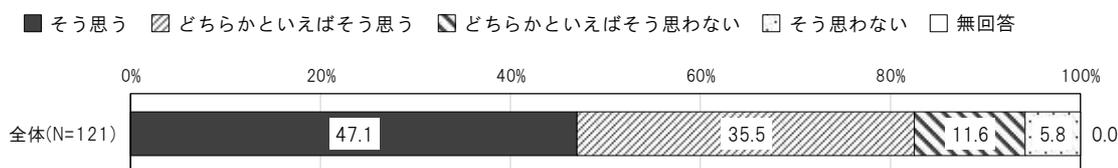
問 15 ア) 会話やメール等をよくしている

全体では、「そう思う」が 60.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(31.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.6%)の順になっています。



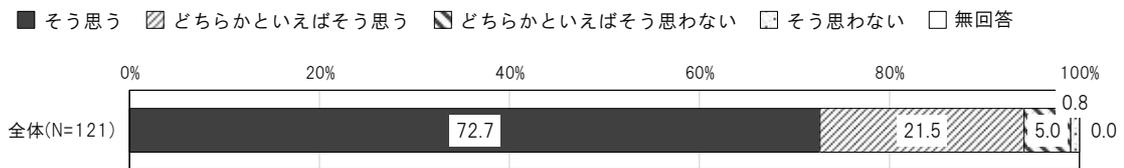
問 15 イ) 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「そう思う」が 47.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(35.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(11.6%)の順になっています。



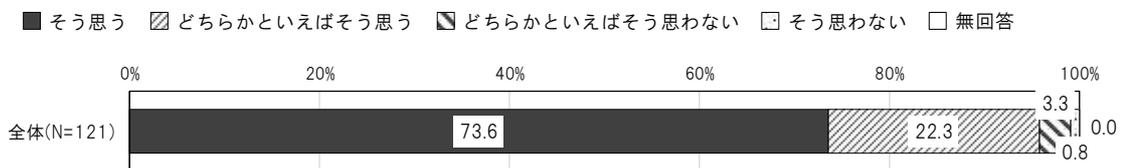
問 15 ウ) 楽しく話せる時がある

全体では、「そう思う」が 72.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(21.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(5.0%) の順になっています。



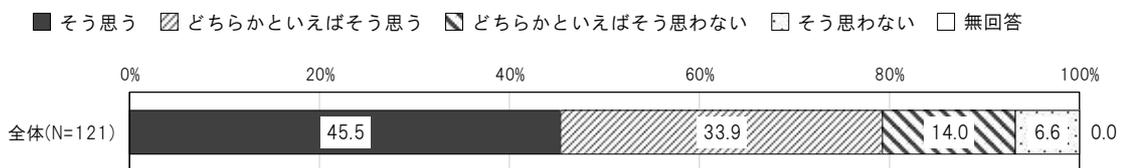
問 15 エ) 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 73.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(22.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(3.3%) の順になっています。



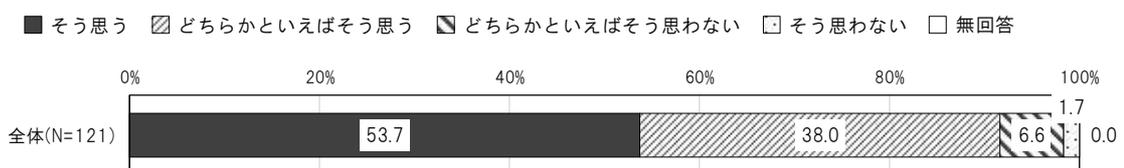
問 15 オ) 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思う」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(33.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(14.0%) の順になっています。



問 15 カ) いつもつながりを感じている

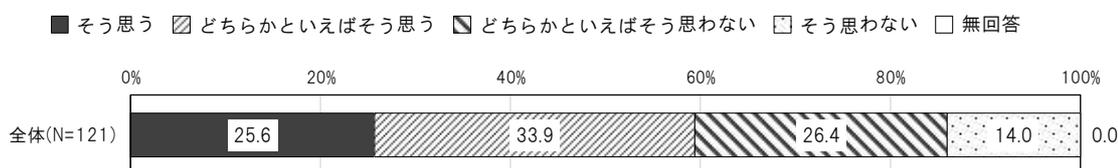
全体では、「そう思う」が 53.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(38.0%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.6%) の順になっています。



問 16 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。

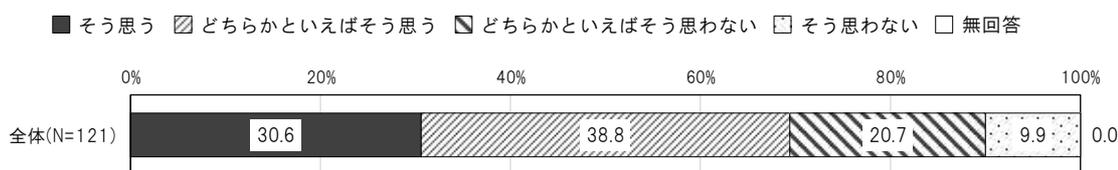
問 16 ア) 会話やメール等をよくしている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 33.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(26.4%)、「そう思う」(25.6%) の順になっています。



問 16 イ) 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 38.8%と最も高く、次いで、「そう思う」(30.6%)、「どちらかといえばそう思わない」(20.7%) の順になっています。



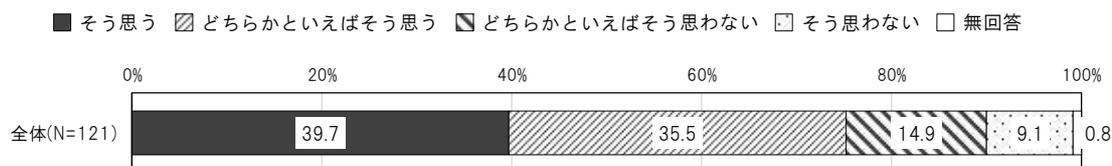
問 16 ウ) 楽しく話せる時がある

全体では、「そう思う」が 59.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(28.1%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.6%) の順になっています。



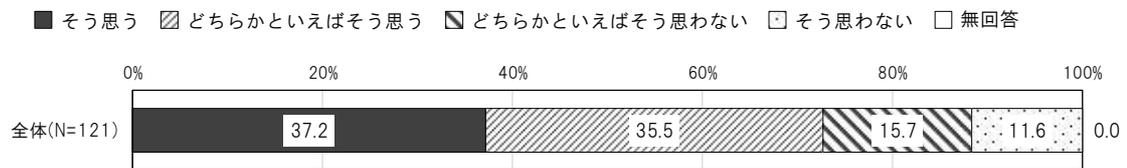
問 16 エ) 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思う」が 39.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(35.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(14.9%) の順になっています。



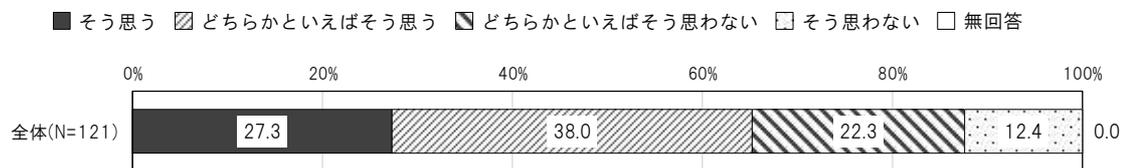
問 16 オ) 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思う」が 37.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(35.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(15.7%)の順になっています。



問 16 カ) いつもつながりを感じている

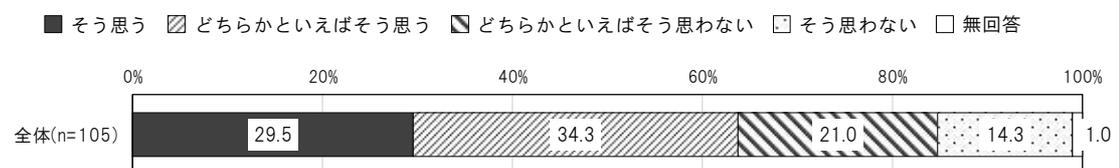
全体では、「どちらかといえばそう思う」が 38.0%と最も高く、次いで、「そう思う」(27.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(22.3%)の順になっています。



問 17 問 9 で「1 現在、就業している」、「2. 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。

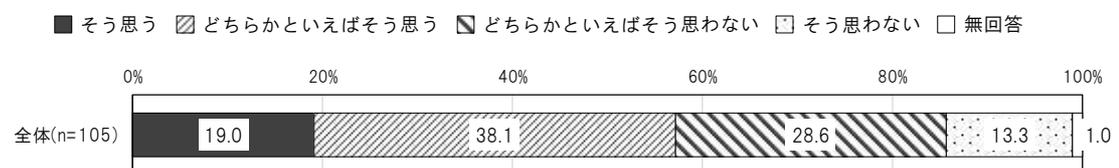
問 17 ア) 会話やメール等をよくしている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 34.3%と最も高く、次いで、「そう思う」(29.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(21.0%)の順になっています。



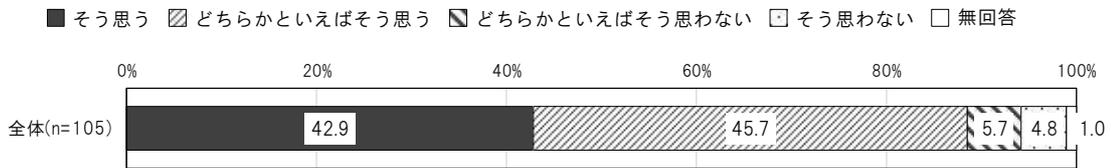
問 17 イ) 何でも悩みを相談できる人がいる

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 38.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(28.6%)、「そう思う」(19.0%)の順になっています。



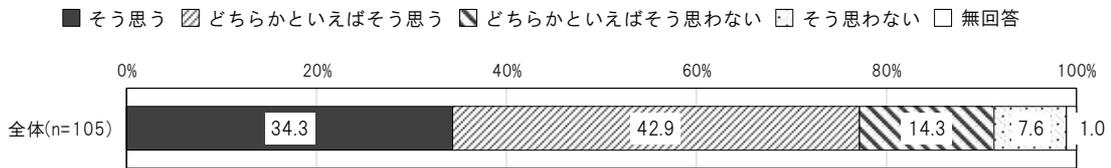
問 17 ウ) 楽しく話せる時がある

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 45.7%と最も高く、次いで、「そう思う」(42.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(5.7%) の順になっています。



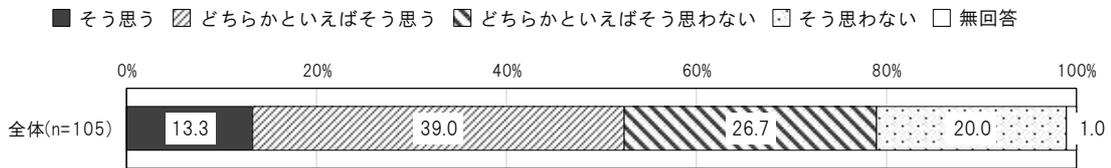
問 17 エ) 困ったときは助けてくれる

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 42.9%と最も高く、次いで、「そう思う」(34.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(14.3%) の順になっています。



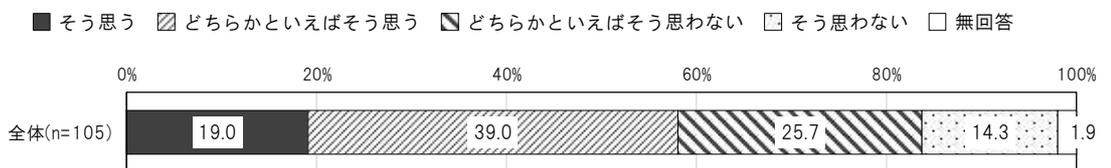
問 17 オ) 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえ
 ばそう思わない」(26.7%)、「そう思わない」(20.0%) の順になっています。



問 17 カ) いつもつながりを感じている

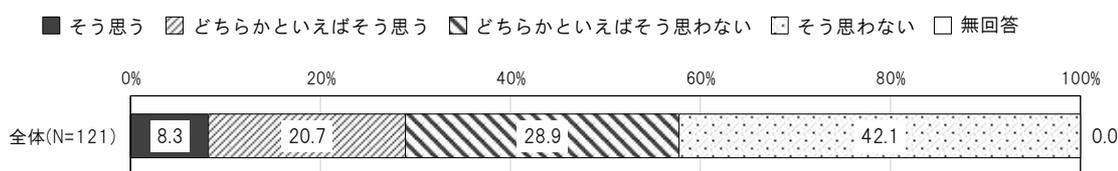
全体では、「どちらかといえばそう思う」が 39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえ
 ばそう思わない」(25.7%)、「そう思う」(19.0%) の順になっています。



問 18 すべての方にうかがいます。地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

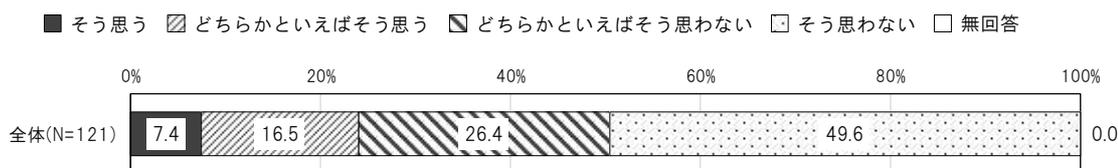
問 18 ア） 会話やメール等をよくしている

全体では、「そう思わない」が 42.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(28.9%)、「どちらかといえばそう思う」(20.7%) の順になっています。



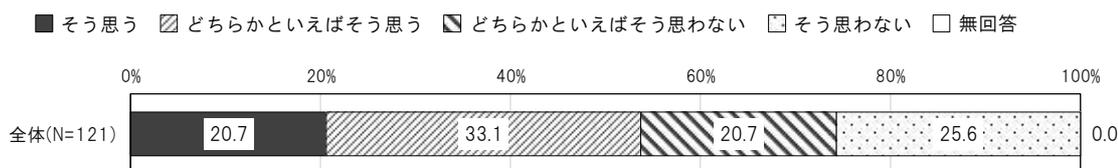
問 18 イ） 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「そう思わない」が 49.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(26.4%)、「どちらかといえばそう思う」(16.5%) の順になっています。



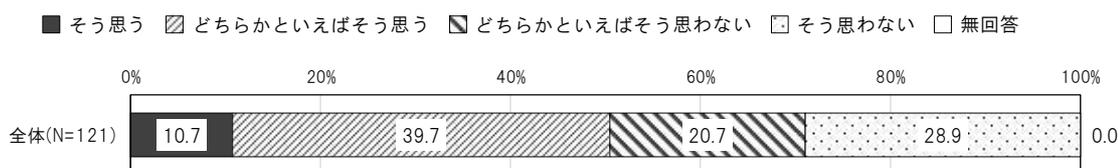
問 18 ウ） 楽しく話せる時がある

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 33.1%と最も高く、次いで、「そう思わない」(25.6%)、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」(20.7%) の順になっています。



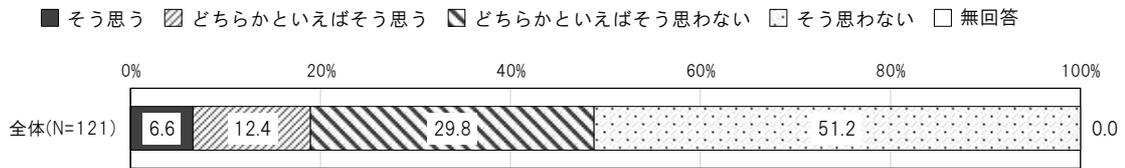
問 18 エ） 困ったときは助けてくれる

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 39.7%と最も高く、次いで、「そう思わない」(28.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(20.7%) の順になっています。



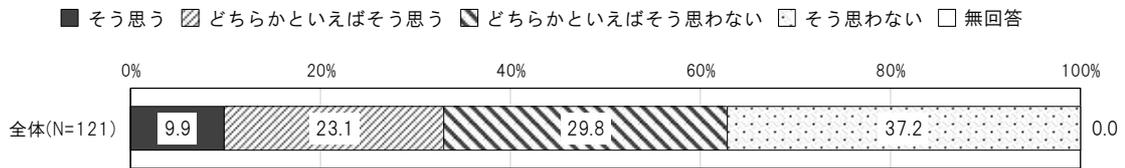
問 18 オ) 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思わない」が 51.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(29.8%)、「どちらかといえばそう思う」(12.4%) の順になっています。



問 18 カ) いつもつながりを感じている

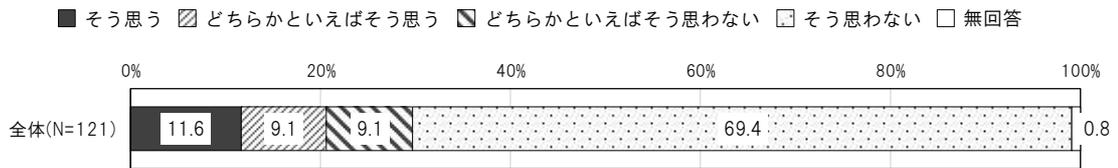
全体では、「そう思わない」が 37.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(29.8%)、「どちらかといえばそう思う」(23.1%) の順になっています。



問 19 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

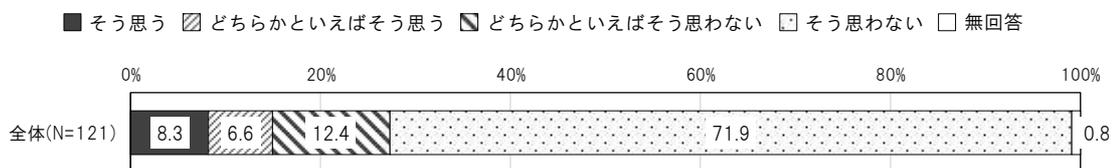
問 19 ア) 会話やメール等をよくしている

全体では、「そう思わない」が 69.4%と最も高く、次いで、「そう思う」(11.6%)、「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」(9.1%) の順になっています。



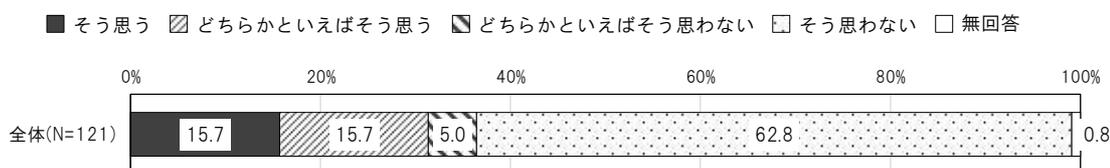
問 19 イ) 何でも悩みを相談できる人がある

全体では、「そう思わない」が 71.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(12.4%)、「そう思う」(8.3%) の順になっています。



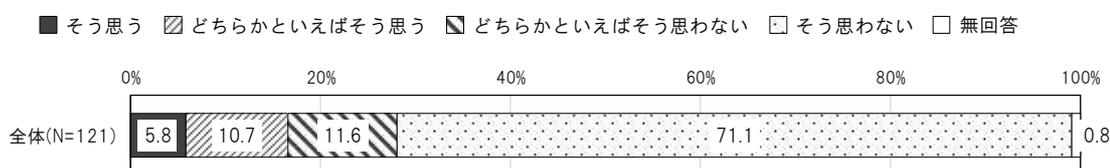
問 19 ウ) 楽しく話せる時がある

全体では、「そう思わない」が 62.8%と最も高く、次いで、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」(15.7%) の順になっています。



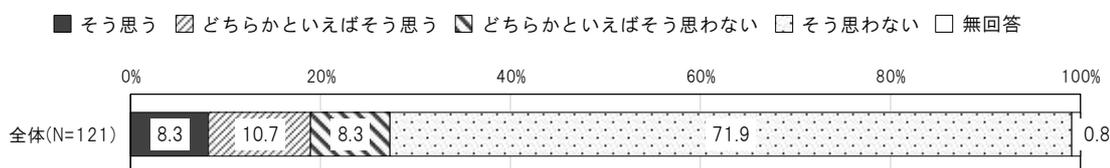
問 19 エ) 困ったときは助けてくれる

全体では、「そう思わない」が 71.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(11.6%)、「どちらかといえばそう思う」(10.7%) の順になっています。



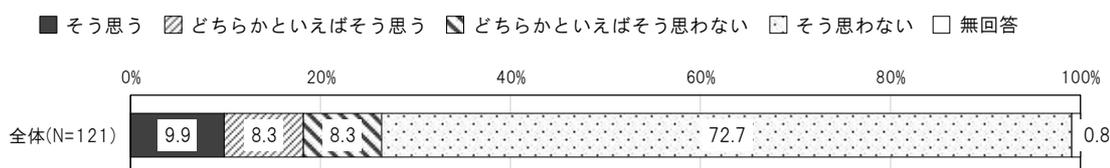
問 19 オ) 他の人には言えない本音を話せることがある

全体では、「そう思わない」が 71.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(10.7%)、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」(8.3%) の順になっています。



問 19 カ) いつもつながりを感じている

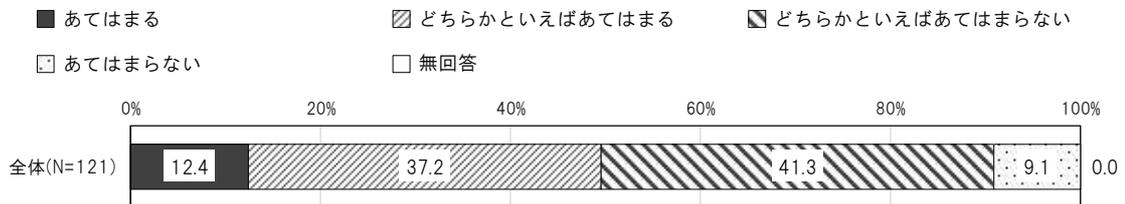
全体では、「そう思わない」が 72.7%と最も高く、次いで、「そう思う」(9.9%)、「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」(8.3%) の順になっています。



問 20 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。

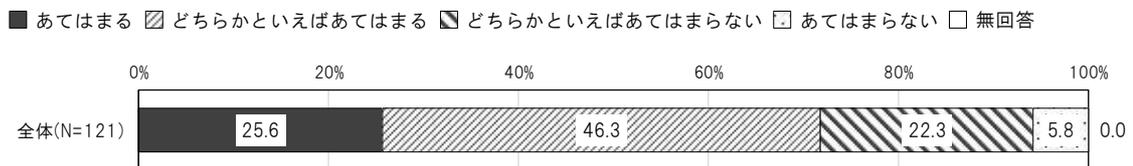
問 20 ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が 41.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまる」(37.2%)、「あてはまる」(12.4%) の順になっています。



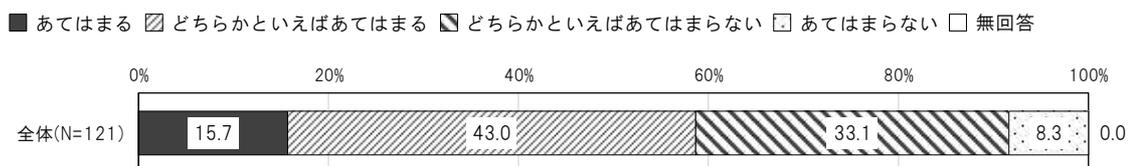
問 20 イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる(1つ)

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 46.3%と最も高く、次いで、「あてはまる」(25.6%)、「どちらかといえばあてはまらない」(22.3%) の順になっています。



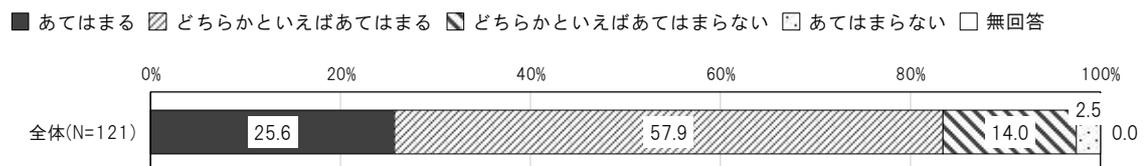
問 20 ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 43.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(33.1%)、「あてはまる」(15.7%) の順になっています。



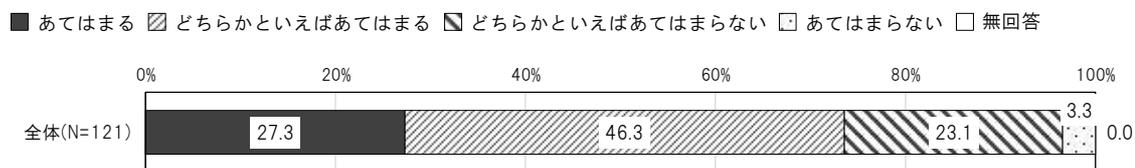
問 20 エ) その場に合った行動がとれる

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 57.9%と最も高く、次いで、「あてはまる」(25.6%)、「どちらかといえばあてはまらない」(14.0%) の順になっています。



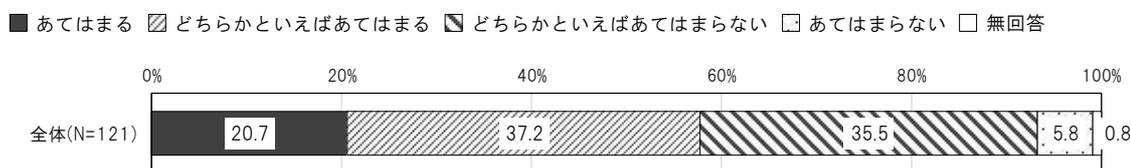
問 20 オ) 表情が豊かである

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 46.3%と最も高く、次いで、「あてはまる」(27.3%)、「どちらかといえばあてはまらない」(23.1%)の順になっています。



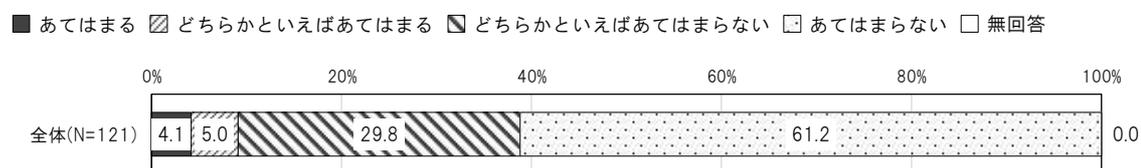
問 20 カ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が 37.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(35.5%)、「あてはまる」(20.7%)の順になっています。



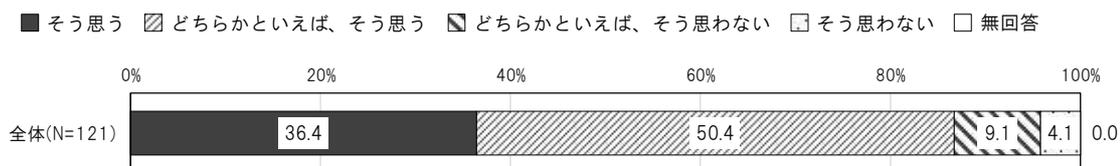
問 20 キ) 人にぶつかっても、あやまらないことがある

全体では、「あてはまらない」が 61.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばあてはまらない」(29.8%)、「どちらかといえばあてはまる」(5.0%)の順になっています。



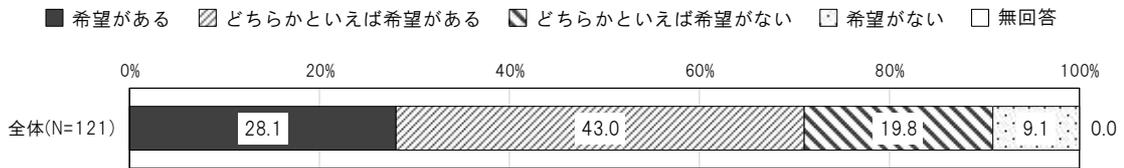
問 21 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つだけ〇)

全体では、「どちらかといえば、そう思う」が 50.4%と最も高く、次いで、「そう思う」(36.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(9.1%)の順になっています。



問 22 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つだけ〇)

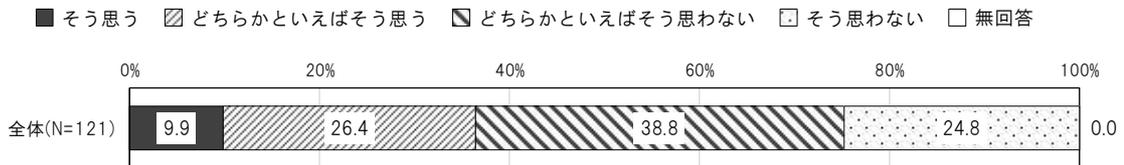
全体では、「どちらかといえば希望がある」が 43.0%と最も高く、次いで、「希望がある」(28.1%)、「どちらかといえば希望がない」(19.8%) の順になっています。



問 23 あなたは 20 年後、どのようになっていると思いますか。

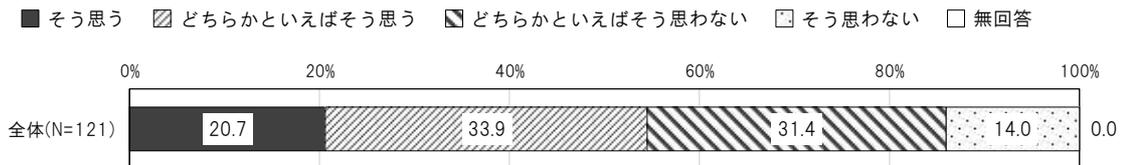
問 23 ア) お金持ちになっている

全体では、「どちらかといえばそう思わない」が 38.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(26.4%)、「そう思わない」(24.8%) の順になっています。



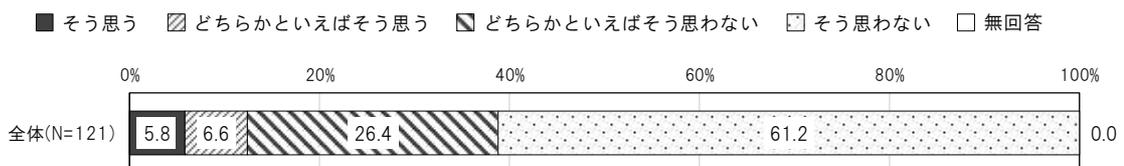
問 23 イ) 自由にのんびり暮らしている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 33.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(31.4%)、「そう思う」(20.7%) の順になっています。



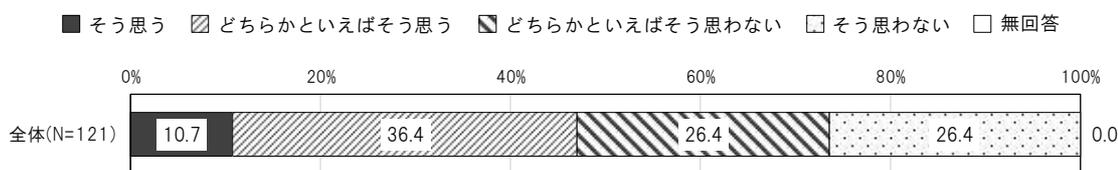
問 23 ウ) 世界で活躍している

全体では、「そう思わない」が 61.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」(26.4%)、「どちらかといえばそう思う」(6.6%) の順になっています。



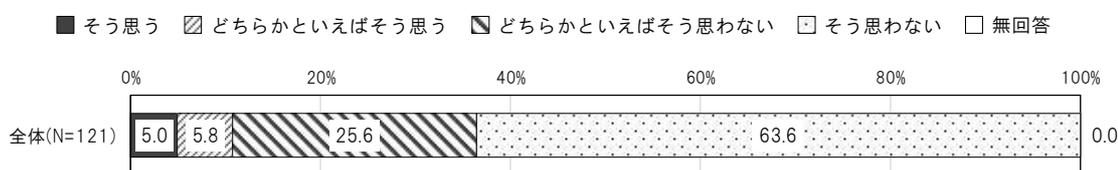
問 23 エ) 多くの人の役に立っている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 36.4%と最も高く、次いで、「どちらかといえ
ばそう思わない」「そう思わない」(26.4%)の順になっています。



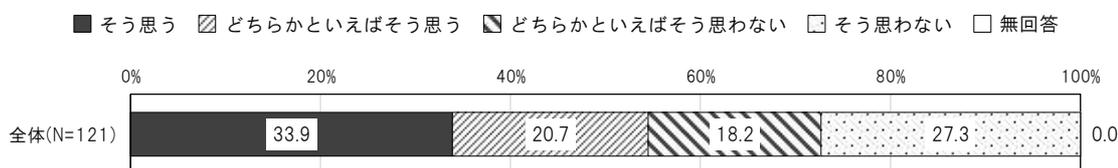
問 23 オ) 有名になっている

全体では、「そう思わない」が 63.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえ
ばそう思わない」(25.6%)、「どちらかといえばそう思う」(5.8%)の順になっています。



問 23 カ) 子どもを育てている

全体では、「そう思う」が 33.9%と最も高く、次いで、「そう思わない」(27.3%)、「ど
ちらかといえばそう思う」(20.7%)の順になっています。



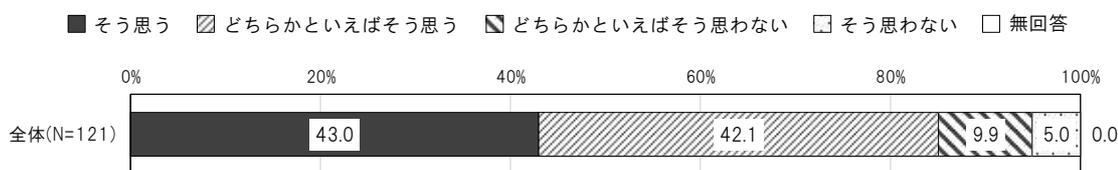
問 23 キ) 親を大切にしている

全体では、「そう思う」が 56.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえ
ばそう思う」(36.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(5.8%)の順になっています。



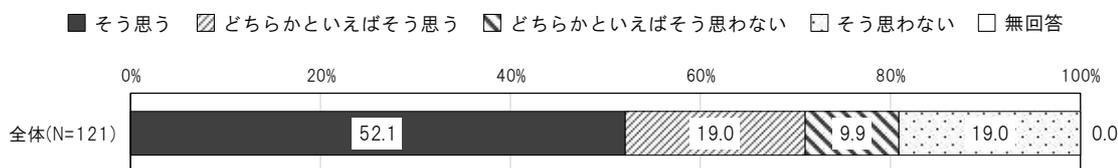
問 23 ク) 幸せになっている

全体では、「そう思う」が 43.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(42.1%)、「どちらかといえばそう思わない」(9.9%) の順になっています。



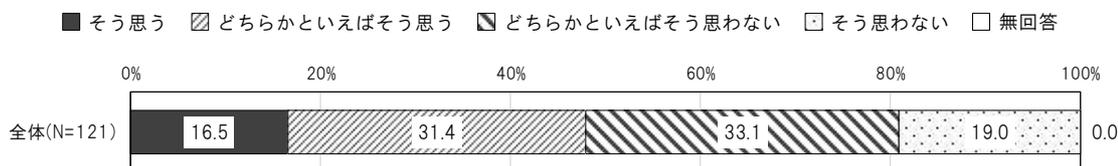
問 23 ケ) 結婚している

全体では、「そう思う」が 52.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」(19.0%) の順になっています。



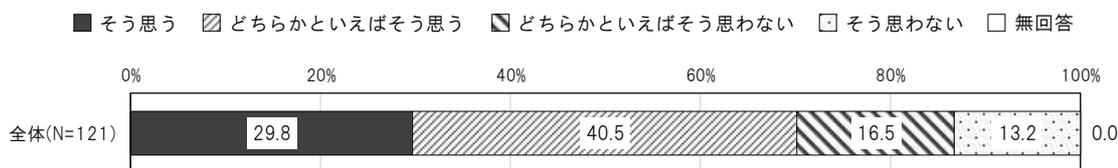
問 23 コ) 出世している

全体では、「どちらかといえばそう思わない」が 33.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(31.4%)、「そう思わない」(19.0%) の順になっています。



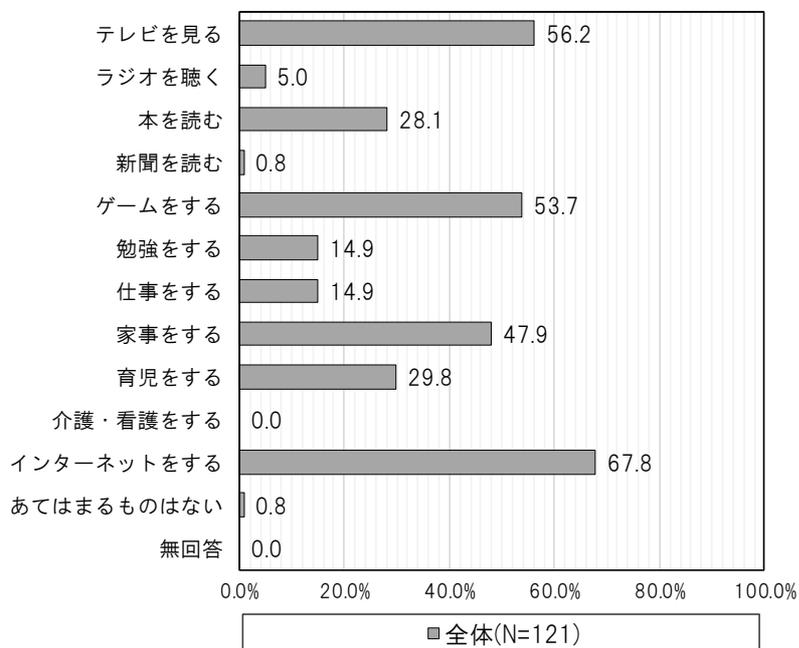
問 23 サ) 仲間と仲良く暮らしている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 40.5%と最も高く、次いで、「そう思う」(29.8%)、「どちらかといえばそう思わない」(16.5%) の順になっています。



問 24 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

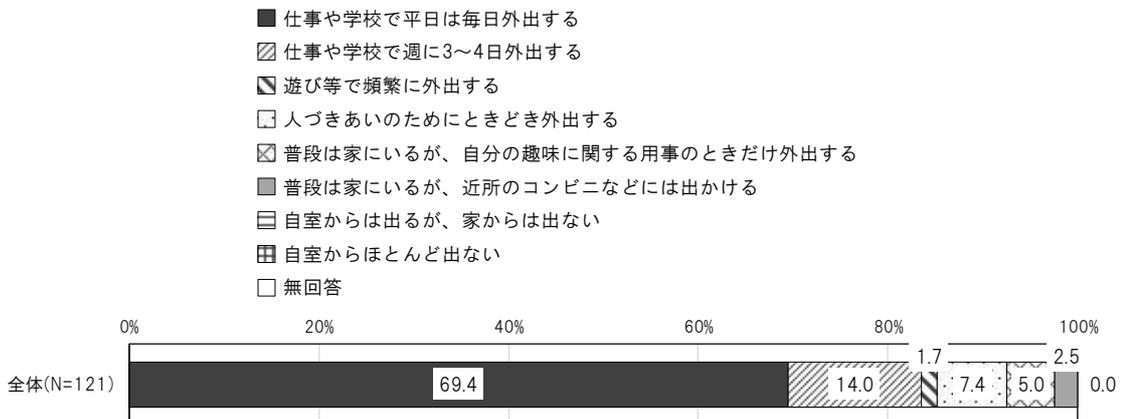
全体では、「インターネットをする」が 67.8%と最も高く、次いで、「テレビを見る」(56.2%)、「ゲームをする」(53.7%) の順になっています。



3. 普段の外出状況について

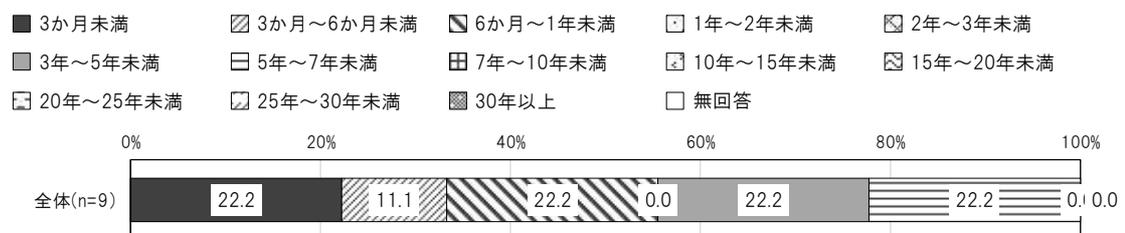
問 25 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つだけ○)

全体では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 69.4%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」は合計で 7.5%です。



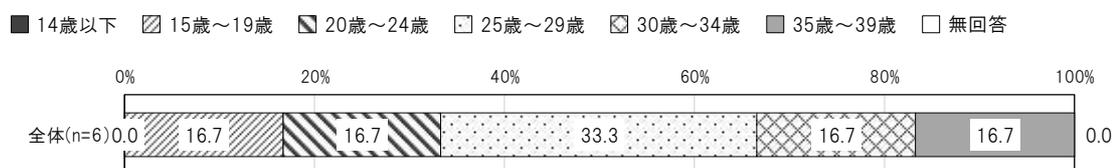
問 26 問 25 で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つだけ○)

全体では、「3 か月未満」「6 か月～1 年未満」「3 年～5 年未満」「5 年～7 年未満」が 22.2%と最も高くなっています。



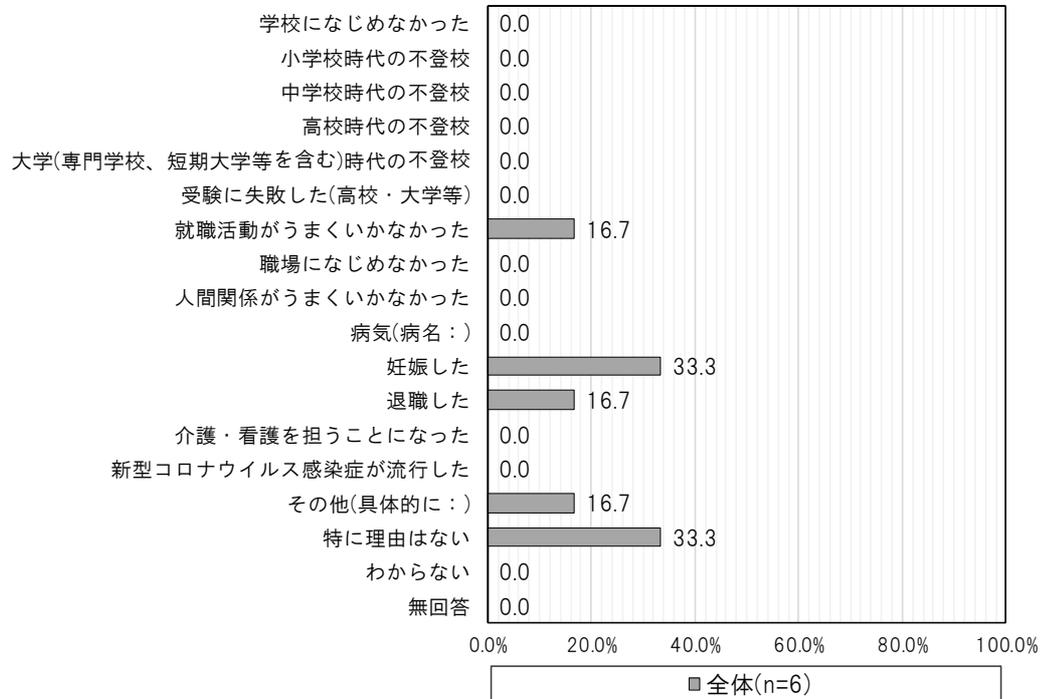
問 27 問 26 で「6 か月～1 年未満」以上のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(1つだけ○)

全体では、「25 歳～29 歳」が 33.3%と最も高く、次いで、「15 歳～19 歳」「20 歳～24 歳」「30 歳～34 歳」「35 歳～39 歳」(16.7%) の順になっています。



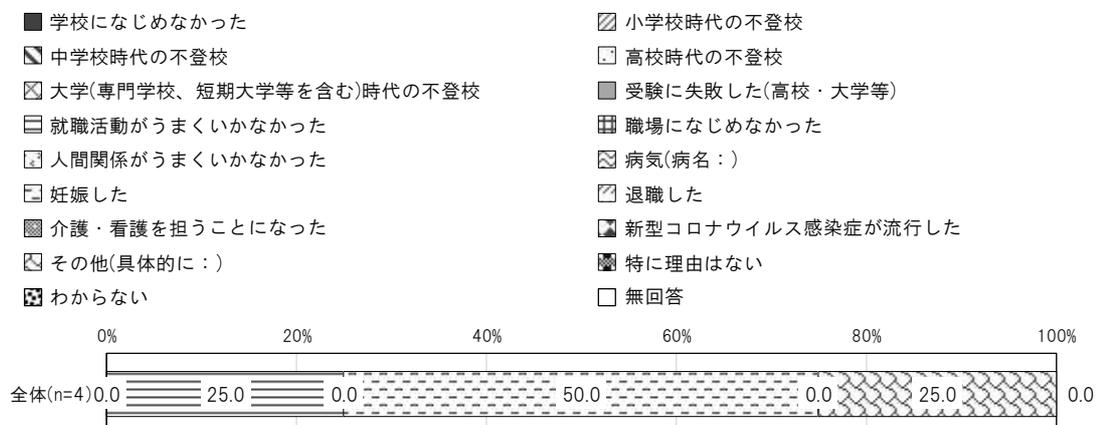
問 28 問 26 で「6 か月～1 年未満」以上のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「妊娠した」「特に理由はない」が 33.3%と最も高く、次いで、「就職活動がうまくいかなかった」「退職した」「その他(具体的に:)」(16.7%)の順になっています。



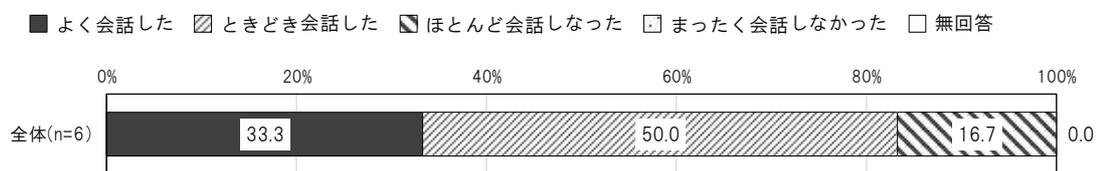
問 28-1 問 28 で「特に理由はない」「わからない」「無回答」以外に○をつけた方にのみうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。(1つだけ○)

全体では、「妊娠した」が 50.0%と最も高く、次いで、「就職活動がうまくいかなかった」「その他」(25.0%)の順になっています。



問 29 問 26 で「6 か月～1 年未満」以上のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。最近 6 か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(1 つだけ○)

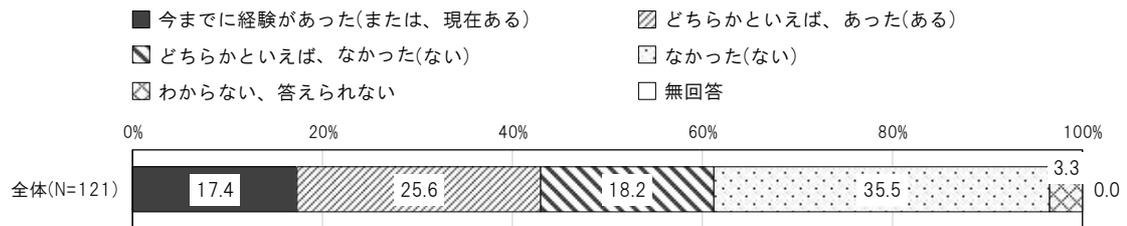
全体では、「ときどき会話をした」が 50.0%と最も高く、次いで、「よく会話をした」(33.3%)、「ほとんど会話をしなかった」(16.7%)の順になっています。



4. 生活の状況と相談環境について

問 30 すべての方にうかがいます。あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ○)

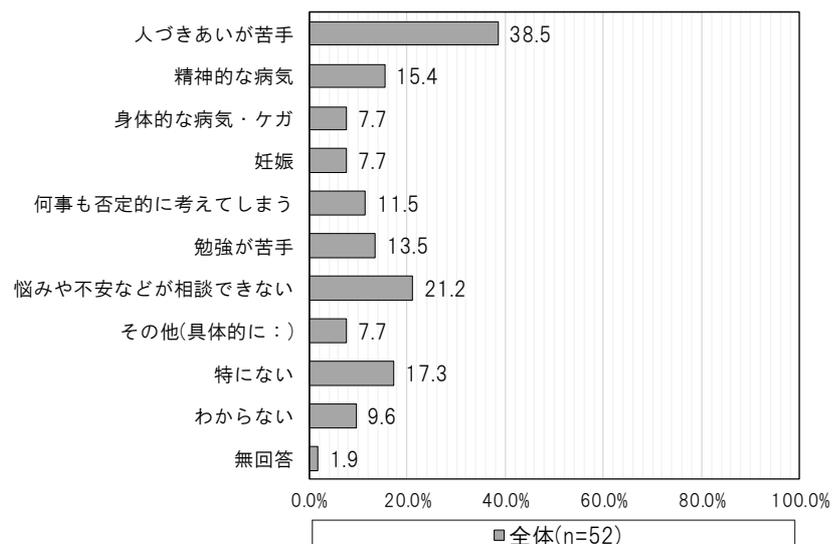
全体では、「なかった(ない)」が 35.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば、あった(ある)」(25.6%)、「どちらかといえば、なかった(ない)」(18.2%) の順になっています。



問 31 問 30 で「今までに経験があった(または、現在ある)」「今までに経験があった(または、現在ある)」のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。以下の (1) ~ (4) のそれぞれにお答えください。(あてはまるものすべてに○)

問 31 (1) 自分自身について

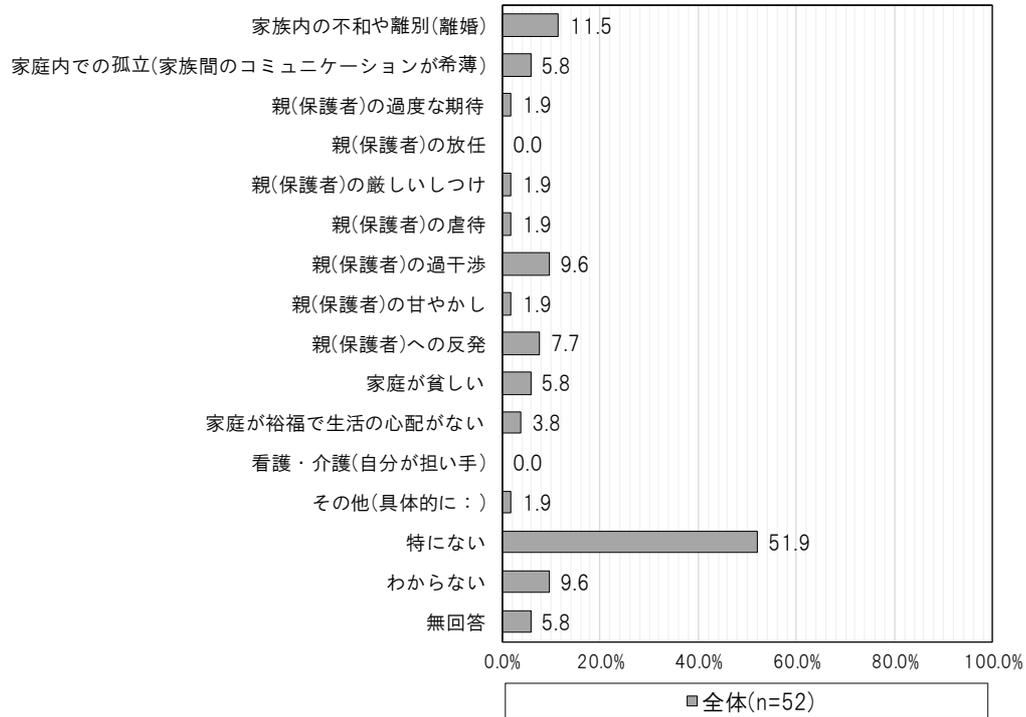
全体では、「人づきあいが苦手」が 38.5%と最も高く、次いで、「悩みや不安などが相談できない」(21.2%)、「特にない」(17.3%) の順になっています。



「その他」の回答…「自分の身勝手に」「高校の先生が苦手」など

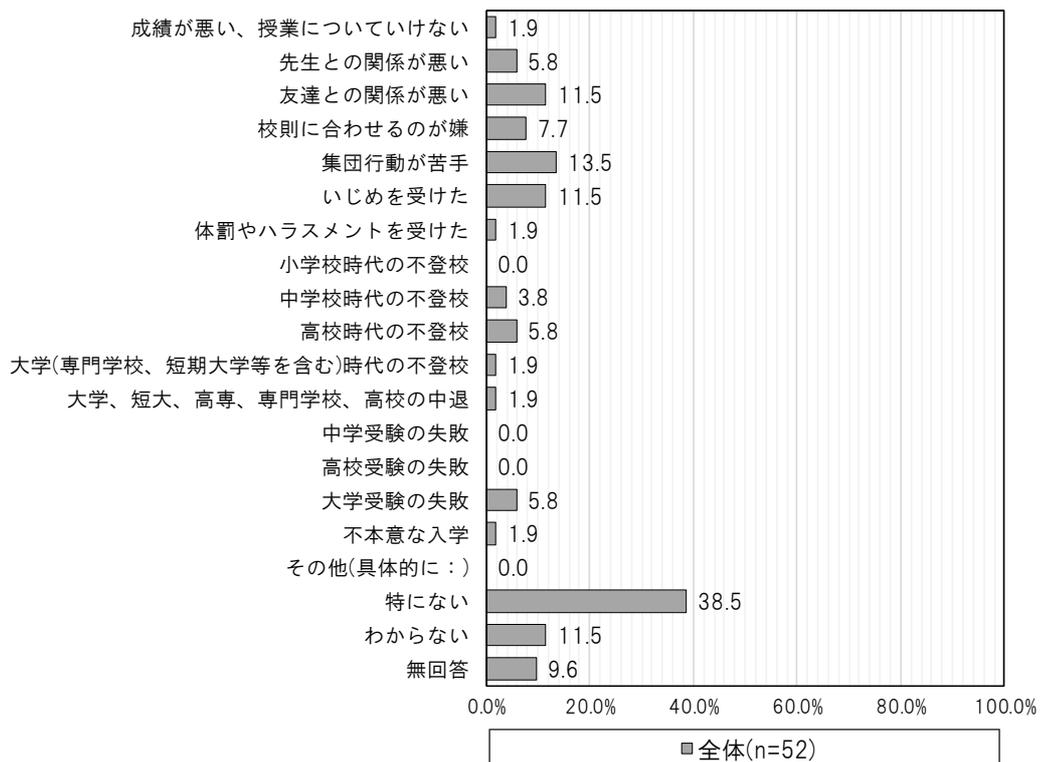
問 31 (2) 家族・家庭について

全体では、「特にない」が 51.9%と最も高く、次いで、「家族内の不和や離別(離婚)」(11.5%)、「親(保護者)の過干渉」「わからない」(9.6%) の順になっています。



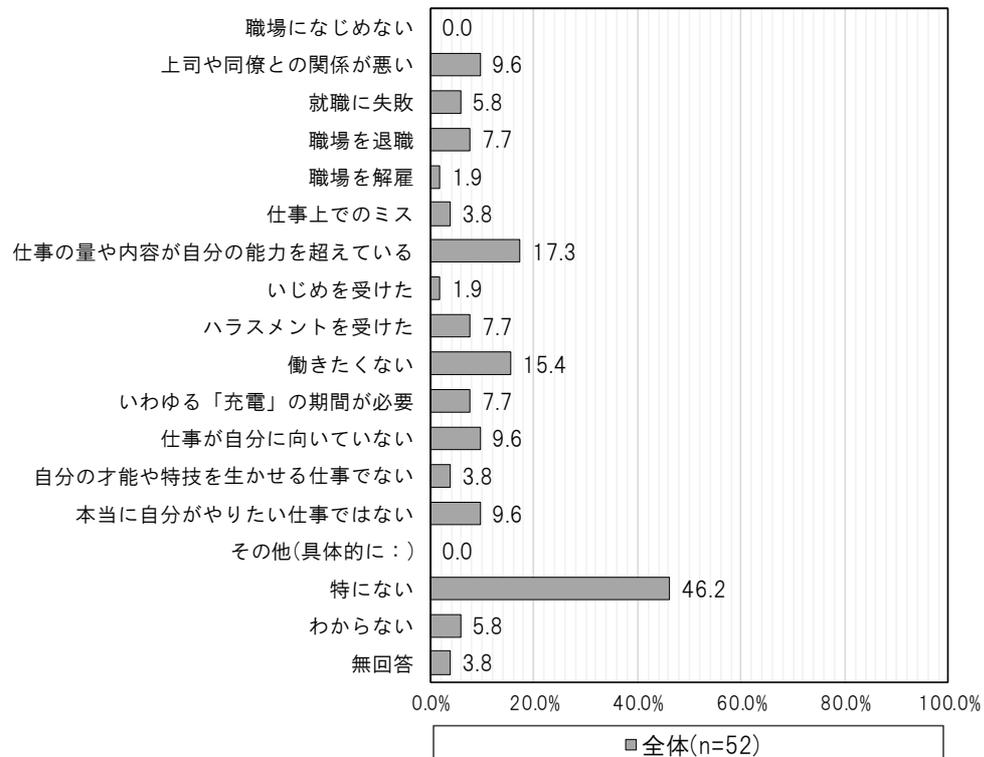
問 31 (3) 学校について

全体では、「特にない」が 38.5%と最も高く、次いで、「集団行動が苦手」(13.5%)、「友達との関係が悪い」「いじめを受けた」「わからない」(11.5%) の順になっています。



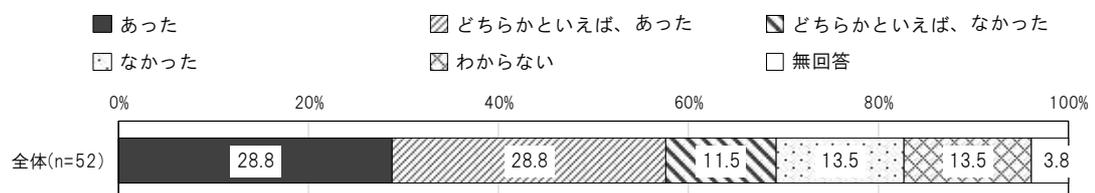
問 31 (4) 仕事・職場について

全体では、「特にない」が 46.2%と最も高く、次いで、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」(17.3%)、「働きたくない」(15.4%)の順になっています。



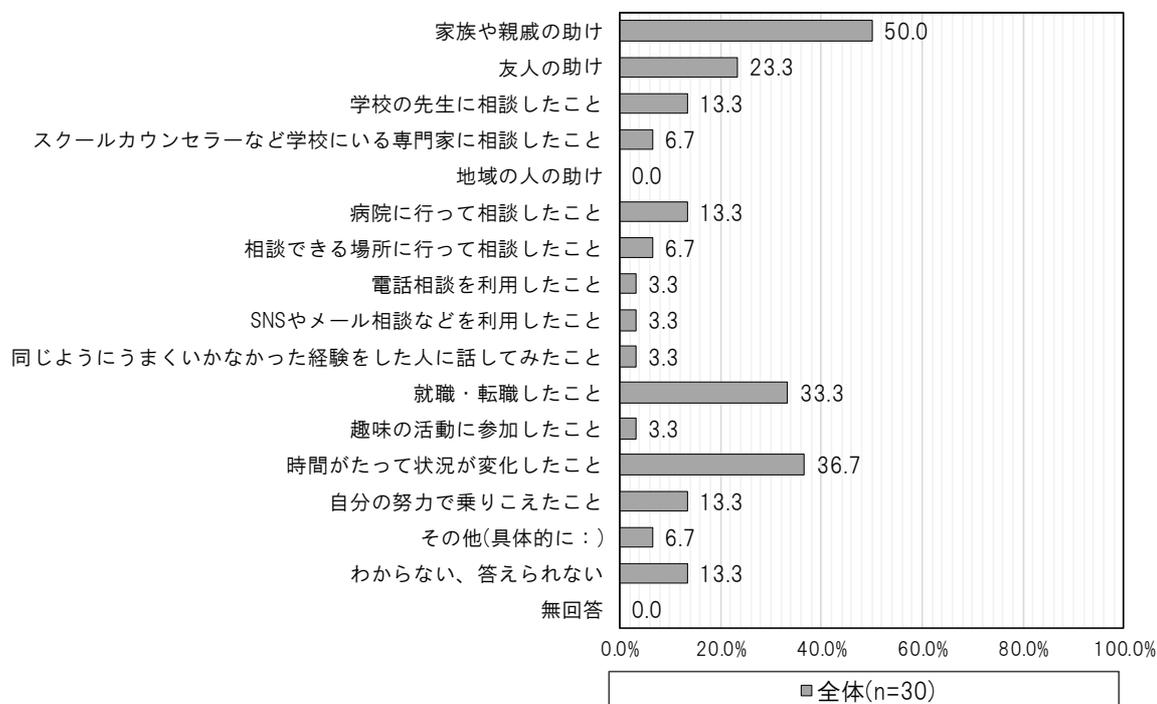
問 32 問 30 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかつた状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ○)

全体では、「あった」「どちらかといえば、あった」が 28.8%と最も高く、次いで、「なかった」「わからない」(13.5%)の順になっています。



問 33 問 32 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

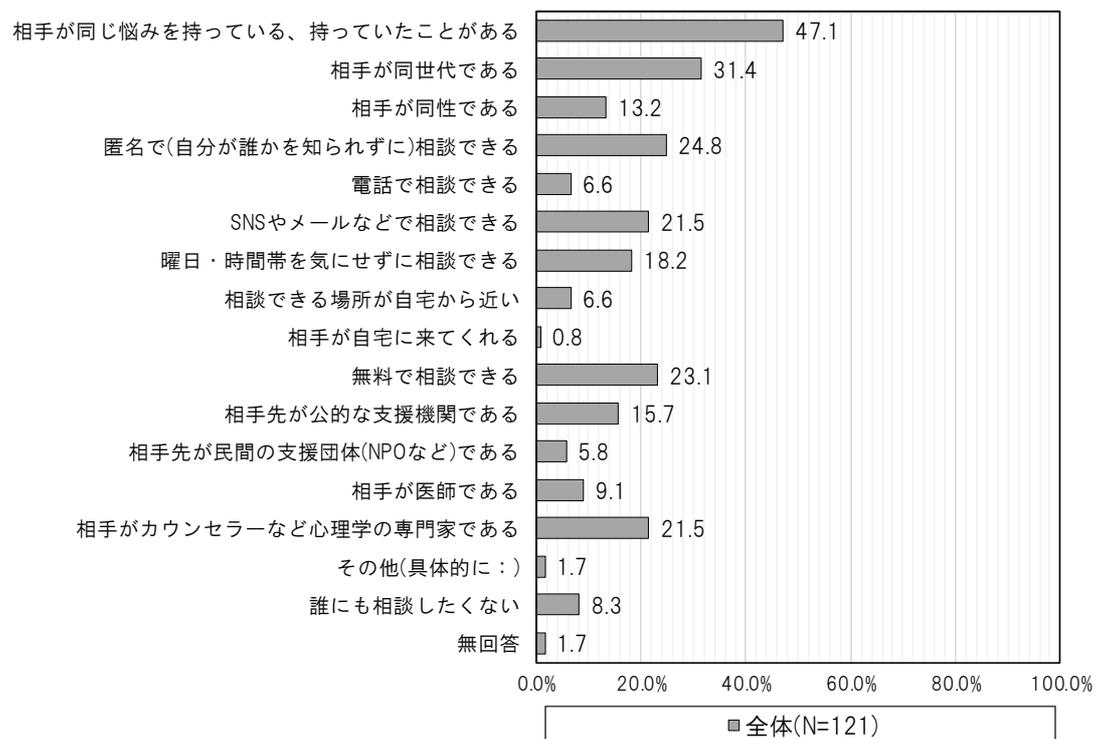
全体では、「家族や親戚の助け」が 50.0%と最も高く、次いで、「時間がたって状況が変化したこと」(36.7%)、「就職・転職したこと」(33.3%) の順になっています。



「その他」の回答…「考え方が変わった」「コロナが収束した」など

問 34 すべての方にうかがいます。あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

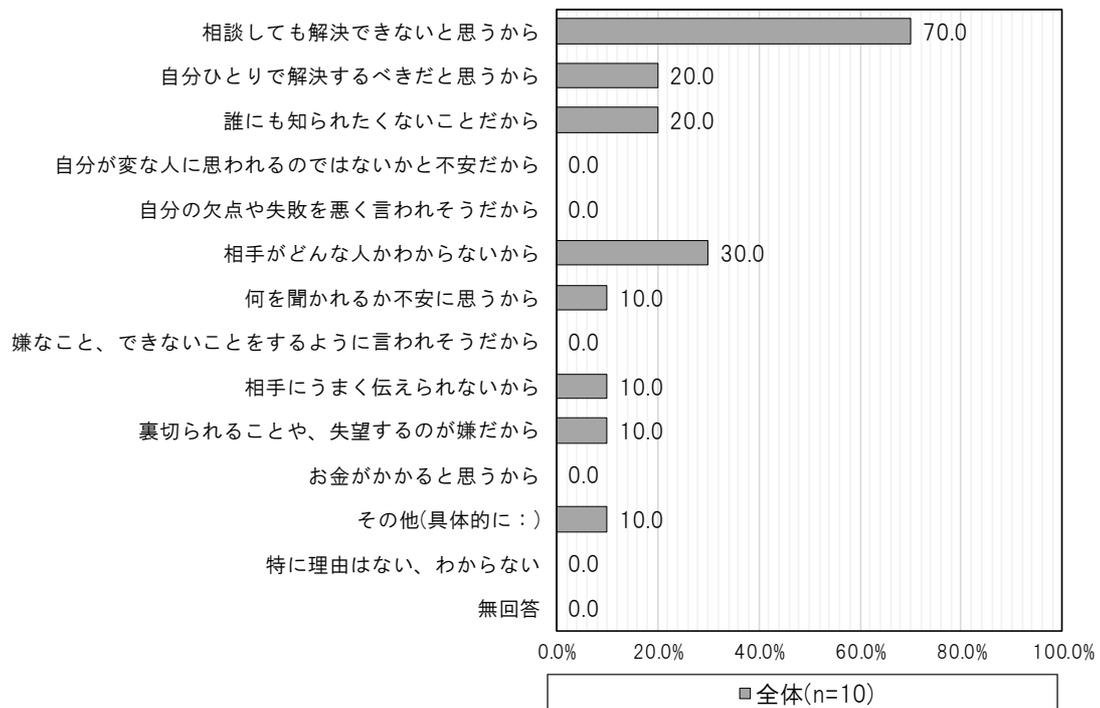
全体では、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 47.1%と最も高く、次いで、「相手と同世代である」(31.4%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(24.8%) の順になっています。



「その他」の回答…「もっとひどいところもあるから、など他所はどうこうといったことを言わない人」「信頼できる人がいる」など

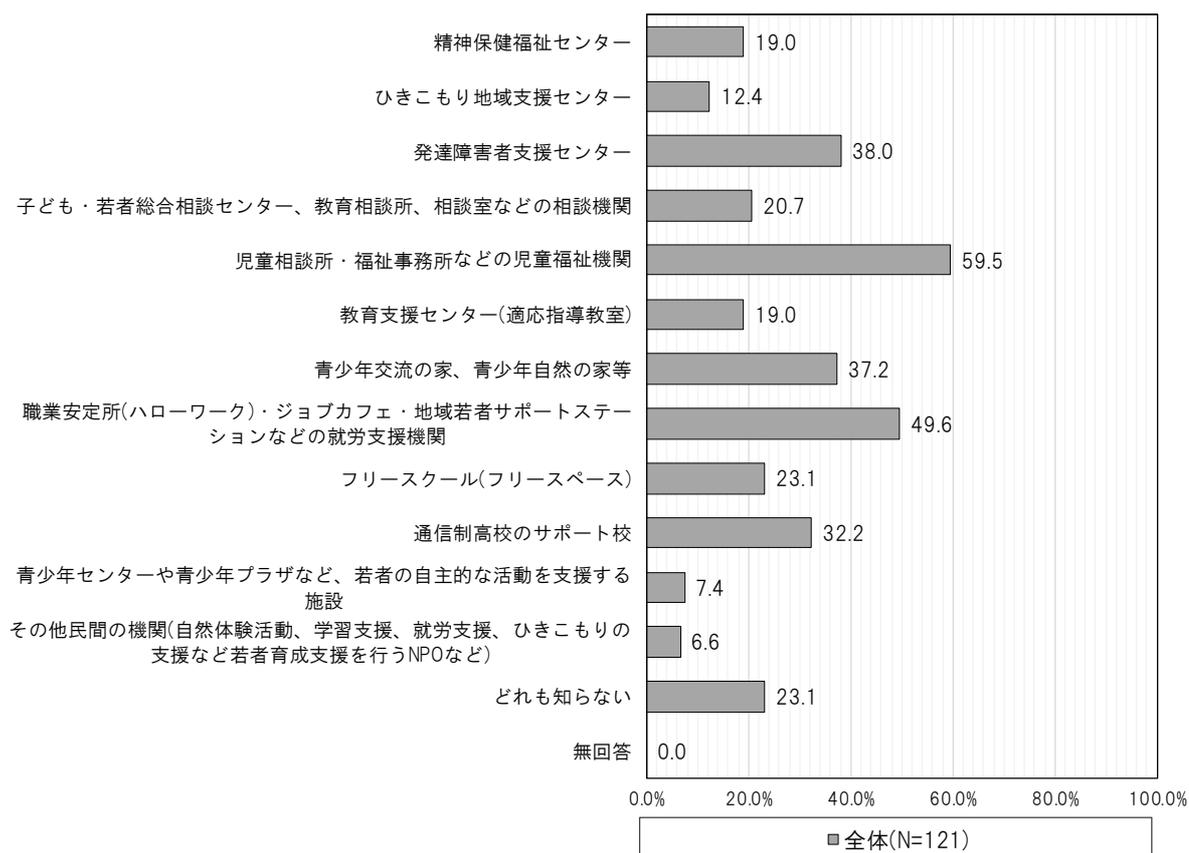
問 35 問 34 で「16. 誰にも相談したくない」に○をつけた方にのみうかがいます。相談したくないと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「相談しても解決できないと思うから」が 70.0%と最も高く、次いで、「相手がどんな人かわからないから」(30.0%)、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」「誰にも知られたくないことだから」(20.0%)の順になっています。



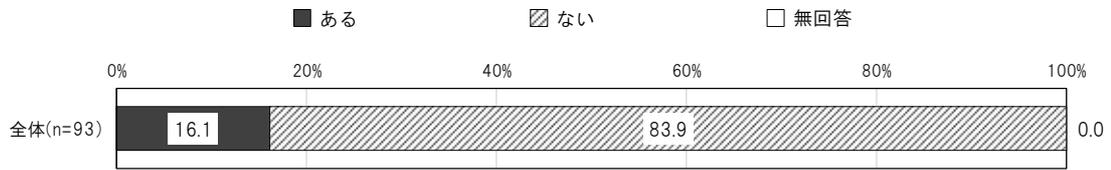
問 36 すべての方にうかがいます。あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」が 59.5%と最も高く、次いで、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」(49.6%)、「発達障害者支援センター」(38.0%) の順になっています。



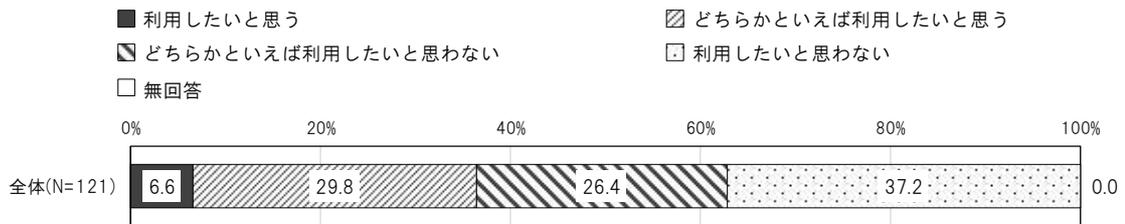
問 37 問 36 で「1」～「12」のいずれかに○をつけた方にのみうかがいます。これらの機関等を利用したことはありますか。(1 つだけ○)

全体では、「ない」が 83.9%、「ある」が 16.1%となっています。



問 38 すべての方にうかがいます。これらの機関等を利用したいと思いませんか。(1 つだけ○)

全体では、「利用したいと思わない」が 37.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば利用したいと思う」(29.8%)、「どちらかといえば利用したいと思わない」(26.4%)の順になっています。



5. 自由意見

問 39 最後に、教育・就労環境の充実、社会生活や日常生活の支援に関してご意見等ございましたら自由にご記入ください。

陰からいつも支えて頂き、いつも感謝しております。平日は「朝の挨拶運動」から始まり、夕方に横断歩道に立っている誘導員の方々には頭が上がらない気持ちです。就労環境もコンビニ、スーパーだけでなくまた新たなレジャーを開拓出来る事を願います。

みんなで声を出しあって、考えて変えていける世の中であってほしい。

すべての人間関係は自分自身との関係が深く影響しているので、自分自身の感情の取り扱い方法を伝えるような場所があると良いと思います。

教育よりも子どもを作る出産率をあげないと高齢化は止まらない。

この場で適切かわからないが、公共交通機関をより充実させてほしい。

山鹿地区に遊具のある公園を増やして欲しい。(元町運動広場、山鹿唐戸交差点近くの駐輪場のところなどに)巡回バスを妊婦や幼児連れも使えることをもっと周知して欲しい。

子どもの友達関係などの悩みを相談したいと思ってもどこに相談すれば良いかわからないし、相談したところでどうしてもらえるのか分からないため相談しづらい。昔の学校教員に比べて今は休んでも連絡や宿題、手紙などもなく、学校でどういうことをしているかなどの学級通信も少なくて学校の様子がわかりづらい。

1 学級の小学校は統合を検討した方が良いと思います。

迷惑しかかけない某家族と縁を切りたい。

6. 場ごとの認識

“家庭”、“学校”、“職場”、“地域”、“インターネット空間”の5つの場ごとの認識について、「安心できる場所になっている」、「相談できる人がいる」、「助けてくれる人がいる」の3項目について、肯定的な認識（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の回答者の割合を示しています。

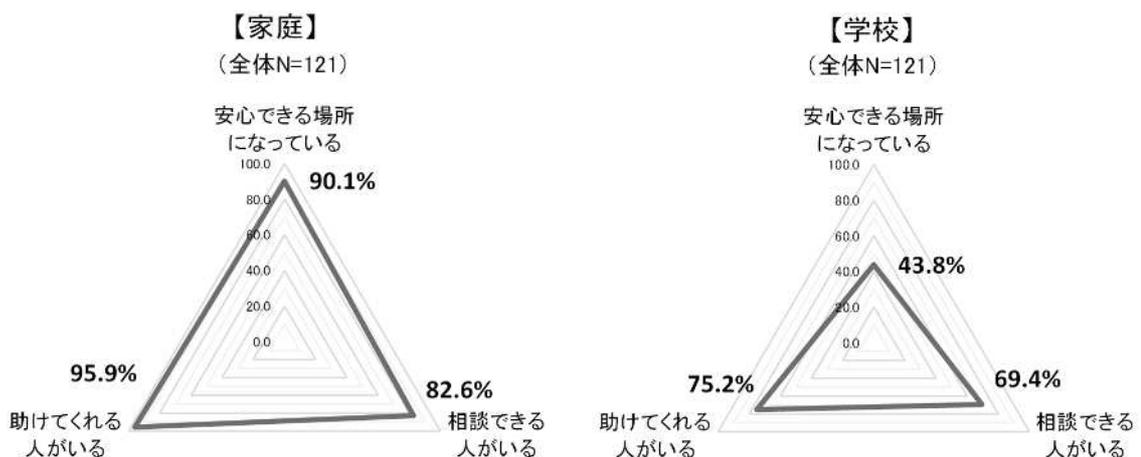
“家庭”に関しては、3項目いずれについても、肯定的な回答者の割合が5つの場の中で最も高く、特に「助けてくれる人がいる」（95.9%）、「安心できる場所になっている」（90.1%）の割合は9割以上を占めています。

“学校”に関しては、「助けてくれる人がいる」（75.2%）、「相談できる人がいる」（69.4%）の割合は約7割を占めており、“家庭”に次いで高い割合となっています。一方で、「安心できる場所になっている」（43.8%）は、5つの場の中で最も低い割合となっています。

“職場”に関しては、「助けてくれる人がいる」（66.9%）、「相談できる人がいる」（49.6%）は“家庭”、“学校”に次いで高い割合となっています。一方で、「安心できる場所になっている」（54.5%）は半数程度が肯定的な回答ですが、“学校”に次いで低い割合となっています。

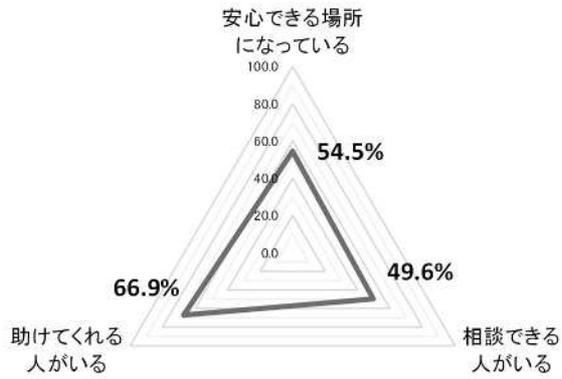
“地域”に関しては、「安心できる場所になっている」（57.9%）は“家庭”に次いで高い割合となっています。一方で、「助けてくれる人がいる」（50.4%）、「相談できる人がいる」（24.0%）はどちらも“インターネット空間”に次いで低い割合となっています。

“インターネット空間”に関しては、「安心できる場所になっている」（57.9%）が“地域”と同率で“家庭”に次いで高い割合となっています。一方で、「助けてくれる人がいる」（16.5%）、「相談できる人がいる」（14.9%）については、1割台であり、5つの場の中で最も低い割合となっています。



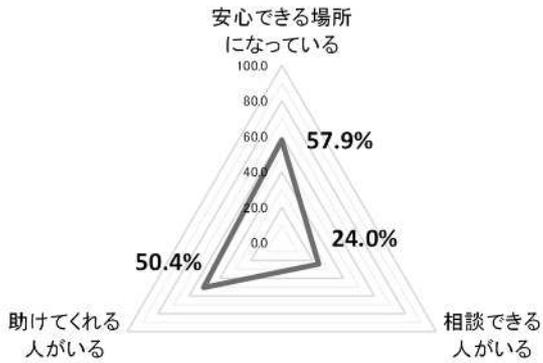
【職場】

(全体N=121)



【地域】

(全体N=121)



【インターネット空間】

(全体N=121)

